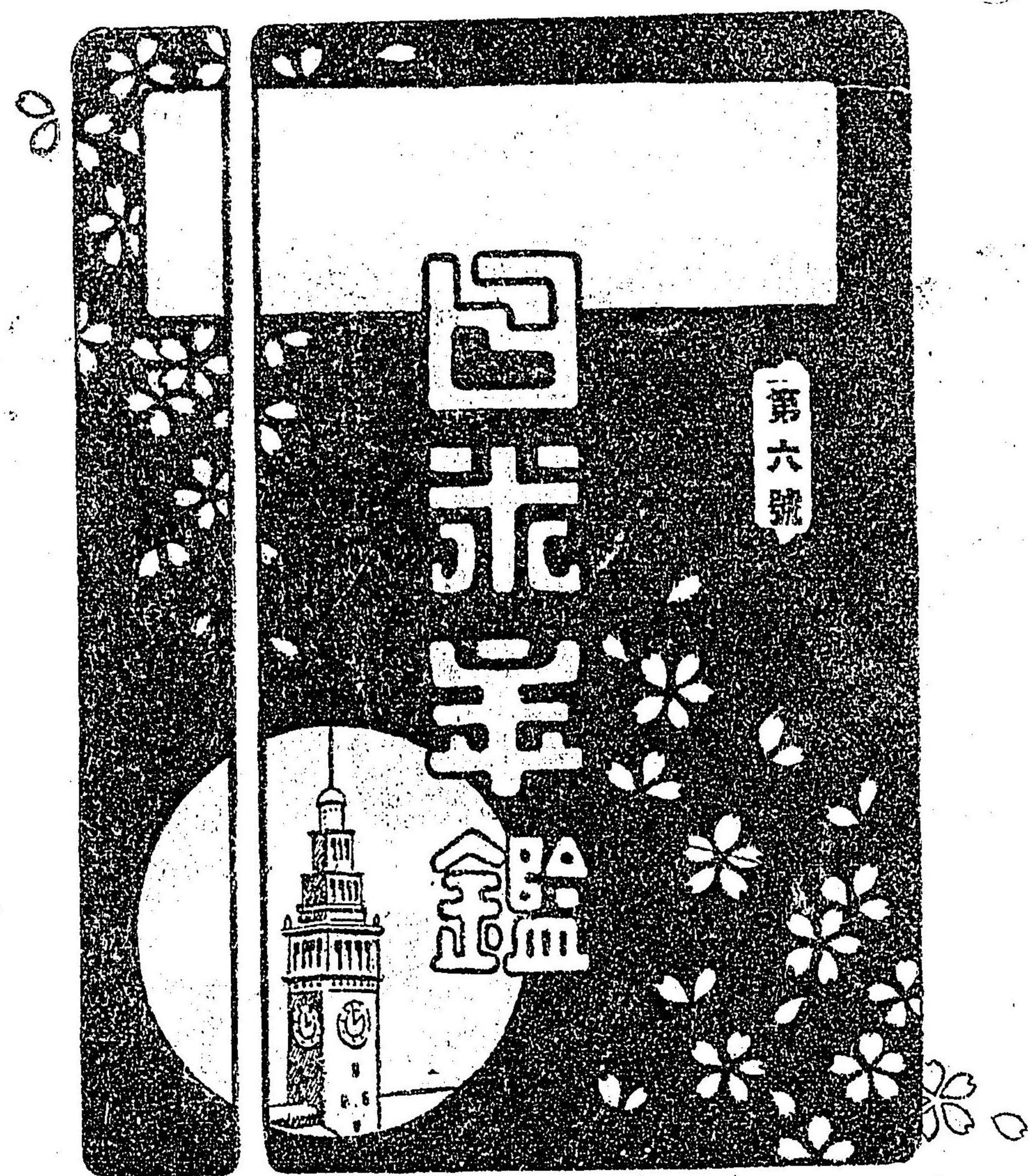


THE JAPANESE AMERICAN  
YEAR BOOK

(M)



NUMBER SIX 1910

THE AMERICAN LAND AND PRODUCE COMPANY

459--461 PACIFIC BUILDING, SAN FRANCISCO  
LIVINGSTON, MERCED COUNTY, CALIF.

TELEPHONE DOUGLAS 3284  
HOME J. 4284

◎来りて大和コロニーの真相を見其真價を知れ!!!

△氣候溫和地味豊にして有ゆる果物野菜の栽培に適す▽

△灌溉水利の便完備し洪水旱魃の恐れ更になし▽

△運輸交通自由自在にして周圍に三個の鐵道停車場あり▽

△地價は一エーカー七拾五弗以上にして年賦済し崩しの便法あり▽

株式會社 米國殖産會社

△確實安全にして割合より利殖の道は大和コロニーに投資するにあり▽

△大和コロニーに來り勤勉農業に従事せば年々其所得中▽

△より僅に借地料に均しき少額の地代拂込をなすつと▽

△數年にして地主となり巨額の利益を收むるを得べし▽

◎来りて天惠の樂園も無盡藏の富源を開拓せよ!!!



日

米

新

聞社發行

日米新聞社發行

14.4  
1972

日米年鑑

(第六)

日米新聞社發行

# 日米年鑑「第四」目次

口 繪

一、カリフォルニア州地圖	一頁
一、桑港市と日本人町(二葉)	一頁
一、サクラメント市と日本人町	一頁
一、フレズノ市と日本人町	一頁
一、ロサンゼルス市と日本人町	一頁
一、シヤトル市と日本人町	一頁
第一編 日米關係	一頁
明治四十二年史	一頁
第一、加州各會の排日問題	一頁
第二、排日思想の傳播	一頁
第三、米國大統領の更迭	一頁
第四、金門銀行の破綻	一頁
第五、練習艦隊の來航	一頁
第六、布哇同盟罷工事件	一頁
第七、日本實業團の渡米	一頁
第八、注意すべき排日運動	一頁
第九、邦人銀行の將棋倒し	一頁
第十、桑港開港紀念祭	一頁
第十一、駐米大使の更迭	一頁
第二編、米國と日本人	一頁
一、合衆國々勢要覽	一頁

一、合衆國の政体	二〇頁
二、合衆國の人口	二〇頁
三、合衆國の宗教	二二頁
四、合衆國の教育	二三頁
五、合衆國の司法	二五頁
六、合衆國の財政經濟	二五頁
七、合衆國の國防	二七頁
八、合衆國の産業	二八頁
九、合衆國の商業	三〇頁
十、合衆國の海運業	三一頁
十一、合衆國の交通機關	三一頁
二、日米貿易概観	三三頁
一、日米貿易の發達	三三頁
二、米國貿易上日米貿易の位置	三三頁
三、日本貿易上の日米貿易の位置	三四頁
四、米國の重要輸入品	三四頁
五、米國の重要輸出品	三七頁
三、米國在留日本人	三八頁
一、緒 音	三八頁
二、米國在留日本人の數	三九頁
三、米國在留日本人の職業	四〇頁
四、米國在留日本人の商業及雜業	四二頁
五、在米日本人の宗教々音	四二頁
四、排日運動の經過及眞因	四三頁
一、排日運動の經過	四三頁
二、排日運動の眞因	四六頁
三、排日運動の解決手段	四八頁

## 第三編、加州の日本人

一、緒 音	四九頁
上、カリフォルニア州概観	四九頁
下、加州日本人發達の沿革	五二頁
二、加州日本人々口	五四頁
一、加州人口の増加	五四頁
二、加州日本人の増加	五五頁
三、加州日本人部別	五六頁
三、加州日本人の農業	六〇頁
一、加州農業概観	六〇頁
二、加州日本人農業の發達	六四頁
三、日本人農業發達の四因	六四頁
四、日本人の農業經營方法	七一頁
五、加州農業と日本人の位置	七二頁
六、日本人の主要農作物	七八頁
七、日本人の農業反別	八七頁
八、日本人農業府縣別	八九頁
九、加州日本人農業作物別	九二頁
十、加州の農業と資本家	九三頁
十一、アラメダ郡日本人の農業	九八頁
十二、バカビル地方の日本人農業	一〇一頁
十三、サクラメント地方の日本人農業	一〇三頁
十四、スタクトン地方の日本人農業	一〇五頁
十五、フレズノ地方の日本人農業	一〇八頁
十六、南部加州の日本人農業	一一六頁
十七、ロツソビル地方の日本人農業	一二七頁
十八、サンノセ地方の日本人農業	一四七頁

## 第四編、西北部の日本人

一、オレゴン州の地勢	一九九頁
二、オレゴン州の日本人	一九九頁
一、オレゴン州在留日本人の沿革	一九九頁
二、オレゴン州在留日本人の數	一九九頁
三、オレゴン州日本人職業別	二〇〇頁
四、オレゴン州日本人の農業	二〇一頁
五、オレゴン州日本人の商業及雜業	二〇二頁
六、オレゴン州日本人の教育及宗教	二〇五頁
七、オレゴン州日本人の教育及宗教	二〇六頁
二、華盛頓州の地勢	二〇七頁
一、華盛頓州の日本人	二〇七頁
二、華盛頓州日本人の沿革	二〇七頁

## 一九、大和殖民地の農業

一、桑港と日本の貿易	一四七頁
二、加州日本人の商業及雜營業	一四七頁
一、加州日本人の商業及雜營業の沿革	一四九頁
二、加州日本人商業及雜營業の新傾向	一五七頁
三、加州日本人の主要商業及雜業	一五八頁
四、加州日本人の主要商業及雜業	一五九頁
五、日本人主要商業及雜業地方別	一六四頁
六、花園業及植木業	一六八頁
七、加州日本人の漁業	一七一頁
八、加州日本人の營業別	一七一頁
五、加州日本人の教育及宗教	一八九頁
一、加州の教育概観	一八九頁
二、加州日本人の教育	一九二頁
三、加州日本人の宗教	一九六頁
第四編、西北部の日本人	一九九頁
一、オレゴン州の地勢	一九九頁
二、オレゴン州の日本人	一九九頁
一、オレゴン州在留日本人の沿革	一九九頁
二、オレゴン州在留日本人の數	一九九頁
三、オレゴン州日本人職業別	二〇〇頁
四、オレゴン州日本人の農業	二〇一頁
五、オレゴン州日本人の商業及雜業	二〇二頁
六、オレゴン州日本人の教育及宗教	二〇五頁
七、オレゴン州日本人の教育及宗教	二〇六頁
二、華盛頓州の地勢	二〇七頁
一、華盛頓州の日本人	二〇七頁
二、華盛頓州日本人の沿革	二〇七頁

三、華盛頓州在留日本人の數	二〇八頁
四、華州日本人の農業	二〇九頁
五、華州日本人の商業及雜業	二二三頁
六、華州日本人の教育及宗教	二二八頁
附、英領コロ州の日本人	二二八頁
一、英領コロ州の位置地勢	二二八頁
二、英領コロ州日本人の沿革	二二九頁
三、英領コロ州日本人の數	二二九頁
四、英領コロ州の産業及日本人	二二〇頁
五、コロ州日本人の商業及雜業	二二三頁
六、コロ州日本人の宗教及教育	二二三頁
第五編、絡機地方の日本人	二二七頁
上、山西諸州の日本人	二二七頁
一、山中部地方の地勢氣候	二二七頁
二、山中部諸州日本人の沿革	二二八頁
三、山中部諸州日本人の數	二二九頁
四、山中部の農業と日本人	二二九頁
五、山中部諸州日本人の商業及雜業	二三三頁
六、山中部諸州の雜種勞働	二三六頁
七、山中部日本人の教育及宗教	二三七頁
下、山東諸州の日本人	二三七頁
一、山東諸州の地勢	二三七頁
二、山東諸州日本人の沿革	二三八頁
三、山東諸州日本人の數	二三八頁
四、山東諸州日本人の農業	二三九頁
五、山東諸州日本人の商業	二四五頁
六、山東諸州日本人の教育及宗教	二四六頁

第六編、東南部諸州の日本人	二四六頁
一、東部諸州の日本人	二四六頁
一、大西洋沿岸の日本人	二四六頁
二、紐育市内の日本人の數	二四七頁
三、紐育市内日本人の商業	二四七頁
四、紐育市附近日本人の農業	二四八頁
五、ホストン市の日本人	二四八頁
六、ヒラデルヒヤ市の日本人	二四九頁
七、シカゴ市の日本人	二四九頁
二、南部諸州の日本人	二四九頁
一、テキサス州の日本人	二四九頁
二、フロリダ州の日本人	二四九頁
第一附録「法律手續案内」	(四十八頁)
第二附録「住所姓名録」	(百二十八頁)

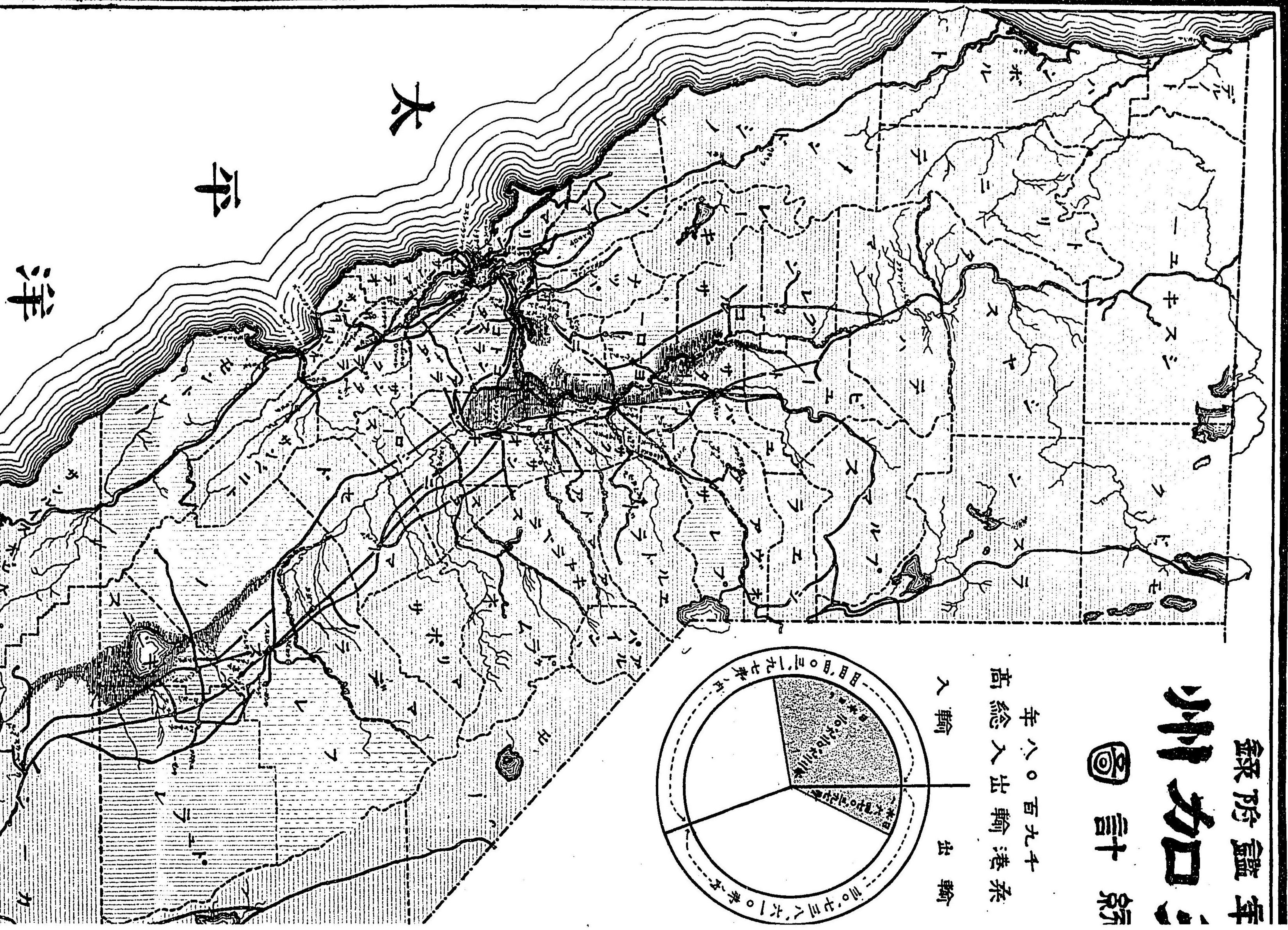
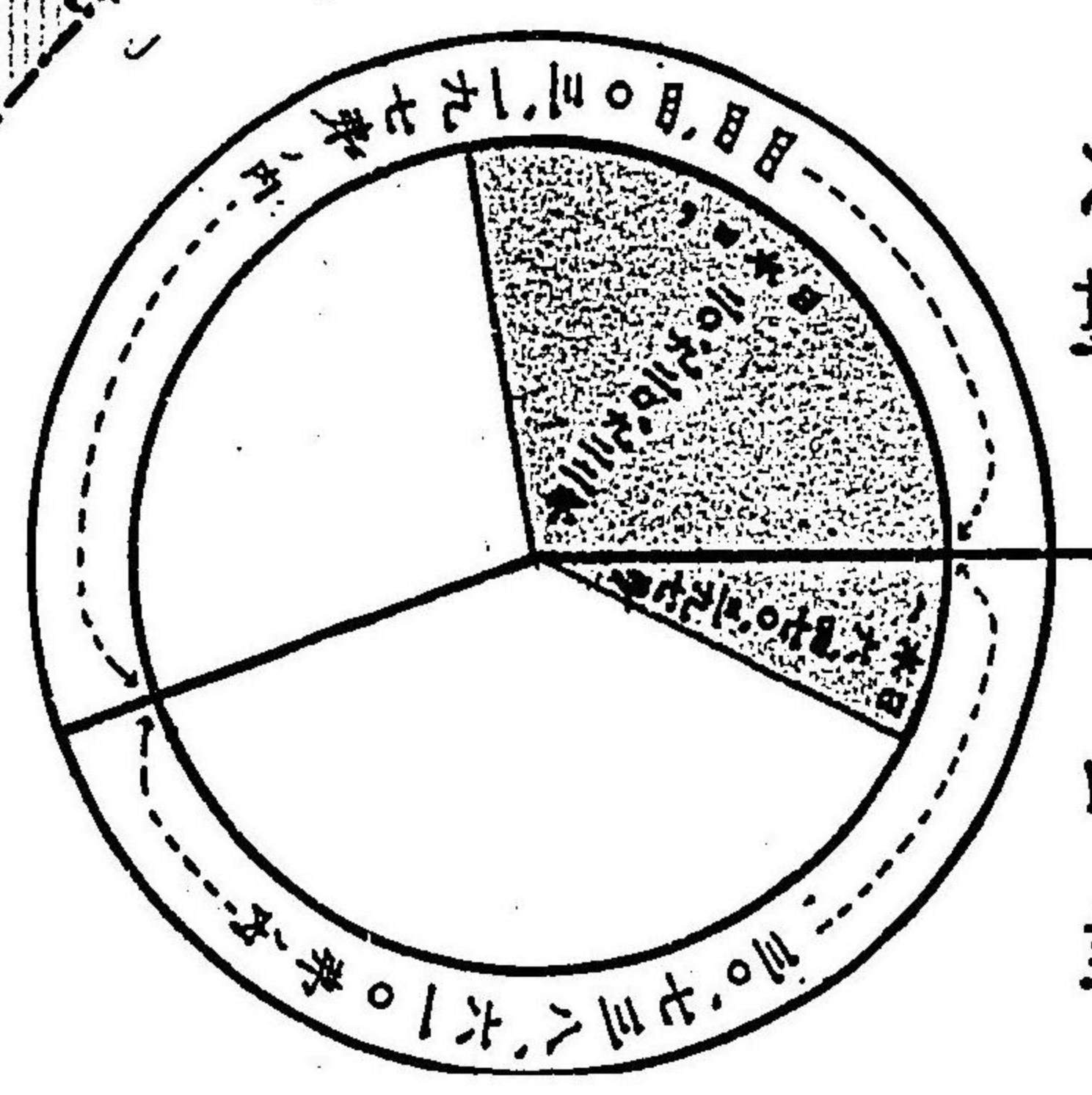
目次(終)

# 録附鑑年 州カロリ

## 圖計新

年八〇百九千  
高総入出輸港糸

入輸 出輸

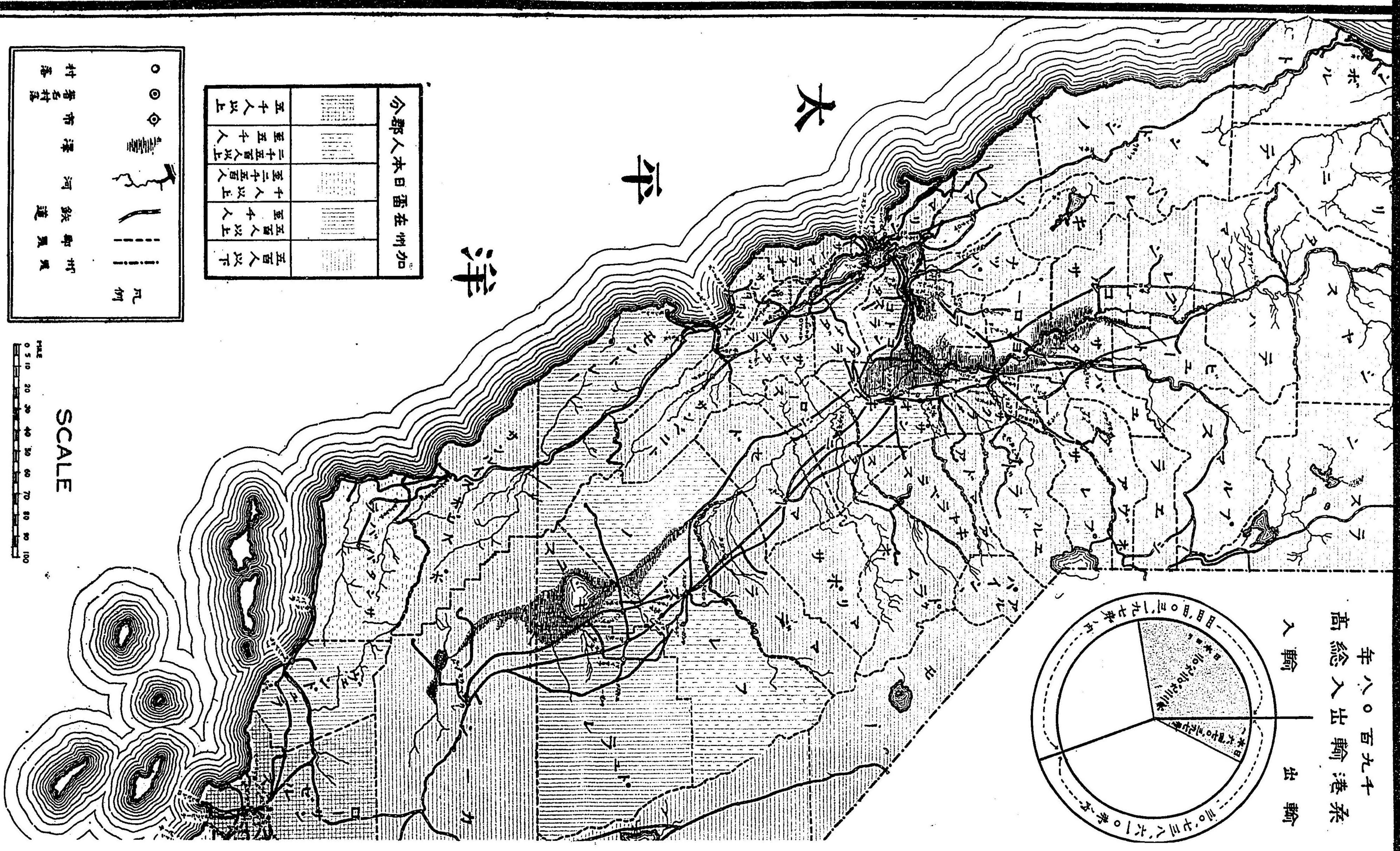
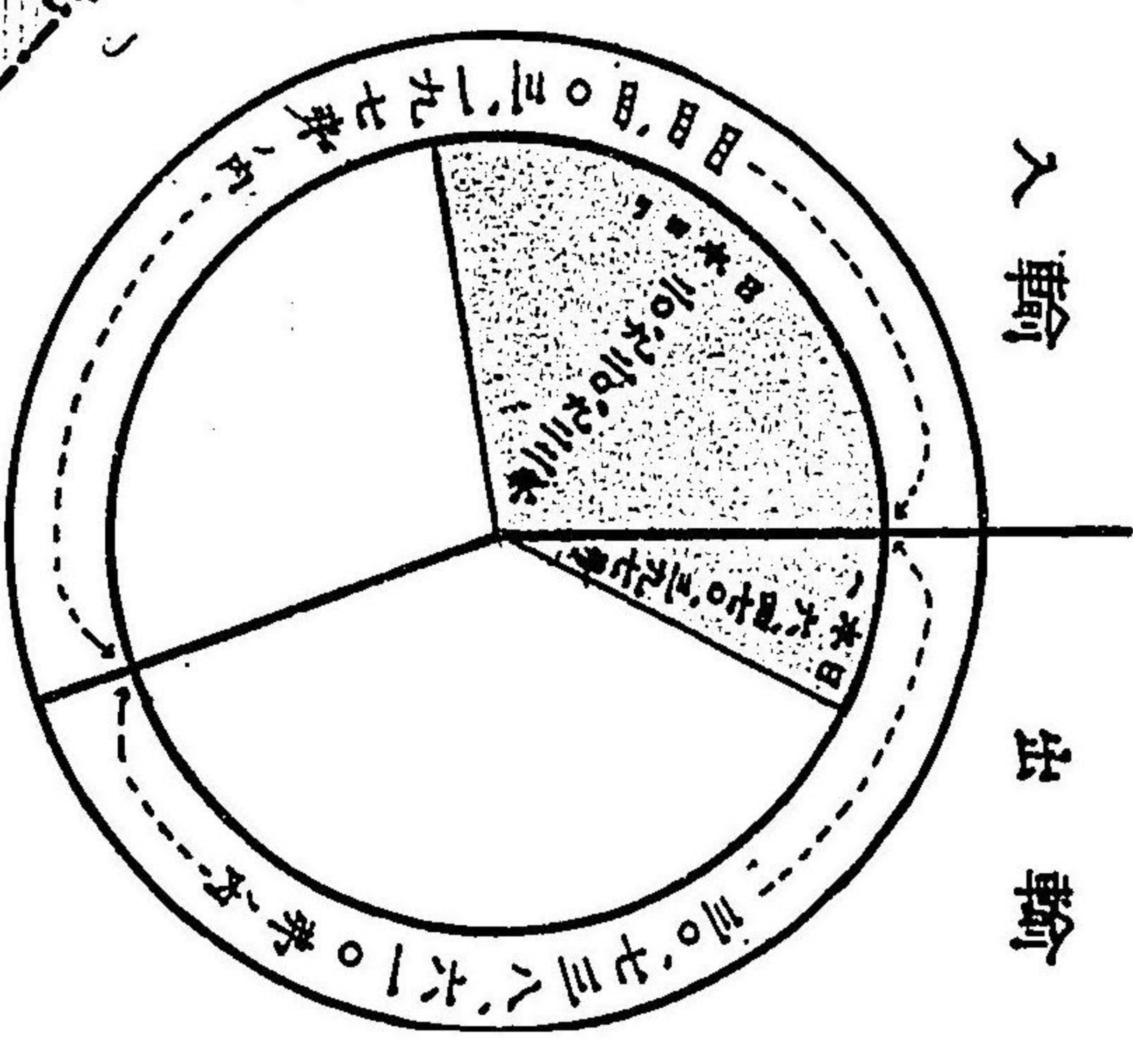


太平洋

### 分郡人本日滞在州カ

至五百人以下	至千人以上	至二千五百人以上	至五千人以上
[Symbol]	[Symbol]	[Symbol]	[Symbol]

年八〇百九千  
高総入出輸港桑



分郡人本日雷在州加

五十人以上	至五十人以上	至二十五人以上	至十人以上	至五百人以上	五百人以下
[Symbol]	[Symbol]	[Symbol]	[Symbol]	[Symbol]	[Symbol]

凡物

市街

郵便

鐵道

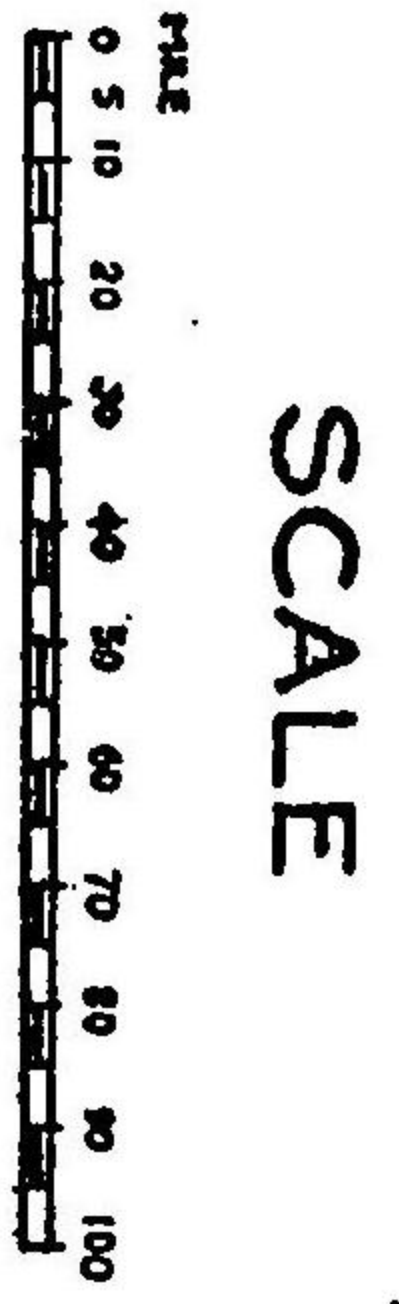
河

澤

市

著名

村落



# 加州主要産物年鑑

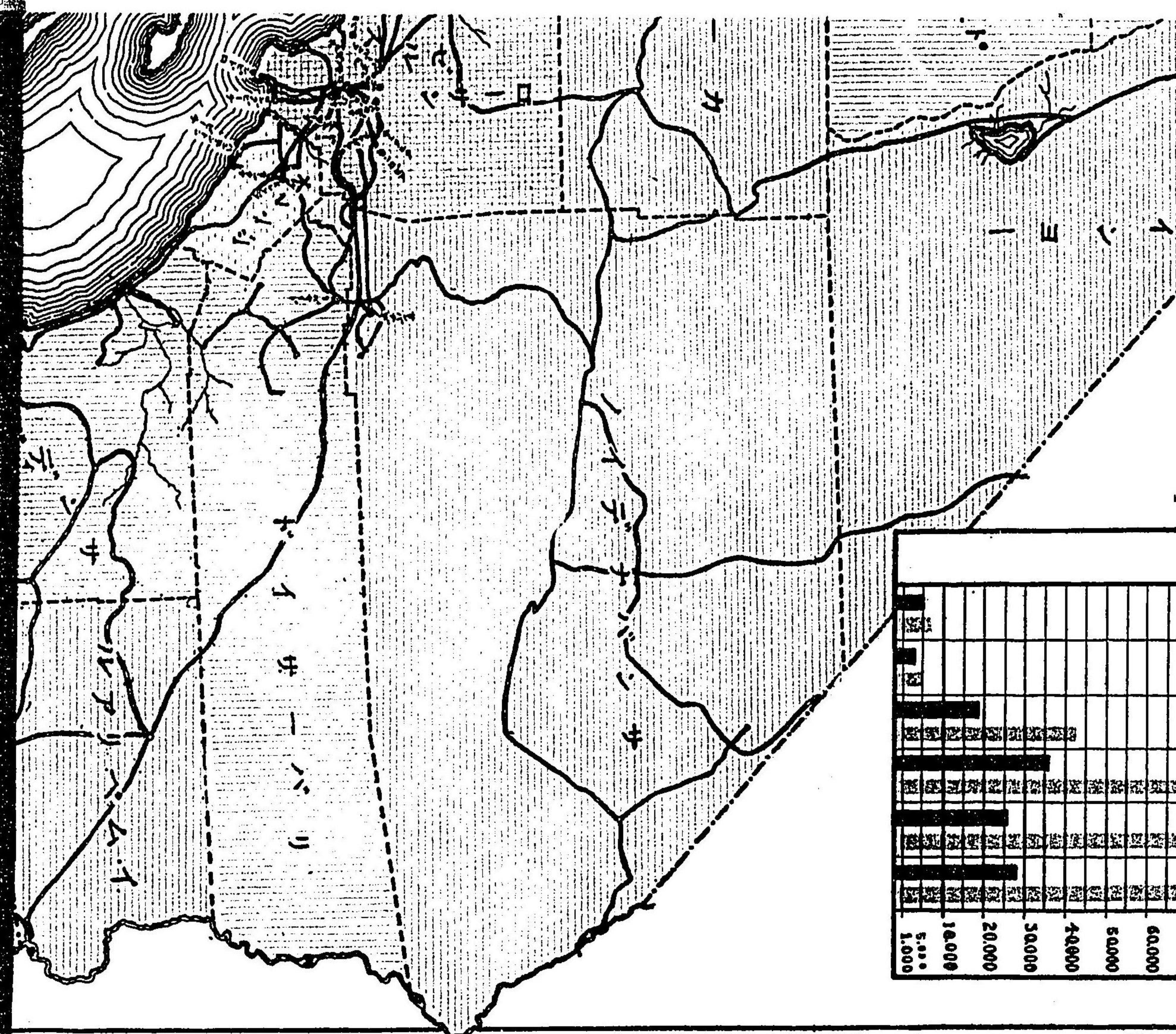
## 北米口附統

加州農業  
千桑港  
出輸

別	本日	加州農業
年	年	年
三	十	十
208,800	195,000	190,000
185,000	184,800	173,800
172,000	165,000	160,000
155,000	150,000	145,000
144,000	138,000	130,000
125,000	120,000	110,000
115,000	105,000	100,000
98,000	90,000	85,000
80,000	75,000	70,000
65,000	60,000	55,000
50,000	45,000	40,000
35,000	30,000	25,000
20,000	15,000	10,000
5,000		
1,000		

加州主要産物			加州農業
物類	加州農業	加州農業	加州農業
蘋果	370,000		208,800
葡萄	360,000		195,000
乾果	350,000		185,000
葡萄酒	340,000		184,800
橡子	330,000		173,800
玉米	320,000		172,000
乾草	310,000		165,000
飼料	300,000		160,000
羊毛	290,000		155,000
皮革	280,000		145,000
木材	270,000		144,000
礦物	260,000		138,000
畜產	250,000		130,000
農產	240,000		125,000
漁業	230,000		120,000
製造業	220,000		115,000
服務業	210,000		110,000
運輸業	200,000		105,000
商業	190,000		100,000
金融業	180,000		98,000
保險業	170,000		90,000
地產業	160,000		85,000
法律業	150,000		80,000
醫學業	140,000		75,000
教育業	130,000		70,000
宗教業	120,000		65,000
藝術業	110,000		60,000
科學業	100,000		55,000
其他	90,000		50,000
合計	80,000		45,000
	70,000		40,000
	60,000		35,000
	50,000		30,000
	40,000		25,000
	30,000		20,000
	20,000		15,000
	10,000		10,000
	5,000		5,000
	1,000		

加州主要産物の割合が、黒線に日本と加州の産出額を比較し、表中赤線は加州全体の産出額を示す。





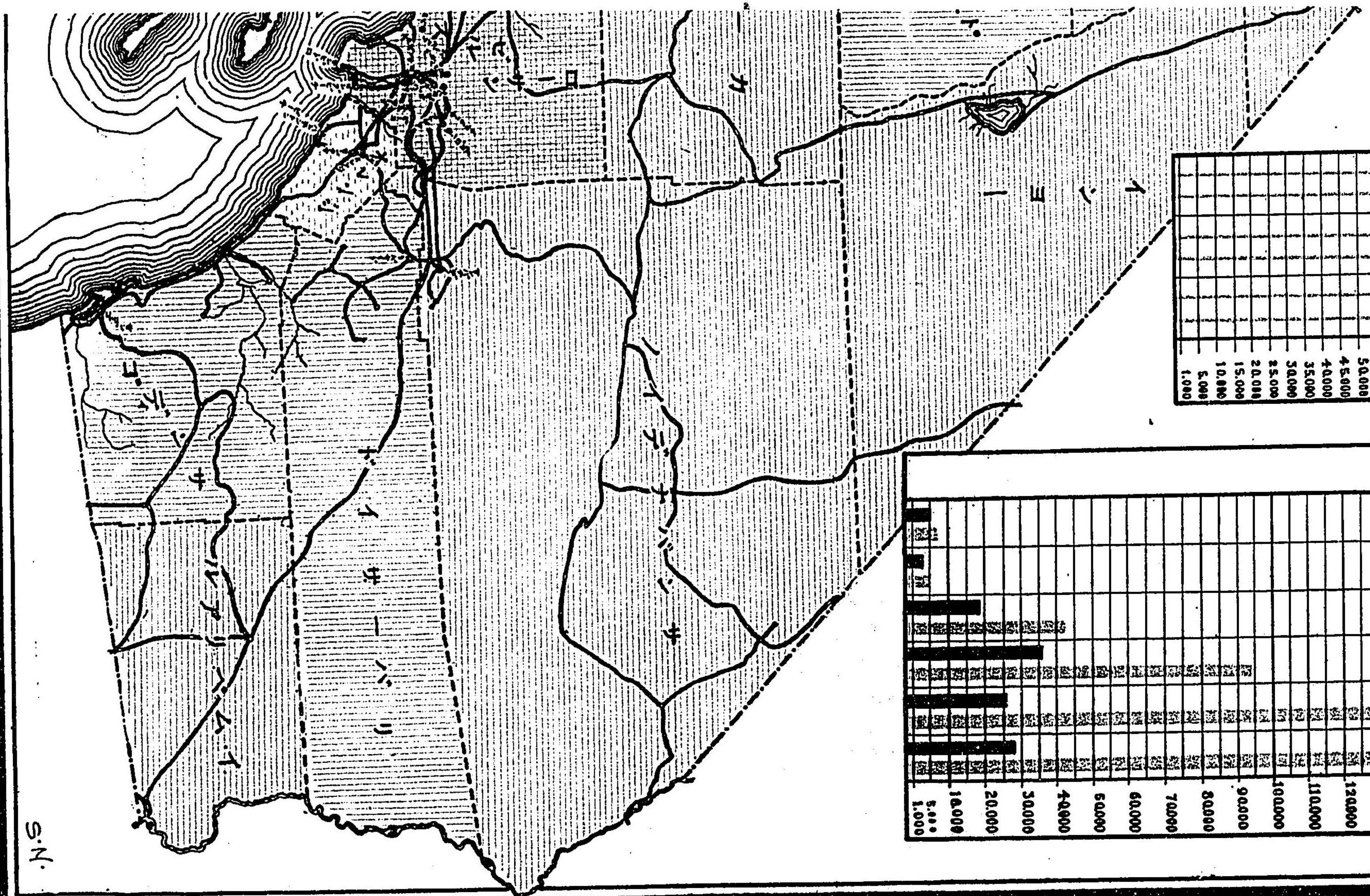
輸出

昭和十七年六月十七日

年	四十年	四十年	四十年
200,000			
195,000			
190,000			
185,000			
180,000			
175,000			
170,000			
165,000			
160,000			
155,000			
150,000			
145,000			
140,000			
135,000			
130,000			
125,000			
120,000			
115,000			
110,000			
105,000			
100,000			
95,000			
90,000			
85,000			
80,000			
75,000			
70,000			
65,000			
60,000			
55,000			
50,000			
45,000			
40,000			
35,000			
30,000			
25,000			
20,000			
15,000			
10,000			
5,000			
1,000			

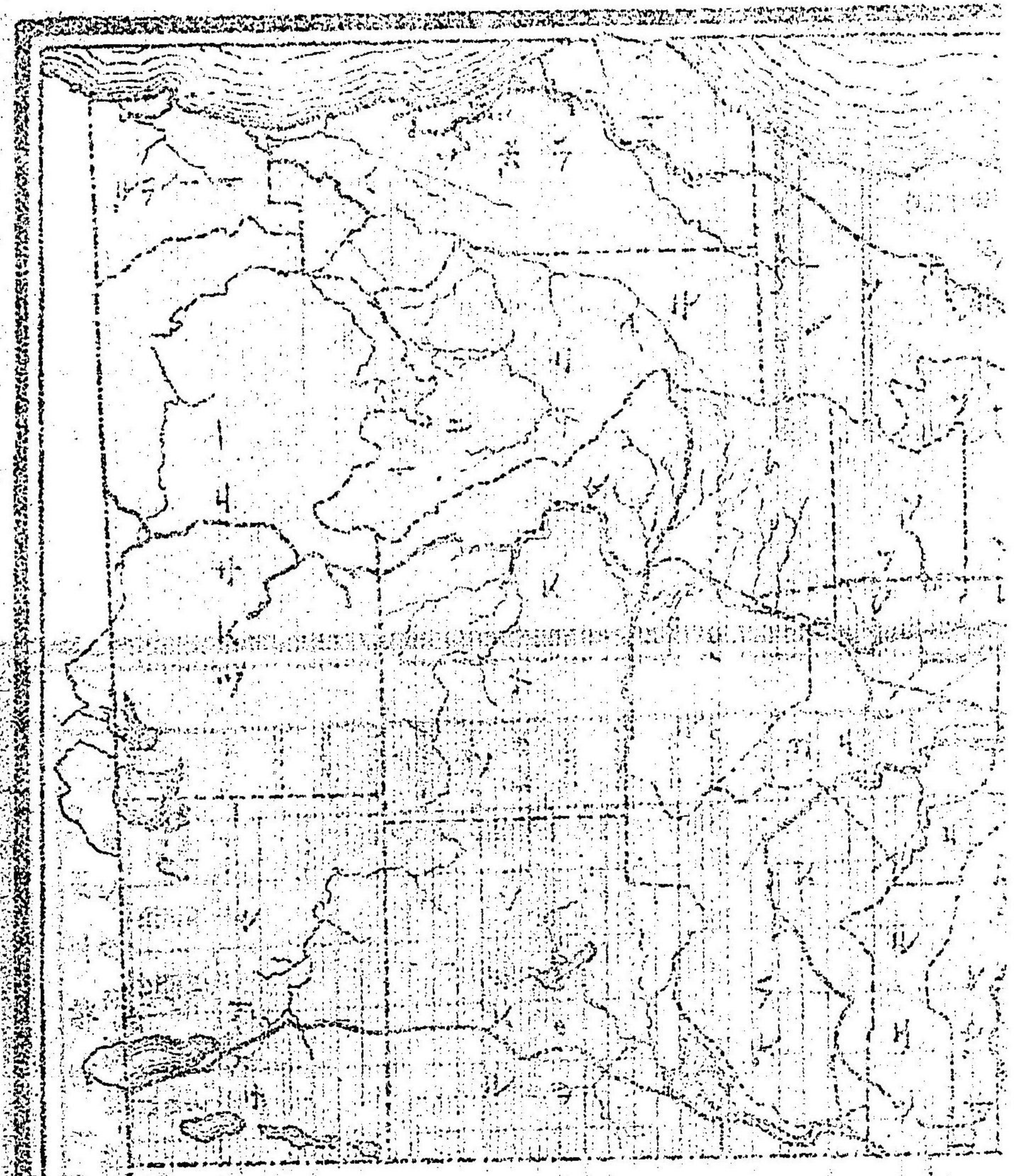
産出額 1丁黒線は日本産出額を

300,000
290,000
280,000
270,000
260,000
250,000
240,000
230,000
220,000
210,000
200,000
190,000
180,000
170,000
160,000
150,000
140,000
130,000
120,000
110,000
100,000
90,000
80,000
70,000
60,000
50,000
40,000
30,000
20,000
10,000
5,000
1,000



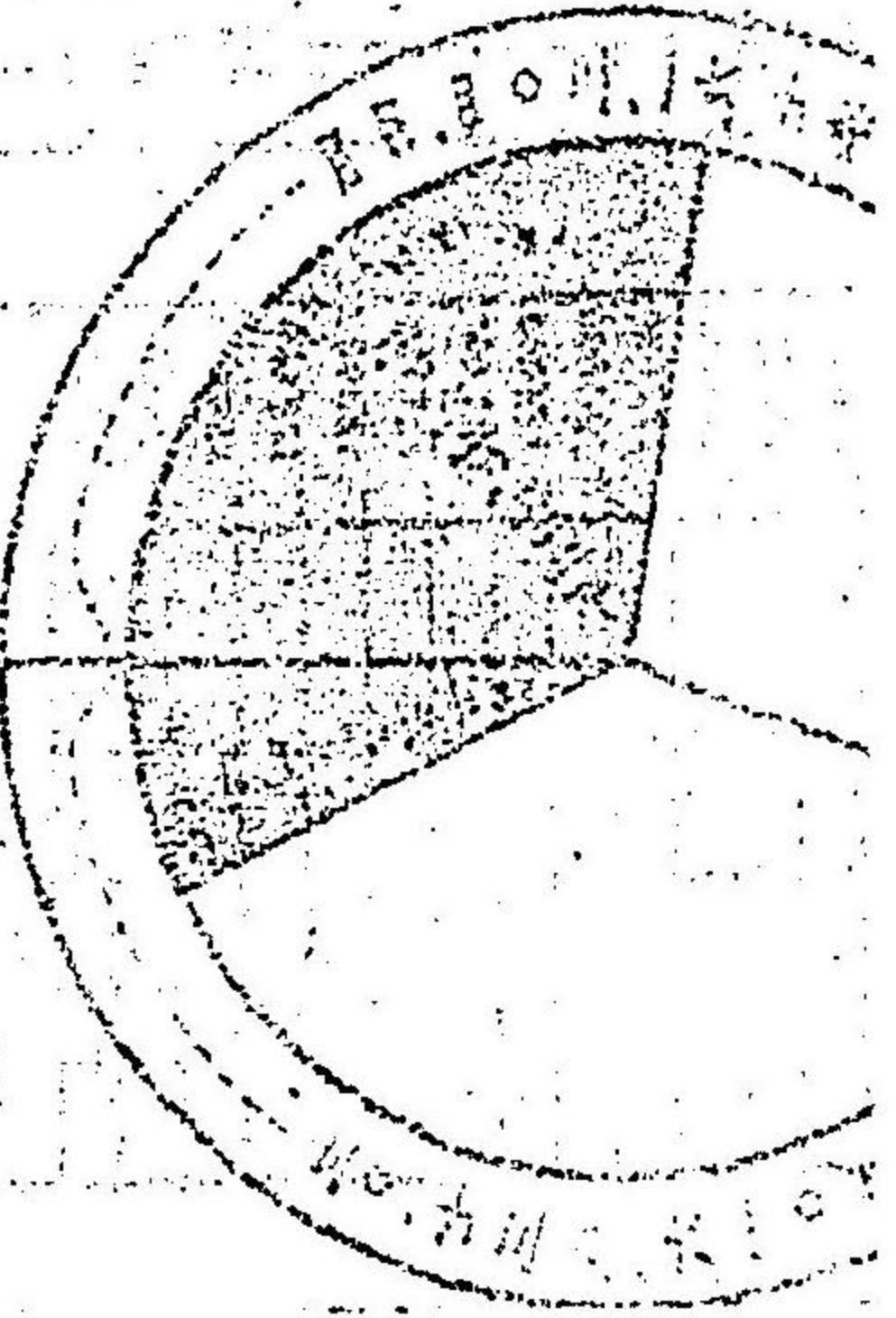
S.N.

(一)町人本口と市港桑州加  
 [町人日本(下) 街市の華繁最(上)]

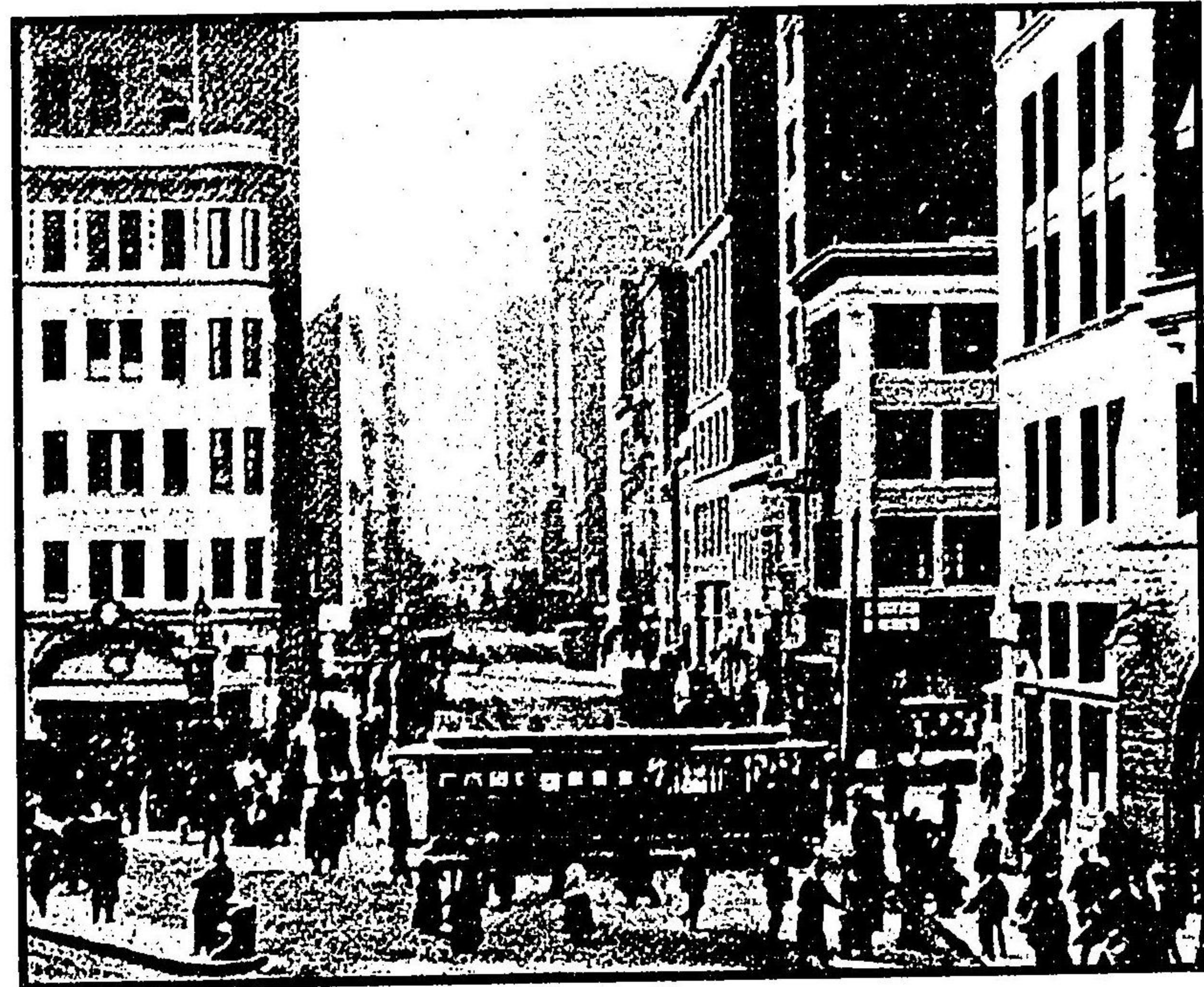


新編出城  
 加州本口  
 日本町人

加州本口  
 日本町人  
 町人

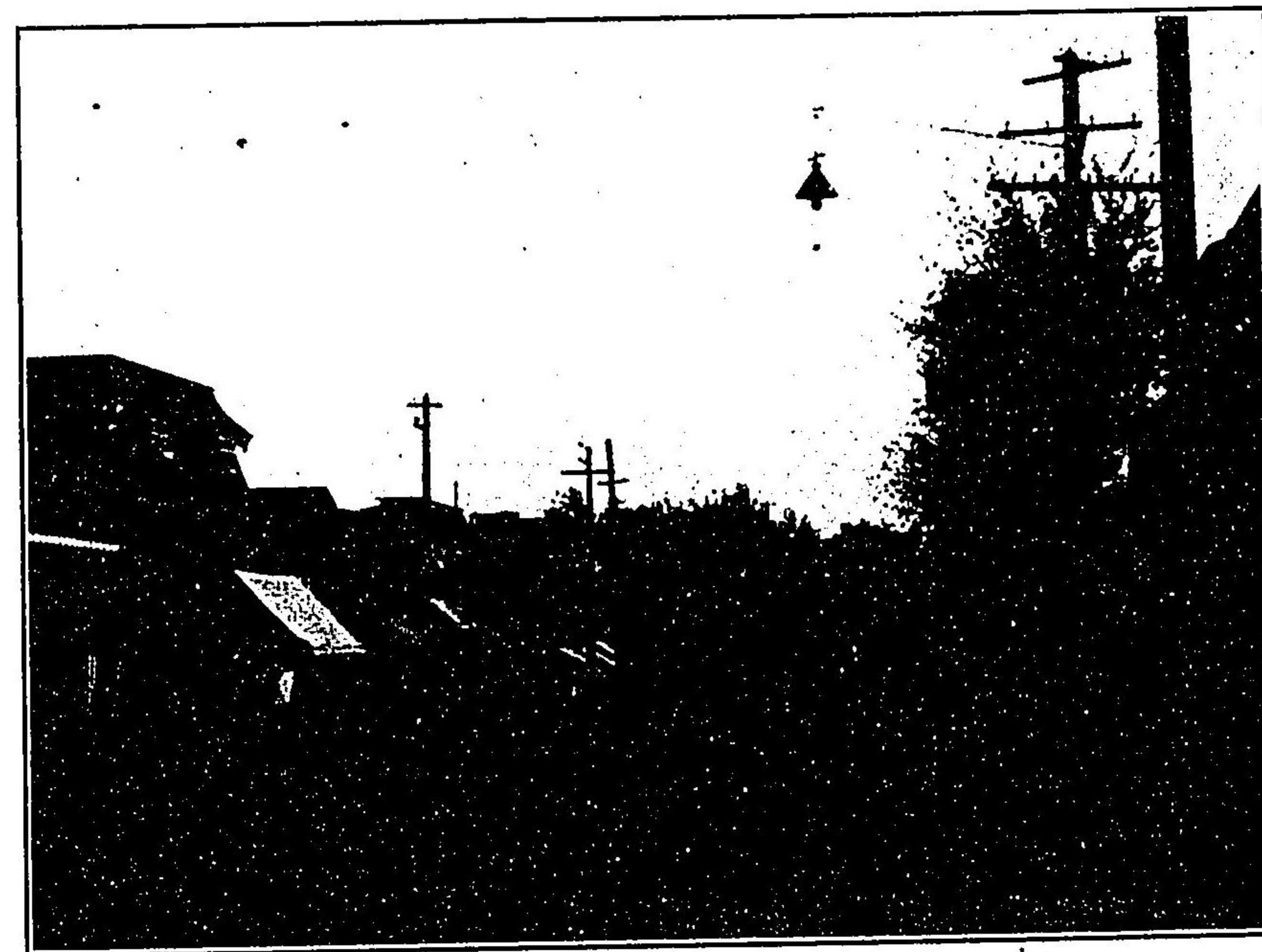
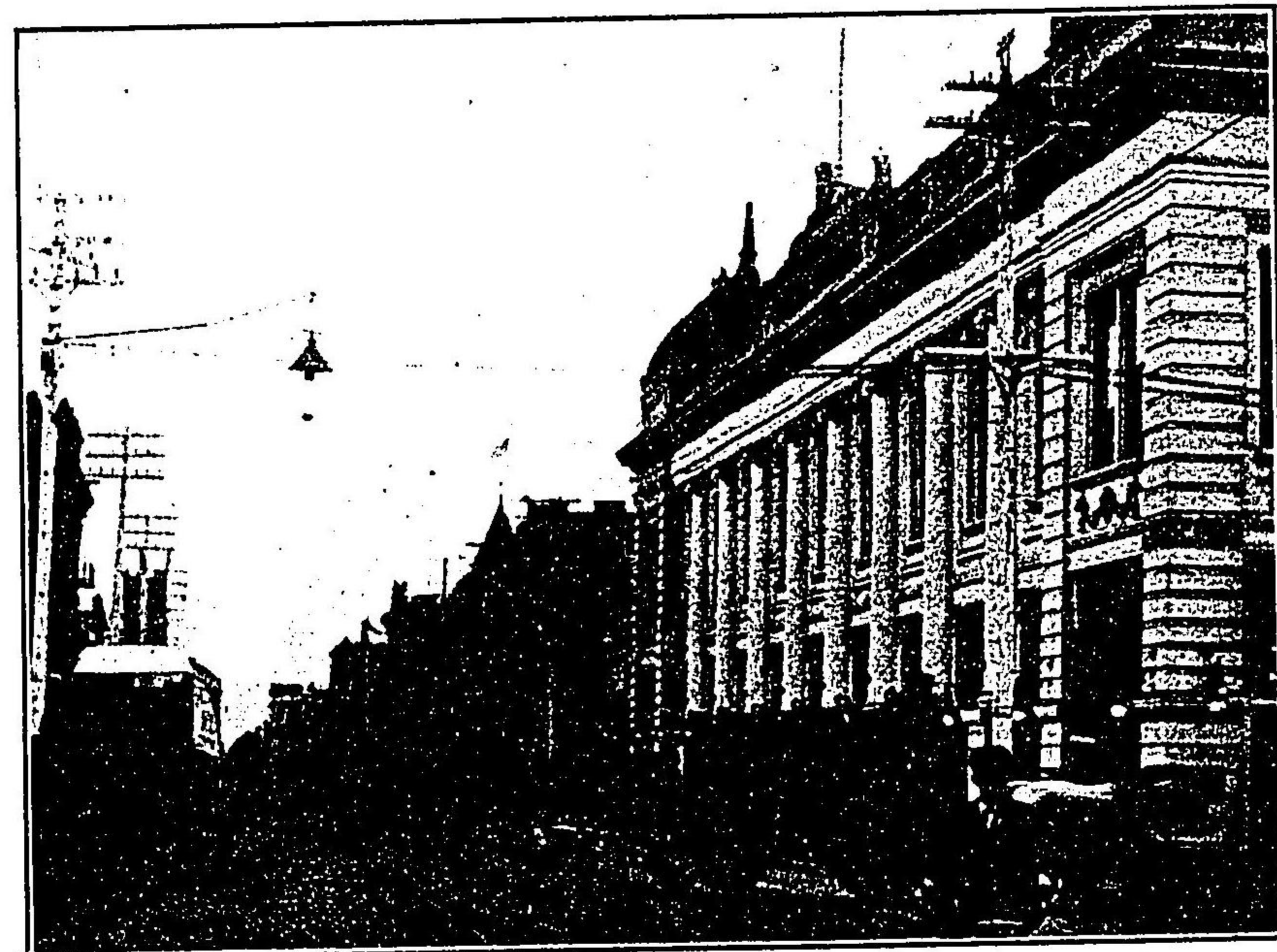


(二) 町人本目と市港桑州加  
〔町人本目(下) 街市の華繁最(上)〕

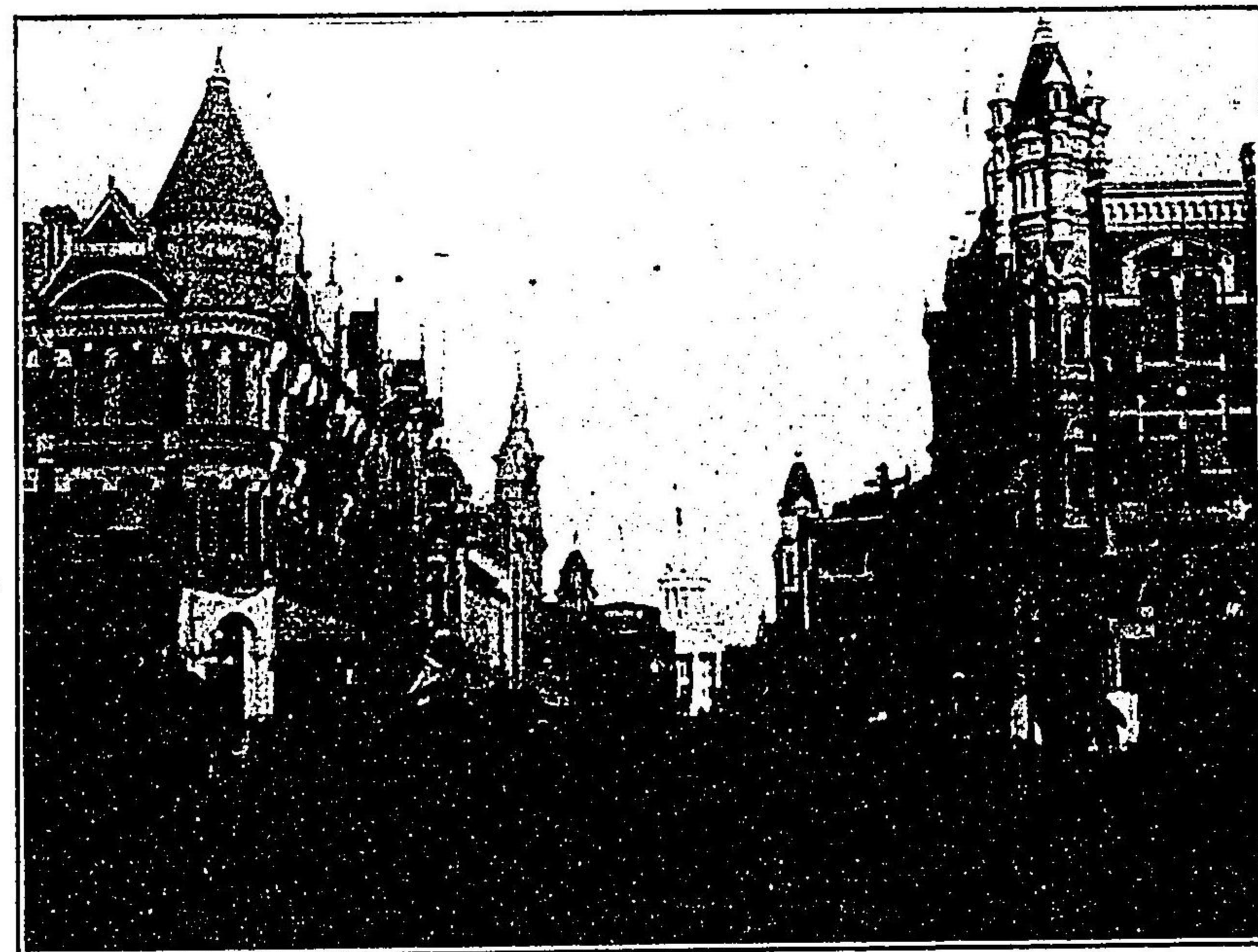


町人本日は市トシメラクサ州加

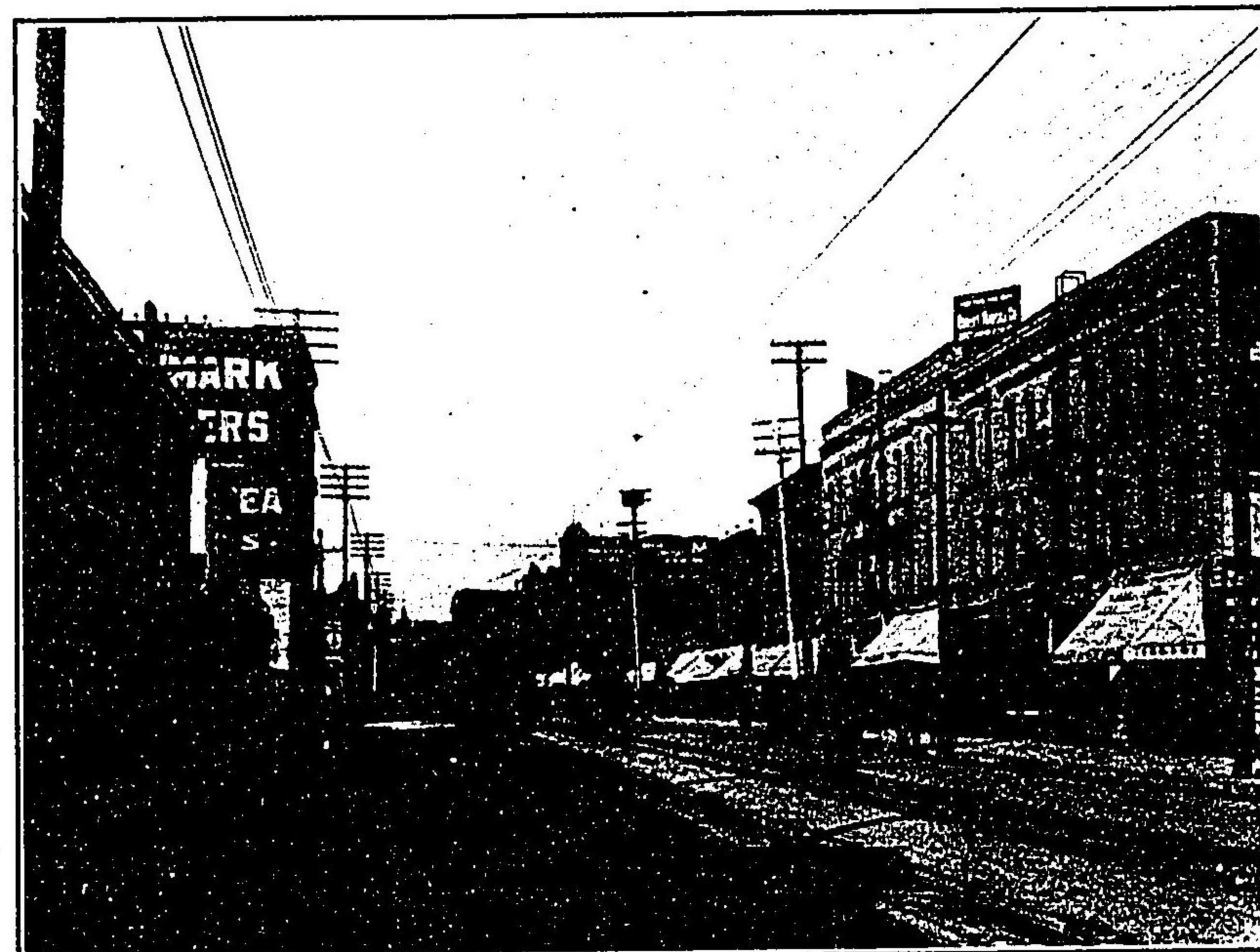
〔町人本日(下) 街市の華繁最(上)〕



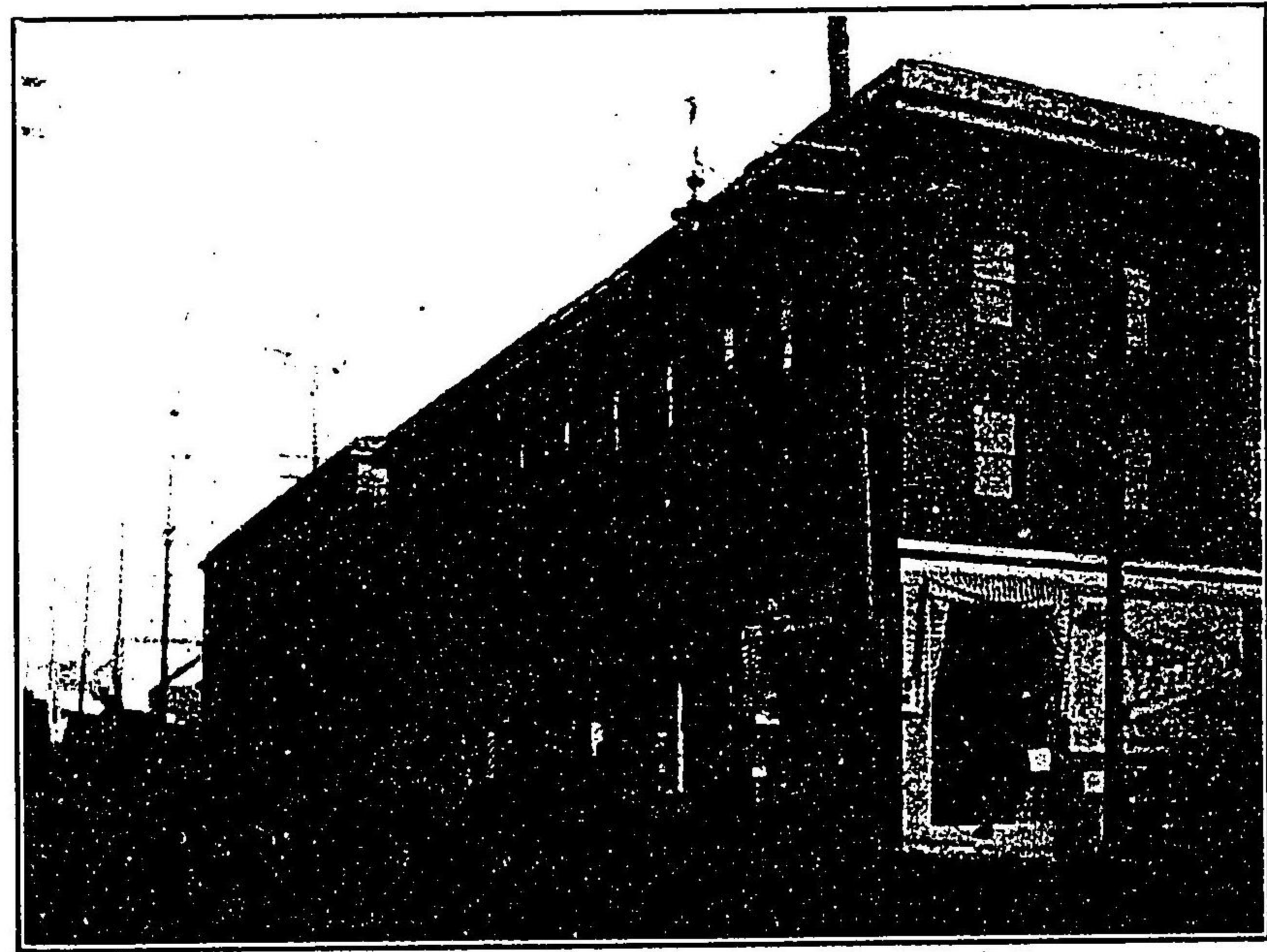
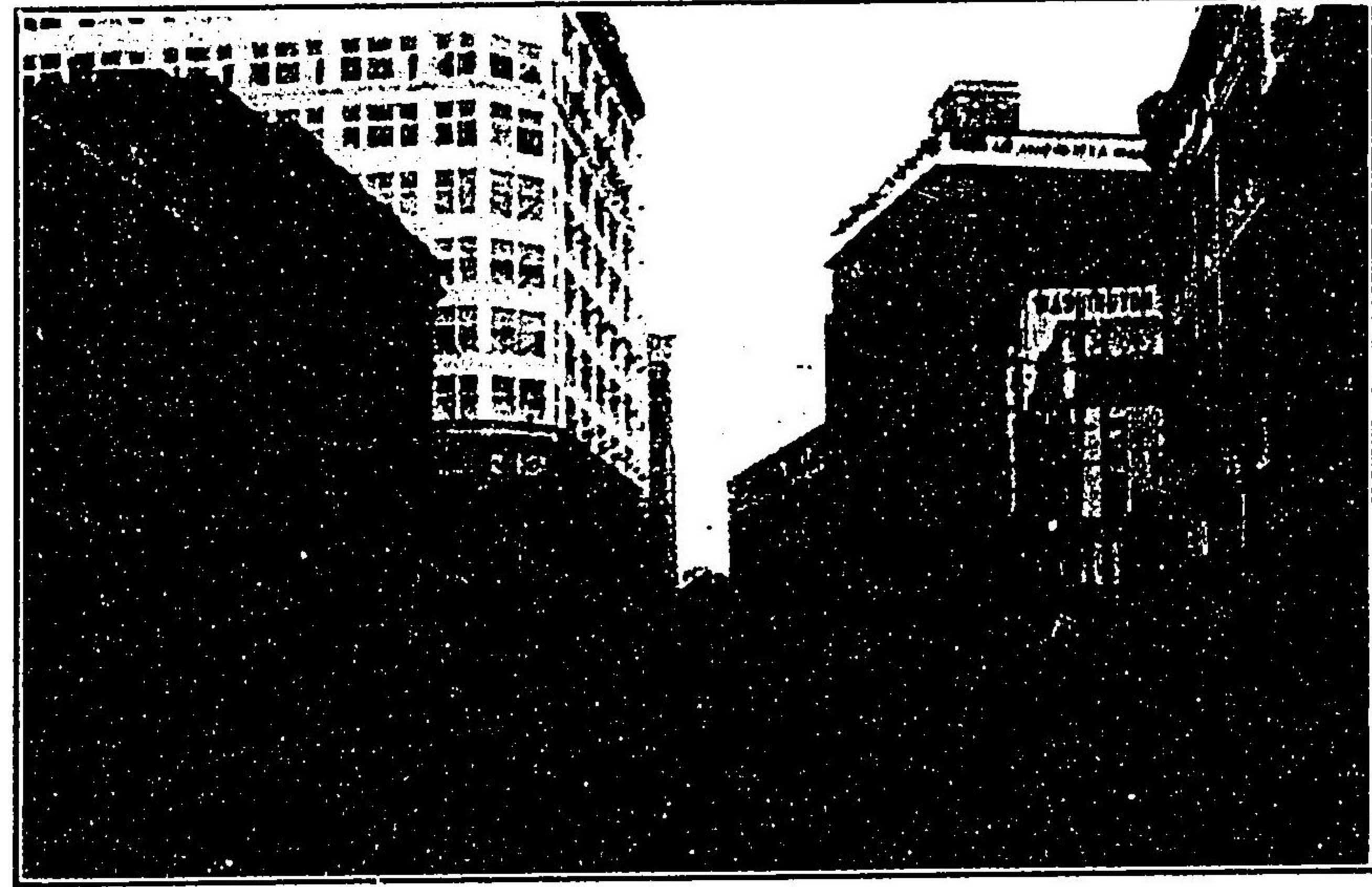
町人本目と市ノスレフ州加  
〔町人本目(下) 街市の華繁最(上)〕



町人本日と市スルゼンサロ州加  
〔町人本日(下) 街市の華繁最(上)〕



町人本目と市ルトヤシ州頓盛華  
〔町人本目(下) 街市の華繁最(上)〕



# 日米年鑑

第 六

日 米 社 行 發

## 第一編 日米關係

### 四十二年史

#### 第一 加州々會の排日議案

加利保留尼亞第三十八立法議會は、四十二年一月四日を以て開會したり。當期州會に排日諸法案の提出を見るべしとは、前年末以來盛んに喧傳せられたる處なるが、果して開會の劈頭に於て、サクラメント郡選出議員グロブ、ジョンソン氏は、所謂日本學童隔離教育法案、亞細亞人居住區域制限法案及び市民にあらざるもの（即ち日清兩國人を指す）諸法人團體重役禁止法案を、フランス郡選出議員ドリュイ氏は、市民にあらざるもの土地所有權禁止法案を、又サンオーキン郡選出議員スタクケン

ブラック氏は、市民にあらざるもの兒童に教科書の無料貸與禁止案を、共に下院に提出したるを初めとし、直接又は間接在住日本人に關係ある諸法案の會期を通じて提出せられたるもの數十の多きに及びたり。中には明かに米國憲法又は日米通商條約に違反したるものありたりと雖も、土地所有權の如きは、州會に於て制限の權能を有し、而して在留民の發達を阻害すると、極めて甚大なるが故に、居留民の驚怖は實に一方ならざりき。翻つて當時に於ける州會議員等の排日諸法案に對する意嚮如何と見るに、其多數は日本移民問題は、日米兩國政府の協商に據つて一段落を告げ、且つ日本政府は誠實に國民の渡航を嚴禁して、其効果將に著しからむとす。此時に當りて新に排日的法律を制定して、殊更らに平地に波瀾を起し、以て兩國民間に惡感情を醸成せしむるは、單に無用なるのみならず、甚だ有害なりと云ふにありて副知事にして上院議長たるポーター氏、下院議長たるス



タンントン氏等、健全なる分子専ら之を唱導し、知事ジョーレット氏亦畧ぼ同一意見を抱懐すと稱せられたり。然れども排日議案の提出者たるジョーンソン、ドリュエー諸氏は、非常なる熱心を以て提出案の成立に力め、殊にジョーンソン氏の如きは、下院共和黨指の領袖として相當の勢力を有するあり、且つ桑港を始め、各地議員の中には日本人排斥を政綱の一として選出せられたるものも少なくあらざれば、此等は已に排日議案の提出せられたる以上、義理にも之に賛同せざるべからざる也。況んや亞細亞人排斥協會役員等、州會に傍聴して、嚴に其行動を監視督勵するあるに於てをや。州會の形勢は決して樂觀するを容るざりし也。果然一月十五日ドリュエー氏提出の所謂土地所有權禁止案及びジョーンソン氏提出の日本兒童隔離教育法案、外國人の法人團體重役禁止法案の下院司法委員會に附議せらるゝや、二三共和黨員は種々なる口實を設けて、反對を試みたれども、大勢の定まる處又如何とすべからず、遂に委員會は大多數を以て、以上三案を可決し、直ちに之を本會議に廻附の手續に及びたり。排日議案提出せられ、而して特に州會を通過せむとす云ふ報道、東京に達するや、總ての新聞紙は之に關して痛切なる論評を加へ、國民亦痛く激昂し居れりとの報、直ちに米國に反響したり。此時に至るまで、果して知る處なかりしか、將た又知りて而して知らざるを装ひしか

全く沈黙を守り居たる大統領ルーズヴェルト氏は、東京電報に依りて始めて加州州會に排日議案提出せられたるを知り、憂憤措く能はず、直ちに其真相を調査中なれば適當の時機に於て、適當なる手段を講ぜべしと傳へられたるが、排日議案愈々委員會を通過して、將に本會議に附議せられむとする報に接し、一月十六日加州知事ジョーレット氏に左の如く電稟せり。

大統領の電報

余は新聞紙に依りて報道せられたる加州立法部の排日議案に就き憂慮措く能はざるものあり、故に此問題に關し長文の意見書を貴官に發送せり、貴官は該意見書を領受するまで、總ての議案の進行を中止せしめられむと衷心より希望す、若し必要を認めらるれば、該世に就き立法部の首領と協議するも差支なし。國際問題に關する余の見解に依れば、日本労働者の合衆國に移住するに就て提出せられたる加州立法部の諸法案通過は、加州及合衆國全体に豫め圖るべからざる損害を蒙らしむるものなるを信ず。

知事ジョーレット氏は、直ちに排日案の提出者及重なる議員を招き、大統領の電報を示して、該案に對する議事廷期の交渉をなしたるに一同之に賛し、知事は十七日左の如き返電を發したり。

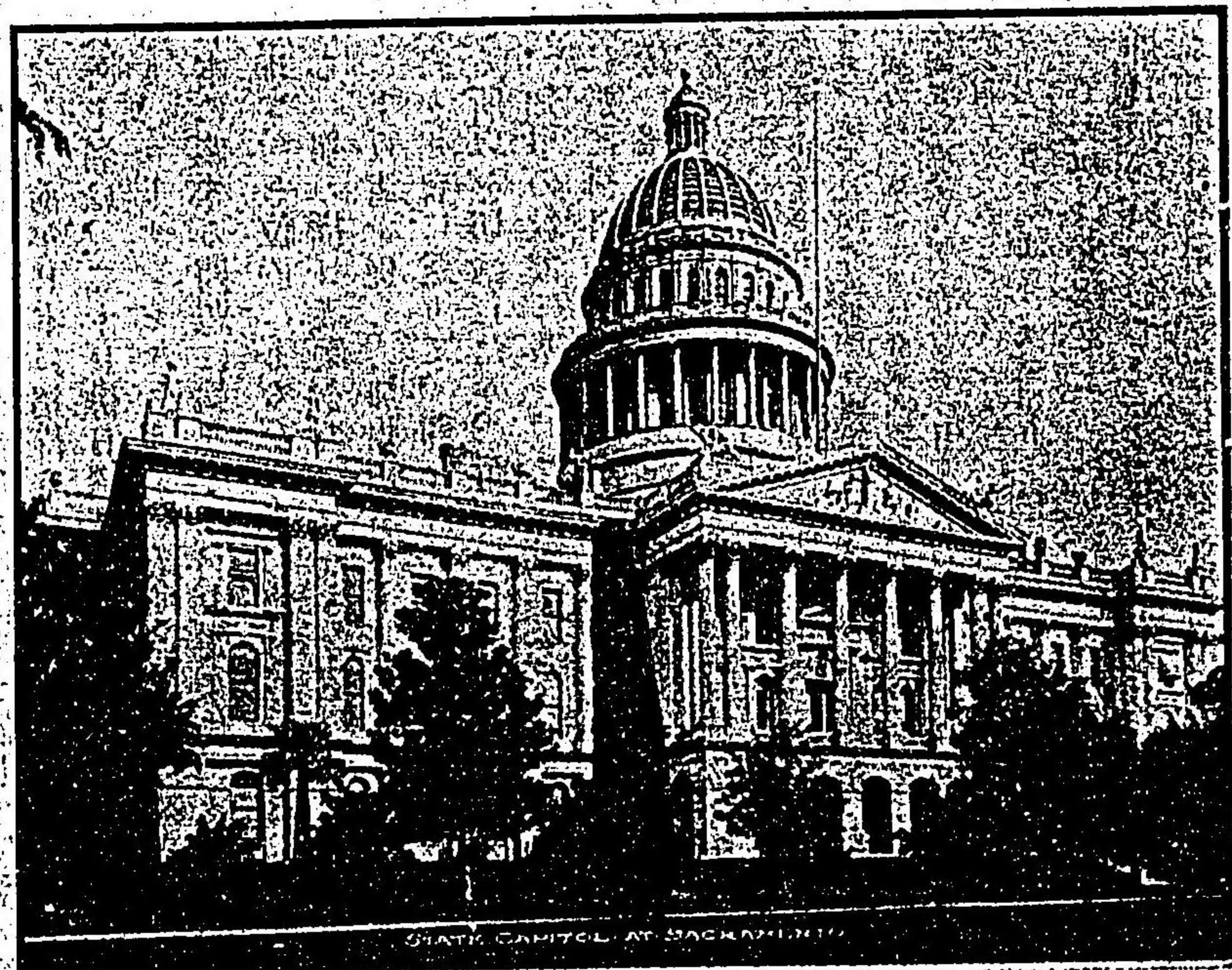
本兒童隔離教育問題を再燃せしめんとするは、不信背理の甚だしきものなり。土地所有權禁止問題に就ては、市民若しくは市民たり得るものにあらざれば、土地所有權を禁止すと云ふにあらざして、市民以外總ての外國人の土地所有を禁止すと云ふにあれば、必らずしも反對するものにあらざると云ふにありたり。而して知事ジョーレット氏は、二十日左の宣言書を發表したり。

兩院の領袖諸氏と協議したる結果、予は日本人を排斥せむが爲めに立案せられたる如何なる法律と雖も、制定すべきものにあらざることを確認したり。

余は加州の市民諸君、就中州會議員諸氏が、我聯邦政府と日本代表者とが特種の技能を有するに、之を有せざるに係らず、日本労働者の渡米を禁止する努力を認識して満足せらるべきを疑はず。吾人は我國に渡來せむとする日本人の制限に力むる日本政府の誠意を十分に認めざるべからざる也。

而して予の判断に依れば、兩國政府が斯の如く誠意を表するに當りて、日本人を排斥せむとする法律が一案たりとも、制定せらるるが如きとあるは、甚だ醜惡のとなりと思ふ。此問題に特に聯邦政府の憂慮する處なれば之が解決は、最も周密なる注意を拂ふ必要あり。予は加州市民が其然るべきを確信して疑ふ能はざる也。

而かも知事の宣言書は、未だ以て多數議員を覺醒せしむるに至らざりしもの如く、ドリュエー氏の土地所有權禁止法案の本會議に附議せらるゝや(二十日)之を一週間延期すべきや否やに就き大激論を醸したる末、辛ふじて漸く延期し得たるのみ。而して已に大統領干與し始めたる



STATE CAPITOL AT SACRAMENTO

が故に、徒らに名を買らむとするが爲めにや、新に排日議案は續々州會兩院に提出せられたり。例のジョンソン氏が現行支那人排斥法に日本人をも包容すべき運動を加州選出国會議員に托せむとする決議案を提出したるが如き、上院議員アンソニーが、四十三年十一月の一般選舉を期し、日本人排斥の可否を州民の投票に問ふべしとの決議案を提出したるが如き、其他枚擧に遑あらず。此前後に於て、排日議案に對する州民の意嚮如何と見るに、排斥會一派を除き、大多數は之を否認したるものゝ如し、排日議論を以て有名なる桑港クロニクル新聞は、二十二日の紙上に左の論評をなせり

目下加州會に提出され居る排日的議案は孰れも日米條約に違反し居るものなれば、假令之を可決したりして何等の効力あるものにあらず、之を提出したるもの愚や及ぶべからず、又之に就き騒動し居るもの愚や更に嗤笑すべし云々

二十六日の桑港クロニクル新聞も、亦排日案を無用有害のものなりと斷じ、ハースト、ホブソン諸氏の戰爭呼はりや非難し、更に左の如く論じたり

斯の如き騒動は(州會の排日議案を指す)日本移民問題と没交渉也、移民問題は外交若くは法律の制定に依りて、満足に解決せらるべきものにして、加州に於て地方的行爲を敢てするは、決して該問題を處理する所にあらず云々

十八日桑港美以教會牧師會は、日本人が法人團體の役員たる能はざれば、教會財團の管理者たる能はざるを以て

重もに布教上より不都合なる法律案と做して反對の決議をなし。前年日本に招待されたる桑港の實業家ドーマン氏外七名は、二十日排日議案否認の歎願書を兩院議員に送り、ローサンゼルス商業會議所並に生産業者組合も亦日本に關する問題に就きては、中央政府が最も好都合に處理すべき位置にあるを以て、州會議員は速に州會に於ける一切の排日議案を否決せむとを望む旨の決議をなして其反省を促し。加州知事ジョーレット氏は廿五日再び教書を州會に送りて、即今排日議案の成立せしむべからざる所以を切論したり。而して三月二日上院政務委員會は、知事の教書に基き、二に對する三の多數を以て本會期に於て排外的法律を制定せむとの決議をなし、之を本會議に報告したり、即ち左の如し。

政務委員會は、千九百九年一月二十五日附知事の特別教育を査閲し、本會期に於て何等の排外的法案も制定せざるを決議せむとを報告す、本委員會は此種の法律を以て我國の平和を危殆おらしむるものなりと確信せり、元來我國は世界各國を以て成り居るものなり、故に單に或る一國のみを排斥するは合衆國憲法に抵觸する行爲にして、而して吾人が全國民の嘲笑を招く所以也。日本移民制限に關して必要なる手段は、中央政府に於て請せざるべからず、此問題は吾人の利益に止まるのみにあらずして實に全國民に關係を有すれば也

斯くて大勢は畧ぼ定まりたりと雖も、輿論の反響は却つて排日派議員をして、甚だ得意の色あらしめ、賣名的に競ふて排日議案を提起したると數知れず、殊に土地所有

禁止案に對しては、若し市民若しくは市民にあらざるものゝ所有を禁止するにあらずして、一般外國人の所有權を認めせよ云ふにあれば中央政府は必らずしも故障を唱ふるものにあらずと分明するや、提案者ドリニーは中央政府の希望の如く修正し、議員も亦大に動かしたるものゝ如し。

然るに知事ジョーレット、上院議長ポーター、下院議長スタントン諸氏の裏面運動大に成功し、修正したる土地所有權禁止案二月三日下院本會議に附議せらるゝに及びては、午前十時より午後六時に至る長時間の討論の後、二十八に對する四十八の多數を以て之を否決し、引續き二月四日排日議案の討議あり、市民にあらざるものゝ法人團體重役禁止案は十五に對する五十五の大多數を以て否決し、市民にあらざるものゝ居住區域制限案は三十七に對する三十七を以て賛否正半數に分かれ、議員數八十名の半數に達せざる故を以て不成立にたり、前日否決されたる土地所有權禁止案再議の動議も亦三十六に對する三十八を以て再議に附するを拒み、只日本兒童隔離法案のみは二十五に對する四十八の多數を以て可決したり。然れども是れ排日議案反對派策略の存する處なりしが如し。則ち排日議案の總てのものを否決したるは、弱腰議員を操縦する所以にあらずを知り、假令一應可決するも大統領ルイスヴェルト氏が最も反對して、決して黙視

せざる隔離學校法案を可決して、其他の法案を先づ否決したるなり。同案の通過は、果して大に大統領を驚かし即時知事ジョーレット氏に電報を發し、若し同案にして成立すれば、法廷に於て争はざるべからざるを告げ、不成立に終らしむるか、又は批准を拒まむとを望みければ、知事は三度び特別教書を州會に送り、日本兒童隔離教育案を成立せしむべからざる所以を切論して、其再考を促せり。而して下院は二月十日の議場に於て、隔離教育法案を再議に附すべきや否を議題とし、無前の激烈なる討論の後、三十七に對する四十一を以て再議説成立し、引續き同案を再議に附し、三十七に對する四十三を以て更めて否決し了れり。又同日日本人居住區域制限案再議説起りたるも、多數を以て再議に附せざるとに決し、更に其翌二月十一日には、上院に於て曩に政務委員會の可決したる本會期に於ては排外的議案を成立せしめむとの決議案を是認し、又同日日本人排斥の可否を市民の投票に問ふべしとのアンソニー案を否決したり。

先是知事は日本人に關する法案を以て、不法背戻の甚だしきものとなすと共に、排日的議案を論議するに先づ加州に在る日本人の状態を精査する必要を論じたるが、下院議長スタントン氏、知事の意を享け他の排日議案と交換の意味を以て、自ら日本人の状態を調査せむが爲めに一萬弗の經費支出を提議し、下院は多くの排日議案を

否決し去りたる翌十一日大多数を以て之を可決し、上院も亦均しく同案を通過し、知事の認諾する處となれり。別に現行支那人排斥法を擴張して、一般亞細亞人に適用せむとを聯邦議會に請求せむとする決議案は、ギヤミネテ、サンフオド兩氏より上院に提出せられ、同案は實際上に効果なきものと認められたるに共に、共和黨と民主黨との黨路上の關係より遂に上院を通過し、續て下院も可決して、聯邦議會に廻附せられたり。其決議文左の如し

一國民の進歩幸福安寧は住民が同一種族たるに隸屬し、米國民に不適應なる亞細亞の過大なる國民、則ち高加索人種を同化せざる國民の流入は米國民の生活標準を低下し、米國勞動者の賃金を減削する結果を生ずべし。

現行合衆國排斥法の下に、支那勞動者を排斥するは、國民の經濟的社會的福利を維持するに効果ありと認め、且つ此排斥法を廢止して普通法に改むるを不當と認め、加州の利益は該排斥法の保存と更に此條項を擴張して、他亞細亞人に適用するに由りて最良に保護せられ、東部諸州と一般合衆國とが亞細亞人問題に關し、太平洋沿岸の國民の眞正なる感情を認識し、而して同問題に對する吾人の眞正なる位置を了解せしむるは正當適切なりと思惟するが故に、上下兩院は聯合して敬意を表して合衆國議會に促すに現行合衆國排斥法の保存と、該排斥法を廢止して代ゆるに更に同法の各條項を擴張して全亞細亞人を包括し之に適用せむとを以て、又合衆國議會の加州選出上下兩院議員に請求するに此提議を要求の貫徹に全力を注ぐことを以て、且つ加州知事は本決議文を大統領、合衆國上下兩院議長及、合衆國議會に於ける我上下兩院議員に送達すべきものなることを決議す。

### 第二 排日思想の傳播

之を要するに第三十八回加州議會に於て、排日的議案の提出せられたるもの甚だ多しと雖も、上記在加州日本人状態の調査案及支那人排斥法を擴張して亞細亞人の總てに適用せむとを聯邦議會に請願する決議案を除き其他は悉く否決せられたり。是れ時の大統領ルースヴェルト氏加州知事ジョーレット氏、副知事ポーター氏、下院議長スタンントン氏の公正にして、平和を愛する態度に依るとを忘るべからざる也。

願れば三年前、桑港に於て排日運動起りし際、之を狂愚陋劣なる沙汰なりと目したるもの豈當に時の大統領ルースヴェルト氏のみならず也。加州を除く外、否な桑港の一部勞動者、野心政治家及黄色新聞を除き、他の大多數の國民は之を目して、不正不法の蠻舉となし、合衆國民の耻辱と叫びたる也。我政府は此狀勢を見て、排日運動は一地方的事件と目したり。

然るに僅かに三年を経過せる後に於ては則ち如何、最も激數排日運動に反對したる前大統領ルースヴェルト氏が已に其態度を一變して純乎たる排日宗の信者となり、桑港クニコル新聞の所説を習ひて、米國人と亞細亞人の混住を以て危険なりとなすは著明なる事實也。最初殆んど相手にせざりしか、若くは排日運動を惡罵したる東

部の新聞雜誌にして其態度を改めて、排日的口吻を眞似ぬるある如き、最も平和的保守的新聞雜誌にして、研究的態度を以て排日運動に對するに至りたるが如き、加州選出以外の國會議員にして、議會又は公會の席上に於て排日論を唱導するものあるが如き、其變化の速かなる誰れか驚かざるを得む哉。

更に驚異すべきは、四十二年度に於て加州以外の州會に排日的議案の提出せられたる州の甚だ多かりしと也。則ち加州議會に於ける排日案討議の前後に在りて、排日議案の提出せられたるは、オレゴン、ワシントン、ネブラスカ、ネブラスカ、コロラド、ミネソタ、モンタナ等の諸州々會にして、中には兎も角も加州以外の州會に於て排日議案の提起せられたるは、四十二年度を以て嚆矢とすべく、排日思想傳播の上より見て、注意すべき事條ならむばあらざる也。

### 第三 大統領の更迭

故ウィリアム、マクキーンレー氏の後を襲ひて、七ヶ年有餘の間合衆國行政首長の職に在りしセオドール、ルースヴェルト氏は、四十二年三月三日任期満ちて退職し、前年十

一月の選舉に勝利を占めたる共和黨員ウィリアム、ハーワード、タフト氏、其翌三月四日新に合衆國大統領の任に就けり。ルースヴェルト氏は、識見卓越、人格崇高を以て内外人に嘆賞せらるる、近代の偉人の一人也。大統領としては其明敏なる頭腦、健闘的態度、及び國民の信望を以て縱横の手腕を振ひ、治蹟大に見るべきものあり。世人がワシントン、リンカーンと並稱して、米國の三大大統領となすは故なきにあらざる也。就中金權の暴慢を挫き、獨占の事業に大打撃を與へて、産業上に新生面を啓きたるが如き、米國現代の時弊に適切緊要なる政策として、何人とも痛快に感ぜる處也。又外に對しては極東問題に關して須臾も注意を怠らず、清國の領土保全、門戸開放を標榜して、着々有利なる地歩を占め、軍備の完成は平和の最大の保障なりと稱して、大海軍建設の基礎を築き、マクキーンレー以來の帝國主義の發展特に著しきものあるは、世人の既に熟知する處也。而して我國の國際的位置著しき變化あるに依ると雖も、米國歴代の大統領中、未だ曾つてルースヴェルト氏の如く我國と多大の關係ありたるはあらず。特に著明なるは日露媾和の媒介者たりしにあり、露國が陸に奉天に敗れ、海に日本海に挫くるや、ルースヴェルト氏は世界の平和と人類の幸福とを提げて、兩交戰國の間に介して、遂にポーツマウス條約を成らしめたり。媾和條件は決して我國民の満足す

べきものにあらざりしと雖も、爲めに毫も仲介者たりしルースヴェルト氏に頼むを及ぼすべき理由あらず、寧ろルースヴェルト氏が我國に對して、好意の仲介者たりしを認むべく、而してルースヴェルト氏は、日露戦争と共に千載に傳べし。又ルースヴェルト氏は、加州方面に於ける排日運動と離るべからざる因縁あり、任期の最終に於て、其排日運動に對する態度甚だしく變化したると雖も、既に米國に在在する日本國民の權利を保護するに於て、決して忽にせざりし事實は、之を認めざるべからず。

第四 金門銀行の破綻  
金門銀行の手を經たる日本送金が著しく遲着するや、種々なる風説起りて、人心頗かに動搖を生じ、四十二年三月下旬に入りて漸次預金の取附け激しく、其二十七日(土曜日)に於て其極點に達し、遂に廿九日(月曜日)支拂ひを停止するに至りたり。

を閉したる後、結局銀行監理官の手を以て清算することとなり、遂に全く破産するに至りたり。同行の破綻は直接經濟界に多大の影響を與へざりし如くなりしも、爲めに一般在留同胞をして金融機關に對して危懼心を抱かしむるに至り、後段に記するが如き經濟界大紊亂の導火線となれり。

第五 練習艦隊の來航

阿蘇、宗谷兩艦より成る帝國練習艦隊は、伊地知海軍少將引率の下に四月二十五日南加州サンビドロ港に入港し碇泊すると五日、同じ三十日同港を抜錨して、其翌五月一日午前十時桑港灣に入りて、十日間碇泊し、在留氏は云ふまでもなく、米國人より有らん限りの歓迎を受け、日米兩國の親交上に裨益する處頗る大なりき。蓋し桑港が未だ曾つて外國の軍艦に對して致したるものなしと稱せらるる歓迎を我練習艦隊に與へたる所以のものは、前年末米國太平洋艦隊が我政府の招待に應じて、横濱に寄港したる際、我官民熱誠を以て歓迎したるが故に、我練習艦隊に對して返禮的意味を以て歓迎したるに據ると勿論なりと雖も、日米の國交上に種々忌はしき風聞流布せられたる際なりしかば、裏面より米國政府の徳意したる處のもの亦干つて大に力ありたるものなりと察せらる。試みに四月二十五日サンビドロ港入港以來、練習艦隊の受けたる歓迎の模様を略記せむに、四月二十五日(土曜

日)午前十一時サンビドロ入港、ロサンゼルス市長アレキサンダー、税關長ベントルトン、商業會議所會頭ブルトン、ワコンスキー將軍等旗艦阿蘇を訪ひ、税關長ベントルトンは大統領を、市長アレキサンダーはロサンゼルス市民を代表して丁重なる歓迎の辭を述べたり。四月二十六日(日曜日)伊地知司令官は市長を答訪し、午後六時より司令官以下日本俱樂部歡迎晚餐會に臨み、而して四月二十七日(月曜日)十官候補生以下水兵は半舷上陸、特別電車にて市内及公園見物に案内せられ、夜はジョナサン俱樂部にてロサンゼルス市民の歡迎晚餐會あり、商業會議所會頭ブルトン司會の下に數名の歓迎の辭を述べたり其翌四月廿八日午後三時より旗艦阿蘇にアトホームあり市長アレキサンダー、商業會議所會頭ブルトン以下三百餘名の日米人を招待し、而して十官候補生以下水兵半舷上陸、ロサンゼルス市内及公園を見物し、四月二十九日午前十一時サンビドロ港拔錨桑港に向ひ、四月三十日航海五月一日午前十日桑港灣に達したり。桑港在留日本人は汽船シーホームを、又サクラメント在留日本人は汽船エムプレス號を艦裝して灣口に迎ふ。阿蘇、宗谷兩艦は除航して金門砲臺及びスウェーバーン少將の座乗せる米國太平洋艦隊旗艦ウエスト、デアジニア號と禮砲を交換しつゝ豫定の錨地に就けり。投錨終るや大統領代理税關長ストラットン、知事代理副知事ポーター、陸軍代表者ウ

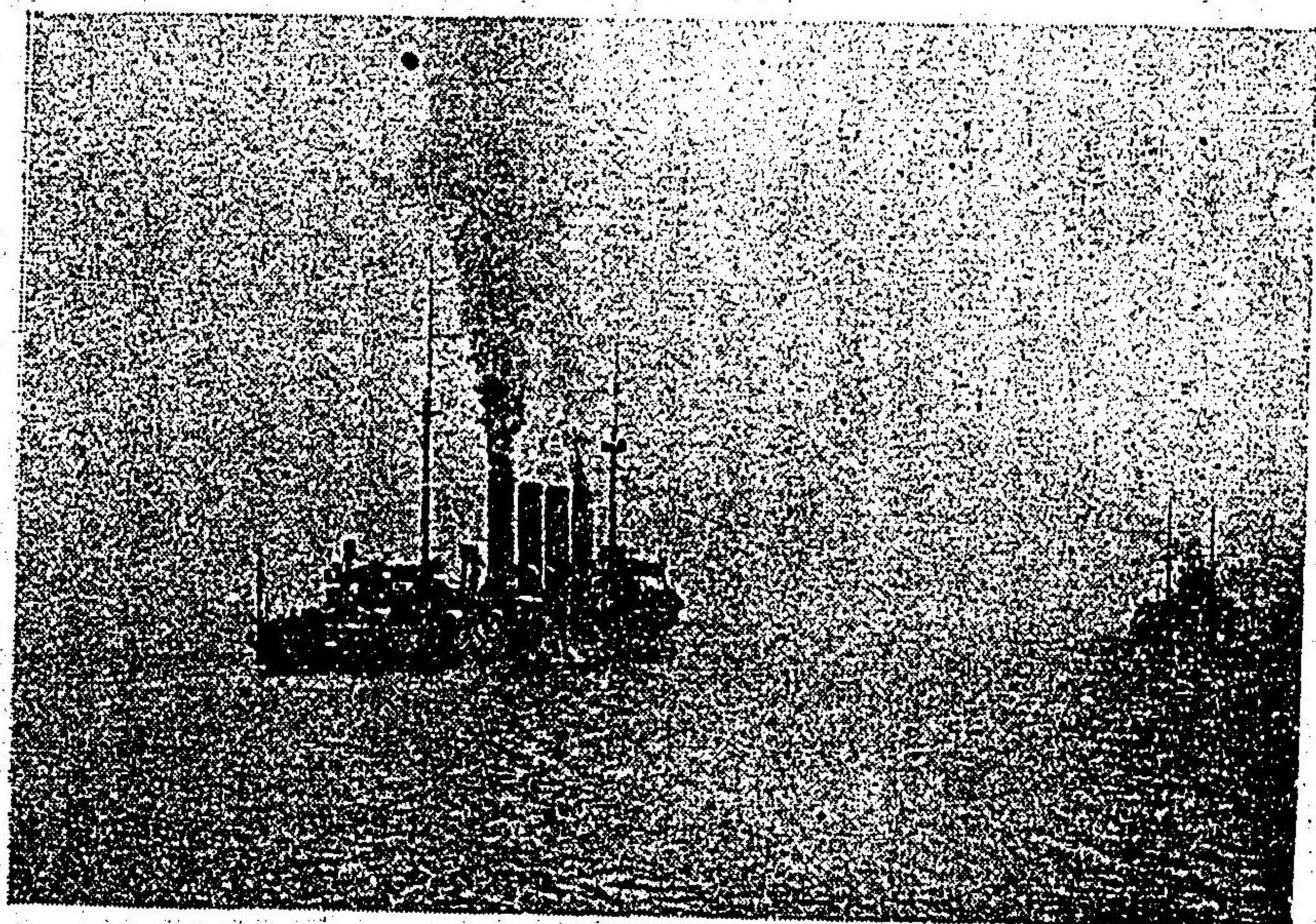
エストン少將、海軍代表者スウェンパーン少將、市長テ  
ーラー、商業會議所會頭マクナブ、永井領事等訪問して  
歓迎の辭を述べ、三鞭の杯を擧げたり。大統領代理税關  
長ストラットンの歡迎の辭左の如し

予は合衆國大統領及び予の屬する大藏省を代表して、  
茲に閣下に對して歓迎の辭を述べざるを光榮とす、而し  
て予は合衆國政府が閣下の率ゆる艦隊に向つて大に歡  
待の誠意を有するを報ざるものなり  
又太平洋艦隊司令官スウェンパーン少將の歡迎の辭  
左の如し

予は閣下に會するの機會を得たるを喜ぶ、予は予のな  
し得べき總ての歡迎方法を閣下の命ざる儘に講ずべし  
而して予の參謀を閣下の許に待せしむべければ、閣下  
は何事なりとも好む處のものを予の參謀に命せられた  
し。云々

而して桑港灣碇泊の太平洋艦隊四隻を練習艦隊接伴艦隊  
たらしむる命に接したる旨をも告げたり。伊地知少將は  
一々之に答へて感謝する處あり、且つ午后太平洋艦隊司  
令官、税關長、市長等を答訪したり。越へて五月二日(日  
曜日)午後二時より萩原公園に於て在留民の園遊會的歡  
迎會あり、會するもの五千名なりしと稱す。三日には午  
後二時マーチャント、エキステンシに於て、市内商業團  
体のレセプションあり。同夜フエヤメント、ホテルに於て

着 港 桑 隊 艦 習 練



永井領事夫妻の夜會あり、會するもの伊地知司令官、石  
井、佐藤兩艦長以下將校十官候補生、知事ジレット夫  
妻、太平洋艦隊司令官スウェンパーン以下日米人五百名  
に達し、四日には米國陸軍兵營の招待會、夜はウエスト  
ヴァージニア艦の招待會あり。五日にはオークランド商業  
會議所の招待あり。六日には消防演習、農産物陳列場、  
瓦斯電氣會社等の見物をなし、夜はフエヤメント、ホテル  
に於て、桑港主催の歡迎晚會あり、會するもの知事ジ  
レット以下陸海軍人、實業家、其他日米人の重なる  
者を悉く網羅して五百餘名の多きに及び、市長テラー  
司會の下に、天皇陛下の御健康を祝し、次に伊地知司令  
官答辭を述べて、米國大統領の爲めに杯を擧げ、知事ジ  
レット、海軍少將スウェンパーン、永井領事等の演  
舌ありたり。七日には伊地知司令官はメア島海軍鎮守  
府を訪ひ、少壯將校及士官候補生の一隊は、スタンフォ  
ード大學及リック天文臺を參觀し、八日には米國人の爲  
めに、九日には在留日本人の爲めにアートホームの舉あり  
又八日の夜は知事、市長、税關長以下重なる實業家を  
招きて旗艦に盛宴を張り、十日午前十一時鐘を抜きて、  
英領エスカイモールトに向へり。斯の如く艦隊碇泊中は  
夜を以て晝に次ぐの歡迎あり。兩國の親交を彰表したる  
が、特に注意すべきは、一般市民が最も厚意と尊敬の念  
を以て艦隊及將卒を迎へたることにして、同時に在留邦人

に對する態度も亦著しく異れるものありと稱せられたり  
其日本人に對する米國人の感情を緩和し得たるは争ふべ  
からざる處也。而して練習艦隊はエスカイモールトより  
タコマ、シヤトルに回航し、六月一日同地アラスカ、ユー  
コン太平洋博覽會開會式に參列したる後、布哇を経て  
歸航したり。

第六 布哇同盟罷工事件

布哇は製糖事業を以て生命とす、而して製糖事業に従事  
する日本労働者の數は三萬有餘、則ち總労働者の八割内  
外の多きを占め、耕地勞役は最も日本労働者は恰當し、  
寧ろ日本労働者あるにあらざれば、布哇製糖業を經營す  
る能はずと云ふに係らず、日本労働者が始め官契移民た  
り、後に契約移民たりしに依り、多年の慣習に馴致せら  
れたる結果、自由移民たる今日までも、其性行卑屈因循  
を極め、而して耕主の日本労働者に對する態度は、極め  
て暴慢専恣、恰かも奴隸を見るに異ならず。且つ賃銀も亦  
低廉にして、特に轉航禁止以來耕主の壓迫は益々甚だし  
と傳へられたり。然るに前年末より日本労働者の間に増  
給の聲を生じ、屢々耕主に對して増給の要求をなしたり  
と雖も、言を左右に托して容れられざるに及び、五月上  
旬より中旬に掛けて、オアフ島耕地日本労働者は、續々  
同盟罷工を企て、將に布哇全島製糖業の大動搖を來さむ

としたり。茲に於て耕主は種々の術策を設けて、同盟罷工を破滅せむとし、罷工者に對する同情を殺ぐ一策として、罷工者は單に労働賃銀の増加を免むとするのみならず、布哇の産業及政權を横奪せむとする陰謀を藏するものなりと流説したり。此報は奇を好む米國新紙に依りて一層誇大に喧傳せられ、布哇に在住する日本人多きを知りて、竊かに其將來に傷心するもの及び日本人に對して反感を有するもの、神經を刺激したると一方ならず、從て將に累を在米日本人に及ぼさんとしたり。而して又布哇に在住する日本人は、賃銀低廉なるが故を以て、其生活程度は極めて野卑にして、殆んど奴隸に均しき境遇に甘じつとありとて、日本移民を論ずるもの、動もすれば布哇日本人の状態を引照して、米國本土に日本移民を増さしむるは、米國を第二の布哇たらしむるものなりとなし、日本移民渡米反對の最も重なる論據の一となすを以て、布哇日本労働者の賃銀増加、生活程度の上は、米國に在留する日本人の素望の存する處なりし也斯の如く一方には日本人の布哇横奪陰謀説に依りて人心に危懼を興へて、累の在米日本人に及ぼさんとするあり、他方には布哇日本人の増給の目的を達して、生活状態を改めしめんとする素望あり。加之ならず耕主の同盟罷工鎮壓手段は、官權の利用其他に於て峻酷陰險を極むるものと如くなれば、布哇日本人の爲めにも、將又在米日本

人自身の爲めにも、黙過するに忍びせとなし、桑港在住有志のもの集りて、布哇労働状態調査會なるものを組織し、單に同盟罷工問題のみならず、如何にせば布哇日本人の労働問題を解決し得べきかを研究し、若し能ふべくんば適當なる援助を與ふべしとなせり。而して其第一着手として、同盟罷工及労働状態調査委員を布哇に派遣するととなり、調査委員清淵規矩雄は六月十七日桑港を發し、約一ヶ月間ホノルル及び其附近に滞留し、具さに状態を調査し、七月二十七日歸桑せり。調査委員の報告概要左の如し

布哇日本人労働状態

- 一、一千九百七年度に於て製糖事業に従事せる労働者の総数は四萬四千五百七十五人にして、内日本人三萬〇三百三人、則ち約七割の多きを占め、葡萄牙人之に次ぎて三千七百四十六人、支那人二千九百五十人、朝鮮人二千六百九十四人等也
二、日本労働者は耕地労働のみならず、製糖機械の運轉、其他一切の製糖事業に熟達し、日本人のみを以てするも何等支障あるを認めず
三、耕地は暴風酷烈にして、歐洲労働者は耕地労働に堪へず、耕地労働に堪ゆるは日清兩國労働者に限るし、支那人は入國を禁止され居れば、事實上於て殆んど日本の獨占に歸す
四、耕主が歐洲労働者の不適當なるを知るも、歐洲労働者輸入論を唱へ且つ歐洲労働者輸入費を支出する所以のものは、政治的關係より日本労働者のみに倚賴するものならざるを知らしむる必要あること一は如何に柔順なりと雖も、勞力供給を一國労働者に獨占せしむるは危険條件へば、日本労働者を牽制せんとする政策なりと思はる

- 五、歐洲労働者は布哇が永住の地にあらざるを知りて移住を好まず、旅費支給の便宜を得て、一度渡布するものも、何等の制限検査なきを以て直ちに米國大陸に轉移し去るもの多し
六、耕主は一ヶ月廿六日の働きの對し、普通歐洲労働者に二十二弗五仙の月給を、一英町の良田を賃與し、普通日本労働者には十八弗の月給を與ふるに過ぎず
七、日本労働者は甘蔗の請負耕作及び部分請負を營むし、歐洲労働者は之を營まず、其労働力の劣惡なるが爲めに却つて請負仕事を不利益とするが爲めなり。而して日本労働者は請負仕事に依りて二倍以上の激働をなして、一ヶ月収得平均二十三弗乃至二十四弗なり、即ち請負仕事は労働者の利益より耕主の利益大なりとす
八、耕主の取得歐洲労働者の賃銀に比し、又日本労働者の生活状態に照らし、日本労働者の取得は更に増加する必要あり、且つ耕主は増給に堪ゆるものと認む
九、日本労働者に對する耕主の態度は、都合よき労働者なるが故に使役すこと云ふに止まり、毫も必要欠くべからざる労働者としての待遇ありと認めず、官約、契約移民時代の遺風を存して暴慢専恣を極め居れり
十、布哇に於ける労働問題の根本的解決は、現今の製糖會社が耕地直接經營を廢し労働者を小作人たらしめ、會社は小作人の生産したる製糖原料を購入するに止むるにあれど、現在に於ては會社は耕地經營に低廉なる労働者を使役し莫大の利益を収めつゝあれば、當分實行せざるべきを以て、差當り請負耕作者の生産したる甘蔗の量定を業者者に知らしめざるが如き無法の行ひを廢し、且つ請負率及び月給を引き上げしむるにあるべし

同盟罷工問題

一、同盟罷工の起因は賃銀の低廉なるに基けり、日本労働者の普通月給

- は十八弗にして、實際の月収は十四五弗に過ぎず、又請負耕作者は普通労働者の二倍以上の仕事なして、月収二十三四弗に當れどし物價の騰貴、家族の増加は生活を困難ならしむ
二、同盟罷工が煽動者に依るものなりとせば専ら耕主側の唱導する處なり、煽動者の煽動干つて大に力あるは云ふまでもなけれど、罷工者が容易に屈服せず、又罷工せざる他の労働者の應援盛んなりしに徴すれば、労働者の増給要求の決心堅きを知るに足る
三、耕主が初め同盟罷工起らざるべしと信じ、起るも克く一週間を支へざるべしと豫期し、又罷工者側も罷工一週間に及ばば耕主屈服すべしと期待し双方虚勢を張りて互に妥協する能はざるに至らしめたり
四、罷工したる耕地は前後六、人員約八千にして、内半数は間もなく復業し、他の四千は罷工三ヶ月の長きに及べり、而して他耕地労働者は悉く應援したり
五、此間に於て上野總領事は、罷工に對する態度を決定せむが爲めに開かれたる耕主會議二日前に至りて、ストライキ非認の警告を發し、商人同志會、邦字新聞等は、或は日本人に失態なからしめんとする決心より、或は利害の較計より或は感情の衝突より、或は耕主との特別關係より、ストライキを復業せしめんとしたれば、耕主はストライキの永續するものならざるを信じ、絶対にストライキの要求に應ぜずと決議し、最も強硬態度を示せり
六、耕主 強硬態度は労働者の豫想外としたる處なると共に、ストライキの永續も亦た耕主の意外としたる處なりしが如し、然れども労働者は種々なる事情に依りて容易に無條件に復業する能はず、耕主も亦大損失を負ひたれども、耕主會議の決議に制限せられて増給の要求に應ぜず、双方睽み合ひの姿を呈して解決を見るに至らざりき
七、而して耕主はストライキ煽動者の無令狀拘引、無令狀家宅搜索等官權を利用して有ゆる暴戾を逞ふしたるも、帝國總領事は全く之を看過したり

八、総領事、商人同志會は無條件を以て労働者を復業せしめんとしたれども、其目的を達する能はず、復業勸告演説をなせる總領事は、壇上より引き落さるゝ珍事を生じたり

九、耕主は退歩せざることを明かなれば、ストライキは遠からず失敗を以て終滅すべし

十、然れども耕主はストライキに依りて大打撃を受けたれば、ストライキを蒙らざる他の耕地は、多少労働者の待遇を改善したり

其後八月上旬に至りて同盟罷工は終滅し、十一月末の耕主組合會議に於て、諸事業獎勵の爲め多少増給を行ひ且つ労働者の勤績獎勵の爲め少許ながらも年末賞與金を與ふることなれるものゝ如し。然れども布哇の労働問題は解決したるにあらず、今後機を得て再發すべきは論を俟たせ。

第七 日本實業團の渡來

排日運動の最も重なる一因は、米國人が日本の國性民性を了解せざるにあり。之を了解せしむるは、米國人をして日本の風光に接せしめ、日本人に交はらしむるに如くなしとは識者の一致唱道したる處也。此趣意を以て前桑港總領事小池張造は、太平洋沿岸實業家を日本に誘ひ日本に於て熱心誠實に待遇したる結果、聊か日本と日本人とを知り、日本とは親まざるべからずと唱ふるに至りたり。而して米國實業家は、日米親善の一策として又た日本の歡迎に酬ゆる處あらむとして、歸來直ちに日本實業家を米國に招待する計畫を起し、結局太平洋沿岸聯合

商業會議所の名を以て招待状を發し、而して米國々務省及我外務省亦陰然盡力する處ありて、我商業會議所は招待に應ずることなれり。

渡米實業團は、濫澤男爵を團長とし、中野東京商業會議所會頭、土井大阪商業會議所會頭、西村京都商業會議所會頭、大谷横濱商業會議所會頭、松方神戸商業會議所會頭、上遠野名古屋商業會議所副會頭を初めとし、六市の名ある實業家、同夫人、専門家及び隨員を合せて五十二名を以て成り、九月一日シヤトルに上陸して、滞在すると五日、有ゆる方面の歡迎を受け、就中四日を以て催せられたるアラスカ、ユーコン、パンフイック博覽會日本日に參加して異彩を添へ、夫れよりタコマ、ポートランド、スポーケン、アナロンダ、ビュート、グラントフォクス、ミネアポリスに至り、恰かも巡視の途に在りたる大統領タフトに謁見し、夫れよりセントポール、マデソン、ミルオーキー、シカゴ、グラントラビト、デトロイト、トリード、クリブランド、バフワロー、ロチエスタ、オバーン、シラスキエーの各地を経て、到る處熱誠を單めたる歡迎を受け、十月十二日紐育に着し、同地に滞在すると十日間、二十四日更に紐育を發して、ニューヘブン、プロビデンス、ボストン、ニューワーク、ヒラデルフヤを経てワシントン府に入り、國務卿ノックスと會食の機會を得て、其日米商業關係に關する抱負を聴き、更にバ

ルチモア、ピツ、バグ、シンシナチ、インデアナポリス、セントルイス、カンサスシチー、オハマ、デンバー其他の各地に駐まる一日又は二日にして、同一の盛んなる歡迎を受け、夫れより一直線にカリホルニヤ州に入り、サクラメントを経て、デルモントに達し、海岸線を取りてローサンゼルスに到り、同地にて日米人の盛んなる歡迎を受け、サンデーゴ、リバサイドを巡りて、グラントカニオンの勝景を探り、更に引き返へして十一月廿六日を以て桑港に着し、廿七日は公園、兵營を見物して、パーリンゲーム、サンマテオ方面の歡迎を受け、二十八日には在留日本人に歡迎せられ、二十九日には市内の見物をなし、同夜桑港商業會議所主催の大晩餐會あり、同會には知事ジョーレット、市長テラー以下著名の實業家悉く列席して、桑港稀有の盛會なりしと云ふを得べく、斯くて實業團は首尾克く豫定の旅行を了り、十一月三十日の便船にて歸朝の途に就けり。

實業團は米國に滞まる日數九十日、道程殆んど一萬哩に近く、七十有餘の都市に客となれり。而して米國商業會議所は、一行の爲めに特別列車を仕立て、太平洋沿岸聯合商業會議所會頭ローマンを始め、桑港、ポートランド、スポーケン等の商業會議所代表隨伴して、萬事に遺憾なからしめたるのみならず、米國政府は此舉を重大視したりと見え、多年東洋に在勤して賜暇歸國中なる領事グリ

ーンを隨伴せしめ、我政府も亦水野總領事夫妻等を附して世話役たらしめたる等、全く民間の計畫に止まらざる觀を呈したり。蓋し未曾有の國際的壯舉たるを失はずと謂つべし。實業團渡來の効果に關しては、素より未だ具體的に現はれたるものなしと雖も、米國實業の大体を觀察し、殆んど總ての重なる人士と會して歡交したれば將來日米兩國の親交及貿易上に裨益する處決して尠なりと云ふべからず。特に桑港に於ては、兩國商業會議所代表者を以て委員會を組織し、兩國貿易の發達を圖るべく、若し之を障害するものあらば極力排除すべき誓約をなしたる如き、最も機宜に適したるものと謂はざるべからず。

第八 注意すべき排日運動

從來日本人排斥運動は、誤解したる労働者、労働者を利用してせむとする野心政治家、事業上の競争に基けるもの、若くは國家政策より打算して日本民族の繁殖を非とするものに限られ、未だ曾つて資本主側若くは農業者に依りて日本人の排除すべきことを唱へられたるものなかりしが日本人排斥の聲高まりて以來、種々なる方面より日本人の缺點又は知所指摘せらるゝに至りたり。則ち比較的日本人に同情を有すと思はれたる資本家に日本人排斥の聲を聞くに至りたるが如き其一なり。

九月二十五日サリナス市に開かれたるモントレイ郡開發

委員會晚餐會席上に於て、サリナス市長、モントレー市長、同商業會議所會頭、スプレクル製糖會社支配人等は口を極めて日本労働者を非難し、モントレー郡は日本労働者を排斥して、之に代ゆるに歐州労働者を以てする必要を唱へ、此目的を達する爲め適當なる措置を講ぜべき申し合せをなしたりと云ふ。其理由とする處は多少政治的意味をも含めど、日本労働者は安んじて信頼する能はずと云ふにあるものゝ如し。而して同じ部面の人士にして、同じ理由を以て、同じ排斥運動は從來最も平穩なりと稱せられたるローグアイ方面にも亦起れり。是れ日本人の急所を衝きたるものにして、排斥の理由よりするも、排斥を主張する人柄より見るも、最も恐るべきものたり。日本労働者が請負仕事なれば仕事を粗末にし、日雇ひ働きなれば怠慢にして、且つ契約を重んぜずと云ふ道徳上の非難は久しき以前より密々耳にしたる處なるを以て、吾人は屢々警告する所ありたりと雖も、因襲の久しき容易に最大の悪弊を除却する能はず、遂に一部分にもせよ資本家側の公然の非難を蒙るに至りたるは、甚だ悲むべきとなりと云はざるべからず。然れども是れ日本人の一點點を擧げたるものにして、日本労働者には尙ほ取るべき長所なきにあらざれば、在留同胞互に相戒めて注意するに至らば、信用を恢復すると必らずしも難事にあらずべし。豈慎まざるべけんや。

第九 邦人銀行の將棋倒し

在留邦人の經濟界は、四十一年下半年より漸次沈衰に傾き、四十二年に入りて益々甚だしく、遂に金門銀行の破綻を見るに至りたり。蓋し四十年末の米國經濟界恐慌の餘波を蒙りたる上に、日本移民の絶對的禁止を見たれば人氣一時に沮喪し、發展の傾向を見越して設備したる事業は、甚だしき打撃を蒙りて、恰かも肺病患者の死滅するが如く、漸次事業界は沈衰に傾かざるを得ざりし也。已にして金門銀行破綻を生ずるや、在留邦人の金融機關に對する危惧心は、漸次昂上して、各銀行は極端なる取り付けに遭遇し、一方に於て經濟界の沈衰甚だしかりしかば、貸付金の回收思ふに任せず、邦人銀行は此時を以て悉く破綻すべかりしも、時日を経るに従ひ人心少しく落ち付き、預金引き出し亦少しく緩みれば、辛ふじて瀕絶することを得て、暫らく小康を保つを得たる也。然れども金門銀行の破綻に依りて、邦人銀行の弱點は遺憾なく曝露せられ、且つ癒やすべからざる大龜裂を生じたるのみならず、經濟界の沈衰は益々甚だしくして、到底近く恢復の見込みなきに至り、邦人銀行の運命は恰かも風前の燈の如き觀を呈したり。而して十月上旬に至りてサクラメントの櫻府銀行に對して、あられもなき惡評を流布したるものありたるに、只さへ人心危懼を生じ居た

る際なりしかば、忽ち激烈なる取付けに遭遇し、凡ら一週間を経たる十月十四日に至り、遂に支拂ひを停止せざるべからざるに至り、櫻府銀行の破綻は直ちに他の諸銀行にも亦影響を及ぼし、日米銀行(資本金二十萬弗)は十月十八日に、サクラメントの日本銀行(資本金五萬弗)は其翌十月十九日に、フレズノの布市勸業銀行(資本金五萬弗)は其翌十月二十日に、引續きて何れも支拂ひを停止し、一二小銀行を除く外加州に於ける日本人金融機關は全滅の姿を呈したり。而して其預金額は櫻府銀行九萬五千八百弗、日米銀行四十萬弗、櫻府日本銀行四萬三千七百弗、勸業銀行四萬弗なりと註せられたれば、合計五十七萬九千五百弗の多額に及べり。

金融機關の滅亡は預金者の不利益なるのみならず、經濟界を攪亂するものなるが故に、之が復興には銀行重役も預金者も極力盡す處ありたりと雖も、其今日あるに至りたるは、已に殆んど有ゆる方法を盡しての上なれば、到底容易の業にあらず。本編を草する迄には、只僅かに櫻府日本銀行が預金者との間に預金引出しの猶豫妥協整ひ復び開業する事を得、布市勸業銀行亦近く再び開業し得べしと稱せられたるのみにて未だ開業の運びに至らず、其他は金門銀行と均しく銀行監督官の手に精算せらるゝの外なき状態にありたり、故に加州に於ける邦人の銀行は正金支店を除き僅かに三あるのみ。

第十 桑港開港紀念祭

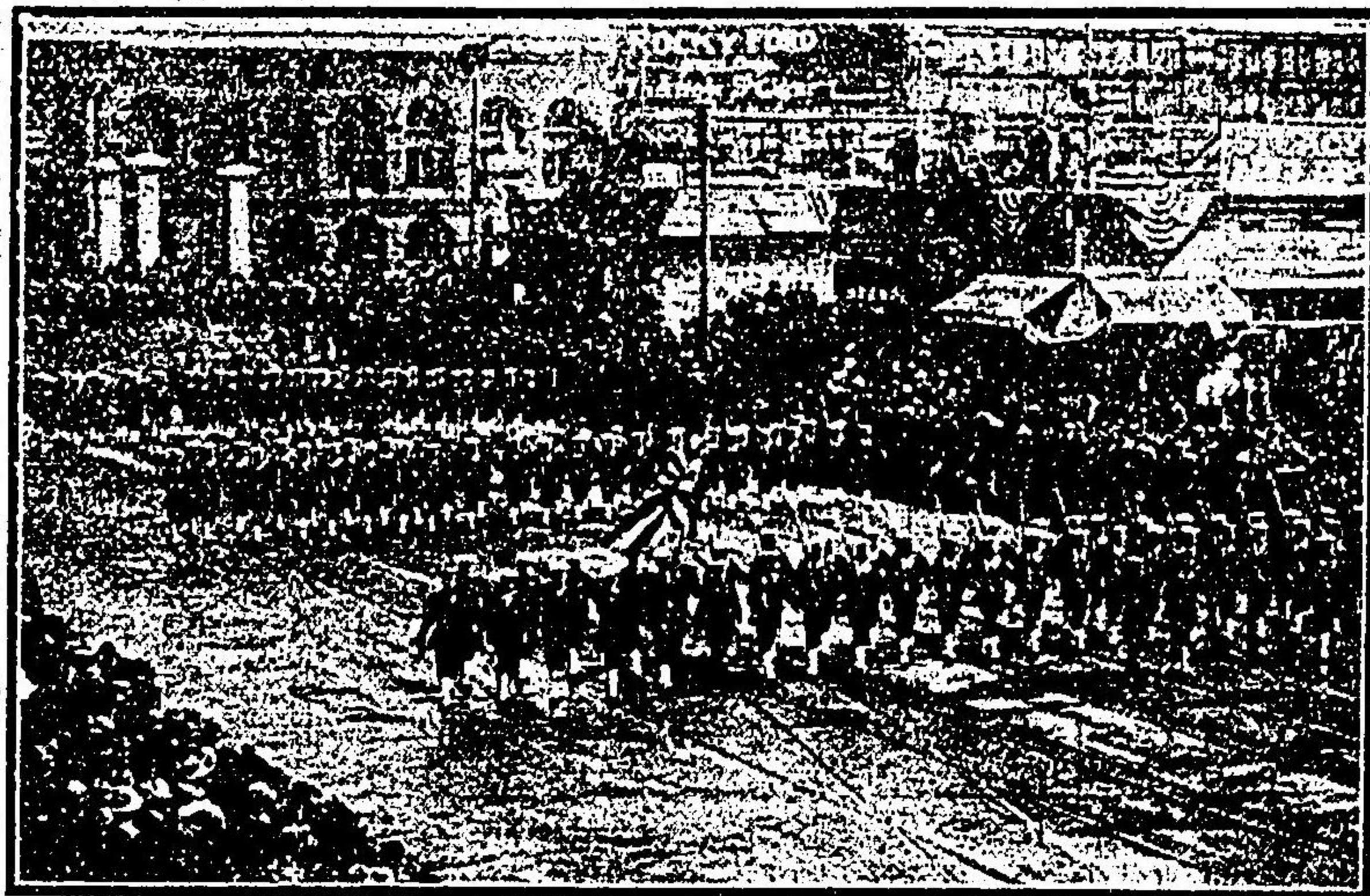
西班牙王の命を受けて、北征の途に就ける墨其西知事ポートルは、一千七百六十九年十月十九日を以て、桑港灣を發見して上陸したり。四十二年十月十九日より五日間桑港に開港せられたるポートル祭は、之を紀念し、且つ桑港が大震災後僅かに三年餘に過ぎざるに、極めて急速に復建せられたれば、併せて之を祝せむとする意に出でたるなり。

ポートル祭開催の議決するや、祭典委員は列國に知照し軍艦の派遣參列を乞ひたるに、我日本を初めとして、英國、獨逸、佛蘭西、伊太利、和蘭等の各國政府之を諾して、各々一隻又は二隻の軍艦を簡派して祝典に加はりたるは、桑港市民の甚だ多したる處也。就中帝國軍艦出雲(艦長竹下海軍大佐)は九月十九日横須賀を發し、各國軍艦に率先して、十月十一日來着したれば、市民は最も歡呼して之を迎へ、市長テラーを始めポートル委員等直ちに訪問して安着を祝し且つ遠來の勞を謝したり。出雲艦が他國軍艦に先んじて入港したるは、ポートル祭に對する日本人の態度に就き、米國人の好感を表現したる第一也。斯くてポートル祭祝典は大要左の順序を以て、最も花々しく執行せられたり。

第一日(十月十九日) 午前九時三十分ポートル(假裝の乗船金門灣口より港内に入り、整列せる各國軍艦の間を通過して、十時三十分ミッ



桑港ポートル祭



(一) 日本水兵行列

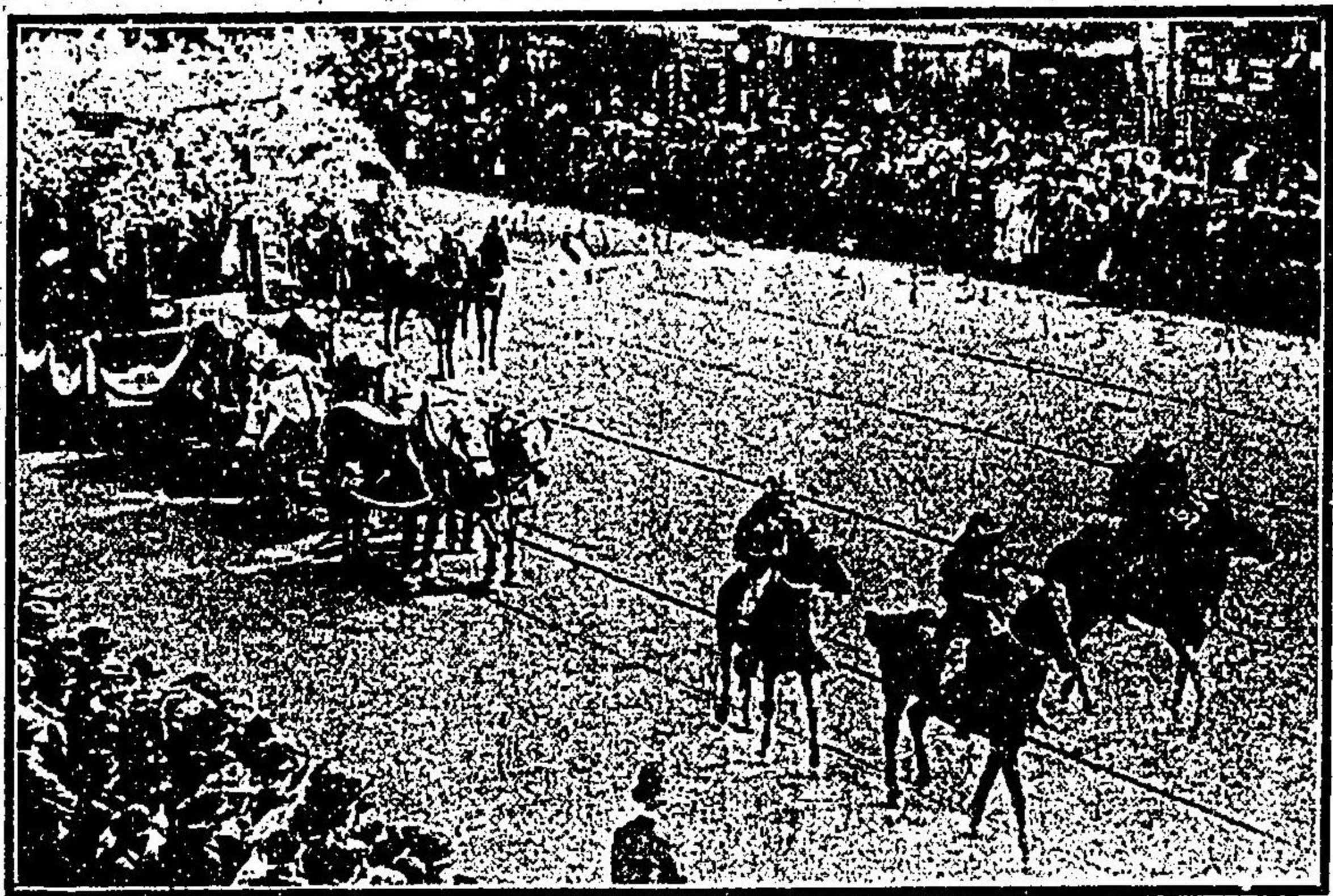
シヨ止揚上陸、同時にポートルに附隨して各國軍艦乗組水兵及米國陸軍隊の行列あり、ユニオンスコイヤに於て簡單なる祭式あり。午後八時市長及祭典委員はセントフランシス、ホテルに、各國軍艦乗組士官を招きレセプションを催せり。

第二日(十月二十日)  
午前九時各國軍艦乗組士官自動車市内見物、午後二時より同じくマーチヤント、エキシネンジに於てレセプションあり

第三日(十月二十一日)  
午前十時より各國在留民及諸團體の山車の行列あり

第四日(十月二十二日)  
午前十時より自動車行列  
第五日(十月二十三日)  
午後四時より日米端艇競漕(他の各國は事故あり加らず)、午後八時より歴史的服装行列及電氣仕掛け山車行列ありて終る

桑港ポートル祭



(二) 日本武者行列及山車

### 第十一 駐米大使の交渉

青木子爵に次ぎて、第二次駐米大使たりし男爵高平小五郎氏は、四十二年八月歸朝を命ぜられ、十一月駐米大使を免じて待命仰付られ、埃國駐劄大使たりし男爵内田康哉氏之が後任として駐米大使に任命せられ、新大使は夫

此間各種の競技、訪問の交換、招待接待相續き、毎夜ユニオン、スコイヤに於て花火を打ち揚ぐる等、桑港空前の賑ひを呈したるが、就中第一日の行列に加はりし出雲艦の水兵は、最も規律の厳正を以て、第三日の行列に加はりし日本人の山車(爛熳たる櫻花の中に和装せるクイーンの立ちたるもの)騎馬武者は優美を以て、又た連夜ユニオン、スコイヤにて打ち揚げたる日本花火は、精巧を以て共に米國人の大喝采を博し、又第五日目の日米端艇競漕には、我水兵大勝を占め、ポートル委員より國際短艇競漕賞牌を贈られたり。而して出雲艦は、二十三日午後日米人の重なるもの六百餘名を招きて、アトホームを催し、其翌二十四日桑港を發し、モントレー灣、サンデーゴーに寄港し布哇を経て十二月下旬横須賀に歸着したり要するにポートル祭に於ける軍艦の參列、其他日本人の參加したるは、米國人に頗る良好なる感情を起さしめ、日米親交上に裨益する處甚だ大なるは、争ふべからざる處也。

人を帶同して十一月三十日横濱を發し、十二月十七日を以て桑港に着し、越へて廿二日ワシントンに着任したり大使更迭の理由として一般に推測せらるる處は、近時滿州問題に關し、日米兩國間に動もすれば意思の疏通を欠くのみならず、日米條約改正は將に一兩年の後に切通したるが故に、此際新進敏腕の外交家を任に當らしめたるものなるべしと云ふに畧ば一致せり。

高平前大使が青木子爵の後を承けて駐米大使となりし際は、移民問題未だ解決せずして、排日運動は頗る勢を逞ふし、而して新聞紙及煽動政治家は、種々なる憶斷を下して、流語蜚語道途に充つる觀あり、其余波は動もすれば兩國の親交に累を及ぼさむとせり。此際に駐米大使となれる高平大使は先づ移民問題を解決し、日米兩國政府の覺悟の交換を圖る等、米國に對する對日本の態度を示して、米國人の對日感情を緩和するに遺策なかりし功を認めざるべからず。

今や日米兩國の關係は、表に親善を装へども世人の見る所は必しも然らざる。而して條約改正問題の如き、排日問題の如き、大使の努力に待つ處のもの極めて多し。内田大使は新進敏腕の外交家として夙に聲名高く、上下の重望を一身に集めたる觀あり。日米國間の懸案幾くは圓滿なる解決を見るべき乎。切に其然らむことを望んで止まず。

第二篇 米國と日本人

一 米國々勢要覽

一 北米合衆國政体

北米合衆國は、一千七百七十六年七月四日を以て、獨立を宣言し、同八十三年英國其獨立を承認し、翌年九月三日を以て媾和條約を締結したり。政体は共和政治にして同八十七年九月十七日憲法を制定し、爾來屢々加へ一千八百七十年三月三十日まで、六回の修正を加へて今日に至れり。
大統領、國會議員の選舉方法及權限、立法權、司法權及び陸海軍の組織、中央政府と州政府との關係、市民の權利義務等は、第一附録合衆國憲法の條文に明かなるを以て茲に繰述せず。

二 北米合衆國の面積人口

(一)面積、戶數、人口州別 合衆國にては十年毎に人口調査を行ふ、而して最近(一千九百年)の調査に依れば、面積は三百五十萬七千六百四十方哩、人口七千六百三十五萬六千一百二人なり。今之を州別に示せば左の如し

Table with 4 columns: 州名又は直轄名, 面積(方哩), 戶數(戶), 人口(人). Rows include New Hampshire, Vermont, Massachusetts, Rhode Island, Connecticut, New York, New Jersey, Delaware, Pennsylvania, Maryland, Virginia, North Carolina, South Carolina, Georgia, Florida, Alabama, Louisiana, Mississippi, Arkansas, Missouri, Illinois, Indiana, Ohio, Michigan, Wisconsin, Minnesota, Iowa, Kansas, Nebraska, Oklahoma, Texas, Colorado, Arizona, New Mexico, Nevada, Idaho, Utah, Montana, Wyoming, North Dakota, South Dakota, Nebraska, Oklahoma, Texas, Colorado, Arizona, New Mexico, Nevada, Idaho, Utah, Montana, Wyoming, North Dakota, South Dakota.

▲北太平洋の部

Table with 4 columns: 州名又は直轄名, 面積(方哩), 戶數(戶), 人口(人). Rows include Washington, Oregon, California, Nevada, Idaho, Utah, Montana, Wyoming, North Dakota, South Dakota, Nebraska, Oklahoma, Texas, Colorado, Arizona, New Mexico, Nevada, Idaho, Utah, Montana, Wyoming, North Dakota, South Dakota.

▲北中央の部

Table with 4 columns: 州名, 面積(方哩), 戶數(戶), 人口(人). Rows include Wisconsin, Illinois, Indiana, Michigan, Ohio, Pennsylvania, Delaware, Maryland, Virginia, North Carolina, South Carolina, Georgia, Florida, Alabama, Louisiana, Mississippi, Arkansas, Missouri, Illinois, Indiana, Michigan, Wisconsin, Minnesota, Iowa, Kansas, Nebraska, Oklahoma, Texas, Colorado, Arizona, New Mexico, Nevada, Idaho, Utah, Montana, Wyoming, North Dakota, South Dakota.

▲南中央の部

Table with 4 columns: 州名, 面積(方哩), 戶數(戶), 人口(人). Rows include Kentucky, Tennessee, Mississippi, Alabama, Georgia, Florida, Louisiana, Mississippi, Arkansas, Missouri, Illinois, Indiana, Michigan, Wisconsin, Minnesota, Iowa, Kansas, Nebraska, Oklahoma, Texas, Colorado, Arizona, New Mexico, Nevada, Idaho, Utah, Montana, Wyoming, North Dakota, South Dakota.

▲西方の部

Table with 4 columns: 州名, 面積(方哩), 戶數(戶), 人口(人). Rows include Montana, Wyoming, North Dakota, South Dakota, Nebraska, Oklahoma, Texas, Colorado, Arizona, New Mexico, Nevada, Idaho, Utah, Montana, Wyoming, North Dakota, South Dakota.

Table with 4 columns: 州名, 面積(方哩), 戶數(戶), 人口(人). Rows include Washington, Oregon, California, Nevada, Idaho, Utah, Montana, Wyoming, North Dakota, South Dakota, Nebraska, Oklahoma, Texas, Colorado, Arizona, New Mexico, Nevada, Idaho, Utah, Montana, Wyoming, North Dakota, South Dakota.

▲其他

則ち面積の最も大なるはテキサス州にして、小なるはロートアイランド州、又人口の最も多きは紐育州にして、最も少なきはネバダ州なり。
(二)人種、男女別 而して千九百年度の男女別左の如し
男 三九、〇五九、二四二 女 三七、二四四、一四五
又米國出生者と外國出生者とを區別すれば左の如し
米國出生 六五、八四三、三〇二 外國出生 一〇、四六〇、〇八五
更に人種別にすれば左の如し
白人種 六、八〇〇、〇〇〇
支那人 二九、〇〇〇
日本人 八、〇〇〇
ネグロ 八、〇〇〇、〇〇〇
インディアン 三、〇〇〇、〇〇〇

(三)職業大別 一千九百年調査米國職業大別左の如し
農業 一〇、四三三、三九八
商業運輸業 四、七六、三三三
家内労働 五、六三、七六三
學藝 一、三三、三三三

製糖機械業 七、三、九、七、計 元、六、三、八、三、人  
(四) 在米國外國人國籍別 一千九百年の調査に依れば同年米國に在留外國人は、一千〇四十六萬〇〇八十五人にして、其重なるもの左の如し

Table with columns for nationality (e.g., 英國人, 獨逸人, 佛國人) and years (1904, 1905, 1906, 1907).

(五) 米國に於ける外國移民 一千八百二十一年より一千九百九年度に至る間米國に入國したる移民數は、二千六百七十六萬九千七百二十二人にして、最近五ヶ年間の入國者は左の如し

而して過去五ヶ年間の重なる移民國籍別左の如し

Table with columns for nationality (e.g., 英國人, 獨逸人, 佛國人) and years (1903, 1904, 1905, 1906, 1907).

(六) 重なる都會 米國の重なる都會の面積課稅財產額及び一千九百九年一月一日概算人口左の如し

Table with columns for city name (e.g., ニューヨーク, シンシナティ), area, and population.

尙ほ一千九百年の調査に依れば、人口二十萬以上の都會十九十萬以上二十萬以下十九、五萬乃至十萬の都會四十、二萬五千乃至五萬の都會八十二ヶ所ありたり。

三 北米合衆國の宗教

米國は信教の自由を許せり、一千九百八年米國人口調査

委員カーroll博士の調査に依れば、教會寺院數は二十一萬〇二百四十九、教師又は宣教師の數十六萬一千七百七十五人、信徒數三千三百四十萬九千一百四人なり。今重なる宗旨の教會數、教師數及信者數を記すれば左の如し

Table with columns for denomination (e.g., 羅馬加特力, 美以教會, 南バプチスト) and counts for churches, teachers, and believers.

尙ほ米國に於ける日曜學校數は十四萬〇五百十九、教師百四十五萬一千八百五十五人、教を受くるもの一千一百三十二萬九千二百五十三人なり。

四 合衆國の教育

(一) 國民の讀書力 各州共に法律を以て公立小學校は無授業料と定む、然れども往昔の奴隸の習慣今に遺り、且つ無智なる移民陸續上陸するが故に、讀書力なきもの割

合に多數なり。則ち一千九百年の人口調査に依れば、米國に生れたる白人中文學なきもの百中四、六にして、外國に生れたる白人中文學なきもの百中二、九、又異色人は文字なきもの百中四、五ありて、總人口の文字なきもの百中平均一〇、七也。

Table with columns for school type (e.g., 小學校, 高等學校, 師範學校) and student counts for public and private schools.

州名	就學生徒數	人口百に對する割合	教師數
メソ	三三、三三三	一八、四	六、七五八
北ハムスフヤ	三三、三三三	一八、四	六、七五八
ヴァモント	三三、三三三	一八、四	六、七五八
マツサチユセツト	三三、三三三	一八、四	六、七五八
ロードアイランド	三三、三三三	一八、四	六、七五八
コネチカット	三三、三三三	一八、四	六、七五八
ニューヨーク	三三、三三三	一八、四	六、七五八
ニュージャージー	三三、三三三	一八、四	六、七五八
ペンシルヴァニア	三三、三三三	一八、四	六、七五八
デラウェア	三三、三三三	一八、四	六、七五八
メリーランド	三三、三三三	一八、四	六、七五八
華盛頓(ディシ)	三三、三三三	一八、四	六、七五八
ヴァージニア	三三、三三三	一八、四	六、七五八
西ヴァージニア	三三、三三三	一八、四	六、七五八
北カロライナ	三三、三三三	一八、四	六、七五八
南カロライナ	三三、三三三	一八、四	六、七五八

(三)學生々徒數、教員數州別 一千九百七年度の普通學校學生々徒數は、一千六百八十二萬〇三百八十六人に對して、人口百人に對する就學兒童數は、十九人八二に當り而して教員數四十七萬五千二百三十八人なり。之を州別に示せば左の如し

州名	就學生徒數	人口百に對する割合	教師數
ジョージア	一、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一、〇〇〇
フロリダ	一、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一、〇〇〇
ケンタッキ	一、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一、〇〇〇
テネシ	一、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一、〇〇〇
アラバマ	一、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一、〇〇〇
ミシシッピ	一、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一、〇〇〇
ルイジアナ	一、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一、〇〇〇
テキサス	一、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一、〇〇〇
アーカンサス	一、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一、〇〇〇
オクラハマ	一、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一、〇〇〇
インディアナ	一、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一、〇〇〇
オハイオ	一、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一、〇〇〇
インディアナ	一、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一、〇〇〇
イリノイ	一、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一、〇〇〇
ミシシッピ	一、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一、〇〇〇
ワイスコンシン	一、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一、〇〇〇
ミネソタ	一、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一、〇〇〇
アイオワ	一、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一、〇〇〇
ネブラスカ	一、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一、〇〇〇
カンザス	一、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一、〇〇〇
モンタナ	一、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一、〇〇〇
ワイオミング	一、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一、〇〇〇
コロラド	一、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一、〇〇〇
ニューメキシコ	一、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一、〇〇〇
アリゾナ	一、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一、〇〇〇

州名	就學生徒數	人口百に對する割合	教師數
ユタ	七、七五七	一、八〇〇	一、八〇〇
ネバダ	九、七五七	三、三	三、三
アイダホ	九、七五七	三、三	三、三
ワシントン	一、八、九七	一、八〇〇	一、八〇〇
オレゴン	一〇、三三三	三、三	三、三
カリフォルニア	三三、三三三	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
合計	一六八、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇

五 合衆國の司法

司法制は聯邦と、州との二種に分たれ、聯邦裁判所にては海軍法、特許法、銀行法其他合衆國法律に關する民事訴訟法、及び合衆國に關する犯罪、海上の掠奪、殺人、収入法違反等の件を司り、而して人身財産に關する件並に州の民事事件はすべて州裁判所處理す。州の最下級裁判所は、治安判事の管轄に屬し、都會にては警察判事支配の下に置けり。郡には記録所を置き郡吏之を管理し、又巡回裁判所判事の權に屬するもあり。治安裁判所又警察裁判所の上に、上等法院あり、上等法院の上に控訴院あり、最高裁判所は州大審院にして、院長以下數名の判事あり、一定の任期を以て人民より撰舉せらるるものなれども、實際は修身官にて、過失なければ永久に就任するを得べし。年俸は二千五百弗以上七千五百まで弗なり。中央政府に屬する最下級裁判所は、則ち地方裁判所にして、現今六十ヶ所あり。地方裁判所は死刑に處するもの

六 合衆國の財政經濟

(一)合衆國の歳入歳出 最近十年間の米國政府の歳入歳出左の如し

年 度	歳 入	歳 出
一八九九年度	五、五、三、三三	六、〇、〇、〇〇
一九〇〇年度	五、七、二、八三	六、七、七、七三
一九〇一年度	五、九、六、三三	七、〇、七、三三
一九〇二年度	五、三、四、六三	六、九、七、三三
一九〇三年度	五、〇、三、三三	七、一、九、八三
一九〇四年度	五、〇、三、三三	七、〇、〇、〇〇
一九〇五年度	五、四、三、三三	七、一、三、三三
一九〇六年度	五、九、九、七三	七、八、七、七三

を除き、其他總て合衆國に關する犯罪を取扱ふ。地方裁判所の上に九個の巡回裁判所ありて各一名の巡回裁判判事を置く。而して地方裁判所の判事一名又は二名にて巡回裁判所を開設するを得。巡回判事は委員を撰定して合衆國に對する犯罪者を逮捕尋問するの任務あり。大審院の判事九名は二年毎に九巡回裁判所に於て開應する責任あり。而して此場合には巡回判事又は地方裁判所判事二名加入するものとす。合衆國最高法衙たる大審院に院長一名、陪席判事八名あり、上院の同意を得て大統領之を任命す。大審院は下級裁判所よりの上告、外國使臣及國事に關する事件の裁判、及原告又は被告が州たる場合の事件を裁斷す。

一九〇七年度 六五、三六、三三  
 一九〇八年度 五九、八五、六三  
 (備考)此歳入出中には郵便税及其支出並に公債元金動定に關する借入及支拂を加へず  
 而して一千九百八年度の經常歳入歳出を大別すれば左の如し

▲歳入	
一、内國稅	二八五、六八〇、六五三
一、官有地拂下	二五〇、七一四、〇〇八
一、雜收入	一一、七二五、七〇九
計	五〇、七八五、五九三
▲歳出	五九九、八九五、九六三
一、行政費	一四六、八九八、九三〇
一、陸軍費	一一〇、二八四、八六四
一、海軍費	一一八、七二六、三四七
一、土蕃費	一四、五五〇、七五八
一、恩給費	一五三、八八七、九九五
一、國債利未	二一、四二四、九九〇
計	六五九、五五二、一二五

(二)合衆國の國富 一千九百四年に於ける米國の富力として、千九百七年米國統計局の發表したるもの左の如し

一、民有地	五五、五〇、二二八、〇五七
一、官公有地	六、八三一、二四四、五七〇
一、家畜	四、〇七三、七九一、七三六
一、農具類	八四四、九八九、八六三
一、製造機械類	三、二九七、七五四、一八〇

一、金銀貨及地金銀	一、九九八、六〇三、三〇三
一、鐵道及附屬品	一一、二四四、七五二、〇〇〇
一、市街鐵道	二、二二九、九六六、〇〇〇
一、電信	二二七、四〇〇、〇〇〇
一、電報	五八五、八四〇、〇〇〇
一、電燈	一、二二〇、〇〇〇、〇〇〇
一、電氣及特別車	八四六、四八九、八〇四
一、船舶及運河	二七五、〇〇〇、〇〇〇
一、私設電燈電力設備	五、六二二、八五一、一〇五
一、製造物	一、八九九、三三九、六五二
一、輸入貨物	七、四〇九、二九一、六六八
一、礦產物	四九五、五四三、六八五
一、衣服用具	四〇八、〇六六、七八七
一、器具馬車類	二、五〇〇、〇〇〇、〇〇〇
計	五、七五〇、〇〇〇、〇〇〇
計	一〇七、一〇四、一六九、三二〇

尙ほ一千九百七年度の富は一千二百六十億弗と概算されたり。

(三)流通貨幣 合衆國は理論上複本位制にして、金貨銀貨を法貨とす。而して一千九百八年に於ける流通貨幣の總額は、三十億四千五百四十五萬七千二百八十九弗にて人口一人に對し卅四弗八十一仙に當る。其種類左の如し

金貨	六、一四、五五三、六二八
銀貨	一、九、二六七、九二三
金貨証券	七、八、四六四、三〇九
銀貨証券	四、六、五八一、九七七

(四)銀行 一千九百八年の銀行に關する統計左の如し

合衆國紙幣	三四〇、一八九、八三八
國立銀行紙幣	六三二、四三一、五三〇
補助貨幣	四、九六八、〇八四
計	三、〇四五、四五七、二八九
國立銀行數	六、八二四
同 資本金總額	九一九、一〇〇、八五〇(弗)
同 預金總額	四、三七四、五五一、二〇八(弗)
同 預金預金額	三、四九五、四一〇、〇八九(弗)
同 預金者數	八、五八八、八一(人)
手形交換高	一五四、六六二、五二五、二五八(弗)

七 合衆國の國防

合衆國憲法第一條第八項に依れば、國會は兵を募り、且つ之を養ふ權利を有し、又其第二條第一項に依れば、大統領は合衆國陸海軍の元帥にして、民兵を徵募し、合衆國の國役に服せしむる時も亦之れが指揮官たるべし。  
 (一)陸軍 一千七百八十九年國會は陸軍を設置し、以て大統領の軍政事務を處理するに便したり。現在の米國陸軍の組織は、一千九百一一年二月二日、同七年一月二十五日及同八年四月二十日國會の制定せる法律に基きたるものにして、常備兵の定員は、最大限を十萬人となせり而して一千九百九年一月一日陸軍現役は、將校四千四百七十七人、下士卒七萬七千七百四十三人なり。今兵種別を示せば左の如し

兵種別	聯隊	將校	下士卒
兵種別			
步兵	三〇	一、五三〇	八、九〇〇
騎兵	一五	七六五	二、六六一
野戰砲兵	六	三二〇	一三、二六七
要塞砲兵	一七〇(中隊)	六二八	五、二四五
工兵	三(大隊)	二〇二	二、〇〇二
ポトリコ駐在軍	.....	三二	五七六
比律賓駐在軍	五〇(中隊)	一六六	五、五〇八

兵事上全國を八師管(デビジョン)に分つ、則ち東部、メキシコ灣、大湖地方、ミズリ、ダコタ、テキサス、コロラド及びカリフォルニアは是れ也。布哇はカリフォルニア師團に管掌せらる。

別に各州に民兵あり、其編成、訓練も共に完全ならずと雖も、最近の調査に依れば編成せる各州民兵は、十一萬〇九百四十一人(内參謀附士官一千五百四十七人)、隊附士官七千〇三十六人にして、編成せざる民兵の總數(十八歳以上四十四歳までの男子は悉く民兵なりとす)一千四百九十八萬七千〇一十一人なり。

(二)海軍 海軍々政は内閣大臣たる海軍卿の管理する處にして、長官次官は上院の認可を経て大統領之を任命す外に局長八名、海兵團長一名、法官部長一名あり。ポーツマス外八ヶ所に海軍鎮守府(ネビーヤード)を設け、チャレストン外八ヶ所に軍港を置けり。

米國海軍力左の如し(一九〇九年一月一日)

艦種	隻數	艦種	隻數
新式戰艦	二五	舊式戰艦	四
甲裝巡洋艦	八	一等巡洋艦	五
二等巡洋艦	七	三等巡洋艦	一六
スコート艦	三	水雷砲艦	四〇
驅逐艦	一六	水雷艇	三六
潛航艇	一九	モニター艦	一〇
巡洋艦	一〇		

而して海軍將校及水兵總數は四萬七千七百五十八人なり、又米國にては法律を以て軍艦は總て自國の材料を以て、國內に於て建造すべきを規定せり。將校養成の爲めにはアナバリスに海軍大學校の設けあり、只水兵は志願徵募の方法なるも、常に應募者の數を缺くは米國當局者の最も苦心する處なり。

八合衆國の産業

合衆國の産業は極めて盛也。以下農業、林業、鑛業、製造業及び漁業の五部に區別して之を記す。

(一)農業 合衆國內には未だ住民なく開拓を経ざる廣漠なる土地あり、國家公有の財産にして、國會及行政府之を管理す、而して今尙ほ未整理の公有地二十二州、四直屬地に跨り。之を甲乙二種に分ち、甲種は鐵道等に對する土地下拂ひの便に供し、地代は一英町には最低一弗二十五仙とす。乙種は一般市民に拂下ぐるものにして、

一英町二弗五十仙なり。而して宅地條令、樹木栽培條令或は先買權に依り、又或場合には現金を以て公有地の拂下げを受けるを得。宅地條令に依れば、二十一歳以上の合衆國市民若くは市民たらむとするものにして、公有地に居住し之を耕す者には、乙種の土地二百六十英町の所有權を附與し、五ヶ年の後地券狀を發して、其權利を完ふせしむ。一九〇九年の調査に依れば全國農業地面積は八億四千二百一十一萬英町にして、内改良を加へたる農地四億一千四百七十九萬英町、農業に従事するもの一千〇四十三萬八千二百九十九人、農業に關する財産價格二百五億一千四百萬一千弗なり。而して一九〇八年度の農産物總額は七十七億七千八百萬弗の巨額に上れり。今其重なるものを記すれば左の如し

一千九〇八年重要農産物價格

種別	量	價	格
玉蜀黍	二、六三〇、〇〇〇(噸)	一、三三三、〇〇〇	〇〇〇
桔	三、〇〇〇(噸)	三三、〇〇〇	〇〇〇
小麥	六、九〇〇、〇〇〇(噸)	六九、〇〇〇	〇〇〇
大麥	一、五〇〇、〇〇〇(噸)	一五、〇〇〇	〇〇〇

過ぐる十年間の農産物總額は六十億萬弗を超過せり。近年米國に於ける日本種米作は、良成績を呈せしかば、米國政府銳意之が發達を圖り、已にカリフォルニア州にも試作場を設けたるが、單に米國のみならず、農務着は益

々日本種農産物の試作に努め、現に桑茶等の重要農作物は勿論、竹、三叉、獨活、山葵、百合等に就ても廣く種子を各地に分配し、試作をなさしめつつありて、最近統計の上にも其産額統計の明記せられたるもの尠からず。要するに些細なる栽培場に至るまで注意を怠らずして、其繁殖を圖りつゝあるを知るべし。

(二)林業 森林に關する精確なる統計なし、概算によれば全國(アラスカを除く)森林は百九萬四千五百四十四方哩(六億九千九百五十萬英町)則ち全面積の三割二分にして内七分は太平洋沿岸に、十分の一はロッキー山脈に、十分の一は西部地方にありて、伐採すべき立木は大凡二、三〇〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇噸なりと稱せらる。而して一千九百六、七兩年度伐採したる容積及製材所の數を記すれば左の如し

年	容積	製材	格
一九〇六年	三七、五五一、〇〇〇、〇〇〇	六七五、〇〇〇、〇〇〇	〇〇〇
一九〇七年	四〇、二五六、〇〇〇、〇〇〇	七五〇、〇〇〇、〇〇〇	〇〇〇

木材はコニフェル最も多きを占め、其他は樺なりとす一千八百八十五年に森林法を布き、爾來幾多の修正を経て今日に至りたるが、富源保存の必要よりして、森林保護の説近來益々高し。一千九百年に於て保護を受ける森林の區域は、四千六百八十二萬八千四百四十九英町に及びたり。

(三)鑛業 一千九百七年度米國鑛産物總額は、二十一億

三千九百六十五萬一千九百五十二弗にして、内金屬産出額は九億九千九百六十六萬五千二百十弗なり。主要金屬産出額左の如し

種別	産出容積	價	格
鐵	二五、四四二、〇一三(噸)	五八〇、〇七七	八九六
銅	四、三一四、七四二(噸)	八九、一九一	七二六
鉛	五八、八五〇、五三〇(噸)	三八、四四五	一八一
鋅	八七九、二四一、七六六(噸)	一八一、六六〇	一四一
錫	三五〇、一三〇(噸)	三七、二八八	八四五
アルミニウム	二六、〇〇〇、〇〇〇(噸)	二九、七六三	七三五
アンチモニー	五、七九四、〇〇〇(噸)	一〇、九二〇	〇〇〇
亜鉛	二六、〇〇〇、〇〇〇(噸)	八五九	八三〇
石炭	三八八、二二二、八六八(噸)	四六三	六五四、七七六
無煙炭	八六、三四一、八三三(噸)	一九三	六五三、二一八
石油	一六四、三三七、九三〇(噸)	一一三	二六〇、九四八
鐵礦	五二、九五五、〇七〇(噸)	一一七	五六〇、二五五
銅礦	二、二五一、四五九(噸)	一一〇	四五〇、五二二
鑛鹽	二九、七〇四、一八八(噸)	七、四三九	五五一
硫磺	三〇、七八〇(噸)	六、四二七	〇三五

(四)製造業 一千九百年と一千九百五年の米國製造業の概勢を比較すれば左の如し

工場の数	一九〇五年	一九〇〇年
	一〇七、五三一	一〇七、五三一

Table with columns for '資本総額' (Total Capital), '事務員' (Staff), '男職工十六歳以上' (Male workers 16+), etc. It lists various categories and their corresponding values in Japanese Yen.

更に一千九百年の工場種別資本及び産額左の如し

Table with columns for '車及運搬具' (Vehicles and transport equipment), '船' (Ships), '雑品' (Miscellaneous goods). It includes a sub-section for '漁業' (Fishing) and '合衆國水産局の統計に依れば左の如し' (Statistics from the U.S. Bureau of Fisheries).

九合衆國の商業

(一)過去十ヶ年の輸出入 一千八百九十年より一千九百八年に至る十ヶ年間の合衆國輸出入貿易額左の如し

Table showing trade statistics for the United States from 1890 to 1908, with columns for '年度' (Year), '輸出額' (Export value), '輸入額' (Import value), and '輸出超過額' (Export surplus).

Table with columns for '重要輸出品' (Important exports) and '重要輸入品' (Important imports). It lists various commodities like cotton, iron, and wheat with their respective values.

(二)重要輸出入品 千九百八年度重要輸出入品左の如し

(三)重なる輸出入額 一千九百八年度の重なる諸國との輸出入額を記すれば左の如し

十合衆國の海運業

(一)船舶隻数及噸數 一千九百八年度六月三十日現在米國の船舶種別、隻数及噸數左の如し

Table showing shipping statistics for the United States as of June 30, 1908, with columns for '種別' (Type), '隻数' (Number of vessels), and '噸數' (Tonnage).

(二)米國港灣出入船籍 一千九百八年中米國諸港に出入したる船舶國別左の如し

Table with columns for country names (國名), arrival ship counts (入港船舶總噸數), and departure ship counts (出港船舶總噸數). Rows include various countries like England, Japan, etc.

十一 合衆國の交通機關 (一)鐵道 一千九百八年度鐵道に關する統計左の如し

Table showing railway statistics for the US in 1908, including passenger numbers, freight, and telegraph lines.

る處にして、其電線路は六百九十四万六千五百一十一哩に及べり。而して同社の外に幾多の小會社あるが、米國に於ける電話使用數は、一日平均一千八百三十三万八百三十三にして、之を一年に積算すれば使用度數五十八億三千八百十萬回なり。

(五)郵便 一千九百八年度郵便に關する統計左の如し

Table of postal statistics for 1908, including mail volume, telegrams, and telegraph lines.

二 日米貿易概觀

一 日米貿易の發達

日米兩國間の貿易は年々健全なる發達を遂げつゝあり、今最近十年間に於ける輸出入額を掲ぐれば左の如し

Table showing the development of trade between Japan and the US from 1900 to 1908, with columns for year, US exports to Japan, and US imports from Japan.

右表に依れば秩序を追ふて増加し、極めて健全なる情態にあるを知るべし。而して一九〇七年度明治四十年度の日本よりの輸入は、前年度に比し三割以上の激甚なる増加を示したり、是れ日本に於て日露戦争後産業の勃興に基くものと見るべし。

二 米國の外國貿易上に於ける 日米貿易の位置

米國の海外貿易は極めて急速に發達し、殊に最近十年間には輸出入共に殆んど倍加の盛況を呈したり。今則ち米國の海外貿易上に於ける日米貿易の位置を示さんが爲め先づ過去五年間の米國輸入總額と日本よりの輸入額とを比較すれば左の如し

Table comparing US total imports and imports from Japan from 1904 to 1908, including absolute values and percentages.



年 度	輸出総額	日本への輸出額	百分比例
一九〇四年	一、四〇、八五七、三三	三、九〇、三三三	一、七
一九〇五年	一、五八、五七二、三三	五、七九、六三三	三、四
一九〇六年	一、七三、八〇〇、五〇	六、四四、九三三	三、七
一九〇七年	一、八〇、八五七、三三	六、七三、〇三三	三、七
一九〇八年	一、八〇、七三三、三三	四、四三、三三三	二、五

三 日本の外國貿易上に於ける

日米貿易の位置

日本の外國貿易上に於て、日米貿易は最も重要な位置を占め其輸出は、第一位に居り。輸入は英國に次ぎて第二位にあり。若し輸出入總額を以てすれば、米國貿易に如くはあらず。試に明治四十一年度日本の輸入總額と米國よりの輸入額とを比較すれば左の如し

年 度	日本輸入總額	米國より輸入額	百分比例
明治四十一年度	一、三三、三三三	七、三三、三三三	一、七
則ち四十一年度米國品の輸入は、總額の一割七分七厘九毛に當れり。而して同年度の英國の輸入は、一億〇七			

四 米國の重要輸入品

最近四ヶ年に於ける日本より米國への輸入總額は、前表に依りて明かなる處なるが、今重要輸入品を記すれば左の如し

種 別	一九〇五年	一九〇六年	一九〇七年	一九〇八年
生 糸	三、八五、八〇九	三、三三、三三三	四、〇七、三三三	四、三三、三三三
層生糸	三、三三、三三三	三、三三、三三三	三、三三、三三三	三、三三、三三三
絹 物	六、〇七、三三三	六、七三、三三三	五、三三、三三三	四、三三、三三三
茶	七、三三、三三三	六、三三、三三三	六、三三、三三三	八、三三、三三三

七十九萬四千五百六十九圓にして、第一位にありたり。更らに同年度日本の輸出總額と、其内の米國への輸出額とを比すれば左の如し

年 度	日本輸出總額	米國への輸出額	百分比例
明治四十一年度	三、三三、三三三	三、三三、三三三	一、〇

日本より米國への輸出額は、實に其總額の三割一分一厘九毛の多きを占めたり。所詮米國は日本の最大顧客にして、對米輸出の消長は、日本貿易の盛衰に關するに極めて大なりと云はざるべからず。因に記す四十一年の日本より清國への輸出額は、六千〇五十萬六千九百九十一圓にして、日本の顧客として米國に次げり。

(備考)日本の貿易歳計は歷年度を以て米國の貿易歳計は毎年六月三十日を年度の終りとせるが故に、別表米國貿易と符合せず、以下同じ一々備考を附せず。

品 類	一九〇五年	一九〇六年	一九〇七年	一九〇八年
花 繭	二、三三、三三三	二、三三、三三三	二、三三、三三三	二、三三、三三三
陶器類	九、三三、三三三	一、三三、三三三	一、三三、三三三	一、三三、三三三
銅 類	一、三三、三三三	一、三三、三三三	一、三三、三三三	一、三三、三三三
乾物類	三、三三、三三三	三、三三、三三三	三、三三、三三三	三、三三、三三三
米	三、三三、三三三	三、三三、三三三	三、三三、三三三	三、三三、三三三
紙 類	三、三三、三三三	三、三三、三三三	三、三三、三三三	三、三三、三三三
酒 類	三、三三、三三三	三、三三、三三三	三、三三、三三三	三、三三、三三三
木材類	三、三三、三三三	三、三三、三三三	三、三三、三三三	三、三三、三三三
野菜類	三、三三、三三三	三、三三、三三三	三、三三、三三三	三、三三、三三三
及材料類	三、三三、三三三	三、三三、三三三	三、三三、三三三	三、三三、三三三
金銀類	三、三三、三三三	三、三三、三三三	三、三三、三三三	三、三三、三三三
果實類	三、三三、三三三	三、三三、三三三	三、三三、三三三	三、三三、三三三
アラン類	三、三三、三三三	三、三三、三三三	三、三三、三三三	三、三三、三三三
木 類	三、三三、三三三	三、三三、三三三	三、三三、三三三	三、三三、三三三
玩 具	三、三三、三三三	三、三三、三三三	三、三三、三三三	三、三三、三三三
石 炭	三、三三、三三三	三、三三、三三三	三、三三、三三三	三、三三、三三三

尙ほ右の内最も重要な二三に就き諸外國品と比較すれば左の如し

一、絹 物 類

生糸、絹織物、絹服、絹刺繍は、我輸出品中第一位に居り、殊に米國への輸出に至りては、米國の總輸入價格の大半を占む。

(イ)生糸 絹物中に在りても生糸最も巨額に上り、日本よりの輸入は實に米國生糸輸入總額の約五割に當る、而して過去四年に於ける重なる輸入國と比するに左の如し

輸入總額	一九〇五年	一九〇六年	一九〇七年	一九〇八年
内 國 別	三、三三、三三三	三、三三、三三三	三、三三、三三三	三、三三、三三三
獨 逸	三、三三、三三三	三、三三、三三三	三、三三、三三三	三、三三、三三三
佛 蘭 西	三、三三、三三三	三、三三、三三三	三、三三、三三三	三、三三、三三三
英 國	三、三三、三三三	三、三三、三三三	三、三三、三三三	三、三三、三三三
日 本	三、三三、三三三	三、三三、三三三	三、三三、三三三	三、三三、三三三
瑞 典	三、三三、三三三	三、三三、三三三	三、三三、三三三	三、三三、三三三

經濟界動搖の結果一千九百八年度は、前年度に比して著しく輸入を減じ、各國共に多大の影響を蒙りたれども、單り日本のみは僅小ながら輸入を増加したり。而かも日本との輸入比較左の如し

(ロ)絹服類 過去四年の米國絹服類輸入總額及諸外國と日本との輸入比較左の如し

支那 六、七、八、九、一〇、一一、一二、一三、一四、一五、一六、一七、一八、一九、二〇、二一、二二、二三、二四、二五、二六、二七、二八、二九、三〇、三一、三二、三三、三四、三五、三六、三七、三八、三九、四〇、四一、四二、四三、四四、四五、四六、四七、四八、四九、五〇、五一、五二、五三、五四、五五、五六、五七、五八、五九、六〇、六一、六二、六三、六四、六五、六六、六七、六八、六九、七〇、七一、七二、七三、七四、七五、七六、七七、七八、七九、八〇、八一、八二、八三、八四、八五、八六、八七、八八、八九、九〇、九一、九二、九三、九四、九五、九六、九七、九八、九九、一〇〇

(八) 絹服地類 過去四年間各國輸入比較左の如し

Table showing silk clothing import trends from 1905 to 1908 for various countries including Japan, France, and others.

(二) 刺繍類 過去四年に於ける絹物刺繍類輸入総額及諸外國と日本との輸入比較左の如し

Table showing embroidery import trends from 1905 to 1908 for various countries including Japan, France, and others.

以上の諸統計に依れば、絹物(生糸を含み)全体に就て見るとは、日本が第一の輸入國たりと雖も、生糸輸入に於

三、花 筵

花筵は我國より米國への輸出品中第二位に位し、而して米國に於ける需用の約八割を充たす。過去四年間米國に於ける花筵輸入總額及諸外國と日本との輸入比較を示せば左の如し

Table showing tatami import trends from 1905 to 1908 for various countries including Japan, France, and others.

花筵亦甚だしく需用の増加を來たさず、是れ米國民富力の増進に伴ひ、カーペットの需用増加したると、花筵に代はる織物新に製造せらるゝに至りたる爲め也。而かも支那製花筵輸入の著しく減退したるに係らず、我花筵は輸入金額に於て減額を見ざる也。

四、陶 器 類

陶器類は製茶に次ぎて米國に對する我重要輸出品なり、今過去四年の米國に於ける輸入總額の諸外國と日本との輸入比例を示せば左の如し

Table showing pottery import trends from 1905 to 1908 for various countries including Japan, France, and others.

て殆んど六割の巨額を占むるに係らざ、加工品に至りては極めて下位に在るを知るべく、日本が依然として精巧なる工業の國にあらざるを証據立つるもの也。我國民今後の努力を要するは夫れ此方面にあらむ乎。

二、製 茶

茶は日本の重要輸出品の一也、米國輸出に於て絹物類を外にして最も巨額に上る、過去四年米國に於ける輸入總額及諸外國と日本との輸入比較を示せば左の如し

Table showing tea import trends from 1905 to 1908 for various countries including Japan, France, and others.

則ち米國にて總ての日用食料品輸入額年々増加の趨勢なるに、單り茶の需用は年々減少の傾向を呈し來り。我製茶輸出亦概して減退の姿なりと雖も、支那茶の如き激烈なる減少を見ず、依然米國製茶市場を支配せるは喜ぶべき也。

一千九百八年度の輸入額増加は、米國議會に於て製茶課税説ありしが故に、見越輸入多かりしに據るもの如し

五、米國の重要輸出品

最近四年米國より日本への重要輸出品別左の如し

Table listing various export items from the US to Japan from 1905 to 1908, including wheat, oil, and other goods.

### 三 米國在留日本人

#### 一 緒 言

合衆國に在留する日本人中にありても、西部シカゴ以西に在るものと、東部シカゴ以東にあるものとは、自ら位置、境遇の異なるものなくばあらざ。則ち西部に在るものは、殆んど全く無資本を以て移住し來り、今日の位置も事業も、自ら獨力にして開拓したるものにして、之に反し東部に在るものは、概して日本の資本に衣食する傾きなきをせず。勿論西部に在りても、日本の事業に従事するもの皆無なりと云ふ能はざるが如く、東部に於ても獨力事業を経営するものなしと云ふべからざるも、概して之を言へば、西部に在るものは自主獨立の者を多しとすべく、東部に在るものは、他力に倚賴するものを多しとすと言ふを得べきが如し。従つて東部に在るものと、西部に在るものとは、其境遇、徑行自ら均しからざる也。西部に於け日本人發達の徑路は、後段記する處に依りて明かなるが、要を摘みて言へば、日本人の米國に移住したるは、明治二年蘭人スネルが四十餘名の労働者を拉れ來りたるに始まれり。其後十數年間は何等殊記するに足る事件なく、只僅少な舟乗り業者と書生とが年々渡來して、桑港市内に在りて家内の労働に従事したる

あるのみ。然るに明治二十年前後よりは、渡來するものも漸く多く、在米日本人發展の上に一線を劃したり。則ち區域より見れば、日本人が桑港以外に踏み出したるは此頃にして、南はロサンゼルスに、東はネバタ州に、北はポートランド、シヤトル方面に及び、又業務の種類より見れば、從來家内の労働を主としたるものが、農業に手を染むるに至りたり。而して其後は年と共に在留するもの増加し、従つて加州は云ふまでもなく、オレゴン、ワシントン、ネバタ、ユタ、アイダホ、ワイオミング、コロラド諸州及びアリゾナ、ニューメキシコ諸州に跨り農業に従事するものは、労働者より小作人に、小作人より地主と云ふが如く、次第に地歩を固め、商業及雑業に従事するものも、其数を増したるのみならず、事業を擴張して今日に至れり。而して今や上記諸州に於て殆んど日本人を見ざる云ふとなく、日本人の在留する處必ず大小の事業伴はせと云ふとなき状態に在り。而して東部に在る日本人を見るに、森村豊等が始めて紐育市に日本の生糸類販賣の目的を以て商店を開きたるは明治八年にして、明治二十四五年頃より西部より轉住したるものなり、爾來年を経ると共に日本に本店を有する會社、商會の支店、出張所又は日本より資本金を齎して開業したる商店増加して今日に至れり。而して極めて稀に米國に於て資本を得たるもの、商店其他の營業者

點在するのみ。又テキサスに於ける日本人農業の如きも、カリホルニヤ州方面に於ける日本人が、獨立自營労働者より、小作人となり、更に地主となりたるを異り最初より日本の資本を投じて經營に着手したりと云ふを得べきが如き、總て東部に於ける日本人と西部に於ける日本人とは立脚地を異にせるが、兎に角西部に於ける日本人が初めて移住してより僅々四十年、其間多少成功したるものは、日本人の僻として急遽歸國するものあるに係らず、農商業何れにも今日の發達を見るに至りたるは甚だ偉とすべし。

#### 二 米國在留日本人

一千九百年の米國人口統計に依れば、同年米國(布哇を含む)に在留したる日本人の数は、八萬一千五百九十九人に計上ありと雖も、是れ過小なるのみならず、其後歸國したる者も多けれど、新に入國したるもの更に多ければ、明治四十二年十一月の調査に依るに、布哇を除き米國本土に在留せるもの、九萬八千七百五十五人にして、内男八萬七千一百七十八人、女七千三百二十三人、兒女四千二百二十三人なり。今之を地方別にすれば左の如し

州 名	男	女	兒女	計
カリホルニヤ州	7,201	5,310	3,500	16,011
オレゴン州	3,555	3,311	3,875	10,741
ワシントン州	1,520	1,150	1,250	3,920

ネバダ州	2,285	2,300	2,500	7,085
アリゾナ州	2,233	2,100	2,500	6,833
アリゾナ州	2,233	2,100	2,500	6,833
コロラド州	1,255	1,100	1,250	3,605
ネバダ州	4,000	3,500	4,000	11,500
カンサス州	3,300	3,000	3,500	9,800
新墨西哥州	3,000	2,500	3,000	8,500
モンタナ州	2,500	2,000	2,500	7,000
ワイオミング州	2,000	1,500	2,000	5,500
テキサス州	1,500	1,000	1,500	4,000
テキサス州を除く中部州	1,000	500	1,000	2,500
紐育州を除く東部諸州	1,000	500	1,000	2,500
其 他	1,000	500	1,000	2,500
合 計	47,755	44,311	49,750	141,816

則ちカリホルニヤ州に在留するもの最も多く、ワシントン州に在留せるもの次に次ぐ。而して別に布哇に在留する日本人七萬二千名と稱せらるれば、合衆國全体に在留する日本人の總数は、十七萬餘の多きに及ぶ譯けなり。更らに米國本土に在住する九萬八千餘名を職業に依りて大別すれば左の如くなるべし

農業	33,500
商業及雑業	14,000
家内の労働者	8,000

鐵道労働者 一、二、〇〇〇  
 工場労働者 六、〇〇〇  
 漁業 五、〇〇〇  
 計 二、五〇〇  
 八〇、五〇〇

則ち農業に従事するもの最も多く、家内の労働者、鐵道労働者之に次ぐ。今試みに八萬五百の日本人が一ヶ年に取得する賃銀又は収益平均五百弗と見る時は、在米日本人の一ヶ年の取得総額は、四千二十五萬弗の多きに及ぶ。而かも日本人の一ヶ年の實収は一人五百弗に止まらざるべし。

### 三 米國在留日本人の農業

米國に在留する日本人の農業と云ふと雖も、カリフォルニア州以外に於ける日本人の農業は、未だ極めて微々たるものなり。蓋しカリフォルニア州以外の日本人農業は五六年以前より漸く着手したるものにして、且つカリフォルニア州に比して在留するもの少なく、又農業經營上の利便多からざるを以て也。就中稍々見るに足るべきは、絡機山の東西に跨れる山中部諸州の砂糖大根事業、及びテキサス州に於ける米作なりと雖も、其耕作地反別に於ても收穫高に於ても、未だ到底カリフォルニア州に於ける日本人農業の盛大なるに比すべくもあらず。今試みに明治四十二年度に於ける在米日本人農業反別地方別を示せば左

の如し

四十二年度在米日本人農業反別表

地方別	所有反別	現金借地反別	歩合耕作反別	請負耕作反別	計
カリフォルニア州	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	四、〇〇〇
アリゾナ州	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	四、〇〇〇
ユタ州	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	四、〇〇〇
アイダホ州	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	四、〇〇〇
コロラド州	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	四、〇〇〇
ネブラスカ州	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	四、〇〇〇
テキサス州	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	四、〇〇〇
オレゴン州	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	四、〇〇〇
ワシントン州	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	四、〇〇〇
その他	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	四、〇〇〇
計	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	四、〇〇〇

則ち米國に於て四十二年度に日本人の經營したる農業反別は、二十六萬三千九百三十九英畝(日本の反別に換算すれば十一萬四千餘町歩)にして、内所有反別二萬四千〇四十九英畝(約我一萬餘町歩)、現金借地反別一萬〇九百六十八英畝(約我四萬六千餘町歩)、歩合耕作反別七萬二千五百五十九英畝(約我三萬餘町歩)、請負耕作反別五萬六千三百六十一英畝(約我二萬三千餘町歩)なり。而して其内最も多きはカリフォルニア州の十九萬五千九百五十八英畝(約我七萬八千五百町歩)にして、殆

んど全体の七割五分に近く、次はコロラド州の二萬四千二百二十六英畝(約一萬餘町歩)、次はテキサス州の一萬一千六百四英畝(約我四千八百町歩)なりとす。更に米國に於ける日本人農作物の重なるものを擧ぐれば左の如し(詳細は各地方農業欄参照)

### 米國日本人の主要農作物表

作物	所有	現金借地	歩合耕作	請負耕作	計
砂糖大根	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	四、〇〇〇
果物	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	四、〇〇〇
葡萄	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	四、〇〇〇
野菜	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	四、〇〇〇
ポテト	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	四、〇〇〇
アスパラガス	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	四、〇〇〇
米	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	四、〇〇〇
豆	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	四、〇〇〇
その他	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	四、〇〇〇

其他の重なるものは、セロリ、ヘー、メロン、麥、葱豆、キヌカンパー等なるが、煩はしければ一々列舉せず。前表に依れば、最多きは砂糖大根の七萬二千八百八十英畝(我三萬餘町歩)にして、果物、葡萄、野菜等順次に次ぐ。就中米は殆んどテキサス州日本人の特産なりと云ふを得べく、其他は重なるに加州に於て栽培耕作せらるるものと云ふまでもなし。要するに現時にありては、カリフォルニア州以外に於ける日本人の農業は、未だ甚だ振はれど雖も、元來日本人は農業經營に適し、而して各地方とも

に經營上の利便多きと、到底日本の比にあらざれば歲月を經ると共に其發達は決して疑ふべからざる也。

### 四 在米日本人の商業及雜業

在米日本人の商業及雜營業は、概言すれば未だ在留邦人を相手とするもの主要を占むと云ふを得べし。素より東部及桑港に於ては、専ら米國人を相手とし、若くは主も米國人を顧客とする商業及雜種の營業なきにあらざると雖も、其大多數は在留日本人を相手とするものなり。然かも近來日本人を相手とする商業及雜營業は、殆んど到り盡せりと云ふ有様なるを以て、又稍々年處を經て資力經驗共に備はれるもの續出して、近來米國人相手の商業及雜營業順に發展の徴あるは、自然の勢ひなりと云はざるべからず。

試みに明治四十二年十一月一日の調査に依れば、米國全体(布哇を除く)に於ける日本人の營業戶數は四千一百七十四戸にして、其種別を掲ぐれば左の如し

米國在留日本人營業別

營業種別	個數		持主又は主任者數		使用人數	
	男	女	男	女	男	女
銀行	九	九	九	九	九	九
會社	五	五	五	五	五	五
新聞社	一	一	一	一	一	一
支社	四	四	四	四	四	四
計	一五	一五	一五	一五	一五	一五

(一)東洋人排斥の由來 排日運動の由來を論述せむには勢ひ少しく東洋人排斥運動の由來に遡らざるを得ざる也。顧みるに東洋人排斥運動の開始は、則ち支那人排斥運動にして、一千八百七十年前後に其萌芽を發し、同八十二年(明治十五年)の支那人排斥法制定を以て一段落を結べり。抑も支那人排斥は幾多の首肯すべき理由なくんばあらざ。先づ産業上より見むか、一千八百七十年に於けるカリフォルニア州の人口は五十三萬七千餘にして、同八十年の人口は八十六萬四千餘なりしに過ぎず。然るに當時カリフォルニア州にのみ在留せる支那人の数は、十萬乃至十五萬にして、殆んど二割の多きに當れり。而して支那人の多數は、鐵道工事其他工業労働に従事したれば、直ちに白人労働者と利害の衝突を生じ、其反對運動を激成したり。然れども支那人排斥法は、労働者との衝突のみならず、未だ而かく急速に成立せざりしやも知れず。其制定を見たるは全く支那人の汚俗惡習に基けり云ふを得べきが如し。則ち風俗習慣の点より言はんには、支那人は衣食の方式凡て自國のものを固執して、毫も同化に力めざるのみならず、殺人黨の如き、阿片喫煙の如き、賭博醜業を營むもの多きが如き、善良なる風俗を紊るべ

### 四 排日運動の經過原因

#### 一 排日運動の經過

き社會的罪惡を輸入すると甚だしかりしかば、單に労働者のみならず、又カリフォルニア州のみならず、痛く一般米國民の神經を刺激して、放任すべからざるものなるを感せしめたる也。現に一千八百八十年カリフォルニア州に於て、支那人排斥法を制定すべきものなりや否やを州民の投票に問ひたるに、十萬の投票中排斥を非とするもの僅かに八百名に過ぎざりしが如き、ワシントン州タコマ市は一千八百八十四年八月十六日、特に一隻の漁船を仕立て、同市在住支那人を強制的に乗らしめ、海上に放逐して快哉を叫びたるが如き、以て當時支那人に對する米國人の感情の一斑を推想するに足るべし。

(二)日本人排斥運動の起源 支那人排斥法制定せられて間もなく、明治十八九年(一千八百八十六七年)頃より日本人の渡來するもの漸く多く、多少桑港米人の注意を惹けり。而して支那人排斥法制定尙ほ世人の記憶に新なる際なりしかば、其頃屢次の撰舉に加州知事候補者、又は桑港市長候補者として、撰舉を争ひたる醫士オードンネルなるもの、之を政治的に利用せむとして、明治二十年前後に盛んに日本人を排斥せざるべからざるを叫べり。是れ米國に於ける排日の第一聲たり。然れども當時在住せる日本人は、其數も極め少く、又風俗習慣の点に於ても支那人と異なるものありたれば、オードンネルの排日論は何等の反響を喚び起すとなくして止みたり。其後明

雜 貨 店	藥 房	美 術 館	美 術 商 店	食 料 品 商 店	精 米 所	醬 油 廠	骨 節 商 店	骨 節 商 店	實 業 商 店	竹 器 工 業 店	高 價 賣 店	香 煙 販 賣 店	小 賣 物 店	時 計 師	印 刷 業	看 板 業	西 洋 料 理 店	日 本 料 理 店	麵 粉 製 造 所	飲 食 店	酒 販 賣 店	旅 館	魚 下 宿	菓 物 店	菓 物 店	豆 腐 店	湯 屋	球 突 場	
一四〇	一七〇	一〇五	一〇五	二四二	一一一	一一一	二二五	二二五	一一五	四〇〇	三〇〇	四〇〇	二〇〇	二〇〇	一四三	一四三	二〇〇	二〇〇	一四三	一四三	一四三	一四三	一四三	一四三	一四三	一四三	一四三	一四三	一四三
一五三	一五三	一五三	一五三	一五三	一五三	一五三	一五三	一五三	一五三	一五三	一五三	一五三	一五三	一五三	一五三	一五三	一五三	一五三	一五三	一五三	一五三	一五三	一五三	一五三	一五三	一五三	一五三	一五三	一五三
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七
七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七

射 的 場	洋 服 店	洋 服 店	洗 滌 所	刺 繡 業	花 園 業	切 花 店	桂 木 店	土 木 業	運 送 業	鞋 店	農 產 物 市 場	雜 貨 店
二五	八七	五八	一四	一三	九二	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇
二五	九七	七〇	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七
二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
五	七	八	九	七	五	八	八	八	八	八	八	八
七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七

#### 五 在米日本人的宗教教育

右の中最も多きは、カリフォルニア州の三千一百十四戸にして、次はワシントン州の四百六十五戸、オレゴン州の八百十三戸、ニューヨーク市の七十七戸、コロラド州の八十二戸、ユタ州の九十戸を重なるものとし、其他は各地に散布せるものとす。(詳細各地欄参照)

宗教としては到る處に基督教の寺院あれども、二三を除く外は米國傳道會社の補助を受けて存在す。佛教は十年前以前より布教に着手したるものなるが、教勢の發展著し教育としては多くの兒童は公立學校に通學せしめ、到る處日本小學校あり。(各地方宗教教育欄参照)

治二十五年(一千八百九十二年)に至り、桑港サクラメン  
ト街に於て、日本人の經營せる日本洋食店に對し米國人  
料理人給仕人同盟の盛んなるボーイコット行はれ、當時  
の領事珍田捨己同盟の集會に出席陳情して反對運動止み  
しとあり、是れ勞働同盟が日本人に迫害を加へたる嚆矢  
なりとす。而して又同年桑港市學務課は日本人學童に對  
して、隔離教育を施す計畫を立てたるが、後年日米間の  
國際問題となれる桑港學童問題なるものに胚胎せりと  
見做し得べきもの也。然るに是亦領事珍田捨己、太平洋  
沿岸日本人美以教會總理ハリス博士、牧師モンガモリー  
等の熱心なる運動に依りて、實行を見せしめて止みたり。  
其後數年間は何等特記すべき事件なくして経過せるが  
日清戰爭後我國民の海外思想高まりて、頓に渡米するも  
の多かりしと、一方に於ては夙く渡米せるもの事業漸  
く米國人の視聽に觸るに至りたるに依り、日本人の將  
來に注目するものありて、批評の題目たりしかば、漸く  
日本人排斥の聲を生じたり。就中明治三十二年(一千八  
百九十九年)桑港メトロポリタン、テンブルに催せられた  
る日本人排斥大會には、當時の桑港市長ライラン、私立  
スタンフォード大學教授ローズ等出席して排斥論を唱導  
し、甚だしく世人の耳目を聳動せしめたり。明治三十三年  
日本政府が米國移民制限を斷行したるは、之れが爲め  
なりしと疑ふべからず。而して同年日没洗滌所に對する

迫害及黒死病流行に際し、東洋人のみに強制注射を行ひ  
たる不法事件ありたり。

(三)米國勞働同盟と日本人排斥問題 斯の如く日本人排  
斥論は漸く勢力を増し來りたるに相違なしと雖も、畢竟  
カリフォルニア州の一隅に存在するに過ぎざりしが、之を  
米國の國家問題たらしむるに至りたる第一幕は、米國勞  
働同盟の日本人排斥決議なり。明治三十六年セントルイ  
スに開會したる米國勞働同盟は、日本人排斥の可否を決  
するに先ち、日本に於ける勞働状態を調査する必要あり  
となし、ローゼンバーグ外一名を委員として日本に派遣  
したり。而して二名の委員は三十六年末より三十七年に  
掛けて、具さに日本の勞働状態を調査して歸り、三十七  
年シカゴに開かれたる同大會に於て、日本に於ける勞働  
状態は極めて幼稚にして、勞働者の境遇は殆んど牛馬と  
撰む處なしと報告したれば、大會は直ちに日本勞働者は  
排斥せざるべからざる決議したり。此決議は廣く世人の  
注意を促したると共に、加州方面に於ける排日論は頓に  
氣勢を副へ、爾後殆んど毎年の如く、米國議會に日本人  
排斥法案提出せらるるに至りたり。

(四)日韓人排斥協會成る 明治三十八年二月に至り、從  
來穩健の筆を揮ひ、且つ常に日本人に好意と同情とを表  
したる桑港クロニクル新聞は、突然排日記事を掲載し始  
め、連日りの紙上に多くの紙面を割き、針小棒大に日本人

を攻撃すると半ヶ年以上の久しきに及びたり。最初の攻  
撃は徒らに感情的文字を弄するに過ぎざりしが、中頃に  
至り日本人は恐るべき國民なりと云ひ、日本の長足の進  
歩より、更に米國に於ける日本人が最初は勞働者として  
來り、數年の後には小作人又は營業主となり、更に數年  
の後には地主となり、商店主となる事實を擧げ、多數日  
本人の渡來を默視すれば、遂に加州は日本人のものとな  
るべし、故に排斥せざるべからざる論じ、日本人あるに  
あらざれば加州の農業は經營する能はざるの駁論に對し  
ては、日本人なくして經營する能はざるが如き事業は放  
棄するも苦しからざるまで極論したり。而してクロニクル  
新聞の所論は、甚だしく世上の注意を喚起し、其第一  
の反響は加州々會に現はれ、三十八年二月開會中の州會  
は兩院聯合決議を以て、日本人排斥法の制定を國會に請  
願し、第二に桑港に始めて日韓人排斥協會(後に亞細亞  
人排斥會と改む)なるものを設立を見るに至りたり。

(五)學校問題 三十九年四月の大地震及大火災は花の都  
の桑港を一掃したり、災後日本人が續々居住區域に  
侵入し、白人借家人を逐ひ立てたれば、之に對して憤懣  
するもの、又は日本人を毛嫌ひせる近住のもの合して、  
日本人排斥の聲を高むるあり、一方に當時粗末なる身装  
りせる多數の日本人陸續布哇より轉航し來り、從來南マ  
ーケット街の餘り人目に觸れざりし旅館が、火災後に繁

華なるパンネス、アベニュー附近に移轉したる爲め、急に  
世人の耳目を聳動せしむるありて、日本人に對する感情  
益々險惡となり、其極遂に有名な學校問題を惹起する  
に至りたり。學校問題とは世人の知る處の如く、桑港教  
育課が排日思想に驅られ、小學校々舍焼失假校舎の狹隘  
を口實とし、明治三十九年十月十五日以後日本學童を  
も亦た東洋人隔離學校に収容教育すべしと云ふにあり。  
而して此問題は日米兩國の國際問題となり、同年十一月  
商務卿メトカーフ(加州オークランド出身の故を以て撰  
まれ善後策を講せしむるにありたる如し)の特派調査と  
なり、同十二月の有名なる大統領ルーズヴェルト氏の普  
通教書及特別教書(メトカーフの報告に添附したる)とな  
りたりと雖も、元來加州法は他の公立學校と同一設備  
をなすに於ては、蒙古人及印度人兒童の隔離教育を是認  
しあれば、桑港學務課は自己の施設を固く執つて動かす  
輿論も亦妄りに中央政府の州權干渉を非とし、茲に學童  
問題は遂に聯邦政府と地方權又は條約權と州權との權限  
争ひとなれり。而して大統領は到底穩便に時局を解決し  
て、日本に對する條約上の義務を果行する能はざるもの  
と認めたるか、聯邦政府の檢事に旨を諭して、一日本學  
童の父を原告とし、桑港學務課を相手取り、隔離教育命  
令取消の訴訟を起さしめたり。此時に至るまでの大統領  
の態度は極めて立派なるものにして、其教書には公然日

本人に反対するものを目して、彌次馬的暴徒と呼び、日本人に反対する理由を以て、日本労働者が完全なるが故なりと痛罵し、日本人の條約上の權利を擁護するに於て遺憾なき如くなりしが、其態度は忽然一變したり。則ち四十年二月初旬桑港市長シュミツ、同學務課長アルトマン以下課員を召して、學校問題に對する解決の協調を求むるや漸くにして日本學童の公立學校通校權を認めしめたる代りに、日本人排斥の條件を容れたるものゝ如く、二月下旬議會をして移民條令を改正せしめて、日本人の布哇轉航を禁止せしめ、剩さへ日本政府に交渉して直接渡航者さへも極端に制限せしめたり。若し夫れ我外務省の對米方針に至りては、徒らに學童の權利を収むるに急にして、日本人の米國領土内旅行自由權を蹂躪せしめ、且つ在米日本人の發達に打撃を與へたるのみならず、却つて排日問題を大問題たらしめたるものにして、事の本末輕重を誤れるものなりと言はざるべからず。

(六)其後の排日運動 斯の如く排日論者は全然其目的を達し、排斥法制定と同一の制限を日本移民に加へたりと雖も、日本政府の退縮政策と、排日運動の成功とは却つて彼等を増長せしめたるのみならず、一般世人の深甚なる注意を促進し、排日運動と思想とは著しく伸張したり。則ち中央政海に在りては、日本人排斥政策を確立し、毎年議會に日本人排斥法案を提出するあり、又東部の識者

及新聞雜誌にして、日本人問題を論議するもの増加し、地方にありては、毎期の加州々會及四十二年のコロラドネブラスカ、モンタナ、ワシントン諸州々會に排日案提出せられ、桑港市官憲は日本人の酒類小賣販賣を許さざ桂庵、洗濯所營業に制限を加ふるあり。又四十年春より四十一年に掛けて、桑港市民の日本人反對運動最も熾烈を極め、惡童の暴行、洋食店、湯屋に對する暴動等頻々として起り、在留日本人の生命財産の安全は甚だしく危険を感じたるに普く世人の知る處の如し。而して今や移民制限最も極端に行はれて、歸國するもの相續き、代りて來るもの之に副はず、在米日本人の事業は根底より動搖を初め、譬ふべからざる窮狀にあり。

二 排日運動の眞因

排日運動の經過は略ぼ以上の如し、而して之が眞因を探究するに凡そ左の如くなるべし。

一、經濟上より起りたる危愆心

日本に於ける労働者は牛馬に均しき境遇にあり、故に此種移民の米國に米國の労働状態を概観し、生活の程度を低下せしむるものありは専ら労働者側の主張する處なり。而して日本労働者は境遇と共に生活状態を推移せる特性を有し、且つ日本労働者多數の職業は、白人種労働者の好尚せざるか若くは適合せざる農業にして、決して利害の衝突するものにあらずのみならず、日本労働者に依り農業の發達を見れば、他の産業の發達を促進し自然白人労働者の利益を増進するものなるを知らざる也。

日露戰爭に於ける日本の成功は、日本の偉大なる國民たるを示し、又現に米國にあるものは、最初は労働者として來るも數年の後には小作人又は營業主となり、更に數年の後には地主或は商店主となるが如き進歩的移民なるを以て、多數來住を放任すれば遂には加州を日本人の加州たらしむるやも知れずと云ふにありて、専らクロニクル新聞及び知識ある部分の主張する處なり。

ハ、人種的感情に基ける危愆

支那人の風俗習慣を嫌忌する餘り、日本人の風習が全く支那人と異れるを知らず、單に均しく東洋人たる故を以て日本人を忌むものあり、又米國には既に黒人種問題ありて一方ならざる苦心の存するあるに此上更に新なる異族を入れて人種上の紛糾を招くは得策にあらずとするものあり、而して此種の論者は日本政府が些細なる學童問題にさへ大に力痛を入れたるに依りて、多數の日本人來り紛糾を生ずる場合に背後に強大なる政府を有する日本人問題の解決は到底黒人種問題の比にあらざるを深く感じて、豫め將來の紛糾を防ぐを得策なりと確信するに至りたるものゝ如し。

二、布哇日本人の及したる影響

以上三個の憂懼を更に有力ならしむるものは、布哇に於ける日本人の穢風惡俗あり、日本人の性情を擧げて其非を詰れば、必ず反駁す然らば布哇の日本人は如何、加州をして第二の布哇たらしむるは忍ぶ能はざる處たりと。而して非を詰りたるもの遂に復する能はざる也。蓋し布哇に於ける日本人は衣食住極めて野卑なる日本の風俗習慣を墨守して宛然日本の片田舎の光景露出し、日本人と雖も心あるものは聲立てざるを得ず、況んや米國人を以て之を見るに於てや。米國人が布哇の状態を思ひ加州をして第二の布哇たらしめざらむとするは故ありと謂つべし。布哇日本人の穢風惡俗は在米日本人に惡影響を及ぼすの

科學的に分類すれば畧ぼ以上の如く、而して之に加ふるに新奇を衒ひて専ら世人の注目を集むるを怠らざる新聞紙の記事及び多數の投票を得むとして、労働者の歡心に迎合せむとする政治屋の煽動ありて衆愚を動かし、而して米國は極端なる輿論政治なるを以て、衆愚は遂に國家の政策を動かすに至りたる也。

日本人排斥の原因に就て、注意を要するは全く支那人排斥の原因と其根據を異にする也。則ち支那人排斥の原因は其風俗習慣の劣惡に基き、文明人に齒するを容るさすと云ふにあれば、苟も米國の善良なる風俗を維持せむとするものは非の加ふべきなし。然るに日本人排斥の原因の一として布哇日本人の汚俗惡習を引例するものあれば、未だ曾つて米國に於ける日本人の習俗の爲めに排斥すべしと云ふ論者あるを聞かざ、全く日本及日本人に對する誤解若くは無用の危懼を抱けるに過ぎず。従つて日本人排斥に反対するものも亦た多く、決して支那人に對する如くならざる也。

ホ、歐洲外交の餘沫

最後に注意すべきは歐洲外交の餘沫なり、蓋し歐洲の某々國が日米兩國の關係を沮害せむとするや久し、恰か排日運動を利用して兩國の親交を害はしめんとし種々ふる手段を弄したるは決して掩ふべからざる事實也。

三 排日運動の解決手段

世人動もすれば排日運動を以て、頑執振くべからざるもの如く推想すも雖も、排日運動の真因以上如くなれば、其解決は必らずしも難事にあらず、只從來適切なる方法の講せられざりしのみ。素より日本政府及國民が排日運動に對して、苦心する處あるは知らざるにあらずも、其真因に就て知る處なきか、抑も亦苟安姑息を事とする爲めか、事後を善くするに専らにして、未だ曾つて根本的に之が解決手段を講じたる跡を認めず。故に排日運動の跡を絶たしむる能はざるのみならず、却つて之を助成せしめたる傾きなしと云ふべからざる也。

解決するの外あらざる也。第三に日米兩國人の資本を合せて共同事業を營み、且つ商業關係を密接ならしむるにあり。從來日米兩國の關係は歴史的親交と云ふが如き、極めて漠然たるものにして、實際的利害關係に至りては日本が賣り込み側にありて、甚だ脆弱なるが故に何等かの支障起りたる場合には直ちに威嚇せらるるを以て、根底より兩國の關係を緊密ならしめむには、勢ひ實際的利害の關係を深からしめざるべからざる也。實業家訪問交換の如きは蓋し機宜を得たるもの也。第四に米國労働者との調和を圖らざるべからざる也。米國の労働者は日本に於ける労働者の境遇が、牛馬に均しきを知るもの多けれども、日本人の特性として周囲の狀態に同化せられて、自然に推移するものなることを知るは少なし。而かもワイオミング州に於ける日本鐵夫が、米國労働者と共に労働同盟を組織し、極めて美はしき關係あるを知らば、兩國労働者の調和は決して望み難きにあらざるなり。現に四十二年の米國労働同盟の大會に於て、日本人の加盟を許すべしとの議案出でたるが如き、不幸にして桑港方面代表者の故障に依りて委員會に非られたりと雖も、一部労働者が日本人を知り初めたる徽章にして、日本人の乗すべき好機にあらずや。其他一層日本人の風紀を振肅して、米國民の信用を高むるが如き、妻帯者を増して土着心を強めしむるが如き、官民力を協せて之が解決に盡さば、目的を達すると決して難事にあらざる也。

第三編 加州の日本人

一 緒 言

上 カリホルニヤ州概観

(イ)加州の沿革 カリホルニヤ州の歴史は、一千五百三十三年ホーチナム、ジメンズに依りて發見にせられたるに創まれり。二年の後コーテズなるもの半島の南端に上陸し、殖民地を起してカリホルニヤと稱したり。一世紀の後ちバスケーン海岸に沿ふて北上し、サンディゴ及モントレイ兩海を測量したり、一千五百七十年サーフランシス、ドラク島嶼及海岸を探索しつゝ海岸に沿ふて更に北方に來り、桑港灣の北に當る一灣を發見せり、今尚ほ其姓を留せるドラケ灣則ち是れ也。其後二百年を経たる一千七百六十九年、當時のカリホルニヤ知事ガスパー、デ、ポートル王命を帯びて、サンディゴ及モントレイ灣を占領し、且つ築城せむが爲めに探見を企て、教父ジュニペラ、シエラ寺院を建設せむが爲めに之に伴へり。然るにポートルは一千七百六十九年七月、サンディゴに達し、更にモントレイ灣に向ひたれども、之を見出す能はず、却つて北方の桑港灣を發見したり。而して一千七

百七十年五月六月に涉る第二回の探見に依りて、モントレイに達し、其六月三日モントレイ兵營及寺院を建設し、一千七百七十六年九月十七日桑港に兵營を、同年十月八日桑港に寺院を建立したり。一千八百二十二年墨西哥は西班牙との交渉成りて、其探見したる地点以北までも屬領地と稱し、同時に露西亞は北より南下して諸所に殖民地を起し、カリホルニヤは暫らく墨、露兩國の支配に分たれたり。合衆國政府は墨西哥との戰爭避くべからざるを覺るや、フレモントを送りて探見踏査せしめたるに、容易に取得すべきを發見せり。一千八百四十六年ソノマに居住せる米國人起ちて墨西哥の官吏を捕へ、之を捕虜とし、墨西哥の覇權を脱したる表章として熊の旗を翻せり。二年の後墨西哥は其北方の國境以北の地を米國に割譲せり、加州を一州となすべしや否やは、政治問題となり八釜しかりしが、一千八百四十九年憲法を制定し、其中奴隸禁止を宣言し、一年の後ち則ち一千八百五十年一月二十日シヨン、ダブリン、マーシャルなるものサターミールの急流に於て金塊を發見し、其後一年ならずして人口頗る増加したり。

(ロ)加州の地勢 カリホルニヤ州の北境は山嶽重疊たり、最も高く聳へたるシヤスタ山は高さ一萬四千呎あり。シヤスタ山より恰かも兩手を擡げたるが如く二大山



脈蜿蜒として南に走るあり。東方ネバタ州と境をなせる山脈をシエラ、ネヴァタと云ひ、西にありて海岸に沿へるものを海岸山脈と稱す。而して此二大山脈は更に南方に於て相合し、カリホルニア州を南北に横断せるテハチャ...

別に換算すれば九千九百八十二萬七千二百英町也。内約六千萬英町は不毛の地にして、四千萬英町は耕作に適す而かも千九百年に於ける耕作地面は、一千一百九十一万九千英町に過ぎず。

Table with 4 columns: 地名 (Place Name), 公私財産総額 (Total Public and Private Property), 平均一人の財産額 (Average Property per Person), 平均一人の負債総額 (Average Total Liabilities per Person).

(備考) 合衆國、英國及佛蘭西の財産は一千九百二年の調査に依りカリホルニア州の財産額は一千九百四年の調査に基けり。更に各郡の面積及一千九百八年に於て公租賦課の財産額郡別を示せば左の如し。

Table with 3 columns: 郡名 (County Name), 面積 (Area), 課税財産額 (Taxed Property Value).

Table with 3 columns: 郡名 (County Name), 面積 (Area), 課税財産額 (Taxed Property Value).

郡名	廣	表	課税財産額
チユールム	四、九三五	方哩	二五、八三〇、九七一
ベンチユラ	二、三三三		七、六七九、六七七
ヨロロ	一、八五〇		一三、〇七三、五三九
ユロロ	一、〇一七		一八、二九八、二五五
ユロロ	六二五		七、一三七、六七二
合計	一四八、六九三		一、九九〇、二二二、六〇一

下 加州日本人の發達

(イ) 日本移民の濫觴 熟ら米國に於ける日本人の起原を討ぬるに、公務を帯びて此國に在留したるもの、又は漂着したる漁夫を別として、日本人が米國に移住したるは、明治二年に創まれり云ふを得べきが如し。維新當時幕府の御雇に蘭人スネールなるものあり、頗る野心に富み、徳川幕府のために畫策到らざる處なかりしと雖も、時運非にして幕府亡び、明治政府新に成るに及び到底事の爲すべからざるを覺り、新たな運命を新興北米の天地に試みんと欲し、米國に在りては當時已に奴隸は禁止せられ居たれども、邊僻太平洋沿岸には、多數の支那人契約労働者あるを知り、日本労働者を率ひて渡米せむと企てたり。即ちスネールは鎖國攘夷の夢未だ覺めず、海外に渡航するを痴疑するものに對して、甘言以て之を誘ひ、其第一回は明治二年二月に、其第二回は同年十月に、各々二十餘名の我労働者を伴ひ來り、是れ

米國に於ける我移民の濫觴也。我労働者渡米の條件は之を審にする能はずと雖も、八ヶ年労働に従事すべき契約を以てしたる事丈けは明か也。野心家スネールが我労働者を米國に誘ひしは、ゴールドヒール金礦を開掘せむとするにありしが、其計畫は美事に敗れて金坑は全く廢滅に歸したれば、スネールは逃亡し、我労働者は離散して名狀すべからざる窮狀に陥り、第一回日本移民は全然失敗に了れり。

(ロ) 水夫時代 第一回日本移民は斯の如く失敗して茲に日本移民の渡米は一頓挫を來たし、暫らく移民としての渡米あるを見せ、只僅かに船乗り水夫の脱船して上陸したるものと、歸米する米國人に伴はれて來るもの三五ありたるのみ。則ち明治四年岩倉大使一行が桑港に着したる砌り、在留本邦人に會したとて、殆んど總てのものを召集したるに、會するもの僅かに三十六人なりしに見れば、當時の在住者は四十名の上に出でざりしを知らむ。越えて明治七年高木桑港領事が外務省に致したる報告に依れば、當時カリフォルニア州に在住したる本邦人は男六十八、女八、幼兒四、合計八十八人と注せられたり次に明治十一年の天長節に際し、柳谷桑港領事が特に清酒及錫を日本より取り寄せ、在留民の總てを招待して盛んなる祝宴を催したるに、會するもの七八十名、米國に於て初めての天長節祝賀會なりしと共に、又初めての日に

本酒饗宴たりしなり。夫れより明治十三年七月、帝國軍艦筑波が練習航海として來航したる際、支那教會の下層にありたる福音會に於て歓迎會を催したるに、會するもの百五十餘名なりしと云ふ。而して明治十七八年頃カリフォルニア州に在留したるもの正確に知り難きも、古老の説く處を綜合するに四百を下らざり、五百の上に出でざりしものゝ如し。斯の如く在米同胞は僅少なながらも、漸次其數を増したるが、中には米人に連れられて來りたる奴僕、學事に志せる青年ありたりと雖も、概して外國船に購着せられて來り、置き去られたるもの、又は自ら好みて脱船したるもの其の多きを占められたれば、假りに之を水夫時代と稱す。而して當時に於ける日本人の職業と云へば多くは桑港及其附近に於ける家内の労働者にして、明治十六七年の頃始めてヴァカビルに三五日本労働者の果物園に出没したるあるのみ。日本人の狀態が斯の如く憐れ慕なきものたりしのみならず、桑港も亦甚だ見すばらしきものにして、當時何人とも雖も現在の如き盛大を夢むるものなかりしと云へり。序でなれば其當時に於ける桑港の狀態を畧叙すれば、明治五六年の頃まで、今のパレス、ホテルのある處は、板圍ひせる塵捨て場にして、ゼームス、フラッド、ビルデングの現存する處(パウエル街とマーケット街の角)は小高き丘陵にして、好箇の兒童の遊戯場、サター街以北メーション街以西は、一体の砂山

にて三五の小屋點在したるのみなりしと云ふ、以て其一斑を察すべし。

(ハ) 書生時代 明治十八年福音會にありし美山貫一歸朝して、北米自由の郷を高唱し、苟も有爲の青年が驥足を延ばすの地は、之を措て他に覓むべからずと吹聴したれば、年少氣鋭の青年翕然として之に應じ、明治十八年より十九年に掛けて、渡米したる青年頗る多く、明治二十三年に至りて益々多く、之に加ふるに政治上に失落したる壯士輩の渡米したるもの亦尠からざり、漸次在住區域をも伸長して、南下せるものはローサンゼルスに達し、北に向ひたるものはシヤトル、タコマより英領晚香坡に及べり、而して太平洋沿岸に在住せるもの數一千五百を下らざりき。其當時に於ける在留民の種類は、凡そ三大別するを得、一は明治初年より在住したるものにして、多くは家内の労働に従事するが、若くは附近の農園に出でて働き、其二是純粹の學生にして、學僕として自活しつゝ研學に志し、其三是政治上の關係より渡來せるものにして、所謂天下の有志家となり濟まし、大は天下國家の經綸より、小は在留同胞の時事に容喙して得々たり。第一のものは多く下町組となり、第二のものはホームとする教會に立て籠り、第三のものは準政社と認むべき團體を組織して、互に相抗争して下らざる勢ひを呈し而して演舌、討論盛んに行はれ、ミメオグラフィ刷り定期

刑行物漸く用ゐらるゝに至りたり。故に第二種の學生と第三種の壯士を總稱すべき書生最も羽振りよし、之を書生時代と稱するは已むを得ざる也。今日古老の渡米者と稱せらるゝもの及び米國にありたるものとして、現下故國に名を成せるもの多く此時代に在留したるものとす。

(二) 日本移民の飛躍 明治二十五年の頃より労働者の渡來せるもの漸く之れあり、日清戦争に依り刺戟せられたる國民は、頗る海外渡航熱を生じて戦後渡米者益々多きを加へり。然るに米國に在りては、共和黨のマクキンレー氏クリブランド氏に代りて大統領となり、保護主義の關稅政策を採りたれば産業一時に勃興し、一方には一千八百八十二年に制定したる支那人排斥法漸く効果を生じて、農業労働者缺乏を感じたる際なりしかば競ふて日本人を便役するに至り、而して加州の主産物たる果物及野菜の耕作には、日本人最も適したるに、當時の労働者は勤勉柔順なりしが故に、日本人の聲價は頗る高まり、加州の農園には、日本人労働者なるべからざるの聲此頃より起りたり。其後明治三十三年米國政府の交渉に依り日本政府は一時渡米労働者に制限を加へたりと雖も、四十年日米兩國政府の移民禁止協約を見るまで本國より渡米せるもの、布哇より轉航せるもの、加奈太又は墨西哥國境を踰へて入國したるもの年々多く、加州に於て到らぬ限なく散布したるのみならず、山中部諸州

に侵入し農に商に驚くべき發展を遂げたり、以下項を分ちて之を記述せむ。

## 二 加州日本人々口

### 一 在加州人口の増加

カリフォルニア州の人口は驚くべき勢ひを以て増加しつゝあり、米國の一州となりし一千八百五十年には、九万二千九百九十七人に過ぎざりしもの、約六十年を経たる一千九百八年の概算に依れば、二百五十六万四千三百六十三人なりと云ふ。今人口増加の趨勢を示せば左の如し

年 人口數

- 一九〇八年 (概算) 九二、五九七人
- 一八八〇年 三、七九九、九九四
- 一八七〇年 五、六〇、二四七
- 一八六〇年 八、八〇、六九四
- 一八五〇年 一、二〇八、一三〇
- 一八四〇年 一、四八五、〇五三
- 一八三〇年 二、五六四、三六三

(備考) 一千九百年までは米國の人口調査(センサス)に據り一千九百八年度のものは加州ステート、ホード、オブ、トレードの概算に據り、更に加州ステート、ホード、オブ、トレードの概算に依り、一千九百八年に於ける人口郡別を示せば實に左の如し

郡名	人口	首都	首都の人口
アラバマ	三、三〇〇	モービル	二〇〇,〇〇〇
アラバマ	三、三〇〇	モービル	二〇〇,〇〇〇
アラバマ	三、三〇〇	モービル	二〇〇,〇〇〇

郡名	人口	首都	首都の人口
カリフォルニア	2,000,000	サンフランシスコ	110,000
カリフォルニア	2,000,000	サンフランシスコ	110,000
カリフォルニア	2,000,000	サンフランシスコ	110,000

郡名	人口	首都	首都の人口
サンフランシスコ	400,000	サンフランシスコ	110,000
サンフランシスコ	400,000	サンフランシスコ	110,000
サンフランシスコ	400,000	サンフランシスコ	110,000

### 二 加州日本人の増加

更に續りてカリフォルニア州に在住する日本人の數を調査するに、明治二年蘭人スネルが四十餘名の日本労働者を連れ來りたるは既に記したり。其以前在住したるもの

郡名	男		女		計
	米國生	日本生	米國生	日本生	
アラメダ市	五八五	一三〇	四八五	一〇〇	一、〇〇〇
バークレー市	四九三	一五七	四一〇	一五七	一、〇〇〇
その他	三、四一〇	六、一五九	三、九一〇	九、一五九	一〇、〇〇〇
計	九、七〇八	七、八二六	八、二〇五	一〇、二七六	一八、〇〇〇
サンマテオ市	六八	二四	六八	二四	一六〇
サンタローザ市	三三七	一一二	三三七	一一二	八〇〇
その他	七、一八九	二、七一一	七、一八九	二、七一一	八、〇〇〇
計	八、一九〇	五、五二七	八、一九〇	五、五二七	一四、〇〇〇
ソラノ市	六四一	三三八	六四一	三三八	一、〇〇〇
その他	二、四一四	一、〇〇〇	二、四一四	一、〇〇〇	三、〇〇〇
計	三、〇五八	一、三三八	三、〇五八	一、三三八	四、〇〇〇
ナパ市	一一一	一〇	一一一	一〇	二〇〇
その他	三、三三八	一、二二〇	三、三三八	一、二二〇	四、〇〇〇
計	三、四九九	一、三三〇	三、四九九	一、三三〇	四、〇〇〇
ワイナード	二二九	一	二二九	一	三〇〇
計	四、八八九	一、三三〇	四、八八九	一、三三〇	六、〇〇〇

郡名	男		女		計
	米國生	日本生	米國生	日本生	
アラメダ市	一、四三二	二六三	一、四三二	二六三	一、六九五
サンマテオ市	一、四三二	二六三	一、四三二	二六三	一、六九五
その他	二、八六六	五二六	二、八六六	五二六	三、三九二
計	五、七三〇	一、〇五二	五、七三〇	一、〇五二	六、七八二
サンマテオ市	一、四三二	二六三	一、四三二	二六三	一、六九五
サンタローザ市	一、四三二	二六三	一、四三二	二六三	一、六九五
その他	二、八六六	五二六	二、八六六	五二六	三、三九二
計	五、七三〇	一、〇五二	五、七三〇	一、〇五二	六、七八二
サンマテオ市	一、四三二	二六三	一、四三二	二六三	一、六九五
サンタローザ市	一、四三二	二六三	一、四三二	二六三	一、六九五
その他	二、八六六	五二六	二、八六六	五二六	三、三九二
計	五、七三〇	一、〇五二	五、七三〇	一、〇五二	六、七八二

其後の調査に依ると明治三十七年十二月に於て、四万一千六百十五人、明治三十八年十二月に於て、四万二千三百四十四人、明治三十九年十一月に於て、四万九千五百九十六人、明治四十年十月に於て、五万七千七百〇八人、明治四十一年八月に於て、六万〇七百十人（男五万二千六百三十三人、女五千四百七十一人、男児一千三百三十三人、女児一千五百〇二人）なりき。

加州在住者数  
 明治十一年 二二〇  
 同 十三年 二七〇  
 同 十五年 四二〇  
 同 十七年 五〇〇  
 同 十八年 五〇〇  
 同 二十年 一、〇〇〇  
 同 二十三年 一、〇〇〇  
 同 二十五年 一、〇〇〇  
 同 二十八年 一、〇〇〇  
 同 三十年 一、〇〇〇  
 同 三十二年 一、〇〇〇  
 同 三十五年 一、〇〇〇  
 同 三十八年 一、〇〇〇  
 同 四十一年 一、〇〇〇

と数は明かならざれども、恐らく三五人に過ぎざりしなるべし。記録として徴すべきは、明治七年高木桑港領事官が其當時加州に在住したるもの数を男六十八、女八、幼兒四合計八十と外務省に報告したるに初まれり。爾後明治三十七年に至るまで精確なる調査をなしたるをなし、雖も、古老の談話其他を酌量すれば畧ぼ左の如くなりしに似たり。

三 現在の加州日本人數

而して明治四十二年十月、本社調査したる所に依ればカリフォルニア州に在住する日本人の總數は、五萬五千九百〇一人にして、内男四萬七千三百一人、女五千二百七十一人、米國に於て出生したる男児一千四百三十一人、同女児一千四百二十四人、日本に於て出生したる男児二百五十七人、同女児二百七十八人なり。今之を各郡別に示せば左の如し。

郡名	男		女		計
	米國生	日本生	米國生	日本生	
アラメダ市	一、四三二	二六三	一、四三二	二六三	一、六九五
サンマテオ市	一、四三二	二六三	一、四三二	二六三	一、六九五
その他	二、八六六	五二六	二、八六六	五二六	三、三九二
計	五、七三〇	一、〇五二	五、七三〇	一、〇五二	六、七八二



郡名	男		女		男児		女児		計
	米國生	日本生	米國生	日本生	米國生	日本生	米國生	日本生	
パネツト	八五	一八	一〇	...	...	...	...	...	...
サンディエゴ	三三五	七七一	一五〇	...	...	...	...	...	...
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
合計	四七、三〇二	一、二二〇	一、三二五	...	...	...	...	...	...

之を明治四十一年在住者數に比較するに、男に於て五千三百三十二人を減じ、婦人は百六十人を増し、米國に於て出生したる男兒は百四十人を増し、同女兒は百三十九人を増し、日本に於て出生したる男兒數は十五人を増し、同女兒は六十五人を増し、全体に於て四千六百〇九人を減じたり。此減少は日本より來りたるものよりも、米國より日本に歸りたるもの多きと、他州に移りたるもの少からざるに基けりと想はる。

### 三 加州日本人の農業

#### 一 加州農業概観

(イ)加州農業の發達 カリホルニヤ州の地味及氣候は、小麦、玉蜀黍等所謂麵粉材料に屬すべき穀物の生産に適したりと云ふべからずと雖も、果實及野菜等の栽培に最も適し、此點に於て米國何れの州もカリホルニヤ州に及ぶものなし。今則ち農業發達に就て見るに、一千八百五十年に於て農園の數、僅かに八百七十二なりしもの、一千八百六十年には、一萬八千七百十六となり、一千八百七十年には、二萬三千七百二十三となり、一千八百八十年には、三萬五千九百三十四となり、一千八百九十年には、五萬二千八百四十四となり、一千九百年には七萬二千五百四十二となり、一千九百年の概算に依れば

實に十萬五千の多きに及ぶべしと云ふ。試みに一千八百五十年と一千九百年とに於ける農園數、反別、及び價格を示せば左の如し

農園數	一千八百五十年	一千九百年
農業地反別	三、八九四、〇〇〇英町	二八、八二九、〇〇〇英町
耕作地反別	八二、四〇〇英町	一一、九一九、〇〇〇英町
農園價格	七、三九九、〇〇〇弗	一、六三〇、〇〇〇弗

(ロ)加州農業の位置 一千九百年に於ける米國の農産額は、七十七億七千八百萬弗にして、其重要産物を擧ぐれば、玉蜀黍十六億一千五百萬弗、枯草六億二千一百萬弗、小麦六億二千萬弗、燕麥三億二千一百萬弗、裸麥八千六百萬弗等也。翻つて同年度カリホルニヤ州の農産額を見るに、二億七千三百八十三萬四千五百九十四弗也。而して其主要農産物を擧ぐれば、果物七千九百六

加州の日本人農園



〔加州の果物園〕

十五萬九千二百四十七弗、葡萄二千四百八十五萬三千五百弗、野菜二千二百二十五萬七千九百十二弗、デージー類

種 類	一八五五年	一八五六年	一八五七年	一八五八年
ポテト類	五、七七九、一四五			
豆類	六、四九三、六五〇			
オニオン	九、八〇〇、〇〇〇			
ハツプス	一、〇五二、二八〇			
種物其他	一、六〇〇、〇〇〇			
小計	二三、三六六、〇四〇			
合計	二七三、八三四、五九四			
種 類	一八五五年	一八五六年	一八五七年	一八五八年
櫻 實	三、九七五、〇〇〇	三、九七五、〇〇〇	三、九七五、〇〇〇	三、九七五、〇〇〇
アプリコット	二、九七五、〇〇〇	二、九七五、〇〇〇	二、九七五、〇〇〇	二、九七五、〇〇〇
桃	一、九七五、〇〇〇	一、九七五、〇〇〇	一、九七五、〇〇〇	一、九七五、〇〇〇
アプリコット	一、九七五、〇〇〇	一、九七五、〇〇〇	一、九七五、〇〇〇	一、九七五、〇〇〇
梨	一、九七五、〇〇〇	一、九七五、〇〇〇	一、九七五、〇〇〇	一、九七五、〇〇〇
種 類	一、九七五、〇〇〇	一、九七五、〇〇〇	一、九七五、〇〇〇	一、九七五、〇〇〇
合計	一、九七五、〇〇〇	一、九七五、〇〇〇	一、九七五、〇〇〇	一、九七五、〇〇〇

(イ)生果物の過去五年間の輸出高

(ロ)干果物過去四年間輸出高

更に如何なる農産物が發達しつゝあるかを知るは無用  
にあらざるべし、左に重なる農産物の最近の産額を摘記  
せむ。

〔備考〕此表は生産者が市場に賣捌きたる金額を示し、多くは加州以外に輸出されたものにして、生産者の自家用は加はらざる者多し

一千三百三十八万四千七百三十八弗、麵粉材料類五千三百八十五万八千一百二十四弗、枯草類三千二百二十二万九千八百八十三弗、其他二千三百三十六万六千〇四十弗なりとす。今試みに一千九百年度に於ける重なる農産物の米國全体と加州との産出額を比較すれば左の如し

種 別	米 國	加 州
葡萄	一四、〇九〇、九三七	五、六二二、八二五
果物	八三、七五一、八四〇	一四、五二六、七八六
小麥	三六、九四五、三三〇	二〇、一七九、〇四四
燕麥	二一、七〇九、五八四	一、七〇〇、三九七
玉蜀黍	八二、八二五、八二六	七、〇〇〇、八九四
大豆	七、六三四、二六二	一、〇二二、五八六
砂糖大根	三三、三三三、二四〇	一、五五〇、二四三
野菜	二四、一七〇、一四八	七、一八六、五七八

(備考)此表は一千九百年度の生産額にして現在とは甚だしき差異あるも、最近の米國全体の産額を知るに由なきが故に、假りに茲に掲げたり、又以て大体の比例を知るに足らむ

依之看之、加州農業主産物は、果物、野菜、及砂糖大根等にあるを知るに足るべく、所謂麵粉材料類の生産地を以て稱すべからざる也。

(ハ)重なる加州の農産物 一千九百八年度のカリフォルニア州に於ける農産額左の如し

種 別	價 格
果物類	一二、三〇六、四〇〇
生果物類	二三、五四五、四〇〇
柑類	一一、九七三、〇六〇
乾果物(子葡萄及プルムを除く)	二、五〇〇、〇〇〇

種 別	價 格
鐵詰果物	一五、六二四、三八七
ナッツ類	一、八五〇、〇〇〇
其他	二、三六〇、〇〇〇
小計	一九、五〇〇、〇〇〇
葡萄類	七、九六五、九二七
食糧葡萄	三、八一六、〇〇〇
干葡萄	三、六〇〇、〇〇〇
葡萄酒	一、五、六八七、五〇〇
ブランデー	一、七五〇、〇〇〇
小計	二四、八五三、五〇〇
野菜類	四、三〇三、二〇〇
生野菜	三、九五四、七一二
罐詰野菜	一、三〇〇、〇〇〇
小計	二、二五七、九一二
デージー類	二五、二二四、一五〇
バター、チーズ類	二、五五九、七三三
鶏卵其他	八二五、〇〇〇
小計	三八、六〇八、八八八
穀類	二六、八四一、三九四
小麥	一八、八九四、九六一
燕麥	六、五二七、一四〇
粟	一、四四六、四四九
玉蜀黍	四四八、二八〇
其他	五三、八五八、二二四
小計	三二、三二九、八八四
馬匹飼料	七、四六〇、九七五
枯草其他	
其他	
砂糖大根	

加州の日本人農園



〔サンノゼの種蔗畑〕

ブルーム	六五	一、二〇〇	七五〇	一、二〇〇
油	一八五	一五〇	一七〇	一、二〇〇
グレイプス	一五〇	一五〇	一五〇	一、二〇〇
フィッゲス	三、五〇〇	三、五〇〇	三、五〇〇	三、五〇〇
(備考) 此表にはプルーン及干葡萄を除く				
(ハ) 過去六ヶ年プルーン輸出額				
一九〇三年	八二、五〇〇	一九〇六年	九〇、〇〇〇	噸
一九〇四年	六七、五〇〇	一九〇七年	四〇、〇〇〇	噸
一九〇五年	三七、五〇〇	一九〇八年	二五、〇〇〇	噸
(ニ) 過去六ヶ年間諸果物輸出高				
一九〇三年	二、七八三、五〇四	一九〇六年	三、一〇九、二二五	箱
一九〇四年	二、八四〇、六一四	一九〇七年	二、九八二、九八五	箱
一九〇五年	三、二八三、二九六	一九〇八年	四、七三三、六六三	箱
(ホ) 過去六ヶ年間干葡萄生産額				
一九〇三年	六〇、〇〇〇	一九〇六年	四七、五〇〇	噸
一九〇四年	三七、五〇〇	一九〇七年	六〇、〇〇〇	噸
一九〇五年	四三、七五〇	一九〇八年	六〇、〇〇〇	噸

序なれば加州と他の國內著名の葡萄生産州と比較すれば左の如し

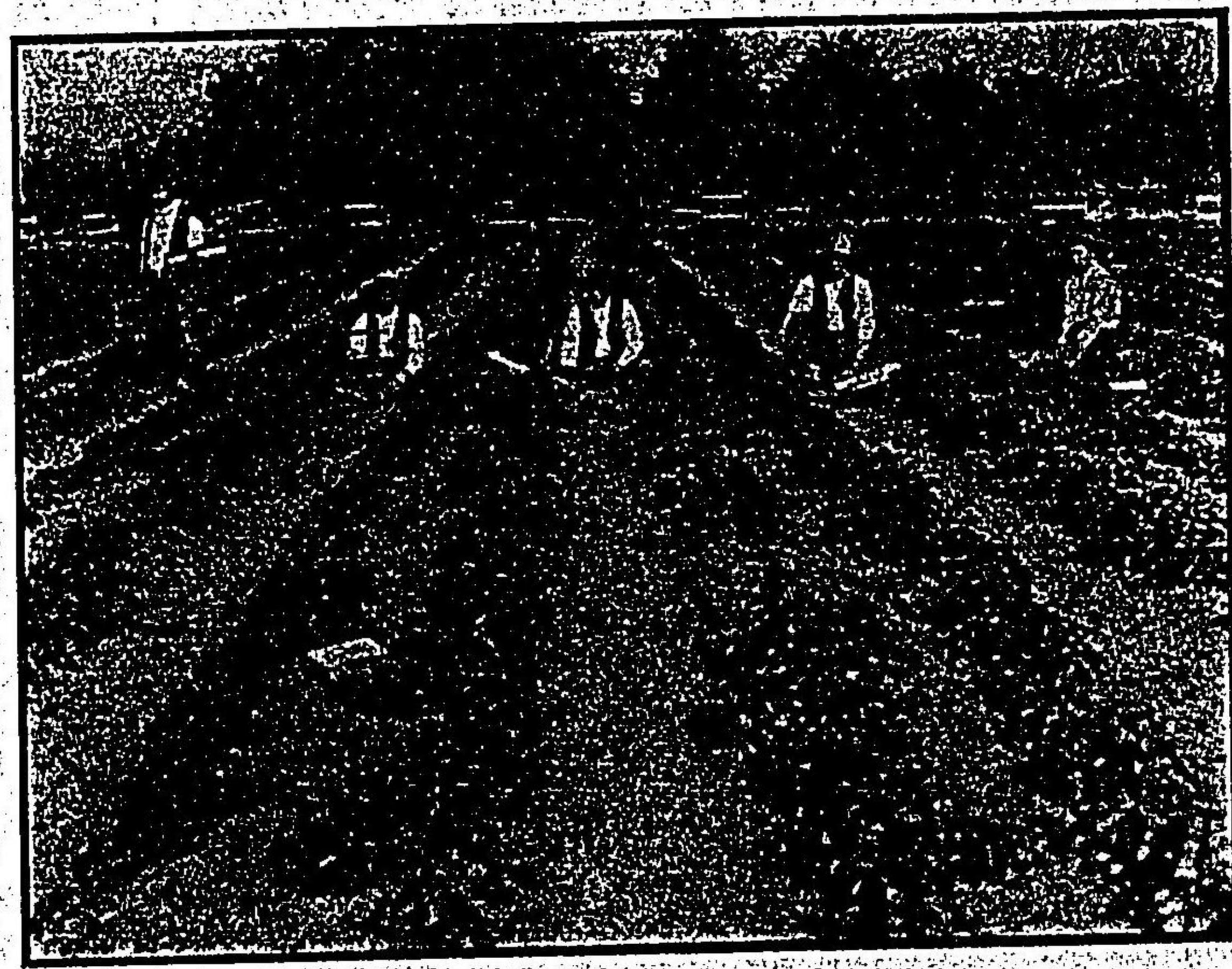
カリフォルニア州	九〇、六八六、四五八
ニューヨーク州	二九、六三六、二一六
オハイオ州	一三、七七一、八〇〇
カンザス州	五、七六二、七〇〇
ミシガン州	五、二三二、四五〇
ペンシルヴァニア州	四、七一一、〇三九

則ち他の五州を加するも遂に加州に及ばざるを知るべし

在住して毫も農園事業に志すものなし。而して日本人にして農園に入りたるは、曾て函館に宣教師たりしハリス師(監督ハリスにあらず)に伴はれて來り、ソラノ郡ウイスターズに住へる某なるもの、明治十六年ヴァカビルに轉じ、果物摘採の勞働に服したるを始祖とすべきが如し其後同地方果物園に就働する日本勞働者は、年々増加したるのみならず、更に北進してサクラメント附近に入り込みに至れり。蓋しヴァカビルは比較的桑港に近かりしに、桑港方面のものが先づヴァカビルに踏み出たせ故に、自然の勢ひなりと云はざる可からず。而してヴァカビル方面に後ると兩三年、明治十九年の収穫季節に至り、三五の日本勞働者サンタクラ、郡に入り込みたり。然れども當時の日本人は農を以て身を立つるの志望あるにあらざり、寧ろ農業に従事するを耻辱とし、比較的高給を以て誘ふるも應ずるものなく、只桑港に於て面白からざるもの、暫らく地方に通ると云ふに過ぎざりしもの、如し。

明治二十二年の夏、果物摘採期に約六十名の日本勞働者ヴァカビルの果物園に集合したり、日本勞働者が果物園に集りたる空前の多数なりと稱せらる。而して其翌々明治二十四年、青森縣人中畑六郎等數十の勞働者を率ひてフレズノに入れり。是れ同地方に日本勞働者を見たる

加州の日本人農園



[加州の日本人農園]

葡萄摘採季節の如きは、四五千の勞働者集合したりと云

始め也。當時同地方の農園勞働は、支那人の獨占に歸し

(一) 過去五年間葡萄酒及ブランデー生産額

年 度	ドライワイン	スイートワイン	ブランデー
一九〇四年	一五、八九、三三三	三、五二、八八五	四、四〇、八八五
一九〇五年	一〇、〇〇〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇、〇〇〇	一、三三〇、〇〇〇
一九〇六年	一〇、〇〇〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇、〇〇〇	一、三三〇、〇〇〇
一九〇七年	一〇、〇〇〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇、〇〇〇	一、三三〇、〇〇〇
一九〇八年	一〇、〇〇〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇、〇〇〇	一、三三〇、〇〇〇

依此看之、加州の農業は果物及び葡萄栽培に於て著しき發達を遂げつゝあるを知るに至るべし

二 加州日本人農業の發達

加州日本人の農業の發達は、之を五期に分つべく、第一期は純粹なる農業勞働者時代にして、明治廿年前後に始まり、第二期は請受耕作の開始にして、明治二十八年に始まり、第三期は取獲分配耕作の開始にして、明治三十年に始まり、第四期は現金借地耕作にして、明治三十二年に始まり、第五期は農地購入の開始にして、明治三十五年以後に屬す。今左に順序を追ふて少しく記述する處あらむ。

第一期、勞働者時代

緒言に於て述べたるが如く、日本勞働者のカリフォルニア州に移住し始めたは明治三年にして、其後米國人に連れ來られたるもの及び外國汽船に乘組みて來り置き去りせられ、又は自ら好みて殘留したるもの漸次其數を増したりと雖も、是等のものは桑港市若くは其附近の都市に



ふ。然るに同地方生産の葡萄の多くは、干葡萄となし、短時日の間に収穫を完了せざるべからざるが故に、敏捷にして激務に耐ゆる労働者ならざるべからざる。是れ日本労働者の特長の存する處なれば、葡萄耕作は一度日本労働者を試用するや、其大に用ゆべきを知りて推賞措かず、數年ならず支那人を驅逐して日本人に代はるに至りたり。而して日本労働者の優勝なるを示したるは單にフレスコのみならず、パカピルの果物園は云ふまでもなく、北はサクラメント地方の果物、葡萄、豆類の栽培耕作に、南はサンノゼ方面の果物園に、其他到る處に於て農園労働界に優勝の地歩を占むるに至りたり。蓋し當時の労働者は勤勉柔順にして、日本人の敏捷なる長所を發揮して、其短弊を隠蔽するとなかりしに據れり。而して當時労働者の給料は、農作物収穫季節は大概一日一弗にして、冬期は九十仙内外に過ぎず、又其食物の如きも多く麥粉とベーコンを用ひたる團子汁を常食とし、日本食の如きは夢想だもする能はざりし處也。

第二期、請負耕作の開始

日本人が農園労働者として、其能力を認められ、到る處に於て重寶がらるゝに及びたるの時、恰かも加州の農産界は甚だしく活躍を初め、之に反し唯一の農園労働者たりし支那人は、一千八百八十二年に制定せられたる排斥法漸く効果を奏して、次第に其數を減るに至り、少く

とも加州農業の急需に應ずる能はざりしは、日本人の幸福なりしと云はざるべからざる。日本人が農園労働者として扱へばからざる根據を植へ付けたるは、實に此機會に逢着したるにあり。而して其頃労働賃銀は今日に比するに遙かに低廉なりしと雖も、前段記述したる如く、當時の労働者は極めて勤勉質實なりしが上に、娯樂を覺むる機關もなかりし故に、日本に送金するを以て唯一の慰樂としたり。日本に於て之を見聞したる少壯者は勢ひ心を動かさざるを得ず、特に日清戦争は我國民を刺激して海外思想を油起するに至らしめ、爾後日本人の渡來するもの益々多くして、加州農園に使役さる日本労働者の數は愈々多きを加へたり。

斯の如く労働者として重用するに至りたる結果は、明治二十七年頃より、其技術と性質とに信頼して、或部分に於ては日本労働者の重なるもの、則ちホスと稱する人夫頭に耕作を請負はしむるものあるに至れり、之を請負耕作と云ふ。請負耕作は、地主にありては労働者操縦の面倒なきのみならず、作物収穫高に依りて報酬を與ふるものなるが故に、労働者は一層精勵するの結果、其報酬は日雇労働者を使役するよりも少く、且つ不作の時には労働賃金を損失するの憂なく、而して又請負者に取りては年の豊凶に依りて異なるも、概して労働賃銀以上の報酬を受くる利益あるを以て、双方の利便なりと云はざ

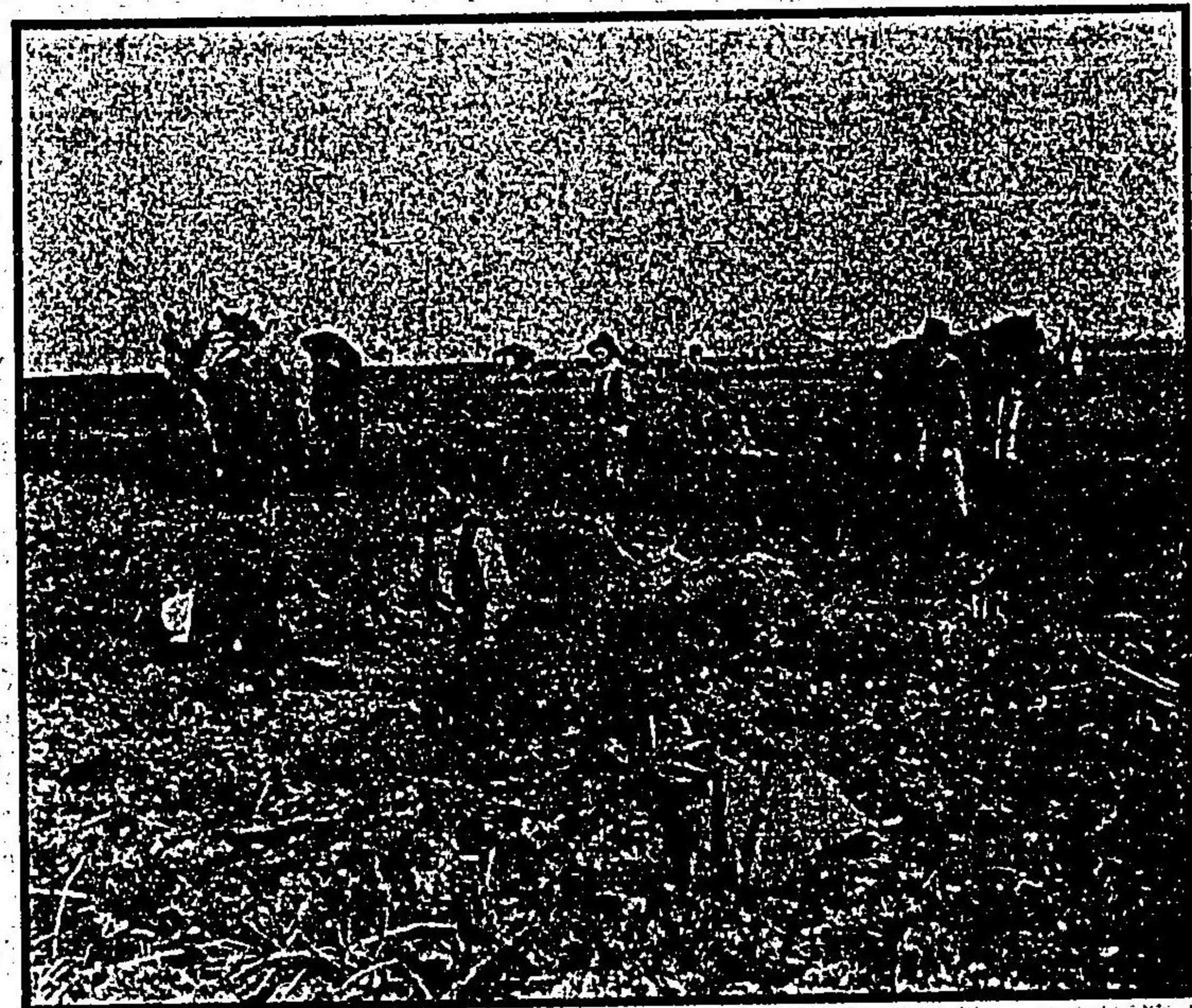
るべからず。而かも請負耕作は其性質上總ての農作物に適用する能はず、多くは砂糖大根、豆類、ポテト、ハツブス等に限られたり。然れども單純なる労働者たるよりも一步を進めたるものたるを疑はず、此方法は専ら明治二十七八年頃より三十一二年頃に至るまで盛んに行はれ、今日に於ても尙ほ労働者が小作人たる階段として行はるゝを見る。

第三期、歩合耕作時代

歩合耕作とは、収穫物を地主と勞力供給者とに於て分配採取する方法なり。然れども其契約方法は甚だ複雑にして、例へば地主に於て、農地の外、馬匹、農具、種代等を提供し、小作人は單に勞力を以てするに止まるあり、又は小作人に於て農馬、農具を以てするあり、或は種代をも小作人の負擔とし、地主は單に農地を提供するに過ぎざるあり、從つて其収穫物分配の割合同じからず、或は四分六分なるあり、甚だしきは七分三分なるありと雖も、概して言へば、地主は農地の外に種物を提供し、又は果物園を以てし、小作人は農馬、農具及勞力を以てして、収穫物を折半するを普通なりとす。此方法は請負耕作に比すれば、稍々多くの資金と經驗とを要し、其損益も亦大なりとす。

已に労働者としての技倆を認められ、又請負耕作として經驗と資力とを得たる日本人が、一步を進めて収穫分配

加州の日本人農園



「スタググトンのポテト畑」

方法に依りて農園を經營するに至りたるは、自然の勢ひなるべし。此方法の日本人に採用せられたるは、明治三十年以後にして、今日に於ても現金借地耕作に進む階梯として盛んに行はれつゝあり。

第四期、現金借地耕作始まる

現金借地は一定の料金を以て、一ヶ年若くは數ヶ年間借地小作する方法にして、借地には自ら好む處の作物を栽植し、又は已に栽培せられたる果樹より勝手に摘収するものとす。而して其借地料の如きは、一回或は數回に拂へるが、借地契約の成りたる時半額を、作物の収獲初まる時他の半額を、則ち二回に分ちて支拂ふを普通とすれども、條件は契約に依るとなれば一概に云ふべからず。要するに現金借地は、土地を借受け、自ら思ふが儘に耕作するものなるが故に、農馬、農具、種物は云ふまでもなく、農業經營に關する一切の設備をなさざるべからざるを以て、現金にて借地營農せむとするには、相當の資本(經營方法参照)及經驗を要し、從つて損益する程度も亦甚だ大なりとす。

已に収獲分配方法に依りて、相當の資力と經驗とを得たる日本人が更に一步を進めて、現金借地耕作を爲すに至るは當然なるべし。日本人にして現金借地耕作を營めるもの以前にも之れなきにあらざりしが、其一般に有利なるを認められたるは、實に明治三十二年頃にして、以後

頗る盛んに行はれ今日に至れり。而して地主は何等の危険面倒を見るときなく、安閑として相當の借地料を受くるが故に、喜んで日本人に貸付け、久しく信用するに至りては、借地料後拂ひの方法にて貸付くるものあり。農産物仲買商にして、日本人の能力に信頼して、収獲物の仲買を條件として資金を貸付くるものありたれば、日本人の現金借地耕作は急激の發達を遂げたる也。

第五期、土地の買収始まる

加州に於て未だ作付せざる農地(アンインプロブメント、ランド)は、甚だ低廉なるのみならず、其買収條件は極めて寛大にして、世界に多く其比を見ず、我日本等に於ては素より到底夢想だもする能はざる處也。譬へば地代支拂の如きは、四年若くは六年の年賦にして、甚だしきに至りては十ヶ年賦のものなきにあらざ。從つて年賦買収の方法に依る時は、殆んど現金借地料と同額、若くは少しく之を増して自然に所有權を得るに至る。而して農地を購買するものは、多く自ら耕作するが、故に最初第一回の拂込み資金を有すれば、次年度の拂込み金は収獲物を以てして餘りあるものなきにあらざ。

収獲分配耕作及現金借地耕作に依りて、相當の資金と經驗とを得たるものは、愈々加州に於ける農業の有利有望なるを確認し、而して農地を買収するは、現金借地耕作を營むよりも、遙かに利益多きを發見し、明治三十五六

も、獨特の能力を有するに依り、且つ農産の重なるも

年以來屢然として農地買収に傾き、日本人の所有農地は年々驚くべき増加を見つゝあり。

之を要するに日本人が加州に手を着けたるは、近く二十年前にあり、而かも實際加州農業の有利有望なるを認め、土着的農業を始めたるは正に十年前にあり。然るに今日に於て驚くべき發達を遂げたる所以のものは、加州の農業が日本人を要するに始まり、日本人が加州の農業を經營するに適し、而して諸種の事情は日本人の發達を助長したるに依らずんばあらず。然りと雖も一步退きて考ふるに、若し日本人にして歐州人の如く、米國に永住的に土着する決心を以てしたらむには、更に今日に數倍の發達を遂げたるべしと雖も、日本人の多數は永住的土着の決心を缺き、三千五千乃至一二萬の現金を得て、信用、經驗、資力兼ね備はり、將に大々の飛躍を成し得る域に達したる時、忽然として故國に去るが故に、更に大に發達すべくして然るを得ざるは甚だ恨事とすべし。

三 日本人農業發達の四因

加州に於て日本人が農業に手を着けたるは僅かに二十年前にして、自ら農業經營を初めたるは十有餘年前に過ぎざるに、今日にありては約二十萬英町の農業を經營するに至りたるは、異常なる發達なりと云はざるべからず。斯の如きは日本人が農業勞働者としても、經營者として

加 州 の 日 本 人 農 園



〔メキシコのロリル〕

のは果物及び野菜なるが故に、最も日本人の長所を發揮

するを得たるに據ると勿論なりと雖も、尙ほ別に四個の利便ありたるを見る。

其一は白人種労働者が都會に居住するを好みて、農園労働者たるを避くる傾きあるは是れ也。其理由は或は都會労働は比較的給料高く、住み心地よきを以て、婦人が都會に居住するを好むに餘儀なくせらるゝ爲めなりと云ひ或は米國の労働者は野心大なるが故に、田舎に煙ぼるを好まざるに據ると稱せらる。其原因の何れに存するかは暫らく措き、白人種労働者の多くが農業労働を好まざる傾きあるは争ふべからざる事實也。故に勢ひ農業は東洋労働者を需めざるべからず、是れ東洋労働者の長所が加州の農園に遺憾なく發揮せられ、而して加州の農園が東洋労働者を重寶する所以ならずんばあらず。

其二は支那人排斥法に依りて頗る利便を享けたり。前段述べたるが如く白人種労働者は、農園労働を好まざるが故に、日本労働者を見るまで、加州農業労働界は殆んど支那人の獨占に歸したりと云ふを妨げず。然るに一千八百八十二年に制定せられたる支那人排斥法は、十年の後には著しき効果を現はして、加州の支那人は漸く其數を減じたるに反し、加州の産業界は甚だ活躍し、農家は労働者の缺乏に困惑したる際、恰かも日本労働者續々渡米したれば、加州の農業は支那人を失ふて日本人を得、而して日本人は支那人を驅逐して、容易く之に代はるを得

たる也。

其三は農産物仲買商が日本人の發展に與へたる利便甚だ多し、已に説きたるが如く、白人種労働者は農園労働を好まざり、支那労働者亦甚だ逼迫したるが故に、日本労働者は容易く最も必要なる加州農業の労働者となれり。而して單に労働者として労働するよりも、自ら請負耕作歩合耕作、又は現金借地を經營するの利益を覺るに及び技術經驗は餘りあるも、資力の缺乏に困難を感したるものに對し、日本人の能力に信頼して資本を供給し、以て思ふが儘に小作を營ましめ、又現に營ましめつつあるは農産物仲買商也。農産物仲買商が日本人に資本を供給して、小作を營ましめ、其農産物を仲買して得たる利益は莫大なるべく、甚だしきに至りては、隨分日本人の迷惑したるものなきにあらざりと雖も、兎にも角にも仲買商が資本を供給して日本人に小作を營ましむるが如き利便は加州を除き、太平洋沿岸何れの處に於ても見出す能はざる處にして、日本人の享けたる便益甚だ大なりと云はざるべからず。而して此事實に徴するも加州農業界に於て日本人の信用の大なるを思はざるべからず。

其四は加州に於て土地購入條件の寛大なる也。加州に於て土地を購せむとするには、四年乃至十年の年賦を以て拂込めば足り、従つて其年賦は小作料と殆んど大差なし、故に四年又は六年間小作料を支拂ひて耕作せむとす

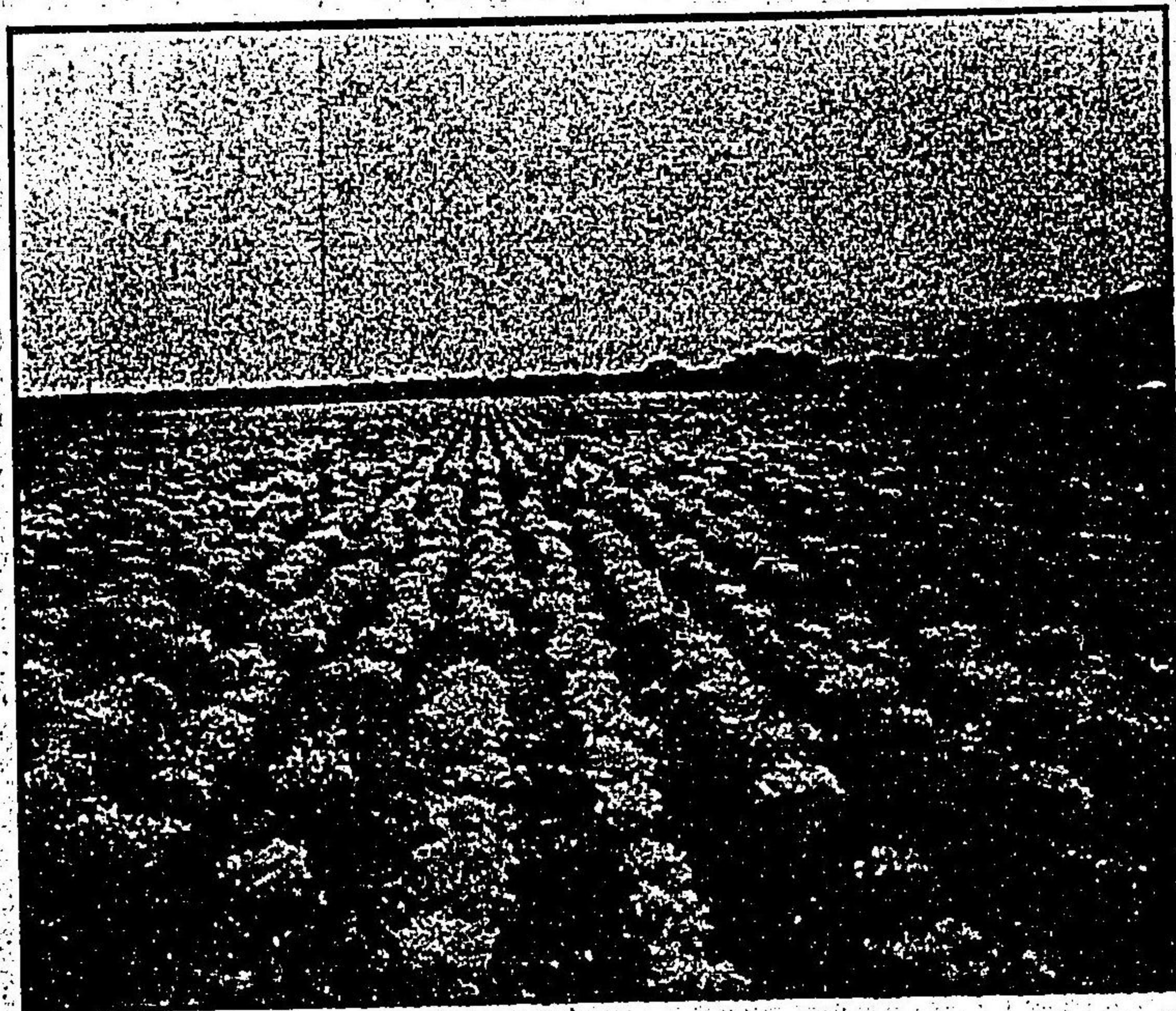
るものは、寧ろ土地を購入するの勝れるに如かず、而かも耕作に依りて年賦拂込額以上の收益を得べければ、第一回の地代支拂ひを済ませば、自ら耕作しつゝ自然に所有權を獲得するに至るべし。而して加州に於ては年々地代の騰貴激しきが故に、日本人の土地所有に依りて取得しつゝある金額は極めて大なりとす。

要するに白人種労働者が農業労働を好まざると云ひ、農業者として日本人の勤敏たる支那人の減少と云ひ、農産物仲買商の與へたる利便と云ひ、土地所有の容易なることと云ひ、加州は日本人農業の爲めには天恵の樂土と稱すべく、其今日の發達を見たるは、決して偶然にあらざるを忘るべからず。

#### 四 日本人の農業經營方法

加州に於ける農業經營の方法は、四種に大別するを得べし。(一)自ら土地を所有して農業を營むもの、(二)現金借地料を支拂ひて他人の土地を小作するもの、(三)土地の收穫物を地主と分配する約束を以て農業を營むもの、(四)單に農業の耕作を請負するもの、以上四種とす。而して現在に於て日本人の間に最も盛んに行はるゝは、第二、第三の現金借地耕作、及收穫分配耕作にして、自ら土地を所有し、農業を營むもの亦素より尠からず。請負耕作に至りては資本をも要せざる代りに收益も少なく、最早今日に於て漸衰へたり。今則ち四種の經營方法に

加州の日本人農園



「サンノゼのレメリス畑」

就き少く説く處あるべし。  
 第一、土地を所有して農業を営むもの  
 已に記述したる如く加州に於ては、土地の購入条件甚だ寛大にして、其年賦拂込額は、現金小作料と殆んど大差なければ、少く資力に餘裕ありて農業を営まんとするものは、争ふて自ら土地を購入して之を耕すに至れり、是れ加州に於て日本人土地所有者の著しく増加する所以なりとす。試みに土地を購入して農業を営むものの中に就き、葡萄栽培の収支計算を掲げて志あるものゝ参考に資せむ。

先づ自ら資本を投じて土地を購ひ、他人に其耕作を委任するものとし、且つ一時に地債を支拂はず、年賦拂の方法に依りて土地を買入るゝ場合を見るに左の如し

支出費目	第一年度	第二年度	第三年度	第四年度	第五年度	第六年度	第七年度	合計
地代年賦拂	400.00	400.00	400.00	400.00	400.00	400.00	400.00	2,800.00
未拂地代利子	80.00	160.00	240.00	320.00	400.00	480.00	560.00	2,400.00
未拂年賦利子	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
未拂用水権利子	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
地均し費	400.00	400.00	400.00	400.00	400.00	400.00	400.00	2,800.00
水代	400.00	400.00	400.00	400.00	400.00	400.00	400.00	2,800.00
地均し費	400.00	400.00	400.00	400.00	400.00	400.00	400.00	2,800.00
ハラウニング	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	700.00
苗代	240.00	240.00	240.00	240.00	240.00	240.00	240.00	1,680.00
植付費	120.00	120.00	120.00	120.00	120.00	120.00	120.00	840.00
手入費	500.00	500.00	500.00	500.00	500.00	500.00	500.00	3,500.00
葡萄摘採費	500.00	500.00	500.00	500.00	500.00	500.00	500.00	3,500.00
合計	1,890.00	1,990.00	2,150.00	2,390.00	2,700.00	3,060.00	3,400.00	15,880.00
収入	1,890.00	1,990.00	2,150.00	2,390.00	2,700.00	3,060.00	3,400.00	15,880.00
差引損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

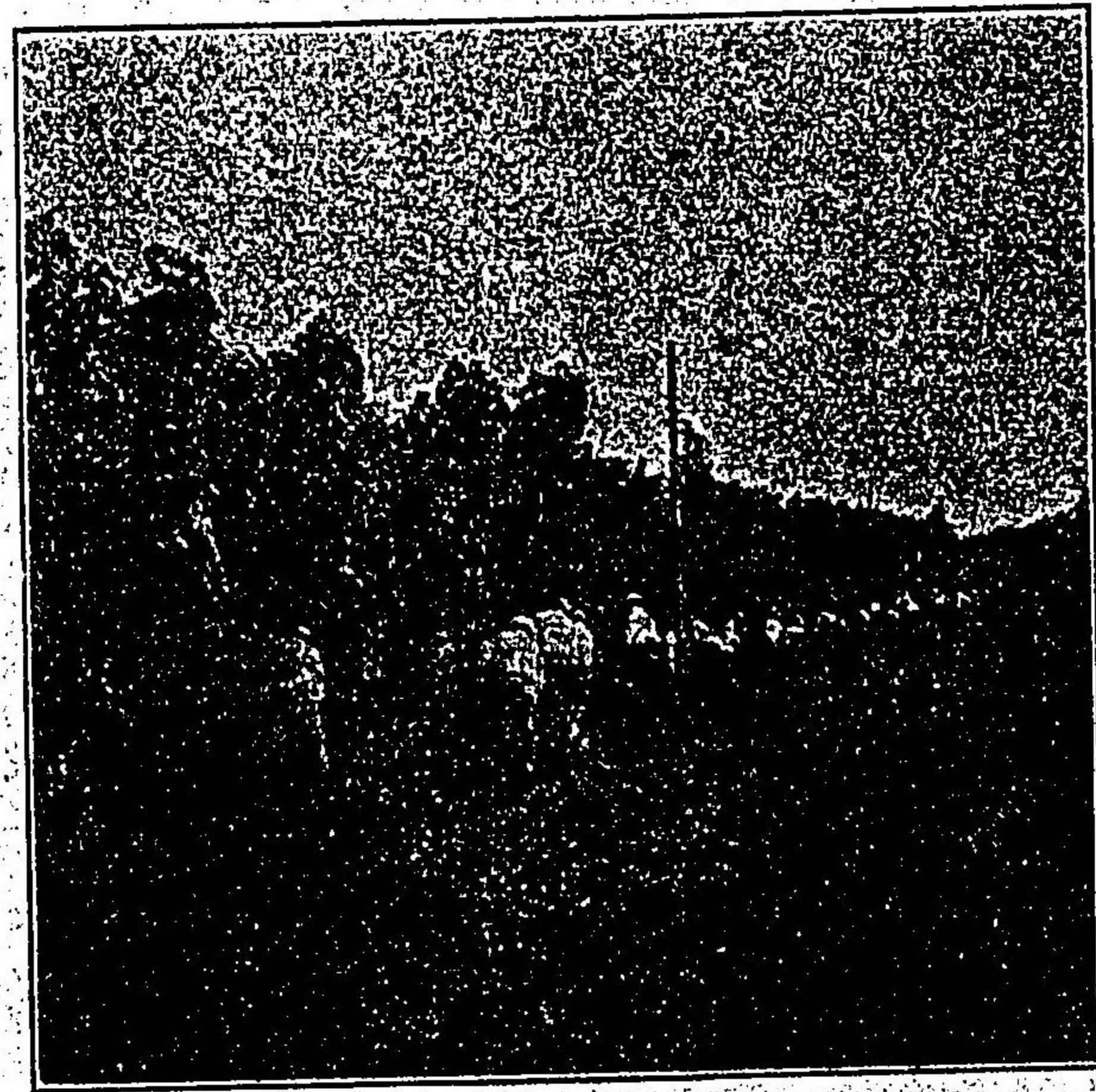
右は四十英町の地面に葡萄を作れる場合の計算なり。此の割合を以て支拂ふ、次に苗代は一英町六百本宛一本一仙の割合にて計算す、次に手入費とは耕作の始より収

種期に至るべき一切の手間賃をいふ、二年以後に於ては地代、用水権及水代の外支拂ふべきものは三年以後に於ける葡萄摘採費あるのみ。而して四年目より収支を差引して猶千餘弗の収入あるが故に、左の金額丈ければ容易に四十英町の地主となることを得べし。

第一年度 一千八百九十弗  
 第二年度 一千九百九十弗  
 第三年度 三百五十弗四十仙  
 合計 三千四百四十三弗六十仙

即ち三千四百四十三弗六十仙の資本を以て事業を始むれば、七年目には資本を取返したる上に、猶ほ五千四百四十二弗の純益を得べし。此れに改良に依りて價格の騰貴したる四十英町の地面を有することなるが故に、若し七年後に於ける地債を一英町六百六十弗（實際に於ては此以上に達す）とすれば、元價二千四百弗に利子四百弗を加へて二千八百弗にて購入したる土地は、六千四百弗となりて結局三千六百弗の利益を占む、之れに先きの純益を加ふれば、地主の利益は正に九千四十二弗となるべし。尤も右は年の豊凶又は収穫物價格の變動に依りて異れども、右は少く内輪に見たる計算なるを以て、先づ之を標準と見て差支なかるべし。而して右は他人をして自己の土地を耕作せしむる方法なるが、自ら永住の考を以て其土地に居住して事業を營む場合には、住宅、農具、農具等の必要物を要するを以て、幾分か前表と經費を異に

日本人の農園



〔圖スアツハ、メンキ、パ郡都面櫻〕

する處なからざるべからず、即ち前表の創業費の外に左の支出あり  
 一、二百五十弗 住家小屋  
 一、三百弗 馬小屋

- 一、三百弗 馬二匹
- 一、二十弗 自用車馬具
- 一、七十五弗 小荷車
- 一、百五十弗 井戸及風車
- 一、五十弗 馬
- 一、百三十五弗 大馬
- 一、三十五弗 白用荷車
- 一、二十弗 車具

右の内住宅の二百五十弗は極めて粗末なるものなれども創業の際なれば一時雨露を凌ぐを以て満足し、収益を得るに及で改造するも或は新規に建つるも可なり、而して四十英町の地面は悉く葡萄を植む、其内三英町に牛の飼料たるべき「ヘー」を植む他は野菜、家禽に當つるときは一家の經濟を扶くること大にして、家族を有する者には最も便利なる方法なり。若し土地肥沃にして野菜に適するときは、トマト又はストリングビズスの如き比較的の利益ある野菜又は西瓜、胡瓜の類を栽培すれば年に依りては大なる利益を得べし。此に序ながら附記すべきは日本人葡萄業者の散布する地方の地價なり。

第一、フロリン(サクラメント郡)  
 第一等地、(六年生葡萄を有す) 一英町二百五十弗以上  
 第二等地、(三年生葡萄を有す) 同上 百八十弗以上  
 第三等地、(未だ葡萄を植むる地) 同上 五十弗乃至百弗  
 第二、アキヤンゴ(サンオキー郡)  
 第一等地、 一英町 二百五十弗以上  
 第二等地、 同上 百五十弗以上  
 第三等地、 同上 五十弗以上

第二、現金借地耕作  
 一定の小作料を支拂ひて、或る期間(一ヶ年以上十ヶ年以内普通三年又は五年とす)農地を借り入れ、自ら好む處の作物を栽培し、若くは已に栽植しある果物園、葡萄

園、又は柑類園等を借入れて収穫する方法にして、小作方法としては最も進歩したるものなり。小作料は一回又は數回に分ち契約に依りて夫れ々異なるも、毎年二回に分ち、其第一回は借入れ契約の成立したる時に(又は其翌年の同時期)他の一回は収穫の初まる時に支拂ふを普通とす。斯の如く農地を借り入れて自ら耕作するものなるが故に、營農に關する一切の設備を準備するを要し、従つて相等の資本を要すると共に、其損益する處も亦大なりとす。今試に現金借地耕作を營まんとするに要する設備費を掲ぐれば左の如し

一百英町の現金借地耕作設備費  
 (但し作物に依り多少差異ありと知るべし)  
 一、九百弗 農馬六頭 一、百五十弗 同馬具  
 一、八十弗 ヘーワゴン 一、三十五弗 カート  
 一、二十五弗 カート用馬具 一、六十弗 プラウ二挺  
 一、二十五弗 カルチベーター二挺 一、二十弗 ハロー二挺  
 一、一百弗 其他の雜具(作物に依り異にす)  
 計 一千三百七十七弗

〔備考〕住家は地主より貸與するものとす、作物に依りては農馬は二頭乃至四頭に足るとあり、ヘーワゴンは農園の外に多量の荷物を運搬する車、カートとは二輪馬車にて農家が日常用便に用ふる必要品なり、プラウは鋤器、カルチベーターは草切り器、ハローは地を掻き均らす器

更に二三の農作物に就き現金借地耕作方法に依る収支を示せば左の如し。  
 (イ)食卓葡萄四十英町収支表 食卓葡萄は一人四十英町を以て充分なりとす

一、營農費 (營農設備費(り)見積り)

一金千 弗	借地料
一金八十 弗	アラウガ費
一金十六 弗	プルニング費
一金八十 弗	枝拾ひホーニング
一金三十 弗	硫黄代
一金四十 弗	灌水費
一金百 弗	雇人給料
一金百 弗	馬匹二頭飼料
合計 一千四百四十六 弗	

一、収入

〔備考〕葡萄の出来榮及價格は年に依りて異れども、一英町百二十箇の収穫は内輪の見積りにて代償も摘採費、函代、運送費、仲買人手數料を差引き純益五十仙と見積るは内輪なりとす

差引 九百五十四 弗

(労働賃銀は總て計上したれば、自ら耕作に従事すれば別に労働賃銀は儲かるものとす)

(ロ)果物五十英町収支表 桃九英町、アプリカット九英町、プルーン三十二英町を現金借地耕作せるもの三ヶ年間の實際収支平均左の如し

一金五千三百六十七 弗七十 仙	賣上總額
一金一千五百 弗	借地代
一金百三十五 弗	馬糧(ヘー)代
一金三十六 弗五十 仙	同(ハロー)代

農具修繕費 同 新調費

一金二十二 弗	農具修繕費
一金九 弗五十 仙	同 新調費
一金十三 弗四十五 仙	藥掛け費
一金九百八十五 弗	労働者支拂賃銀
計 四千二百六十六 弗四十五 仙	

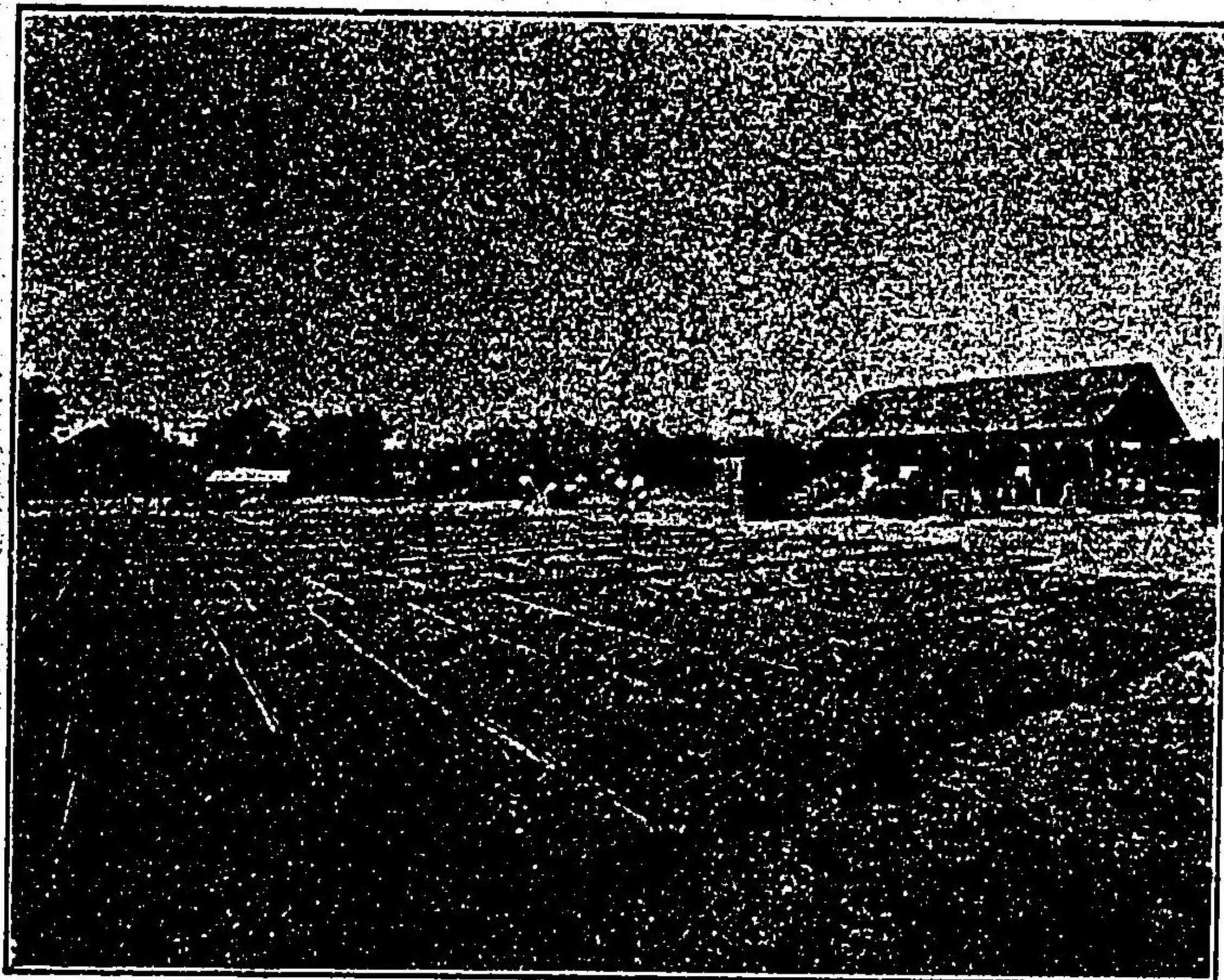
差引 一千二百〇一 弗二十五 仙 純収益

〔備考〕果物の價格は急變動激しきはあらず、今日一箇一弗以上の市價を呼ぶものも明日は五十仙又は六十仙に暴落するとあり、損益地を更仰ると極めて急激なりと雖も、前表は價格平均したるものと見做して可也

(ハ)ポテト百英町収支表 ポテト百英町の現金借地耕作収支表左の如し

一金八千 弗	収穫一万俵(一俵八十仙の割)
一金百四十五 弗五十 仙	アラウガ
一金百四十五 弗五十 仙	プルニング
一金三十五 弗	雇人(二十人)給料
一金六 弗	(一人一日五英町宛、二十人)賃料
一金百五 弗	(一英町六俵宛、一俵一弗宛の見積り)
一金百四十五 弗	(一日一人十俵宛、一俵七十五仙の日給)
一金八 弗	草取り費
一金百四十五 弗	灌水費

日本人の農園



〔場燥乾物果のルビカアザ〕

一金八十三弗廿五仙

カルチベター

一金一千三百弗

堀 費

袋及糸代 馬匹飼料 運搬費  
 計 五千七百〇八弗七十五仙  
 差引 二千二百九十一弗二十五仙 純益  
 (二) 第十英町耕作の収支表 日本村として有名なるフロ  
 リンに於て十英町の毒を現金借地耕作することとして、其収  
 支表を掲ぐれば左の如し(但し四ヶ年に渉る農業)

第一年の營農費

(但し普通現金借地耕作に關する設備整へるものとして)

- 一金五十弗 借地料
- 一金三十弗 地均費
- 一金五十弗 フラワー及貯作費
- 一金九十弗 苗代
- 一金四百五十弗 井月堀風車三番掘付費
- 一金五十弗 ホーニング
- 一金七十弗 農馬飼料
- 計 一千五百五十弗

第二年の營農費

- 一金五十弗 借地料
- 一金五十弗 ホーニング
- 一金七十弗 フラワー及貯作費
- 計 三百七十弗

第三年の營農費

内譯 第二年に同じ

一金三百七十弗

第四年の營農費

内譯 同上  
 合計 二千二百五十弗 四ヶ年間支出總額

一、收

第一年度収益 一金四百四十弗 苜蓿獲三百箇(箱純益四十五仙)  
 (備考) 運賃仲買手数料を引き去り、一箇代金八十仙。内箱代及摘採費  
 等平均一箱三十五仙と見積り、純益四十五仙とす

第二年度収益

一金九百弗 苜蓿獲高二千箱

第三年度収益

一金千三百五十弗 苜蓿獲三千箱

第四年度収益

一金九百弗 苜蓿獲二千箱

合計 三千百九十弗 四ヶ年間収入總額

差引 九百四十弗 純 收 益

(労働賃金は総て計上したれば自ら働きたるものは別に所得に歸するものとす)

(ホ) セロリ二十英町栽培の収支表 南加州スメルサー及  
 ビサクラメント流域に於て近來盛んにセロリ耕作行は  
 る。二十英町のセロリを耕作することとして其収支表を掲  
 ぐれば左の如し

一、支

- 一金四百 普通現金借地耕作の設備整へるものとして
- 一金百七十五 借地料(一英町二十弗)
- 一金百七十五 植付費(一英町五人の割)
- 一金三百五十 切出賃(一英町十人の割)

ホーニング(一英町二人の割)  
 馬仕事賃(一英町千七弗の割)  
 灌溉費(一英町千七弗の割)  
 (一英町三弗五十仙の割)

要するに時に依り處に依り多少の相違あり、収支計算は  
 到底正確を期する能はずと雖も、現金借地耕作が相當の  
 利純を見るは争ふべからざる處也。

第二、収獲分配方法

収獲分配小作方法は、地主と収獲物を分取する耕作方法  
 にて、其歩合は契約に依りて異なり、地主に於て農地の  
 外に種物を提供して、六分を収得するあり、又は土地に  
 依りては小作人が六分を収得するありと雖も、概して地  
 主は土地のみを提供し、小作人之を耕作して収獲を折半  
 するを普通とす。此方法は現金借地耕作に比すれば収益  
 少き代りに、第一に比較的小資本を以て足り、第二に不  
 作の場合借地料を支拂ふを要せざるが故に、輕微なる損  
 失を以て足る利便あり。労働者として多少の貯金を得た  
 るものが、小作人たらんとする第一階梯にして現に地主  
 又は現金借地小作人たる日本人にして、此耕作法の經驗  
 を有せざるもの殆んど之れなしと云ふを妨げず。其収支

は現金借地耕作の小作料を除きたるものに均しく、而して純益を耕主と折半するものと思へば大過なし。

第四、請負耕作

請負耕作は、收支の損益は地主其責に任じ、請負者は一英町の耕作代幾何と定めて、耕作より收穫に至るまでの労力を請負ふものにして、労働者が小作人となる階梯として一時盛んに行はれたれども、今日に於ては更に進みて請負耕作又は現金借地を營みて、自ら損益を負担するに至りたれば、砂糖大根及びハツプス耕作の一部に此方法行はるゝを見るのみ。

五、加州農業と日本人の位置

然らば則ち日本人は加州の農業界に於て、如何なる位置を占め居れるか、之を説明するには、農業労働者としての日本人の位置及び農業経営者としての日本人の位置の二に分つて便利とす。

上、農業労働者としての日本人の位置

日本人が加州に於て農業労働に着手して以來、僅かに二十年の歳月を経過したるに過ぎず。雖も、農業労働者としての日本人獨特の技能と、重要な加州農産物が日本人の労働に適合したるに依り、日本労働者が加州の農業に優勝なる位置を占め居るとは已に記述する處ありたるが如し。今茲に具体的に加州の農業労働者としての日本人の位置を示さんが爲めに、先づ重要な加州農作物

生産額と、之を耕作、栽培又は收穫する總ての労働者數と、其内の日本労働者の比例を示せば左の如し。

重要農作物	千九百八年度の生産額 (従業労働者總數 (日本人を含む))	日本労働者の數	日本労働者の百分比例
果物	九、八五、三〇〇	三、〇〇〇	七割〇八厘弱
葡萄	三、八五、五〇〇	一〇、〇〇〇	六割六分六厘強
野菜	三、五七、九三〇	二、〇〇〇	二割
穀類	五、八五、三〇〇	一、〇〇〇	六分
ポテト	五、七六、四一五	四、五〇〇	三割二分七厘
砂糖大根	七、七〇、九七五	七、五〇〇	七割五分
ビーンズ	六、七五、三〇〇	五、〇〇〇	二割五分
ハツプス	一、〇五、二〇〇	七、五〇〇	五割
合計	三〇、〇四、八五〇	三三、〇〇〇	四割三分五厘弱

〔備考〕茲に示せる労働者數は一年中引續き従事す云ふはあらずして各作物の最も多數の労働者を要する時を指せるものなれば、一人の労働者にして二重にも三重にも數へらる、例へばサリナス方面に於て砂糖大根の草取に従事する労働者は之を了りて、サンノゼの果物摘採に従ひ、夫れよりフランスの干葡萄、又はサクラメント方面のハツプス仕事に赴き、更にサリナス其他の砂糖大根收穫に復歸す云ふが如く、常に移轉するものと知るべし。

則二億餘萬弗の加州農産物中四割二分三厘弱は、日本労働者の手を藉りて生産せられたるものなるを知るべし。

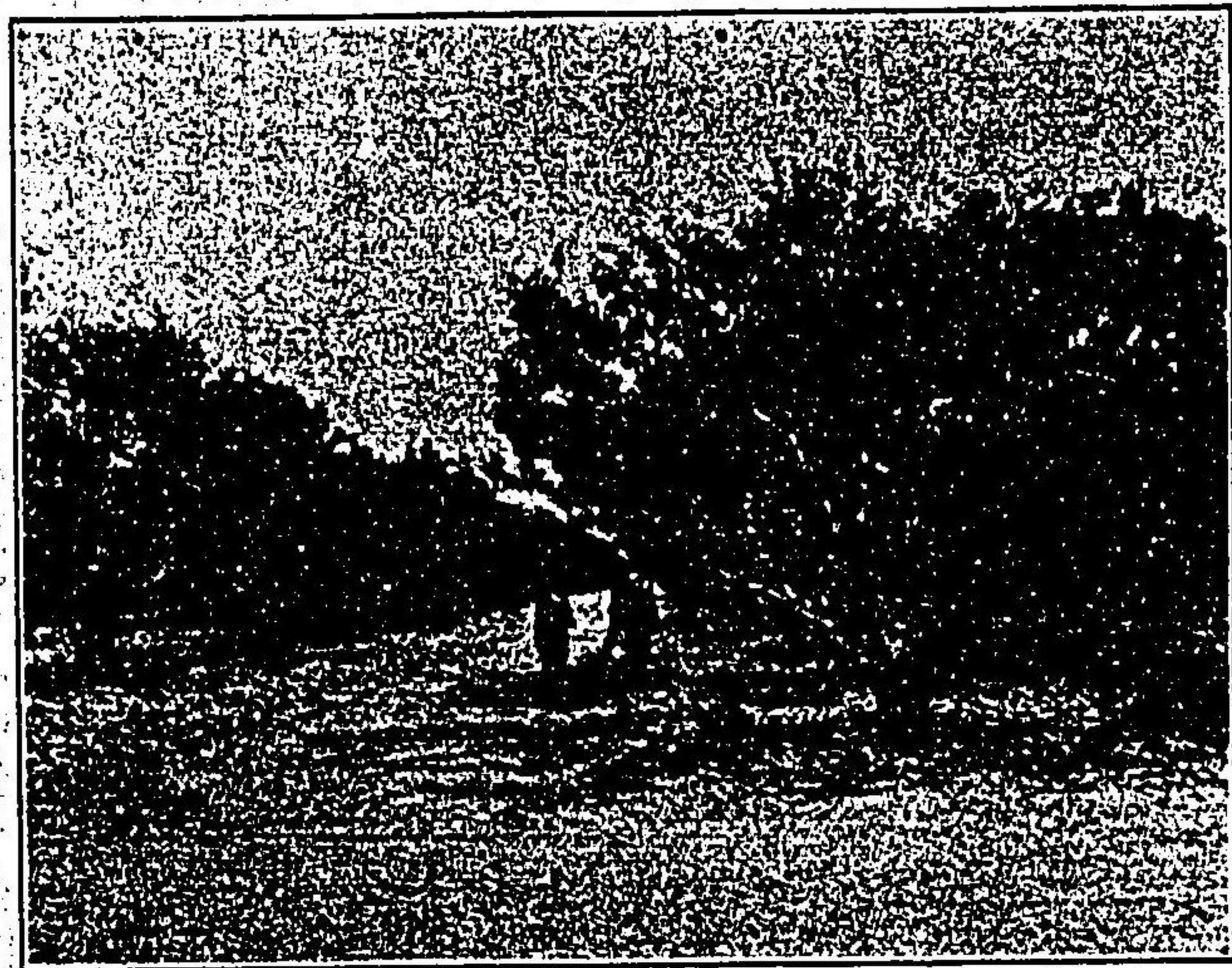
就中穀物の如きは、所謂大農組織を以て經營せられ、又實際に於て日本人に關係少ければ、之を除き其他の農産物の割合を見るに、労働者の總數は十二萬〇六百人にして内日本労働者數は六萬一千八百五十人なるが故に、加州の果物、野菜、砂糖大根、ポテト、ビーンズ、ハツプス等の農産物の過半は、日本労働者の手に依りて生産せられつゝありと云ふを得べし。

又加州労働局が、州内各郡に涉り二十五萬二千二百九十九英町の耕作に就て、其使用人の國籍別を問ひ合はせたりと云ふ返答に依れば、労働者數一萬〇六百五十人中、長短二期雇入れに分つ労働者數は左の如くなりしと云ふ

白人労働者	長期雇入れ數	短期雇入れ數
東洋労働者	一、八〇八	二、九四三
	八、五九九	五、〇四〇
		四、七五一
		五、八九九

以て一斑を推すべしとすれば、加州農業に於ける東洋労働者の位置を知るに足るべく、而して此東洋労働者の八割以上は、日本人なるを知らば、是亦加州農産物の大半が日本人の手に依りて生産せられつゝあるを証するものにあらざや。而して茲に注意すべきは、穀類、野菜、ポテト、ビーンズの如きは日本労働者なしとするも、經營難きにあらざるべしと雖も、果物、砂糖大根、就中干葡萄の如き將來有望なる加州の農産物は、日本労働者の手に待つにあらざれば、假りに經營するを得るとしても、

日米人の農園 (ハリンソンの園)



著しく生産額を減少すべきは争ふべからざる也。此に依て之を看れば、加州の農業上に於ける日本労働者の位置

は極めて優勝なりと云ふも誰れか拒むを得むや。

而して更に進みて加州に於ける米國人農業家の、日本人労働者に對する品評如何と云ふに加州労働局が、直接問合せたりと云ふ返答に依れば、百人中の分

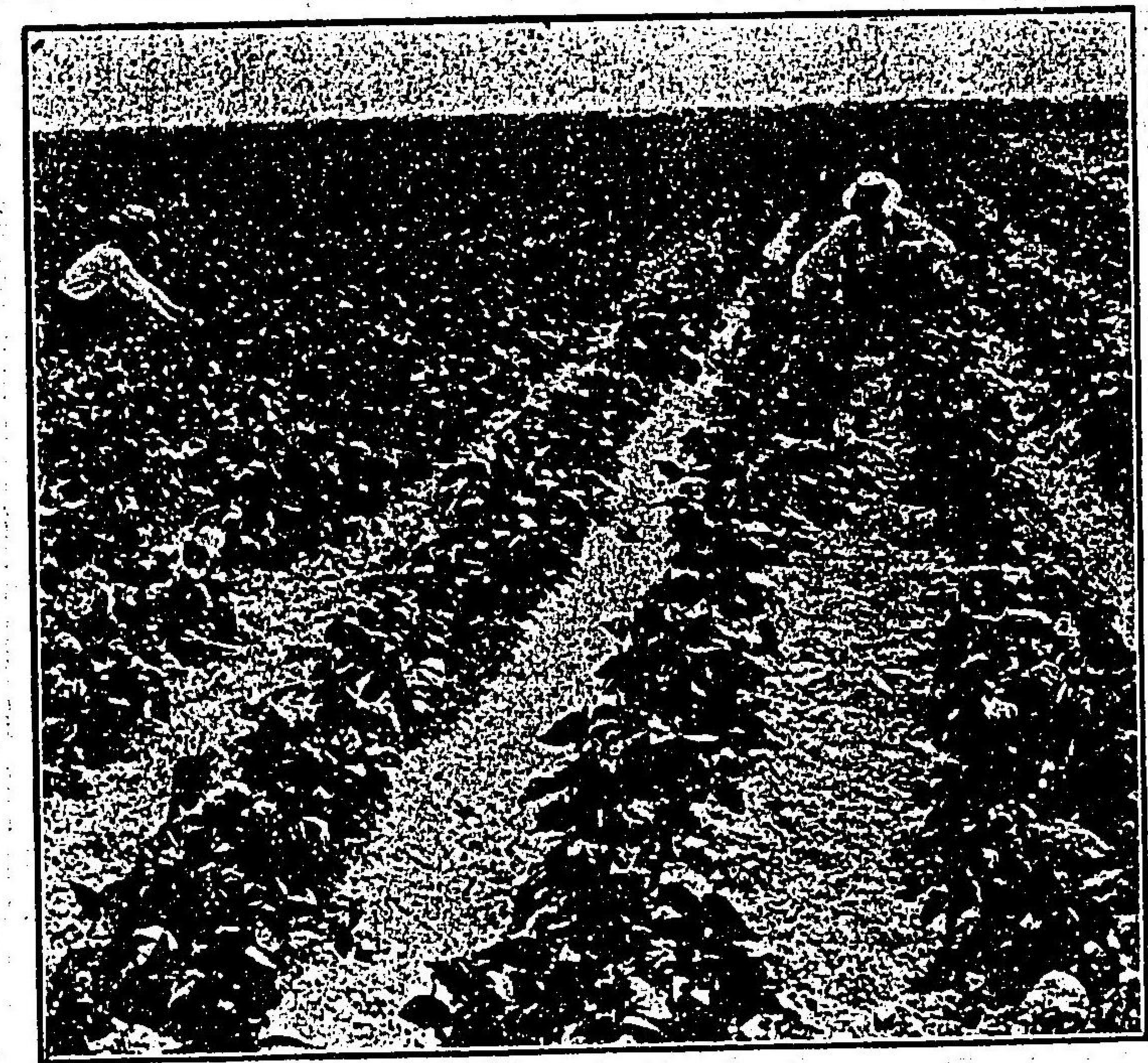
加州農業家の日本労働者に対する品評

一、日本労働者を可とするもの 五十二人  
 一、日本人を主とし白人支那人其他のものを入用を可とするもの 十八人  
 一、日本人を否とするもの 二十人  
 一、可否を言はざるもの 二十人

日本労働者に対して可否を言はざるもの多きは、不可なしと云ふにありと見做し得べきが故に、加州に於て日本労働者を可とするもの甚だ多きや明也。而して日本人を可とする点は、日本人が果物、野菜の栽培摘採に適しき労働に堪へ、永く一ヶ所に止まりて勤勞すと云ふにあり。之に反し日本労働者を否とする理由は、日本人は仕事を粗末にして、且つ契約を重んぜざるが故に、安んじて信賴する能はざると云ふにあり。

序に一言の加ふべきは、日本労働者の給料低廉なりとの謗りなきにあらざると雖も、近來に於ては決して然らざ、農業労働者としての日本人の給料は、何れの種類たるを問はず、決して白人労働者の給料に劣るものにあらず、特に昨年の如きは労働者缺乏の爲め、普通労働者としての日給一弗七十五仙を呼び、請負仕事、就中干葡萄、ハツブス等の請負仕事(ピースウオーク)の勞銀は、一日の収入五弗乃至六弗七弗に及びたるものあり。今假りに一年を通じて農業に従事する日本労働者を三万とじ、一年一人の賃銀平均三百弗と見做す時は、一ヶ年に於て日本勞

加州日本人の農園



〔河下の豆畑〕

働者の農業に依りて取得する賃銀は、實に九百萬弗の多きに及ぶ。又大なりと云ふべし。

下、農業經營者としての日本人の位置

人若し米國人に對して問ふに、日本移民に對する感想如何を以てせよ、必らず先づ日本人は進歩的移民なりとの答へを得べし。日本人が加州に於て經營する農業は、其反別に於ても、生産額に於ても、未だ甚だ誇るに足れりとせず。然れども日本人が加州に於て農業經營に着して以來、僅かに十數年に過ぎず、而して其資本金は日本より齎らし來りたるもの、殆んど絶無にして、全く徒手空拳を振つて異種異族の間に介在し、自ら労働に依りて得たる貯蓄を基本として、今日二十萬英町の農地を經營するに至りたるは、加州の農業が日本人に適し、又加州農業の諸種の便益は、日本人の發達を助長するに干つて力ありたるに依るとは言へ、日本人が進歩的民族にあらざれば決して今日あるを得ざる也。

一千九百年の調査に依れば、加州に於て農耕に適する反別は二千八百八十二萬九千英町にして、作付するを得る(所謂インジャンループせられたる)反別は一千一百九十一萬九千英町なりと稱すれども、實際に於て年々農作せられつゝあるは、約六百萬英町に過ぎず。此内殆んど日本人に關係なしと云ふを得べき穀物類の反別四百二十三萬四千八百八十七英町(二千九百八年度)あり。其残り約百八

十萬英町は果物類、野菜類等日本人に緊密なる關係を有する農作物なりとす。今此等百八十餘萬英町の農作物中日本人の經營する農園反別を見るに、昨一千九百九年度に於て日本人が土地を所有し、又は現金借地、収穫分配請負耕作等の小作方法に依りて耕作せる反別、實に十九萬五千九百五十八英町に上れり。左に加州に於ける日本人農業の地位を示めさんが爲めに、加州の農業要目と日本人の經營に係はるものとの比較表を示せば左の如し

四十二年度加州日本人の農業要目表		日本人經營の百分比例	
要目	加州全体	日本人經營の	百分比例
農園數	三、四三	三、〇〇	四分一厘二毛
農耕地反別	六、八元、〇〇	一、二六、六六	六厘七毛六末
作付反別	三、〇〇、〇〇	一、〇三、九三	三割一分八厘
所有者	三、六二	三、六	五毛六末
現金借地	九、〇〇	一、六〇	一割八分五厘
収穫分配	七、六六	六六	一割二分八厘

〔備考〕加州全体に係はるものは一千九百年の米國のセンサスに依り、日本人に係はるものは一千九百九年の本社の調査に基き作付反別は所有、現金、歩合耕作、受賃耕作の總てを包含せり

又以て加州に於ける日本人農業の位置を知るに足らむ。更に加州の重要農作物反別、生産額と其日本人の反別及生産額とを比較すれば左の如し



加 州 日 本 人 の 農 園



【開スガラバスのア1ロケツナ1オウ】

サクラメント 四七、七〇〇  
スタクトン 三六、七〇〇  
フレズノ 一、七〇〇  
アラメダ郡 一、〇〇〇  
南加州 一、〇〇〇  
その他の地方 一、〇〇〇  
合 計 一、〇〇〇

サクラメント 四七、七〇〇  
スタクトン 三六、七〇〇  
フレズノ 一、七〇〇  
アラメダ郡 一、〇〇〇  
南加州 一、〇〇〇  
その他の地方 一、〇〇〇  
合 計 一、〇〇〇

依此看之、日本人果物経営の最も盛んなるはサクラメントにして、フレズノ之に次ぎ、バカビル、スタクトン、サンノゼ順次に次げるを知るべし。

二、葡 萄

葡萄は加州日本人の農作物中、果物に次ぎて反別多しとす。加州の葡萄栽培総反別は二十萬〇五百四十四英町にして、一千九百八年度の産出額は二千四百八十五萬三千五百弗也。然れども此内には釀酒類の産額を含み、葡萄原價は二十萬弗に充たざるべし。而して一千九百九年度日本人の経営したる葡萄園は、二万六千四百二十八英町にして、生産額は三百八十五萬弗に上れり。今之を各地方別にし、更に其所有、現金借地、歩合耕作、請負耕作別を示せば左の如し

日本人の葡萄栽培地方別

地 方	地 主	現金借地	歩合耕作	請負耕作	計
サクラメント	二七、七〇〇	二、六〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	三二、三〇〇

日本人重要作物反別及び、生産額表

作物	加 州 全 体		日本人の農業		日本人農業の生産額の百分比
	反別	生産価格	反別	生産格	
果物	三、八八六	七、七九〇、〇〇〇	三、八八六	三、八八六、〇〇〇	四、八
葡萄	三、〇〇〇	七、〇〇〇、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇	四、八
砂糖大根	一、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	七、九
ポテト	一、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	二、〇、二
セロリ	一、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	三、七、二
苺	一、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	七、一、八
野菜	一、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	六、五、九
合計	一、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	八、二

〔備考〕日本人の耕作地は、土地所有、現金借地、収獲分配、請負耕作の總てを網羅せり、是れ生産価格に於て比較的少なき所以也。但し生産価格の算出は、土地所有及現金借地耕作の收穫は全部耕作者の取得と見做し、分配耕作及請負耕作に依る收穫は半分を耕作者の取得に計上したり、尙ほ詳細は重なる農作物参照を要す。

則ち加州の重要農産物一億四千餘萬弗の内、日本人の産額は一千二百九十萬弗に及べり。此外日本人の農作物として、ビーンズ、小麦、種物、メロン、アスパラガス、苗木等あれば、加州日本人の農産物總額は、少くとも一千五百萬弗乃至一千七百萬弗の多額に上るべし、豈に偉ならずや。

之を要するに日本人が農業労働者としても、農業經營者

としても、已に重要な位置を占むるに斯の如く、而して日本人が農業に依りて一ケ年間に取得する處のものは農業經營者として一千五百萬弗乃至一千七百萬弗、農業労働者として約九百萬弗なれば、之を合する時に二千四百萬弗乃至二千六百萬弗に及ぶべし。

六 日本人の主要農作物

一、果 物

一千九百八年度に於て、カリフォルニア州に産出したる果物は、七千九百六十五萬九千二百四十七弗の多きに上ると雖も、内耕類(産額二千三百五十四萬五千四百弗)鑛詰(産額一千五百六十二萬四千三百八十七弗)オリブ(産額百八十五萬弗)及ナツ、類(産額二百三十六萬弗)は、日本人は労働者として栽培摘採するの外、經營上に於て殆んど關係なしと云ふを妨げざれば、之を除きたる三千六百二十七萬九千四百六十弗(内柑類、オリブ、ナツ、の州内各地に於て小賣せられたるものを含む)に就て見るに、日本人の經營に係はる産出高は三百八十五萬弗にして、實に一割以上に當れり。而して其反別は三萬八千二百八十二英町半也。今之を各地方別にし、更に其所有、現金借地、歩合耕作及受負耕作を分類すれば左の如し

日本人の果物栽培地方別

地 方	所 有	現金借地	歩合耕作	請負耕作	計
アラメダ郡	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	四、〇〇〇
南加州	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	四、〇〇〇
その他の地方	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	四、〇〇〇
合 計	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	一、二、〇〇〇

スタクトン 一、三五五  
 フレズノ 一、七五七  
 サクランメント 一、七五七  
 大和殖民地 一、七五七  
 南加州 一、七五七  
 その他の地方 一、七五七  
 合計 六、八三三

〔備考〕フレズノ方面に葡萄と果物を混作したるもの少なからず、此等は葡萄作付反別を見たり

則ち日本人の葡萄栽培は、スタクトン、大和殖民地、フレズノに渉るサンオーキン平原最も盛にして、サクランメント平原之に次げり。

三、野菜

一千九百八年度に於ける加州の野菜生産額は、二千一百二十五万七千九百十二弗なりと雖も、此内には全然日本人に關係なき野菜鑑詰三百九十五萬四千七百七十二弗を含めり。而して日本人の栽培を見るに、反別一萬六千四百八十六英町にして、生産額二百〇五萬弗也。概して日本人の栽培する野菜は青物なるが故に、反別に比し、生産額大なりとす。今野菜栽培の地方別を示し、更に其所有現金借地、歩合耕作及請負耕作別を示せば左の如し

日本人の野菜栽培地方別

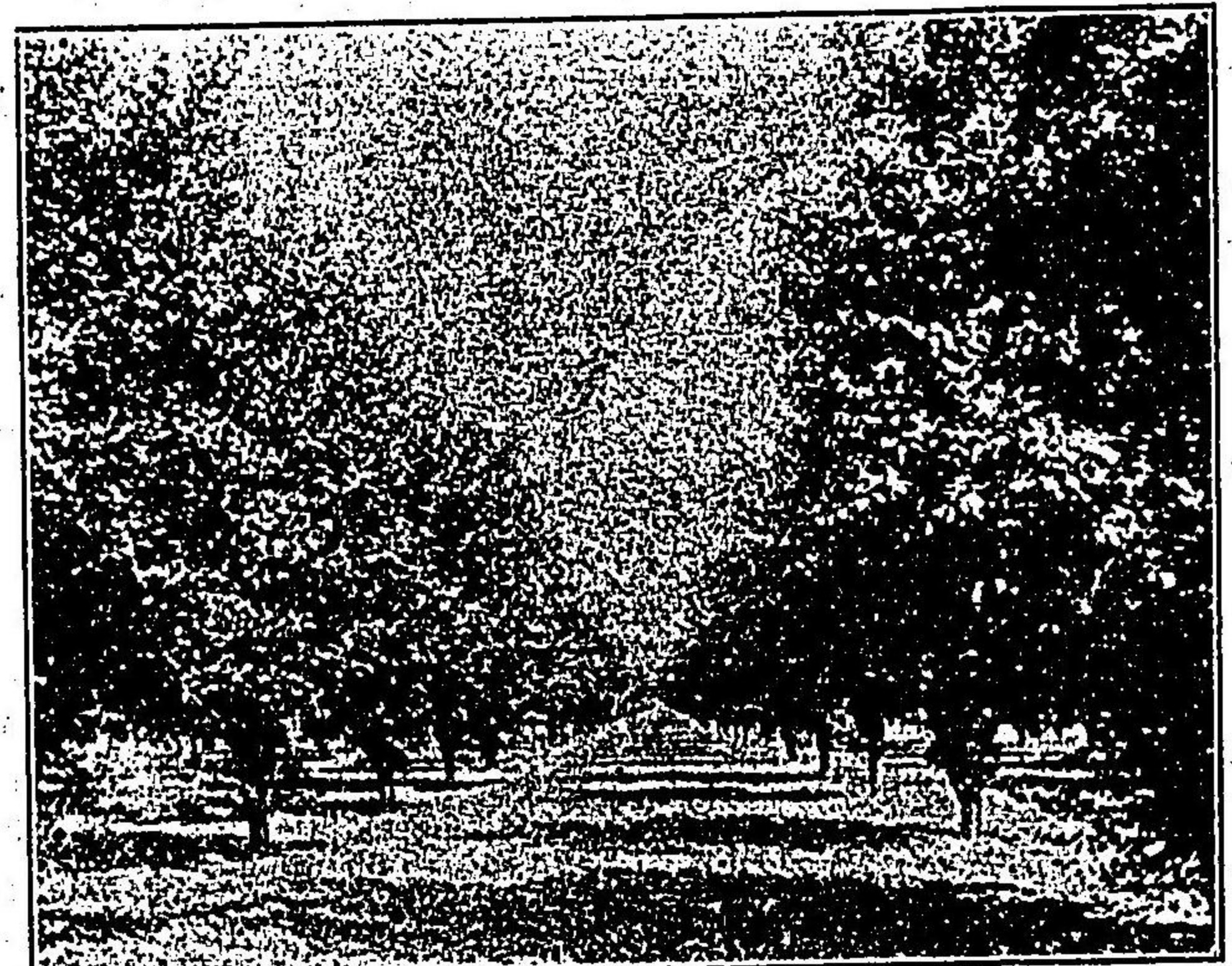
地方別	所有現金借地	歩合耕作	請負耕作	計
スタクトン	一、一六〇	二、三九〇	一、三九〇	三、九四〇
サクランメント	二、〇三八	九七八	一、二五二	三、〇一六
フレズノ	九四八	一、四〇〇	一、四〇〇	二、七四八
アラメダ郡	一、四一六	三、三六八	一、三九二	六、一七六
合計	六、〇〇二	七、一五六	五、八三二	一、九〇〇

四、ポテト

一千九百八年度のカリホルニヤ州に於けるポテトの作付は、四萬二千七百〇七英町にして、其生産額は五百七十七萬九千四百五十五弗なりとす。而して一千九百九年度に於て日本人の耕作反別は一萬八千九百〇六英町にして、其生産額は二百十五萬弗にして日本人の位置は極めて優勝なりとす。今茲に日本人のポテト耕作反別を地方別にし、更に其現金借地耕作、歩合耕作、受負耕作別を示せば左の如し

日本人のポテト耕作地方別

地方別	現金借地	歩合耕作	請負耕作	計
スタクトン	一、一六〇	二、三九〇	一、三九〇	三、九四〇
サクランメント	二、〇三八	九七八	一、二五二	三、〇一六
フレズノ	九四八	一、四〇〇	一、四〇〇	二、七四八
アラメダ郡	一、四一六	三、三六八	一、三九二	六、一七六
合計	六、〇〇二	七、一五六	五、八三二	一、九〇〇



〔加州のポテトの園〕

加州の日本人の農園

則ち日本人の葡萄栽培は、南加州及サクランメント最も盛に

一千九百八年度に於て加州の葡萄栽培反別は六千五百二十英町にして、其生産額は百五萬弗とす。而して日本人の栽培せる反別は五千五百〇四英町にして、其生産額は六十九萬弗也。則ち事實に於て加州の葡萄栽培は日本人大部分を占め居れりと云ふを得べし。尤も日本人の栽培反別に比し收得少なきは、歩合耕作ありて、其取得の全部を日本人の取得と見做し能はざるが爲めなり。今茲に日本人の葡萄栽培の地方別を示し、更に其所有、現金借地、歩合耕作、受負耕作別を擧ぐれば左の如し

日本人の葡萄栽培地方別

地方別	所有現金借地	歩合耕作	請負耕作	計
スタクトン	一、一六〇	二、三九〇	一、三九〇	三、九四〇
サクランメント	二、〇三八	九七八	一、二五二	三、〇一六
フレズノ	九四八	一、四〇〇	一、四〇〇	二、七四八
アラメダ郡	一、四一六	三、三六八	一、三九二	六、一七六
合計	六、〇〇二	七、一五六	五、八三二	一、九〇〇

して、サンノゼ、ワツソンビル之に次ぐり。實際に於て加州の莓は主も以上四地方に生産し、其他は殆んど言ふに足らざる也。

六、セロリー

加州のセロリーは、莓と均しく大部分は日本人の手に經營せらるるもの也。則ち一千九百九年度に於て加州全体の栽培反別は四千三十一英町、其産出價格は七十八万弗にして、日本人の栽培反別は三千五百九英町、其産出價格は五十六万弗とす。日本人の栽培反別に比し、産出額の少なきは歩合耕作ありて、全部日本人の取得と見做す能はざるに據れり。今試みに日本人のセロリー栽培地方別を示し、更に其所有、現金借地、歩合耕作別を擧ぐれば左の如し

日本人のセロリー栽培地方別

Table with columns: 地方別 (Localities), 所有 (Owned), 現金借地 (Cash leased), 歩合耕作 (Sharecropping), 計 (Total). Rows include 南加州 (Southern California), スタクトン (Stockton), and 合計 (Total).

七、砂糖大根

一千九百八年度加州の砂糖大根耕作反別は九萬三千四百五十英町にして、其の精製したる糖價は五百七十七萬九千七百五弗なりとす。而して一千九百九年度の日本砂糖大根耕作反別は三萬六千九百二英町、其産額は百二十五万弗なり。日本人の耕作反別に比し生産價格の少なきは歩合耕作、請負耕作ありて、全部日本人の取得と見做す能はざるのみならず、日本人は製糖事業に關係なければ其取得を除かざるべからざるに據れり。今則ち日本人の砂糖大根耕作地方別を示せば左の如し

日本人の砂糖大根耕作地方別

Table with columns: 地方別 (Localities), 所有 (Owned), 現金借地 (Cash leased), 歩合耕作 (Sharecropping), 請負耕作 (Contract farming), 計 (Total). Rows include アラメダ (Alameda), サクラメント (Sacramento), ワツソンビル (Watsonville), サノバ (San Jose), 南加州 (Southern California), and 合計 (Total).

七 日本人の農業反別

本社調査に依れば、カリフォルニア州に於て明治四十二年に日本人の經營したる農園は、十九萬五千九百五十八英町半(約我七萬八千五百町歩)にして、内所有地一萬六千四百四十九英町半(約我八千六百町歩)、現金借地八

日本人農業反別地方別表

Table with columns: 地方 (Localities), 年度 (Year), 所有 (Owned), 現金借地 (Cash leased), 歩合耕作 (Sharecropping), 請負耕作 (Contract farming), 小計 (Subtotal). Rows include アラメダ (Alameda), ヴァカヴ (Vacaville), イル地方 (Eureka area), and スタクトン (Stockton).

萬〇二百三十二英町(約我三萬二千二百町歩)、歩合耕作地五萬七千〇〇一英町(約我二萬三千町歩)、請負耕作地四萬二千二百七十六英町(約我一萬七千町歩)なりとす。之を前年度則ち明治四十一年度の加州日本人の農業地反別に比するに、所有地に於て一千三百三十五英町を、現金借地反別に於て二萬四千二百六十英町半を増し、歩合耕作反別に於て五百七十七英町半を減じ、又受負耕作反別に於て一萬六千一百三十八英町を増し、全体に於て四萬〇三百七十七英町半の増加を見たり。

今地勢に依り明治三十八年度以降五ヶ年間の加州日本人農業地面を示せば左の如し

Table with columns: 地方 (Localities), 年度 (Year), 所有 (Owned), 現金借地 (Cash leased), 歩合耕作 (Sharecropping), 請負耕作 (Contract farming), 小計 (Subtotal). Rows include サクラメント (Sacramento), 大民地和 (Large land), フレソ (Fresno), 南部加州 (Southern California), ワツソンビル (Watsonville), and サンノゼ (San Jose).

府 縣 別	所 有		現 金 借 地		収 穫 分 配 耕 作		請 負 耕 作		計	
	四十二年	四十一年	四十二年	四十一年	四十二年	四十一年	四十二年	四十一年	四十二年	四十一年
廣 島	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831
和 歌 山	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831
熊 本	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831
山 口	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831
愛 知	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831
山 陽 道	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831
大 阪	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831
滋 賀	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831
愛 媛	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831
高 知	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831
新 潟	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831
島 根	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831
香 川	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831
計	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831

るべし。就中サンオーキンバレー地方に地主耕作者の増加著しきは注目の値あるべし。

八 日本人農作府縣別

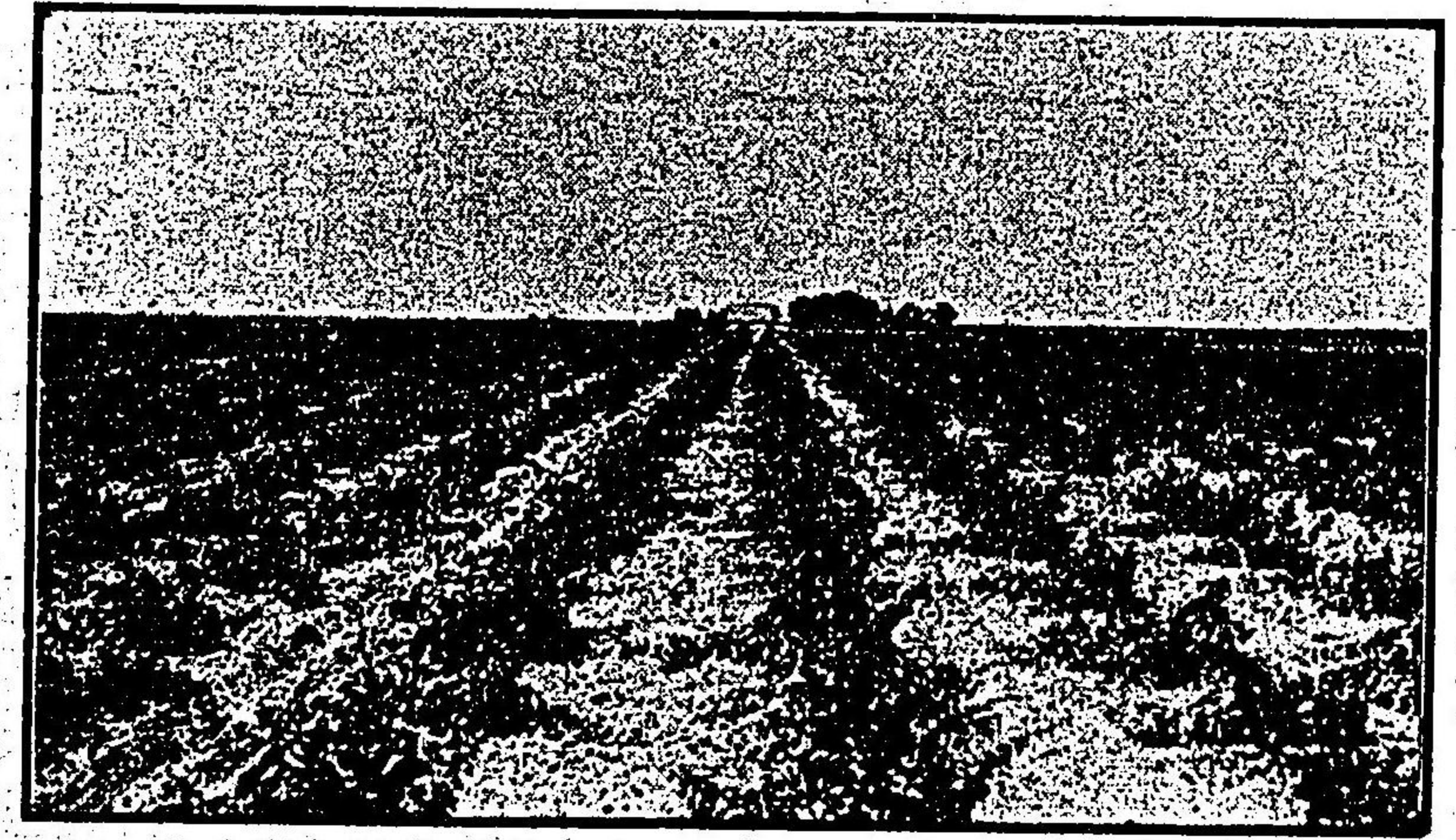
カリホルニア州に於て明治四十二年に日本人の經營したる農業地面を府縣別とし、之れを四十一年度の夫れに

に比すれば左の如し

但し反別を知るのみにては、直ちに各府縣人の實力を判定すべからず、假令土地を所有するも空地あり、果物其他の植付けあり、其價格均しからず、また作物に依りてもヘーと種類とは其生産額百と一の差異あるが如き反別に依りて速断すべからざるもまた以て大勢を知るに足るべし

合 計	地 方		所 有	現 金 借 地	歩 合 耕 作	請 負 耕 作	小 計
	三十八年	三十九年					
三十八年	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831
三十九年	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831
四十年	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831
四十一年	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831
四十二年	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831
計	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831	1,831

加 州 日 本 人 の 農 園 (大和植地園)



五千九百五十八英町半となり、三倍以上の發達を遂げた也。

更に地方に依りて見んか、日本人農業の盛んなるは、依然としてクラメント地方にしてスタクトン大和殖民地フレンソに涉たるサンオーキンバレー之に次げるを見

〔備考〕明治四十年以前のスタクトン地方の分は標面都地方に加算せり

以上の統計を見れば加州日本人の農業の如何に發達の速かなるを知るに足るべし。則ち所有地は明治三十八年に於て、僅かに二千四百四十二英町なりしもの、四十二年には一萬六千四百四十九英町となり、五ヶ年間に約七倍の増加をなし、現金借地は三十八年に三萬五千二百五十八英町なりしもの、四十二年には八萬二千三百三十二英町となり、五年間に約二倍半の増加をなし、歩合耕作は三十八年に於て一萬九千五百七十二英町なりしもの、四十二年には五萬七千〇〇一英町となり、五ヶ年間に約三倍の増加をなし、又請負耕作は三十八年に於て四千七百七十五英町なりしもの、四十二年には四萬二千二百七十六英町となり、五年間に八倍の増加をなし、全体に於て六萬一千八百五十八英町なりしもの、十九萬

作物別	所 有		現金借地		収穫分配耕作		請負耕作		計	
	四十二年 度	四十一年 度	四十二年 度	四十一年 度	四十二年 度	四十一年 度	四十二年 度	四十一年 度	四十二年 度	四十一年 度
果物	七、八三〇	七、七〇〇	二、七〇〇	二、七〇〇	三、一三〇	三、〇〇〇	三、一三〇	三、〇〇〇	一〇、七六〇	一〇、四〇〇
葡萄	七、八三〇	七、七〇〇	二、七〇〇	二、七〇〇	三、一三〇	三、〇〇〇	三、一三〇	三、〇〇〇	一〇、七六〇	一〇、四〇〇
果物野菜混作	七、八三〇	七、七〇〇	二、七〇〇	二、七〇〇	三、一三〇	三、〇〇〇	三、一三〇	三、〇〇〇	一〇、七六〇	一〇、四〇〇
果物野菜混作	七、八三〇	七、七〇〇	二、七〇〇	二、七〇〇	三、一三〇	三、〇〇〇	三、一三〇	三、〇〇〇	一〇、七六〇	一〇、四〇〇
葡萄	七、八三〇	七、七〇〇	二、七〇〇	二、七〇〇	三、一三〇	三、〇〇〇	三、一三〇	三、〇〇〇	一〇、七六〇	一〇、四〇〇
砂糖	七、八三〇	七、七〇〇	二、七〇〇	二、七〇〇	三、一三〇	三、〇〇〇	三、一三〇	三、〇〇〇	一〇、七六〇	一〇、四〇〇
野菜	七、八三〇	七、七〇〇	二、七〇〇	二、七〇〇	三、一三〇	三、〇〇〇	三、一三〇	三、〇〇〇	一〇、七六〇	一〇、四〇〇
花	七、八三〇	七、七〇〇	二、七〇〇	二、七〇〇	三、一三〇	三、〇〇〇	三、一三〇	三、〇〇〇	一〇、七六〇	一〇、四〇〇
養蠶	七、八三〇	七、七〇〇	二、七〇〇	二、七〇〇	三、一三〇	三、〇〇〇	三、一三〇	三、〇〇〇	一〇、七六〇	一〇、四〇〇
セロリ	七、八三〇	七、七〇〇	二、七〇〇	二、七〇〇	三、一三〇	三、〇〇〇	三、一三〇	三、〇〇〇	一〇、七六〇	一〇、四〇〇
メロン	七、八三〇	七、七〇〇	二、七〇〇	二、七〇〇	三、一三〇	三、〇〇〇	三、一三〇	三、〇〇〇	一〇、七六〇	一〇、四〇〇
ヘーコン混作	七、八三〇	七、七〇〇	二、七〇〇	二、七〇〇	三、一三〇	三、〇〇〇	三、一三〇	三、〇〇〇	一〇、七六〇	一〇、四〇〇
アスパラガス	七、八三〇	七、七〇〇	二、七〇〇	二、七〇〇	三、一三〇	三、〇〇〇	三、一三〇	三、〇〇〇	一〇、七六〇	一〇、四〇〇
葱、豆、芋混作物	七、八三〇	七、七〇〇	二、七〇〇	二、七〇〇	三、一三〇	三、〇〇〇	三、一三〇	三、〇〇〇	一〇、七六〇	一〇、四〇〇
計	七、八三〇	七、七〇〇	二、七〇〇	二、七〇〇	三、一三〇	三、〇〇〇	三、一三〇	三、〇〇〇	一〇、七六〇	一〇、四〇〇

前表に依れば廣嶺縣人の農業最も盛んにして、和歌山縣人之に次ぎ、共に総耕地の約五分の一を経営しつゝある割合なり。是れ兩縣人の在留するもの多くして且つ古く在留せるものあるに據れり。而して其他にありても熊本福岡、山口、岡山、愛知の諸縣亦在留するもの多く従つて農業盛なるを見るべし。

九 加州日本人農業作物別  
明治四十二年日本人の農業作物別を所有、現金借地、歩合耕作、受負耕作に依りて示し、前年度のものと比すれば左の如し

府 縣 別	所 有		現金借地		収穫分配耕作		請負耕作		計	
	四十二年 度	四十一年 度	四十二年 度	四十一年 度	四十二年 度	四十一年 度	四十二年 度	四十一年 度	四十二年 度	四十一年 度
東 京	一、二二一	一、二二一	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	四、二二一	四、二二一
兵 庫	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇
千 葉	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇
京 都	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇
長 崎	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇
宮 崎	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇
茨 城	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇
島 根	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇
徳 島	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇
香 川	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇
群 馬	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇
北 海	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇
福 岡	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇
宮 城	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇
山 形	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇
青 森	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇
山 梨	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇
石 川	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇
大 石	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇
不 會	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇
計	七、七〇〇	七、七〇〇	二、七〇〇	二、七〇〇	三、一三〇	三、〇〇〇	三、一三〇	三、〇〇〇	一〇、七六〇	一〇、四〇〇

作物別	所有		現金借地		収穫分配耕作		請負耕作		計	
	四十二年度	四十一年度	四十二年度	四十一年度	四十二年度	四十一年度	四十二年度	四十一年度	四十二年度	四十一年度
キヌカン	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
トメ	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
アニ	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
牛乳	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
苗	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
ハツナス	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
ヘー、薯	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
ホテ	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
果物	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
ハラガス	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
コニ	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
ホニ	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
アルフ	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
砂糖大根	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
砂糖大根	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
砂糖大根	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
牧場	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
メロン	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
豆	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
苗木	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
養鶏	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
養鶏	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
アソ	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
果物	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
養鶏	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
養鶏	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....

作物別	所有		現金借地		収穫分配耕作		請負耕作		計	
	四十二年度	四十一年度	四十二年度	四十一年度	四十二年度	四十一年度	四十二年度	四十一年度	四十二年度	四十一年度
葡萄苗木	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
小麦	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
ハツナス	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
豆	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
養鶏	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
養鶏	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
密柑	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
山	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
未開	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
合計	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....

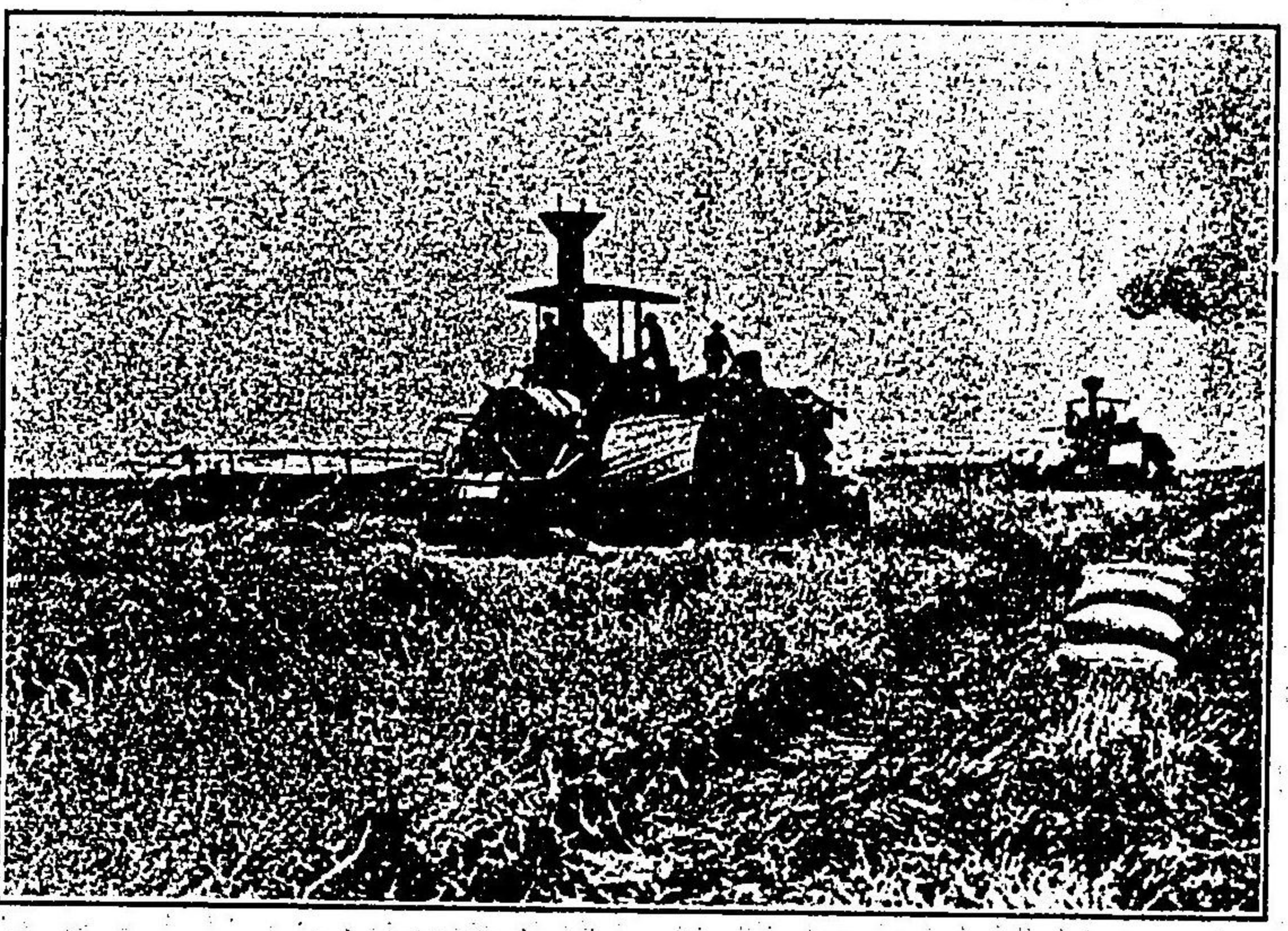
十 加州の農業と資本家

在加州日本人の農業は、今や已に労働時代及び小作農業時代を経過して、將に地主農業時代に入らむとす。若し假らるゝとは上來記述する處に依りて明かなるべし。若し假らるゝに資本家ありて、交通運輸の道開け、灌漑の便備はれる一大區劃の土地を買入れ、之を二十英町若しくは四十英町(加州に於て一農家に恰當なる反別也)に分割し、簡易なる年賦拂崩しの方法を以て、小資本の耕作者に賣り渡すを得ば一面に於ては、資本家の營利事業として極めて安全且つ有利なるのみならず、現在の如く日本人が區々に土地を購入するよりも甚だ利益なれば、更に一層地

主耕作を促進し、土着永住の精神を起さしむるを得べく從つて基礎強固なる殖民地を建設し得べきは論を俟たず是れ現に米國人資本家の間に盛んに行はるゝ事業にして爲めに資本家の収益大なると共に、小資本耕作者の享受する利便幾何なるを知らず。然るに最も農業に適し且つ已に地主農業の行はるゝ日本人間に未だ斯の如き一舉兩得の方法採用せらるゝに至らざるは、單に加州日本人農業者の爲めに痛恨すべきのみにあらざりて、加州に於ける我大和民族の發達の爲め頗る遺憾なりと云はざるべからず。今試みに三千英町の土地を購入し、耕作者に賣り出すものとして、資本家側の經營方法及其収益を案する

(一) 先づ三千英町の土地を普通日本人耕作者の經營に  
 恰當せる二十英町宛に分割し、其内五英町に葡萄を他の  
 五英町にアルファハー(牧草)を植付け、二ケ年間手入れ  
 し二年の後に至りて、之を耕作者に賣渡すものとすれ  
 ば耕作者は比較的僅少の資金を以て事業に着手するを得  
 るのみならず、購入の翌年度より多少の収穫物ありて收  
 得するを得る利益あり。(二) 而して資本家に在りては  
 三千英町の土地を三區に分ち、初年度に第一區の一千英  
 町に葡萄二百五十英町、アルファハー二百五十英町を植  
 付け、二年間手入れし、二年の後に耕作者に賣渡すもの  
 とし、第二區及第三區の各一千英町亦順次に一年後に  
 同様の植付け及手入れを爲し、四年の後に全部の賣渡し  
 を終了するものと假定す。(三) 賣出し直段は第一區則ち  
 着手後二年を経たるものは、一英町一百二十五弗(一區  
 劃二十英町の總額二千五百弗)、第二區則ち着手後三年を  
 経たるものは一英町百三十五弗(一區劃二十英町の總額  
 二千七百弗)、第三區則ち着手後四年を経て賣出すものは  
 一英町百五十弗(一區劃二十英町の總額三千弗)とす。同  
 一農園にして年を経るに従ひ地代の高くなる所以は、土  
 地開け、人口の稠密となるに連れ、附近一体に地價を騰  
 貴せしむるは米國の慣例也。(四) 耕作者の地代支拂ひは  
 年賦済し崩しの方法にして、賣買契約成立と同時に一英  
 町に付金二十五弗(一區劃二十英町に對し五百弗)を拂込

バレーの收穫器



しては年八朱の金利を支拂しむるものとす。(五) 耕作者

ましめ、以後三年間は毎年一英町に付金十五弗宛(一區  
 劃二十英  
 町に對し  
 毎年三百  
 弗)、四年  
 目に一英  
 町に付廿  
 五弗(則  
 ち一區劃  
 二十英町  
 に對し五  
 百弗)、五  
 年目に殘  
 金全部を  
 拂込まし  
 め、且つ  
 賣買契約  
 成立以後  
 の拂込み  
 殘金に對

は買入れの翌年より多少の収穫物を得、三年以後に至り  
 ては地代經營費を支拂ひて相當の純益を取得すべく、而  
 して植付五年以上を経過したる土地に對しては、之を擔  
 保として一英町に付き五十弗乃至七十五弗の借入れ金を  
 なすは決して難事にあらず。(六) 資本家の土地購入條件  
 は一英町金五十弗と假定し、即金十二弗五十仙、一年後六  
 弗二十五仙、二年後に六弗二十五仙とし、其殘金は數年  
 間据置くとを得べし。  
 今以上の方法に依り三千英町を購し、之を二十英町に  
 分割して賣出すものとす、其収支概算を示せば左の如し

- ▲初年度収支豫算
- 一、支 出
  - 一金三萬七千五百弗 三千英町の地代第一回拂込み額
  - (一英町五十弗なれば三千英町十五萬弗とし、内第一回分として賣買契約成立の時一英町に付十二弗五十仙宛を拂ひ込むものとす)
  - 一金一千弗 灌水料
  - (灌水料は一英町一弗なれば第一區一千英町の灌水使用料とす)
  - 一金六千二百五十弗 第一區葡萄植付及手入費
  - (第一區一千英町の内二百五十英町に葡萄を植付けるものとして、一英町の植付及手入費二十五弗宛とす)
  - 一金六千二百五十弗 同 アルファハー植付費
  - (第一區千英町の内、二百五十英町にアルファハー(牧草)を植付けるものとして、一英町の植付費二十五弗宛とす)
  - 一金一萬弗 諸 雜 費
  - (經營に關する事務費其他一切の諸經費)

計 六萬一千弗

一、収 入

- 一金七萬弗 第一回出資金
- 差引 七千弗 次年度繰越金

- ▲第二年度収支豫算
- 一、支 出
  - 一金一萬八千七百五十弗 地代第二回拂込額
  - (地代第二回分として一英町に對し六弗二十五仙宛三千英町分)
  - 一金九千弗 地代未拂金利朱
  - (地代未拂込金十二萬二千五百弗に對し年八朱)
  - 一金六千二百五十弗 出資金利子
  - (第一回出資金七萬弗に對し年八朱)
  - 一金六千二百五十弗 第二區葡萄植付及手入費
  - (第二區一千英町の内二百五十英町に葡萄を植付けるものとして、一英町の植付及手入費二十五弗宛とす)
  - 一金六千二百五十弗 第二區アルファハー植付費
  - (第二區一千英町の内二百五十英町にアルファハーを植付けるものとして、一英町の植付費二十五弗宛とす)
  - 一金三千七百五十弗 第一區葡萄手入費
  - (初年度に植付けし第一區の葡萄二百五十英町に對する手入費とす)
  - 一金二千弗 灌水料
  - (第一、第二兩區の二千英町に對する灌水費とす)
  - 一金一萬二千弗 諸 雜 費
  - (初年度に同じ)
- 計 六萬三千六百弗
- (備考) アルファハーは第二年度より手入費を要せず、二年目より收穫

あり、手入費を支拂ひて餘りあり)

一、収 入

前年度繰越金  
 一金七千 弗

第一區賣出地代第一回拂込金  
 (第一區一千英町の賣出しに對し第一回地代として二英町二十五弗宛拂込まじむるものごと)

一金五 千 弗

第一區牧草賣上高  
 (初年度第一區に植付たる二百五十英町よりの収獲)

一金三 萬 弗

第二回出資金

計 六萬七千 弗

翌年度繰越金  
 差引 三千四百 弗

▲第三年度収支豫算

一、支 出

一金一萬八千七百五十 弗 第三回地代拂込金  
 (三千英町に對し二英町六弗二十五仙宛第二年度に同じ)

一金七千五百 弗 地代未拂金利息

一金八 千 弗 出資金利息

(第一回出資金七萬弗、第二回出資金三萬弗合計十萬弗に對し年八分)

一金一萬二千五百 弗 第三區葡萄、アルファハ、  
 植付及手入費

(第三區の二千英町に對し葡萄、アルファハ、二百五十英町宛の植付及手入費に對し第一、第二年度のものに同じ)

一金三千七百五十 弗 第二區葡萄手入費

(第二區の葡萄二百五十英町の第二回手入費に對し第二年度の第一區のものと同じ)

一金二 千 弗 灌 水 費

(第一區は賣り拂ひ第二、第三區の二千英町に對する灌水費とす)

一金一萬二千 弗 諸 雜 費

計 六萬四千五百 弗

一、収 入

前年度繰越金  
 一金三千四百 弗

第一區地代第二回收入  
 一金一萬五千 弗

同未拂地代利息

一金八 千 弗

第二區地代第一回收入

一金二萬五千 弗

第二區牧草賣上高  
 (以上二項は第二年度のものに同じ)

一金一 萬 弗 第三回出資金

計 六萬六千四百 弗

差引 一千九百 弗

▲第四年度収支豫算

一、支 出

一金六 千 弗 地代未拂金利息

一金八千八百 弗 出資金に對する利息

一金一 千 弗 水使用料(二千英町分)

一金三千七百五十 弗 葡萄手入費

一金一萬二千 弗 諸 雜 費

合計金三万一千五百五十 弗

一、収 入

前年度繰越金  
 一金二千九百 弗

第三回拂込金  
 一金二萬五千 弗

右未拂地代利息

一金六千八百 弗

第二區地代第二回收入

一金一万五千 弗

右未拂地代利息

一金八千八百 弗

第三區地代第一回拂込

一金二萬五千 弗

合計 金七萬七千五百 弗

差引 金四萬六千 弗

内金 四 萬 弗 出資者へ返却

殘金 六 千 弗 翌年度繰越金

▲第五年度収支豫算

一、支 入

土地未拂金利息  
 一金六 千 弗 出資金に對する利息

一金八千八百 弗 諸 雜 費

一金六 千 弗 (四年目に土地全部賣却を了したるを以て、五年度の経費は半額にて充分あり)

合計 金二万八千 弗

一、收 入

前年度繰越金  
 一金六 千 弗

第一區土地第四回拂込金  
 一金一万五千 弗

右未拂金利息

一金五千六百 弗

第二區土地第三回拂込金  
 一金二萬五千 弗

右未拂金利息  
 一金七千六百 弗

第三區土地第二回拂込金  
 一金一萬五千 弗

右未拂金利息

一金一 萬 弗

合計 金七萬三千四百 弗

差引 金五萬三千四百 弗

内 金 五 萬 弗 出資者へ返却

殘金 三 千 四 百 弗 翌年度繰越金

▲第六年度収支豫算

一、支 出

土地未拂金利息  
 一金六 千 弗 出資金利息

一金五千六百 弗 諸 雜 費

合計 金一萬七千六百 弗

一、収 入

前年度繰越金  
 一金三千四百 弗

第一區土地第五回拂込金  
 一金二萬五千 弗

右未拂金利息

一金四千四百 弗

第二區土地第四回拂込金  
 一金一萬五千 弗

右未拂金利息

一金六千四百 弗

第三區土地第三回拂込金  
 一金一萬五千 弗

右未拂金利息  
 一金八千八百 弗

合計 金七萬八千 弗

差引 金六萬四百 弗

内 金 二 萬 弗 出資者へ返却



残金 四萬四百弗  
而して六年目に於ける債權債務の總勘定をなすに則ち左の如し

資産の部	
現金有高	一金四萬四百弗
第一區未納金殘額	一金三萬弗
第二區未納金殘額	一金六萬五千弗
第三區未納金殘額	一金九萬五千弗
合計	金二十三萬四百弗

負債の部	
地代未拂金殘額	一金七萬五千弗
差引	金十五萬五千四百弗
合計	金二十三萬四千四百弗

以上記する處に依りて、資本家として加州の土地に投資するの利益甚大なるを知るに足らむ。則ち前後十一萬弗の資本を投すれば、之に對して元金に毎年八朱の利息を附して控除したる上、五年の後は更に十五萬五千弗の純益を得べく、假りに純益の三分の一を經營者に與ふるとすれば十萬餘弗、純益の二分の一を經營者に與ふるとしても七萬七千五百餘弗の實収を受ける譯けなるが上記の豫算は概して収益を内輪に見積りたれば、實際の純益は之れに止まらざるべし。米國の資本家が土地に投資して、自ら手を拱き、安全且つ確實に莫大の利益を収めつゝあるは、一區劃の土地を買収して、更に之を小分

して小資本家に賣り付くる以上の方法あれば也。我國にも資本餘りありて、未だ此有利にして確實、且つ在米邦人の最も渴望せる事業に投資するものなきは、全く加州の實狀に通せざる爲めに於て、資本家の爲めにも、在米邦人發展の爲めにも惜むべきとなりと云ふべし。

十一 アラメダ郡の日本人農業

明治四十二年度のアラメダ郡に於ける日本人の農業は、土地所有百七英町半、現金借地一千二百九十九英町半、歩合耕作一千二百八十一英町、請負耕作三千八百五英町なり。其府縣別及作物別を示せば左の如し

府縣別	土地所有	現金借地	折半耕作	請負耕作	計
府	七〇	二八三	一五四	一〇〇〇	一、六〇八
和歌山	一九	四三	五五	三五〇	四六八
福井	一	一	一	一	四
兵庫	三	一	一	一	六
愛知	三	一	一	一	六
山形	一	一	一	一	四
岡山	二	一	一	一	五
高知	二	一	一	一	五
岡山	二	一	一	一	五
神奈川	二	一	一	一	五
廣島	二	一	一	一	五
大分	一	一	一	一	四
青森	一	一	一	一	四
合計	一七二	五九七	一五七	一、四一五	三、一三九

アラメダ地方農業者表

府縣	姓名	作物	年次
府	堂本 花	園	一〇
和歌山	鍋田 兄弟	園	八
福井	林 兄弟	園	六
福山	木村 兄弟	園	五
兵庫	末安 兄弟	園	四
愛知	大石 兄弟	園	三
山形	岡田 兄弟	園	三
岡山	足立 兄弟	園	三
高知	鶴岡 兄弟	園	三
和歌山	酒井 兄弟	園	三
兵庫	大岡 兄弟	園	三
神奈川	高橋 兄弟	園	二
高知	大岡 兄弟	園	二
廣島	福住 兄弟	園	二
合計	古屋 金助	園	一

アラメダ郡日本人農作物表

作物	所有	現金借地	歩合耕作	請負耕作	計
作	一〇〇	二二四	二二	一、二二	一、五六八
花	四〇	一〇七	一一	一〇〇	二六〇
野	一	一	一	一	四
野菜	一	一	一	一	四
アスパラガ	一	一	一	一	四
ヘチマ	一	一	一	一	四
砂糖	一	一	一	一	四
果	一	一	一	一	四
コ	一	一	一	一	四
養	一	一	一	一	四
其	一	一	一	一	四
計	一〇七	二九二	二二	一、二二	一、五九三

府縣	姓名	作物	年次
府	堂本 花	園	一〇
和歌山	鍋田 兄弟	園	八
福井	林 兄弟	園	六
福山	木村 兄弟	園	五
兵庫	末安 兄弟	園	四
愛知	大石 兄弟	園	三
山形	岡田 兄弟	園	三
岡山	足立 兄弟	園	三
高知	鶴岡 兄弟	園	三
和歌山	酒井 兄弟	園	三
兵庫	大岡 兄弟	園	三
神奈川	高橋 兄弟	園	二
高知	大岡 兄弟	園	二
廣島	福住 兄弟	園	二
合計	古屋 金助	園	一

府縣	姓名	作物	年次
府	堂本 花	園	一〇
和歌山	鍋田 兄弟	園	八
福井	林 兄弟	園	六
福山	木村 兄弟	園	五
兵庫	末安 兄弟	園	四
愛知	大石 兄弟	園	三
山形	岡田 兄弟	園	三
岡山	足立 兄弟	園	三
高知	鶴岡 兄弟	園	三
和歌山	酒井 兄弟	園	三
兵庫	大岡 兄弟	園	三
神奈川	高橋 兄弟	園	二
高知	大岡 兄弟	園	二
廣島	福住 兄弟	園	二
合計	古屋 金助	園	一

パカビル及附近に於て明治四十二年に日本人の經營せる農業は、六千一百五十二英町にして、内所有四百〇四英町、現金借地二千五百三英町、歩合耕作三千二百四十五英町なり。今其府縣別、作物別及び農業者表を示せば左の如し

十二、パカビル地方の農業

Table listing agricultural products and their quantities in various regions like 岡山, 宮城, 奈良, etc.

パカビル及附近日本人農業者反別表

パカビル及附近農業者表
●土地所有の部

Table with columns for agricultural products (種別), land ownership (所有), cash loans (現金借地), sharecropping (歩合借地), and crop types (作物種類).

府縣別 姓名 作物種類
和歌山 南出 榮雄 果
和歌山 和田惣太郎 果

Table listing agricultural products and quantities in California regions like 神奈川, 京都, 和歌山, etc.

Table listing agricultural products and quantities in California regions like 神奈川, 和歌山, 京都, etc.

Table listing agricultural products and quantities in California regions like 神奈川, 和歌山, 京都, etc.



Table of agricultural products and prices, including items like rice and various fruits, with columns for region names and numerical values.

Table titled '現金借地の部' (Section of Cash Loans) listing agricultural products and prices for various regions.

Table of agricultural products and prices for the 'Sakuragi' (櫻地) region, listing items and their respective prices.

Large table of agricultural products and prices, organized by region (e.g., California, Japan) and listing various goods and their values.

Table titled '櫻府地方農業者表' (Agricultural Workers of Sakuragi), listing names, locations, and related agricultural data.



Table with columns for various regions (e.g., 福岡, 同島, 廣島) and rows for specific locations and products, including numerical values at the bottom.

Table with columns for various regions (e.g., 愛知, 同島, 大津) and rows for specific locations and products, including numerical values at the bottom.

Table with columns for various regions (e.g., 山口, 鹿島, 同島) and rows for specific locations and products, including numerical values at the bottom.

Table with columns for various regions (e.g., 新山, 山梨, 全山) and rows for specific locations and products, including numerical values at the bottom.

Table with columns for various regions (e.g., 全山, 全山, 全山) and rows for specific locations and products, including numerical values at the bottom.

Table with columns for various regions (e.g., 全山, 全山, 全山) and rows for specific locations and products, including numerical values at the bottom.



Table with columns for names (e.g., 吉山, 友岡, 沖村) and values (e.g., 二九, 三〇, 五〇). Includes sub-headers like '山梨', '山梨', '山梨'.

Table with columns for names (e.g., 伊藤, 小坂, 日比野) and values (e.g., 三五, 六〇, 七〇). Includes sub-headers like '山梨', '山梨'.

Table with columns for names (e.g., 兒玉, 大前, 新田) and values (e.g., 三五, 三〇, 二〇). Includes sub-headers like '山梨', '山梨'.

Table with columns for names (e.g., 伊藤, 尾崎, 加藤) and values (e.g., 四〇, 〇〇, 二七). Includes sub-headers like '山梨', '山梨'.

Table with columns for names (e.g., 新井, 塚本, 藤川) and values (e.g., 一〇, 七〇, 四〇). Includes sub-headers like '山梨', '山梨'.

Table with columns for names (e.g., 梅田, 石山, 米賀) and values (e.g., 〇八, 一四, 八七). Includes sub-headers like '山梨', '山梨'.





愛	愛	同	佐	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	廣	廣	廣	同	同	廣
知	知	賀	賀	島	島	島	島	島	島	島	島	島	島	立	附	▲現金借地の部	▲アキヤンボ地方	池田	廣
鈴木	小杉	船川	船川	船川	船川	船川	船川	船川	船川	船川	船川	船川	船川	船川	船川	船川	船川	船川	船川
文司	九三	唯次	唯次	唯次	唯次	唯次	唯次	唯次	唯次	唯次	唯次	唯次	唯次	唯次	唯次	唯次	唯次	唯次	唯次
〜葡	〜葡	〜葡	〜葡	〜葡	〜葡	〜葡	〜葡	〜葡	〜葡	〜葡	〜葡	〜葡	〜葡	〜葡	〜葡	〜葡	〜葡	〜葡	〜葡
四八〇〇	一〇五五	一〇五五	一〇五五	一〇五五	一〇五五	一〇五五	一〇五五	一〇五五	一〇五五	一〇五五	一〇五五	一〇五五	一〇五五	一〇五五	一〇五五	一〇五五	一〇五五	一〇五五	一〇五五

廣	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	廣	廣	廣	廣	廣	廣	廣
嶋	嶋	嶋	嶋	嶋	嶋	嶋	嶋	嶋	嶋	嶋	嶋	嶋	嶋	嶋	嶋	嶋	嶋	嶋	嶋	嶋
可波	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤
傳次	次郎	次郎	次郎	次郎	次郎	次郎	次郎	次郎	次郎	次郎	次郎	次郎	次郎	次郎	次郎	次郎	次郎	次郎	次郎	次郎
苗木	苗木	苗木	苗木	苗木	苗木	苗木	苗木	苗木	苗木	苗木	苗木	苗木	苗木	苗木	苗木	苗木	苗木	苗木	苗木	苗木
五六〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇

廣	廣	全	全	和	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
島	島	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山
河府	飯下	飯下	飯下	飯下	飯下	飯下	飯下	飯下	飯下	飯下	飯下	飯下	飯下	飯下	飯下	飯下	飯下	飯下	飯下	飯下
完一	次郎	次郎	次郎	次郎	次郎	次郎	次郎	次郎	次郎	次郎	次郎	次郎	次郎	次郎	次郎	次郎	次郎	次郎	次郎	次郎
葡萄	葡萄	葡萄	葡萄	葡萄	葡萄	葡萄	葡萄	葡萄	葡萄	葡萄	葡萄	葡萄	葡萄	葡萄	葡萄	葡萄	葡萄	葡萄	葡萄	葡萄
八〇〇〇	三三〇〇	三三〇〇	三三〇〇	三三〇〇	三三〇〇	三三〇〇	三三〇〇	三三〇〇	三三〇〇	三三〇〇	三三〇〇	三三〇〇	三三〇〇	三三〇〇	三三〇〇	三三〇〇	三三〇〇	三三〇〇	三三〇〇	三三〇〇

山	廣	高	全	全	高	高	高	高	愛	全	山	熊	愛	福	廣	愛	兵	廣	熊	山	廣
口	島	知	知	知	知	知	知	知	知	知	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口
吉	大内	寺宮	高橋	若原	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤
浦	喜平	田	田	田	田	田	田	田	田	田	田	田	田	田	田	田	田	田	田	田	田
ボ	アス	ボ	ボ	ボ	ボ	ボ	ボ	ボ	ボ	ボ	ボ	ボ	ボ	ボ	ボ	ボ	ボ	ボ	ボ	ボ	ボ
テ	ガ	テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ
ト	ス	ト	ト	ト	ト	ト	ト	ト	ト	ト	ト	ト	ト	ト	ト	ト	ト	ト	ト	ト	ト
三〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇

熊	山	和	大	全	山	山	山	山	福	愛	全	廣	愛	熊	廣	福
本	口	山	阪	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口
松	瀧	中	谷	川	松	好	好	好	好	好	好	好	好	好	好	好
本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本
ボ	ボ	ボ	ボ	ボ	ボ	ボ	ボ	ボ	ボ	ボ	ボ	ボ	ボ	ボ	ボ	ボ
テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ
一五〇〇	二〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇

廣	廣	全	全	北	愛	千	石	全	和	全	廣	愛	廣	廣	兵	全	廣	廣	
島	島	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山
坂部	加藤	加藤	加藤	加藤	加藤	加藤	加藤	加藤	加藤	加藤	加藤	加藤	加藤	加藤	加藤	加藤	加藤	加藤	加藤
多三	次郎	次郎	次郎	次郎	次郎	次郎	次郎	次郎	次郎	次郎	次郎	次郎	次郎	次郎	次郎	次郎	次郎	次郎	次郎
葡萄	葡萄	葡萄	葡萄	葡萄	葡萄	葡萄	葡萄	葡萄	葡萄	葡萄	葡萄	葡萄	葡萄	葡萄	葡萄	葡萄	葡萄	葡萄	葡萄
五〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇

地方農業者  
▲土壌所有の部  
▲アキヤンボ地方

熊本	山口	岡山	愛知	鹿島	島根	香島	山梨	東山	静岡	長島	大島	千野	沖野	兵衛	高野	北野	愛知	神奈川	山形	富山	岐阜	福井	茨城	茨城	会社	計	
五七五	三〇二	三三〇	二二〇	一七〇	一五〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇
八〇九	七〇五	五〇〇	二〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇
二四〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇
三、七九八	一、四二八	一、四二八	一、四二八	一、四二八	一、四二八	一、四二八	一、四二八	一、四二八	一、四二八	一、四二八	一、四二八	一、四二八	一、四二八	一、四二八	一、四二八	一、四二八	一、四二八	一、四二八	一、四二八	一、四二八	一、四二八	一、四二八	一、四二八	一、四二八	一、四二八	一、四二八	一、四二八

● フレスノ地方農業者表

▲ 土地所有の部

熊本	山口	岡山	愛知	鹿島	島根	香島	山梨	東山	静岡	長島	大島	千野	沖野	兵衛	高野	北野	愛知	神奈川	山形	富山	岐阜	福井	茨城	茨城	会社	計	
五〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇

山口	愛知	同	廣島	岡山	同	同	廣島	山口	同	同	愛知	同	同	山口	廣島
石田兵衛	片岡藤十郎	連本龜一助	清合静一郎	小川直太郎	信江	田中	玉田	上川	河村安次郎	△ローダイ	松岡	内藤	伊藤	片岡	西村
葡萄	葡萄	葡萄	葡萄	葡萄	葡萄	葡萄	葡萄	葡萄	葡萄	葡萄	葡萄	葡萄	葡萄	葡萄	葡萄
一八〇	四〇〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇

十五 フレスノ地方の農業

明治四十二年度にフレスノに於て、日本人の經營したる農業は二萬五千七百四十七英町半にして、内所有六千八百十八英町半、現金借地五千七百五十八英町半、歩合耕作一萬三千七百七十英町なり。同地方の特色と稱すべきは地主耕作の多きにありて、日本人にして土地を所有して農業を經營するもの多きとフレスノ地方に及ぶものなし。其府縣別及作物別を示せば左の如し

府縣	所有	現金借地	分配耕作	計
廣島	三、二〇三	二、二三五	四、五二二	九、八六〇
岡山	四四〇	一、二二八	三、八四〇	五、四〇八



Table of agricultural statistics for page 123, listing various regions (e.g., 神奈川, 山梨, 和歌山) and their associated crop production data in multiple columns.

Table of agricultural statistics for page 123, listing various regions (e.g., 滋賀, 福井, 山梨) and their associated crop production data in multiple columns.

Table of agricultural statistics for page 123, including a section for '歩合耕作の部' and listing various regions (e.g., 全山, 同同同) and their associated crop production data.

Table of agricultural statistics for page 122, listing various regions (e.g., 同同同, 同同同) and their associated crop production data, including a section for '現金借地の部'.

Table of agricultural statistics for page 122, listing various regions (e.g., 和歌山, 同同同) and their associated crop production data in multiple columns.

Table of agricultural statistics for page 122, listing various regions (e.g., 香川, 廣島, 同同同) and their associated crop production data in multiple columns.





Table with 4 columns: Name, Address, Crop, Yield. Includes entries like 同熊本, 同鹿兒島, 同沖繩, etc.

Table with 4 columns: Name, Address, Crop, Yield. Includes entries like 同廣山, 同和歌山, 同熊本, etc.

Table with 4 columns: Name, Address, Crop, Yield. Includes entries like 同同山, 同同歌山, 同同山, etc.

Table with 4 columns: Name, Address, Crop, Yield. Includes entries like 同熊本, 同鹿兒島, 同沖繩, etc. Includes a section for '現金の借地の部'.

Table with 4 columns: Name, Address, Crop, Yield. Includes entries like 同廣山, 同和歌山, 同熊本, etc.

Table with 4 columns: Name, Address, Crop, Yield. Includes entries like 全廣山, 全全山, 全山, etc.



Table listing agricultural products and their prices for various prefectures (e.g., 岡山, 広島, 山形). Includes names like 吉田初太郎 and 世羅吉太郎.

Table listing agricultural products and their prices for various prefectures (e.g., 山形, 山梨, 長野). Includes names like 勝田音五郎 and 田坂増吉.

Table listing agricultural products and their prices for various prefectures (e.g., 山形, 山梨, 長野). Includes names like 古田清雄 and 田代豊吉.

Table listing agricultural products and their prices for various prefectures (e.g., 山形, 山梨, 長野). Includes names like 高野勝平 and 二宮精一郎.

Table listing agricultural products and their prices for various prefectures (e.g., 山形, 山梨, 長野). Includes names like 河田文太郎兄弟 and 松浦順藏.

Table listing agricultural products and their prices for various prefectures (e.g., 山形, 山梨, 長野). Includes names like 岩村虎太郎 and 村本九太郎.



Table with 10 columns and 4 rows of data. Columns include names like 熊本, 神奈川, 廣島, 和歌山, 神奈川, 同, 同, 同, 和歌山, 同. Rows include names like 石崎龜太郎, 加藤 勝彦, 坂口久三郎, 石田 國吉, 山本 榮吉, 石塚龜太郎, 渡谷三郎, 加藤 傳次郎, 高橋 正平, 伊藤 壽一, 山下 寅吉, 森岡島次郎, 小塚 善吉, 吉田 菊松. Numbers are listed at the bottom.

Table with 10 columns and 4 rows of data. Columns include names like 神奈川, 福岡, 同, 同, 同, 同, 同, 同, 同, 同. Rows include names like 草柳勇之助, 白水 剛藏, 坂本 藤藏, 吉田清九郎, 鈴木 舞太郎, 野口 賀一, 三尋木 敏平, 橋詰 菊松, 佐藤 熊吉, 藤本 喜久平, 大石 與次郎, 北本 宗一郎, 井上 乙吉, 中本 吉三郎, 岩橋 右衛門, 友岡 直喜. Numbers are listed at the bottom.

Table with 10 columns and 4 rows of data. Columns include names like 滋賀, 新和, 同, 同, 同, 同, 同, 同, 同, 同. Rows include names like 松下 友吉, 二國 洞藏, 池本 福太郎, 渡谷 鐵次郎, 辻 五郎, 石丸 横引, 瀬戸 頑太郎, 田野 金太郎, 森山 昌榮, 山中 竹五郎, 山内 司馬太郎, 濱野 仁太郎, 森田 巴太郎, 境 太太郎, 山口 哲太郎, 天城 辰太郎, 安倍 辰太郎, 須田 登一, 飯塚 郁郎, 室村 重太郎, 西村 臣雄, 磯山 宮組. Numbers are listed at the bottom.

Table with 10 columns and 4 rows of data. Columns include names like 愛媛, 全, 和歌山, 全, 全, 全, 全, 全, 全, 全. Rows include names like 本田 虎一, 全 唯一, 成石 道太郎, 住野 庄松, 安武 雪太郎, 光岡 三吉, 丸山 高吉, 尾崎 吉井, 岡 茂吉, 大隅 波平, 野 菜, 野 菜, 野 菜, 野 菜, 野 菜, 野 菜. Numbers are listed at the bottom.

Table with 10 columns and 4 rows of data. Columns include names like 滋賀, 山, 山, 山, 山, 山, 山, 山, 山, 山. Rows include names like 堀内 市次郎, 松田 定助, 松永 源吉, 松本 長之助, 全 松五郎, 岩田 大藏, 今泉 次郎, 松井 名和, 山近 土井, 山下 野村, 井上 本村, 池 百松, 古賀 伊三, 加藤 補太郎, 中川 権九郎, 香川 健一, 高岡 幸平, 北山 片岡, 中山 小林, 江尻 平次, 浅野 定市. Numbers are listed at the bottom.

Table with 10 columns and 4 rows of data. Columns include names like 福山, 廣島, 愛媛, 同, 同, 同, 同, 同, 同, 同. Rows include names like 石井 義三郎, 喜多 山形, 杉 原, 越智 龜三郎, 加登 常吉, 中根 泰吉, 山谷 榮三郎, 弓途 敷吉, 岡田 清藏, 渡邊 俊吉, 角田 力太郎, 池見 真太郎, 原 眞太郎, 益田 佐逸, 星田 吾平, 山口 宗兵衛, 山田 宗兵衛, 鹿見 島, 同, 同, 同, 同. Numbers are listed at the bottom.

Table with 4 columns: Prefecture/County, Name, Crop, and Value. Includes entries for 全神奈川, 和歌山, 全岡山, etc.

Table with 4 columns: Prefecture/County, Name, Crop, and Value. Includes entries for 同同同, 愛同同, 和同同, etc.

十七 ワツソンの農業
地方の農業
明治四十二年にワツソンの農業、サリナス、サンオン地方に於て日本人の經營したる農業反別は、二萬〇九百七十七英町にして、内所有百九十一英町、現金小作五千〇五十五英町、歩合耕作六百九十七英町半、請負耕作一万五千〇三十三英町半なり。今府縣別及作物別を掲げれば左の如し

Table with 4 columns: Prefecture/County, Name, Crop, and Value. Includes entries for 全全全, 全全全, 全全全, etc.

Table with 4 columns: Prefecture/County, Name, Crop, and Value. Includes entries for 福和全, 全全全, 全全全, etc.

Table with 4 columns: Prefecture/County, Name, Crop, and Value. Includes entries for 和福和, 和福和, 和福和, etc.

Table with columns for county names (e.g., 和歌山, 廣島), crop types (e.g., 砂糖大根, 小麦), and numerical values. Includes a '合計' (Total) row at the bottom.

Table with columns for county names (e.g., 熊木, 東野), crop types (e.g., 砂糖大根, 小麦), and numerical values. Includes a '合計' (Total) row at the bottom.

Table with columns for county names (e.g., 和歌山, 廣島), crop types (e.g., 砂糖大根, 小麦), and numerical values. Includes a '合計' (Total) row at the bottom.

Table with columns for county names (e.g., 和歌山, 廣島), crop types (e.g., 砂糖大根, 小麦), and numerical values. Includes a '合計' (Total) row at the bottom.





Table with columns for prefectures (熊本, 山鹿, 熊本, 福岡, 佐賀, 熊本, 宮崎, 熊本, 熊本, 熊本, 熊本, 熊本, 熊本, 熊本, 熊本) and rows for various agricultural products (野菜, 果糖, 砂糖, 花糖, 苗, アスパラガス, 玉葱, 山椒, 合). Includes numerical data and names of local producers.

Table with columns for prefectures (熊本, 山鹿, 熊本, 熊本, 熊本, 熊本, 熊本, 熊本, 熊本, 熊本, 熊本, 熊本, 熊本, 熊本, 熊本) and rows for various agricultural products (野菜, 果糖, 砂糖, 花糖, 苗, アスパラガス, 玉葱, 山椒, 合). Includes numerical data and names of local producers.

Table with columns for prefectures (熊本, 山鹿, 熊本, 熊本, 熊本, 熊本, 熊本, 熊本, 熊本, 熊本, 熊本, 熊本, 熊本, 熊本, 熊本) and rows for various agricultural products (野菜, 果糖, 砂糖, 花糖, 苗, アスパラガス, 玉葱, 山椒, 合). Includes numerical data and names of local producers.

Table with columns for prefectures (和歌山, 島根, 和歌山, 和歌山, 和歌山, 和歌山, 和歌山, 和歌山, 和歌山, 和歌山, 和歌山, 和歌山, 和歌山, 和歌山, 和歌山) and rows for various agricultural products (野菜, 果糖, 砂糖, 花糖, 苗, アスパラガス, 玉葱, 山椒, 合). Includes numerical data and names of local producers.

Table with columns for prefectures (熊本, 山鹿, 熊本, 熊本, 熊本, 熊本, 熊本, 熊本, 熊本, 熊本, 熊本, 熊本, 熊本, 熊本, 熊本) and rows for various agricultural products (野菜, 果糖, 砂糖, 花糖, 苗, アスパラガス, 玉葱, 山椒, 合). Includes numerical data and names of local producers.

サンノゼ地方作物反別表



Table with 19 columns and 3 rows. Columns represent prefectures: 新瀉, 熊本, 大阪, 千葉, 廣島, 同, 和歌山, 熊本, 大阪, 和歌山, 大阪, 宮城. Includes names like 佐藤信忠 and crop types like 果物, 野菜.

Table with 19 columns and 3 rows. Columns represent prefectures: 大, 殖, 和, 岡, 神, 千, 新, 新, 島, 和, 全, 全, 全, 千, 愛, 全, 新. Includes names like 今城長緒 and crop types like 果物, 野菜.

Table with 20 columns and 3 rows. Columns represent prefectures: 廣, 和, 全, 廣, 岡, 廣, 熊, 和, 廣, 熊, 全, 熊, 全, 廣, 熊, 大, 山, 雙. Includes names like 伊津野清太郎 and crop types like 果物, 野菜.

Table with 15 columns and 3 rows. Columns represent prefectures: 和歌山, 同, 同, 同, 熊, 熊, 廣, 同, 同, 同, 同, 同, 同, 同, 同. Includes names like 佐藤信忠 and crop types like 果物, 野菜.

Table with 15 columns and 3 rows. Columns represent prefectures: 山, 廣, 三, 廣, 山, 全, 岡, 福, 和, 廣, 和, 全, 全, 全, 熊, 全, 全, 同, 同, 同, 同, 熊, 廣, 福. Includes names like 山崎三郎 and crop types like 果物, 野菜.

Table with 15 columns and 3 rows. Columns represent prefectures: 全, 全, 全, 全, 全, 全, 和, 全. Includes names like 藤井安吉 and crop types like 果物, 野菜.

Table with columns for location (e.g., 山崎, 山口), person name, and numerical data. Includes a sub-section for '受負耕作の部'.

Table with columns for location (e.g., 山崎, 山口), person name, and numerical data. Includes a sub-section for '地方農業者表'.

Table with columns for location (e.g., 山崎, 山口), person name, and numerical data. Includes a sub-section for 'マチネース日本人農業者表'.

四 加州日本人の商業及雑營業

一 桑港と日本との貿易

米國の貿易上に於ける桑港の位置を示さむが爲めに、過去九年の米國の輸出入総額と、桑港の外國貿易額とを比較するに左の如し

Table comparing US trade totals and San Francisco trade with Japan from 1900 to 1908.

前表に依れば、桑港の外國貿易は、一千九百八年度に於て決米國貿易總額の約三十八分の一に過ぎずして、未だして優良の位置を占めたりと云ふべからず、則ち米國の海外貿易は、依然として太平洋沿岸に重きをなすものと見ざるべからざる也。

二、日本との貿易關係

桑港の貿易中最も重要な位置を占むるものは、日本との貿易にして、輸入は第一位に居り、輸出は昨年を除き英國の上にあつた。桑港貿易の盛衰は或る意味に於て日本との貿易の消長に伴ふものと云ふを得べし。今試に過去三ヶ年の内國産貨物に於て桑港より輸出せられたる總額と、日本への輸出額とを比較すれば左の如し

Table comparing domestic production exports from San Francisco to Japan from 1906 to 1908.

則ち過去三年の統計に依れば、日本よりの輸入は平均四割の上に出づるを見るべし。一千九百七年は恰かも桑港震災の翌年に當り、再建築材料の輸入せられたるもの多く、同年の輸入は桑港未曾有の多額に達したれば、暫らく之を例外とする時は、日本の輸入は常に平均四割四

分の多きを占めて第一位に居り、殊に注意すべきは、  
経済界不振其他の理由に依り、一千九百八年の輸入総額  
は、前年度に比し九百餘萬弗の減退を見たるに、單り日  
本の輸入額は僅かに三萬五千餘弗を減少したるに過ぎざ  
るに徴するも、日本との貿易が健全なる状態にあるを知  
るに足らむ。

三、昨年度の桑港輸出入額

一千九百八年度に於て桑港に輸入せる外國貨物は、四千  
四百四十万三千九百九十七弗にして、別に四百六十五萬四  
千六百七十四弗の通過貨物(東部行貨物にして桑港に於  
て検査も課税もせざるもの)あり。又同年度に於て桑港  
の輸出は、内國貨物三千〇七十三萬九千八百二十弗、同  
外國貨物四十五萬一千四百八十六弗也。今之を前年度の  
貿易と比すれば左の如し

Table showing trade figures for 1907 and 1908, including categories like 輸出額 (Export), 輸入額 (Import), and 通過貨物 (Through goods).

港再建の材料が多く、前年度に輸入せられ、一千九百八  
年度に持ち越されたるに據ると稱せらる。

四、一千九百八年度の輸入國別

一千九百八年度に於て百萬弗以上の貨物を桑港に輸入し  
たる各國を挙げ、前年度との増減を比較すれば左の如し

Table showing import figures by country for 1907 and 1908, including Japan, England, and others.

千六百七十四萬一千九百七年度に於て四百七十三萬七千  
三百五十三弗の通貨々物あり、桑港税關に於て検査及課  
税するとなし、東部に輸送せられたるものにして、其内  
容及輸入國別は不明なるも、主も支那より輸入せられ  
たる生糸、製茶にして内少くとも三分の二は日本より輸  
入せられたるもの也。

五、日本より輸入品

一千九百八年度に於て、日本より桑港に輸入せられたる  
貨物及價格左の如し

Table listing various goods imported from Japan (e.g., silk, tea) and their prices.

技術材 四七三

Table listing various goods and their prices, continuing from the previous table.



種目	一九〇八年	一九〇七年	減額
農具	三三、七五一	六六、四五七	三二、七〇六
書籍	二六、八八八	三四、四五七	七、五六八
時計	四四、二九一	八九、七〇三	四五、四一二
棉花	二、九九七、五八三	三、二七〇、五四七	二七六、九六四
其他草類	六〇九、九二〇	八七四、五三三	二六四、六一二
油類	七三三、七五〇	二六〇、一八二	一九三、四二四
其他類	二七三、七五八	七四八、五二六	二四四、七五八
果物	二七三、三〇九	三二一、九二六	四八、六一七
藥物	一五二、七八九	二〇五、五四八	五二、七五九
インキ	二七三、三〇九	四〇、八一〇	一三、四九九
化學器具	一〇五、〇四四	二二五、三二五	一一〇、二八一
鐵及鋼器	七三八、〇一〇	一、四五六、八三六	七七八、八二六
食料品	二〇六、六五二	二八〇、九三四	七四、二八二
糖類	二九、八六三	四三、〇五九	一三、一九六
石類	三三、八九三	四二、七五六	八、八六三

總て減少を示したるが、是れ日本に於ける經濟界不振の爲めなりしと云ふまでもなし。

九、桑港より日本への重要輸出品  
 桑港より日本への輸出品中重なるもの、一千九百八年と一千九百七年との増減を比較すれば左の如し

電氣器 一、〇三三  
 各種物品 四三、七九六  
 合計 六百四十七萬〇三百九十七弗

則ち桑港より日本への輸出は、棉花を最も重なるものとし、鐵類、油類、革類之に次ぎ、其他は甚だ微々たるを見るべし。

種目	一九〇八年	一九〇七年	減額
魚類	二、一〇六	二、二四七	一、三〇七
生アツプル	二、二四七	四九	五三二
乾アツプル	四九	七、九九七	七、九四八
乾アツプル	五三三	三五	五〇
乾アツプル	一、四五七	七、五八六	六、一三〇
乾アツプル	二、六七九	四、四六七	二、七八一
乾アツプル	一、九七五	三八一	一、五九四
乾アツプル	三、五五三	七八六	二、七八一
乾アツプル	一、五五二	五、一八九	三、六三三
乾アツプル	五〇	二九二	二四二
乾アツプル	三三七	六三三	三〇〇
乾アツプル	四一、一〇〇	二七、四七四	一三、六二六
乾アツプル	八四、二一五	三〇、二六三	五三、九五二
乾アツプル	四〇、四九四	六四、五五〇	二四、〇五六
乾アツプル	四八三	二、八〇〇	二、三一七
乾アツプル	五、〇〇五	二、四五〇	二、五五五
乾アツプル	一一、三三三	二、二五二	九、〇八一
乾アツプル	三、五六四	一、六一、三四三	三、〇五三
乾アツプル	二一、一三六	三、五六四	一七、五七二
乾アツプル	三五、二〇七	三、五六四	三二、六四三
乾アツプル	四、二三五	三、八一一	四、三四四
乾アツプル	三、八五一	二、五〇八	一、三四三
乾アツプル	六、一一二	四四	六、〇六八
乾アツプル	八、五〇九	一、〇四五	七、四五四
乾アツプル	二七八	四、四九九	四、二二一
乾アツプル	六〇九、九二〇	四、四九九	六〇五、四二一
乾アツプル	五、〇七〇	八七、三六四	五、一九〇
乾アツプル	四〇六	九、二五二	八、八四六

種目	一九〇八年	一九〇七年	減額
樹脂	三四、四五二	四四七	三四、〇〇五
油類	七三、七五八	八〇、三四四	六、五八六
紙類	八、〇三四	三六九	七、六六五
其他	一四、六〇七	六〇、一〇〇	四五、四九三
其他	三六九	一、五二六	一、一五七
其他	一、五二六	三二八	一、一九八
其他	五二、四七二	二、〇〇五	五〇、四六七
其他	一、六八九	七、二〇五	六、五二六
其他	七、二〇五	二、七八二	四、四二三
其他	二、七八二	二、三二〇	五〇、四六二
其他	二、三二〇	二、五五二	二、二三二
其他	二、一四九	二、四四九	二、二九九
其他	二、四四五	六五一	一、七八四
其他	六五一	五〇六	一、一四五
其他	五〇六	二四八	二、五二二
其他	九、九四七	九、九四七	〇
其他	五〇	三九	一一
其他	三九	九一	五二
其他	九一	一、六八八	一、五九七
其他	一、六八八	一、四八五	二、二〇三

十、桑港日本貿易と海運

一千九百八年度に於て、日本より桑港に輸入されたる貨物二千〇九十二萬九百二十二弗を輸送し來れる船籍を示せば左の如し

船籍	輸入價格
米國	一〇、四五七、四九九
日本	七、五一八、九四一
英國	二、五三三、四〇九
佛國	一九一、三六七
獨逸	二二八、六四九
米國	九、二五七
英國	一、八〇〇
計	二〇、九二〇、九二二

更に一千九百八年度に於て、桑港より日本への輸出貨物六百四十七萬〇三百九十七弗を輸送したる船籍を示せば左の如し

船籍	輸出價格
米國	三、六五〇、三〇二
日本	一、七一一、四五五
獨逸	一、三三〇、〇〇〇
英國	七、八五一、八八五
英國	一、八一、四五五
英國	六、四七〇、三九七
計	一、八一、四五五

二 加州日本人の商業  
及雜業の沿革

カリフォルニア州に於ける日本移民漸く其數を増し、貯蓄金の保管、日本への送金に不便を感ずるものあるに至りたれば、政府の徳意に依り、横濱正金銀行が初めて桑港に出張所を開設したるは、明治十九年六月十九日にして同年同月新潟縣人竹山祐嗣桑港サター街に些かなる日本雜貨店を開きたり、是れ日本人が加州に於て商店を開きたる嚆矢也。而して少しく後れて同年末、大分縣人甲斐織衛立桑港第六街に日本美術店を開きたり。竹山商店は元と日本雜貨を米國に鬻ぐ目的に出でたる由なるが、當時カリフォルニア州全体に在留せるもの七八百桑港市内に在留せるもののみを以てするも、四百を下らざと稱せられ、其古きものに至りては、在任十數年の久しきに及びしが、西洋料理を常食とし、時折り支那料理に舌鼓を打つ位が關の山なりしかば、其日本食を渴望するも恰かも大早に雲霓も管ならず、依て竹山は試みに日本に注文して、精米、味噌、醬油、乾物、罐詰類を取り寄せたるに、恰かも餓虎の肉を争ふが如く、代價の高下を問はざりしと云へり。以て當時の在留民の狀態を知るに足るべし。又甲斐商會は日本美術雜貨品の桑港に於て賣り捌かるゝもの甚だ少なからざるに係らせ、此等は當

時総て支那人若くは米國人に依りて取扱はるゝを見て慨嘆措く能はず、日本人の手を以て、日本の貨物を米國人に紹介せむとする望みに出でたり。即ち竹山商店は雜貨店を始め、日本食料品取次ぎの嚆矢となり、甲斐商店は全く米國人を相手とする美術雜貨商の始祖たる也。先是一二日本人の下宿屋開かれたりとも雖も、家内の勞働に従事するものは、米國人の安宿に泊るを習ひとし、書生は教會を以てホームとなし、日本人下宿屋は水夫宿の如き觀をなして甚だ振はざりき。而して明治二十三年に至り、萩原真始めて日本料理店を桑港に開きたり。夫れより後は渡來するもの益々多く、又早く渡來せるものは漸く多少の資本金を蓄積し得て、美術雜貨店、食料品商店を開けるもの、旅館業、洗濯業、和洋料理店、床屋を營むもの漸く多し。明治二十三年頃より地方農園の事業に就ける日本人の數、漸次増加したるを以て、自然の要求は明治二十八年に至り、サクラメント、フレズノ、ロサンゼルス等の各地に續々種々の商業及雜業を營むもの起り、今日に於ては加州到る處に於て、殆んど日本人の商店又は旅館等を見ずと云ふとなく、特に明治三十九年桑港大地震の爲め、桑港に於ける諸商店一時休業したれば、從來桑港に在る商店と取引したる地方の商店は、直接貨物を日本より輸入する道を開き、又桑港にありたる罹災者一時四方に散亂したるを以て、地方の旅館

桑港雜貨輸入株式會社



料理店等順に發達し、今日に於ては大抵の處に行くも諸

種の日本の機關備はらせと云ふとなく、何等の不自由を

感ぜざる也。而して發達の徑路に就て言へば、概して桑港に於て、商業又は雜營業に従事せるものは、日本に在りて商業又は雜營業の經驗を有したるものにして、米國に來りて家庭の奴僕となりて、貯蓄したるものを資本金とし業を始めたるもの、若くは些細なる資本を以て行商を營みて擴張に擴張を重ねて今日あるを致したるもの多く、地方に在りては、初め農業を營みて得たる資力を以て、商業又は雜營業を初めたるもの多きが如し。則ち都會に於けるもの、地方に於けるものは、其出發点を異にすとも、而かも日本より資本を持ち來りたるにあらざりて、獨立自營以て今日あるを致したるは一にして、概して成効者と稱せらるゝもの也。

三 日本人の商業及雜營業の  
新傾向

カリフォルニア州に於ける日本人の商業及雜營業は、之を二大別するを得べし。則ち一は主として米國人相手のものにして、他は専ら日本人を顧客とするもの是れ也。茲に斯の如く區別すと雖も、米國人を顧客とする商店なるが故に、日本人と隔絶し、又は日本人を得意とするの故を以て、全く米國人を顧みざと云ふにあらず、只自ら重にも米國人を相手とするものと、主として日本人を目的とするものとの差別ありと云ふのみ。

概して之を言へば日本人の商業及雜營業は、美術雜貨店

花園業、洗濯業、洋食業を除くの外、従来在留日本を主たる顧客とするもの多くして、其割合は十と一とに比すべし。蓋し前にも言へる如く、カリフォルニア州に於て、商業又は雑營業を営むものにして、日本の資本金を齎したるものは殆んど絶無なりと云ふを得べく、獨立獨歩自己の運命を開拓したるもののみなれば、先づ其着手するに易き日本人相手の商業及雜營業を撰みたるは、自然の理なりと云はざるべからず。而かも日本人相手の商業及雜營業は、其範圍限りありて、今や已に十分に需要に應ずるに足るに至りたれば、在任已に久しくして相當の資本と經驗とを得たるもの、及び専門の智識を有するもの續々來りて、近來米國人相手の商業及雜營業に志すに至り、此方面に於ける最近の發展甚だ著しきものあり。假ば食料品商店の如き、専ら日本人を專一の顧客としたるが、近來日本人の同化の程度進みたるに連れ、米國品を商賣するもの多く、従つて米國人の顧客を増し、甚だしきに至りては、顧客の三分の二以上は米國人を數ふるものあるに至りたるあり。又和洋小間物店、野菜果物店到る處に増加して、日本人と米國人とを得意とするが如き、米國人を重なる顧客として旅館業を始めたるものあるが如き、洋服裁縫業及洋服洗濯業著しく増加して、米國人得意を窺食しつゝあるが如き、近來の新傾向として、日本人の商業及雜營業の將來の爲め注目すべきもの

たらせんばあらざ。

四 加州日本人の主要商業及雜業

本社の調査に依れば、明治四十二年十一月一日に於て、カリフォルニア州に在留する日本人の商業及び雜種營業は三千一百十四戸にして、其の資本金は四百八十二萬一千五百三十三弗也。而して明治四十一年七月一日より四十二年六月三十日に至る一ケ年間に、此等日本人の商業及雜營業に據る賣上金又は取得金は、一千三百五十二萬二千六百七十二弗、雇人數四千七百四十七人、其一ケ年間に支拂ひたる給料二百〇一萬九千八百三十八弗、同期間に於て支拂ひたる屋賃百十四萬九千四百八十六弗也。今茲に營業別を以て、軒數、資本金、一ケ年間の賣上金又は取得金、雇人數、一ケ年間の雇人給料及一ケ年間の屋賃を示せば左の如し

種 類	軒數	資本金	一ケ年賣上金又は取得金	雇人數	一ケ年間の雇人給料	一ケ年間の屋賃
美術雜貨店	4	4,000	27,000	20	2,000	1,000
食料品商店	1,111	1,330,000	1,330,000	1,111	1,111,000	89,000
和洋小間物店	3	3,000	3,000	3	3,000	3,000
書籍店	3	3,000	3,000	3	3,000	3,000
時計店	3	3,000	3,000	3	3,000	3,000
酒屋	107	1,070,000	1,070,000	107	1,070,000	1,070,000
計	1,127	1,340,000	1,340,000	1,127	1,127,000	95,000

閱すると僅かに二十餘年、全く日本より資本を齎せらるるにあらざりて、在留するもの腕によりて、明治四十二年に於ては、四百八十二萬餘弗の資本を以て、一ケ年一千三百五十二萬餘弗の賣上金又は取得の商業及雜營業を営むを見る、又偉ならせとせざる也。

五 主要商業及雜業地方別

一、美術雜貨商

美術雜貨業は、殆んど全く米國人を顧客とする加州日本人唯一の商業なりと云ふを妨げず。其發達に就て案するに、加州は氣候溫和にして風光明媚なるが故に、避寒避暑地として、毎年夥しき東部の旅客輻輳し、而して此等旅客は、東部に在りて已に米國産物に飽き果てたる人々なれば、珍奇を好む米國人の性情として、日本の美術雜貨品を嗜好し、之を土産物として携へ歸ると盛んに行はるるを以て、従つて日本美術品の需用甚だ大なるは一也。東部の社交界に日本美術品の珍重せらるる結果、自然の勢ひとして、西部人士も亦日本美術を珍重し、且つ西部に於ては日本人に接觸するの機會多く、爲めに日本趣味を愛尚する傾きあれば、日本美術雜貨品の需用更に大なるを致し、日本人美術雜貨商は大規模を以て營業するものあり、現に桑港、ローサンゼルスには堂々たる米國人の商店と伍して毫も遜色なきものありと雖も、同時に亦

種 類	軒數	資本金	一ケ年賣上金又は取得金	雇人數	一ケ年間の雇人給料	一ケ年間の屋賃
賣物野店	15	150,000	150,000	15	150,000	150,000
竹細工店	1	10,000	10,000	1	10,000	10,000
果物野菜店	1	10,000	10,000	1	10,000	10,000
切花屋	1	10,000	10,000	1	10,000	10,000
菓子屋	1	10,000	10,000	1	10,000	10,000
魚市場	1	10,000	10,000	1	10,000	10,000
農産物市場	1	10,000	10,000	1	10,000	10,000
其他雜商	1	10,000	10,000	1	10,000	10,000
花園業	1	10,000	10,000	1	10,000	10,000
洗濯業	1	10,000	10,000	1	10,000	10,000
旅館	1	10,000	10,000	1	10,000	10,000
下宿	1	10,000	10,000	1	10,000	10,000
洋食店	1	10,000	10,000	1	10,000	10,000
洋服店	1	10,000	10,000	1	10,000	10,000
洋服洗滌店	1	10,000	10,000	1	10,000	10,000
洋理店	1	10,000	10,000	1	10,000	10,000
飲料店	1	10,000	10,000	1	10,000	10,000
理髮店	1	10,000	10,000	1	10,000	10,000
湯屋	1	10,000	10,000	1	10,000	10,000
球突場	1	10,000	10,000	1	10,000	10,000
射的場	1	10,000	10,000	1	10,000	10,000
寫眞師	1	10,000	10,000	1	10,000	10,000
印刷業	1	10,000	10,000	1	10,000	10,000
運送業	1	10,000	10,000	1	10,000	10,000
靴店及縫工	1	10,000	10,000	1	10,000	10,000
家屋掃除業	1	10,000	10,000	1	10,000	10,000
雜 産	1	10,000	10,000	1	10,000	10,000
計	15	150,000	150,000	15	150,000	150,000

〔備考〕營業家屋にして所有に關するものは屋賃を要せず、但し資本金に加はれり、共同營業者又は家族と雖も營業に従事するものに、持主又は主任者を除く外雇人に數へたり  
明治十九年六月竹山商會の開業を鼻祖として、爾後年を

比較的小資本を以て着手し得るは、日本人の該業發達を促進したる第三因也。次に仕入地の日本なるは、大に日本商人の利便とする處たるや論を俟たず、略ぼ以上の理由を以て、日本人の美術雜貨商は累年發達し昨年度に於て加州日本人が、美術雜貨業に投資したる金額は、四十二萬〇四百七十弗、一ヶ年賣上額實に九十一萬餘弗の多きに及べり。今之を地方別に依りて軒數、資本金額、一ヶ年の賣上高、雇人數、雇人の給料及一ヶ年間の屋賃總額を示せば左の如し

加州日本人美術雜貨商地方別

地方別	軒數	資本金	一ヶ年賣上高	雇人數	一ヶ年雇人給料	一ヶ年屋賃
桑港	四三	三三、五〇〇	五八、五〇〇	一三三	三、四〇〇	五、五〇〇
ロサンゼルス	三〇	三、八〇〇	二四、九〇〇	五	三、六〇〇	三、〇〇〇
オークランド	三	八、五〇〇	一六、五〇〇	六	一、〇〇〇	一、〇〇〇
サンノゼ	三	七、八〇〇	一六、〇〇〇	三	一、〇〇〇	一、〇〇〇
サクラメント	三	三、八〇〇	一六、〇〇〇	三	一、〇〇〇	一、〇〇〇
其他各地	七	一、七〇〇	一四、一〇〇	二	一、〇〇〇	一、〇〇〇
合計	八六	四三、一〇〇	一四〇、五〇〇	一五二	一〇、〇〇〇	一六、〇〇〇

〔備考〕地方とは其地及附近一帯を含む、以下同様一ヶ備考を附せず  
則ち東部旅客の最も多く輻輳する桑港、ロサンゼルスに於て、日本人美術雜貨商の盛んなるを見るべし。就中桑港に於ては竹村兄弟商會、紀泉商會、甲斐商店、大佛商會、ロサンゼルスに於ては、大和商會等最も盛ん也

二、食料雜貨商

地方に於ては食料品、仕立洋服類、小間物、書籍、賣藥等を取扱ふ商店多く、主も日本人を得意とする商業の最たるもの也。蓋し日本人の多くは日本食を常食とし、且つ日用品を辨ずれば也。カリフォルニア州に於て此種商業に従事する商店數は百七十二戸にして、其資本金は百四十二萬二千三百四十弗、一ヶ年の賣上高二百四十八萬三千七百三十弗、使用人三百十三人、此一ヶ年の給料十六萬一千二百弗にして、一ヶ年間の屋賃八萬九千六百八十九弗の多きに及べり、今之を地方別に示せば則ち左の如し

加州日本人食料雜貨商地方別

地方別	軒數	資本金	一ヶ年賣上高	雇人數	一ヶ年雇人給料	一ヶ年屋賃
桑港	三三	五五、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	八〇	一〇、〇〇〇	一五、〇〇〇
南部加州	三三	二五、〇〇〇	五〇、〇〇〇	七〇	八、〇〇〇	一〇、〇〇〇
アラメダ郡	三	一〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇	一〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
サンノゼ	三	一〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇	一〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
ワッリントン	三	一〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇	一〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
スタキントン	三	一〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇	一〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
サクラメント	三	一〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇	一〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
フレズノ	三	一〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇	一〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
其他地方	六	一〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇	一〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
合計	七三	一四〇、〇〇〇	二八〇、〇〇〇	二五〇	三〇、〇〇〇	四〇、〇〇〇

〔備考〕賣上高を以て、直ちに需用者の支拂ふ金額と認むべからず

何となれば此内には卸商より小賣店への取引額其他商店の間に轉々せるものも含ま居れば也

外國に在留するものが、在留國の風習に同化するに従ひ漸次本國産物の需用を減ずるは自然の勢ひにして、同時に又在留するものゝ産業の發達に伴ひ、本國品の需用に影響を及ぼすと争ふべからず。則ち日本米の輸入が年々逐ふて減少する傾きあるは、テキサス州に於ける邦人米作の發達に基くものにして、其他醬油醸造、魚類罐詰業の發達の如き比々皆然らざるはなし。而して同化の程度及消費力の進むに連れ、米國産物の需用は年々共に増大するは無論なりとす。日本人食料雜貨商の日本品賣上高と、米國品賣上高とは精確に區別する能はざると雖も、今日に於ては少くとも其三分の二以上は、米國産物なると疑ふべからざるが如し。概して加州日本人の需用する食料品は、精撰したるものを需用しつゝあり。例へば清酒は多く菊、櫻正宗を用ひ、醬油は龜甲万、又は山サ印を常用するが如き以て其一斑を察すべし。我食料雜貨商の近來の著しき傾向は、多く米國産品物を取扱へる爲めに、甚だしく米國人の顧客を増したる一事にして、以前は殆んど總て日本人を得意としたるものなり。今日に於ても何れかと言へば、日本人多きを占むべしと雖も、著しく米國人の得意を増したるは事實にして或る商店の如きは顧客の三分の二以上は米國人なりと云

へり。此傾向は我食料雜貨商の前途に於て注意すべきものたるべし。

三、洗濯業

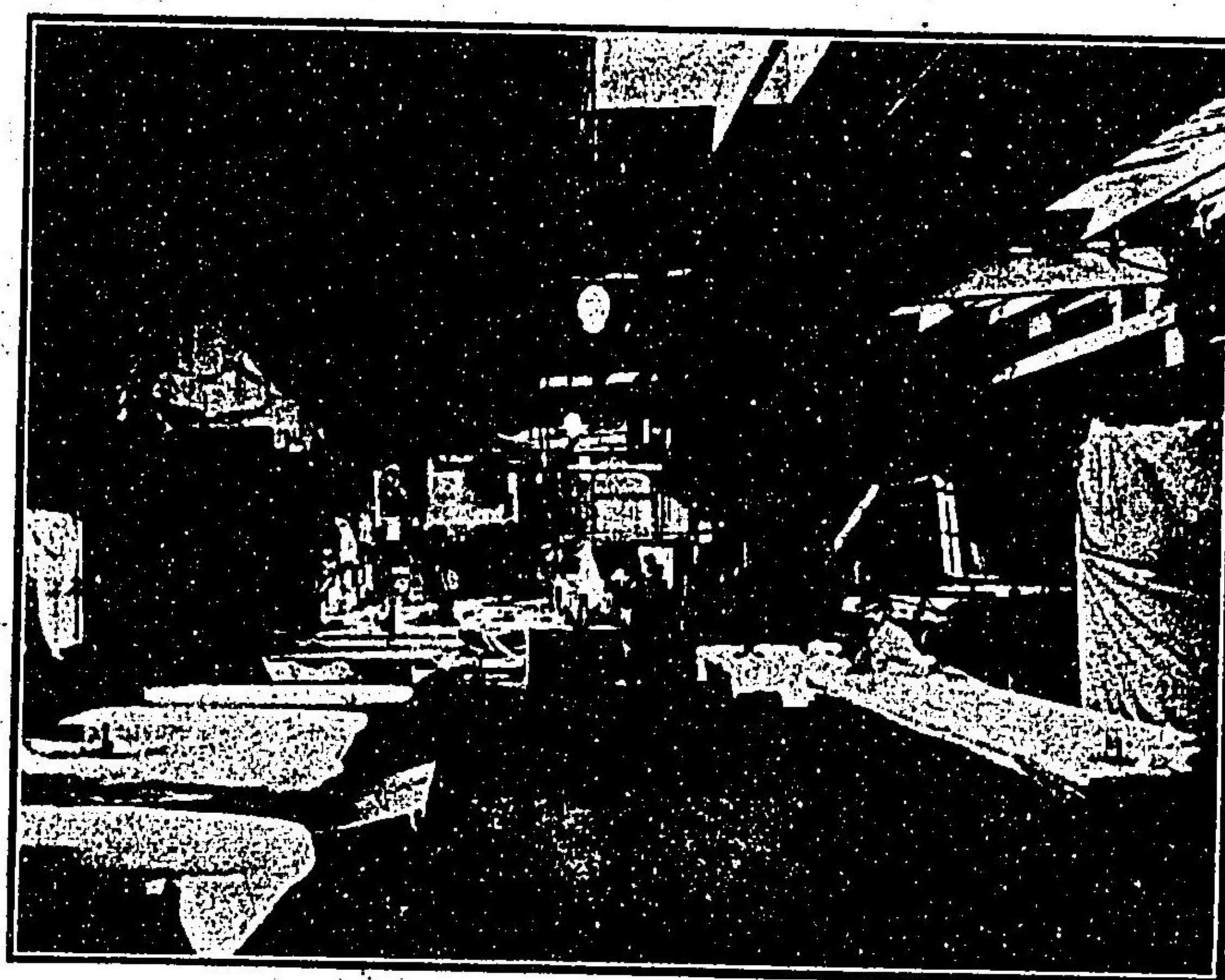
洗濯業は加州日本人の事業中、最も堅固なる基礎の上に立ち、且つ有望なるものの一也。此事業に着手したるは明治二十年頃、桑港の對岸なるチブロンに板本某を嚆矢とし、其後續々各地に起りて、今や州内各地に營業するもの百十戸、資本金二十九萬一千一百九十弗にして、四十年七月一日より四十二年六月三十日に至る一ヶ年間の總取得金九十九萬八千三百二十弗、雇人數九百廿七人其一ヶ年間の給料として支拂ひたるもの四十四萬四千〇八十弗の多きに及び、同期間に此事業の爲め日本人の支拂ひたる屋賃六萬一千一百四十四弗也。蓋し斯の如く急速の發達を遂げたる所以のものは、日本人が手先きの仕事に熟練せると、米國人が日本人の清潔好きなるに信頼して用命すると大なるに依る。今洗濯業の地方別を示せば左の如し

加州日本人洗濯業地方別

地方別	軒數	資本金	一ヶ年取得	雇人數	一ヶ年雇人給料	一ヶ年家賃
桑港	二九	三三、〇〇〇	六六、〇〇〇	八〇	一〇、〇〇〇	一五、〇〇〇
アラメダ郡	三	一〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇	一〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
サクラメント	三	一〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇	一〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
スタキントン	三	一〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇	一〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
南部加州	三	一〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇	一〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
合計	三八	六三、〇〇〇	一二六、〇〇〇	一一〇	一三、〇〇〇	二〇、〇〇〇



桑港日没洗濯所



則ち桑港及びオークランドに於て最も盛んにして、多くは電氣應用の機械を使用して作業し居れり。就中桑港のサンセット洗濯所、オークランドのマーケット洗濯所の如きは共に資本金四萬弗の株式組織にして、四五十名の使用人を有し、其規模の宏大なる米國人の同業者に比して敢て遜色なし。邦人洗濯業に對する迫害は、最も早くより始まる一にして、近來斯業の發達著しき爲め、米國人同業の迫害、官憲の暴壓益々甚だし、然れども日本人は不屈不撓の精神を以て事に當り、米國人觀客も亦深く日本人に信頼して、迫害益々甚だし、事業愈々發達を加へつゝあり。

**四、洋食業**

日本より始めて來りたるものは、農園に行かざれば即ち家内の勞働に就き、從つて西洋料理法に精通するもの多きと、洋食業は小資本を以て着手するを得るが故に、洋食業は頗る隆盛にして、略ぼ洗濯業と伯仲の間にあり。今加州に於ける日本人洋食業を地方別にし、其戸數資本金一ヶ年の收得金、雇人數、其給料及家屋支拂金額を示せば左の如し。

地方別	軒數	資本金	一ヶ年間の收得	雇人數	一ヶ年間の雇人給料	一ヶ年間の家賃
フランス	九	八、七〇〇	四〇、九〇〇	三	一五、三〇〇	三、九〇〇
ワシントン	九	一〇、八〇〇	四二、八〇〇	三	一四、六〇〇	三、三〇〇
サンノゼ	一〇	九、七〇〇	四二、七〇〇	三	一五、七〇〇	三、三〇〇
其他	三	一六、八〇〇	五〇、五〇〇	三	一五、三〇〇	三、三〇〇
合 計	三〇	三六、〇〇〇	一六六、三〇〇	一〇	四九、二〇〇	一六、一〇〇

加州日本人洋食業地方別

地方別	戸數	資本金	一ヶ年間の收得	雇人數	一ヶ年間の雇人給料	一ヶ年間の家賃
桑 港	一七	一九、四〇〇	一四四、四〇〇	一〇八	四二、八〇〇	一五、〇〇〇
アラメダ郡	八	九、七〇〇	八四、〇〇〇	三三	一五、七〇〇	四、四〇〇
サクラメント	三	一〇、四〇〇	一八、〇〇〇	三	三、八〇〇	五、七〇〇
スタクトン	三	三、五〇〇	三三、〇〇〇	三	一、四〇〇	一、四〇〇
フレズノ	三	八、〇〇〇	三三、〇〇〇	三	八、九〇〇	三、〇〇〇
南部加州	三	三、〇〇〇	二二、三〇〇	三	三、〇〇〇	一、八〇〇
サンノゼ	三	三、〇〇〇	一八、〇〇〇	三	三、〇〇〇	一、八〇〇
其他	三	三、〇〇〇	一〇、七〇〇	三	一、五〇〇	一、八〇〇
合 計	一〇五	五七、〇〇〇	九七七、八〇〇	三三三	一三三、九〇〇	五〇、〇〇〇

則ち加州に於て日本人の經營せる洋食店は、百〇五戸、資本金九萬七千二百三十弗、一ヶ年の收得は九十五萬七千餘弗の多きに及べり。桑港に於て更に發達すべくして然らざるは、屢々迫害加はるが爲めに於て、甚だ遺憾なる次第也。

**五 旅館業**

加州に於て日本人經營に係はる旅館は二百九十五戸、資本金三十四萬四千六百五十弗にして、四十一年七月一日より四十二年六月三十日に至る一ヶ年間に收得したる金額、實に八十八萬六千四百九十弗の巨額に及べり。今之を地方別にすれば則ち左の如し

加州日本人旅館業地方別

地方別	軒數	資本金	一ヶ年間の收得	雇人數	一ヶ年間の雇人給料	一ヶ年間の家賃
桑 港	一〇	五、〇〇〇	三七、〇〇〇	五	一、七〇〇	三、〇〇〇
アラメダ郡	一〇	五、〇〇〇	一九、〇〇〇	五	一、八〇〇	三、〇〇〇
サクラメント	八	五、〇〇〇	三三、〇〇〇	五	一、三〇〇	二、九〇〇
スタクトン	四	五、〇〇〇	八、〇〇〇	三	一、三〇〇	一、三〇〇
フレズノ	六	一五、〇〇〇	三三、〇〇〇	三	八、〇〇〇	六、〇〇〇
南部加州	四	六、〇〇〇	一六、〇〇〇	三	一、〇〇〇	一、〇〇〇
サンノゼ	三	八、〇〇〇	二六、〇〇〇	三	一、〇〇〇	一、〇〇〇
その他の地方	八	三、〇〇〇	三三、〇〇〇	三	二、〇〇〇	三、〇〇〇
合 計	五三	一四、〇〇〇	一八六、〇〇〇	三三	一四、九〇〇	一四、〇〇〇

概して旅館は日本人を顧客とする論なしと雖も、近來米國人を顧客とするもの著しく殖へたるは、注目すべきとなり

**六 日本料理業**

加州に於て日本人の經營せる料理店は百三十七戸にして資本金は十四萬七千四百八十弗、一ヶ年の收得百八萬餘弗の多きに及ぶ、今之を地方別にすれば左の如し

加州日本人料理店地方別

地方別	軒數	資本金	一ヶ年間の收得	雇人數	一ヶ年間の雇人給料	一ヶ年間の家賃
桑 港	三	元、二〇〇	一六、七〇〇	三	三、四〇〇	一、六〇〇

七 靴店及靴工業

地方別	軒数	資本金	一ヶ年取得雇人数	一ヶ年間雇人数	一ヶ年間家賃
アラメダ郡	一	九,500	一	一	五,900
サクラメント	一	一,500	一	一	一,000
フレズノ	一	一,500	一	一	一,000
南部加州	一	一,500	一	一	一,000
ワシントンビル	一	一,500	一	一	一,000
サンノゼ	一	一,500	一	一	一,000
其他	一	一,500	一	一	一,000
合計	七	一四,000	七	七	一四,000

加州に於ける靴店及靴工業者は二百〇八戸にして、其地方別左の如し

六 花園及植木業

地方別	軒数	資本金	一ヶ年取得雇人数	一ヶ年間雇人数	一ヶ年間家賃
アラメダ郡	一	九,500	一	一	五,900
サクラメント	一	一,500	一	一	一,000
フレズノ	一	一,500	一	一	一,000
南部加州	一	一,500	一	一	一,000
ワシントンビル	一	一,500	一	一	一,000
サンノゼ	一	一,500	一	一	一,000
其他	一	一,500	一	一	一,000
合計	七	一四,000	七	七	一四,000

花園及植木業は、カリフォルニア州日本人の事業中、最も重要にして且つ多望なる前途を有する一也。蓋し花卉植木の培養は、甚だ日本人の資性に適し技能亦卓絶するのみならず、米國人が日本特有の菊、百合等に多大の趣味を有するに至り、年々莫大の需要ある此等の切花は、殆んど日本人の獨占に歸すと云ふも不可なき状態にあれば

也。今茲に日本人花園業の起原を尋ねるに、明治廿年の春長野縣人吉池寛は、オークランド市第十六街に、和歌山縣人堂本譽之進兄弟は同市キャストロ街に、共に一英町若くは半英町の土地を借り入れ、植木、石竹、菊等を栽培したるを以て斯業の嚆矢とす。而して經營者の堅忍不拔なる努力と、日本人の趣味技能に適したるに據り着々成效の域に達したれば、之を見聞せるもの争ふて事業を開始し、今日にありては、オークランドを始め、サンノゼ、サクラメント、ローサンゼルス、サリナスの各地に於て、日本人の花園、植木事業は成功しつつあり。就中オークランド、アラメダ、パークレー地方は特に地味氣候の斯業に適するのみならず、桑港を始めとし、オークランド、パークレー、アラメダの如き大都會の需要を控へ居れるが故に、驚くべき發達を遂げ、以上四市に於て一ヶ年間に需要せらるる花卉、植木は約一百万弗と稱せらるるが、其中少くとも五割は日本人栽培者の手に依りて供給せられつつあり。則ちオークランド、パークレー、アラメダ地方に於て、明治四十二年度に日本人の經營せる花園、植木業は三十二箇所にして、其面積は百二十四英町(内所有地百十英町、現金借地十三英町)也。而して其中植付けられたるは、石竹(カーネーション)三十七万〇三百五十六平方呎、一ヶ年の産出高一千八百五十一萬七千八百本にして、其代價約二十四萬

二千二百弗なり。次に徹蓋の栽培面積は十三萬六千七百七平方呎にして、一ヶ年の産出價格十五萬弗を下らざり、菊の培養面積は二萬四千〇七十平方呎にして、一ヶ年の賣上金約二萬弗、又百合の培養面積は三萬七千〇六十平方呎、約十五萬本にして、一ヶ年の賣上大凡三萬弗、植木は五萬二千三百八十八平方呎にして、一ヶ年の賣上高約三萬弗なり。此外にアスパラガスの栽培五萬二千三百平

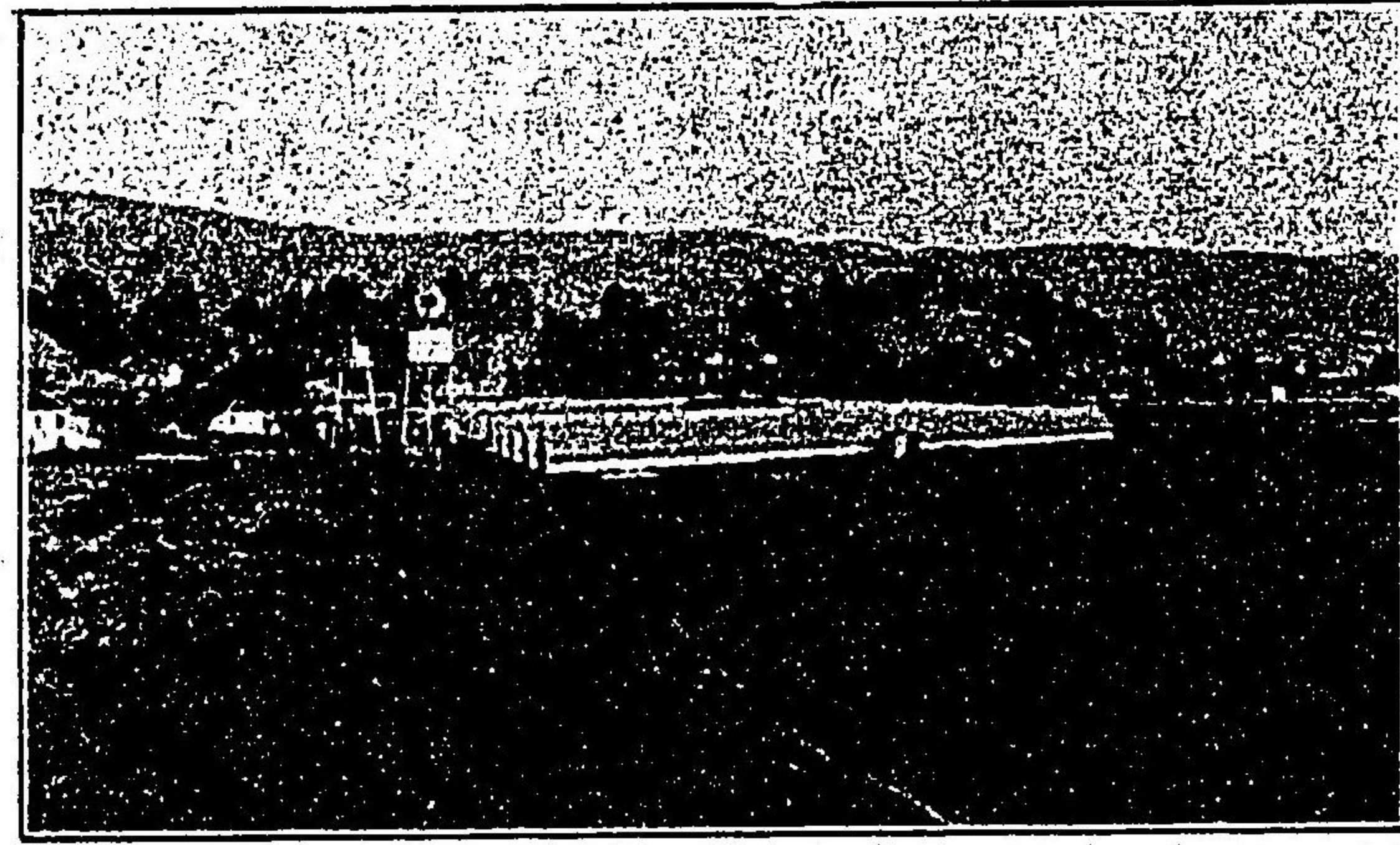
王府及附近の花園及植木業面積表

經營者	作物の種類				面積(方呎の計算)		就働人員		場所
	石竹	ローズ	菊	百合	アスパラガス	植木類	男	女	
堂本兄弟	三,100	三,100	三,100	三,100	三,100	三,100	一	一	メルロリス
鍋田兄弟	一,010	一,010	一,010	一,010	一,010	一,010	一	一	メルロリス
林兄弟	一,710	一,710	一,710	一,710	一,710	一,710	一	一	ステーション
木村兄弟	三,100	三,100	三,100	三,100	三,100	三,100	一	一	ステーション
岡田	三,100	三,100	三,100	三,100	三,100	三,100	一	一	ステーション
大石徳太郎	八,000	八,000	八,000	八,000	八,000	八,000	一	一	ステーション
八木和吉	三,100	三,100	三,100	三,100	三,100	三,100	一	一	同
伊丹助右衛門	三,100	三,100	三,100	三,100	三,100	三,100	一	一	同
足立兄弟	一,800	一,800	一,800	一,800	一,800	一,800	一	一	同
松山源之助	三,100	三,100	三,100	三,100	三,100	三,100	一	一	同
前田熊吉	九,500	九,500	九,500	九,500	九,500	九,500	一	一	同
大田利助	一〇,100	一〇,100	一〇,100	一〇,100	一〇,100	一〇,100	一	一	同
大岡久太郎	一〇,100	一〇,100	一〇,100	一〇,100	一〇,100	一〇,100	一	一	同

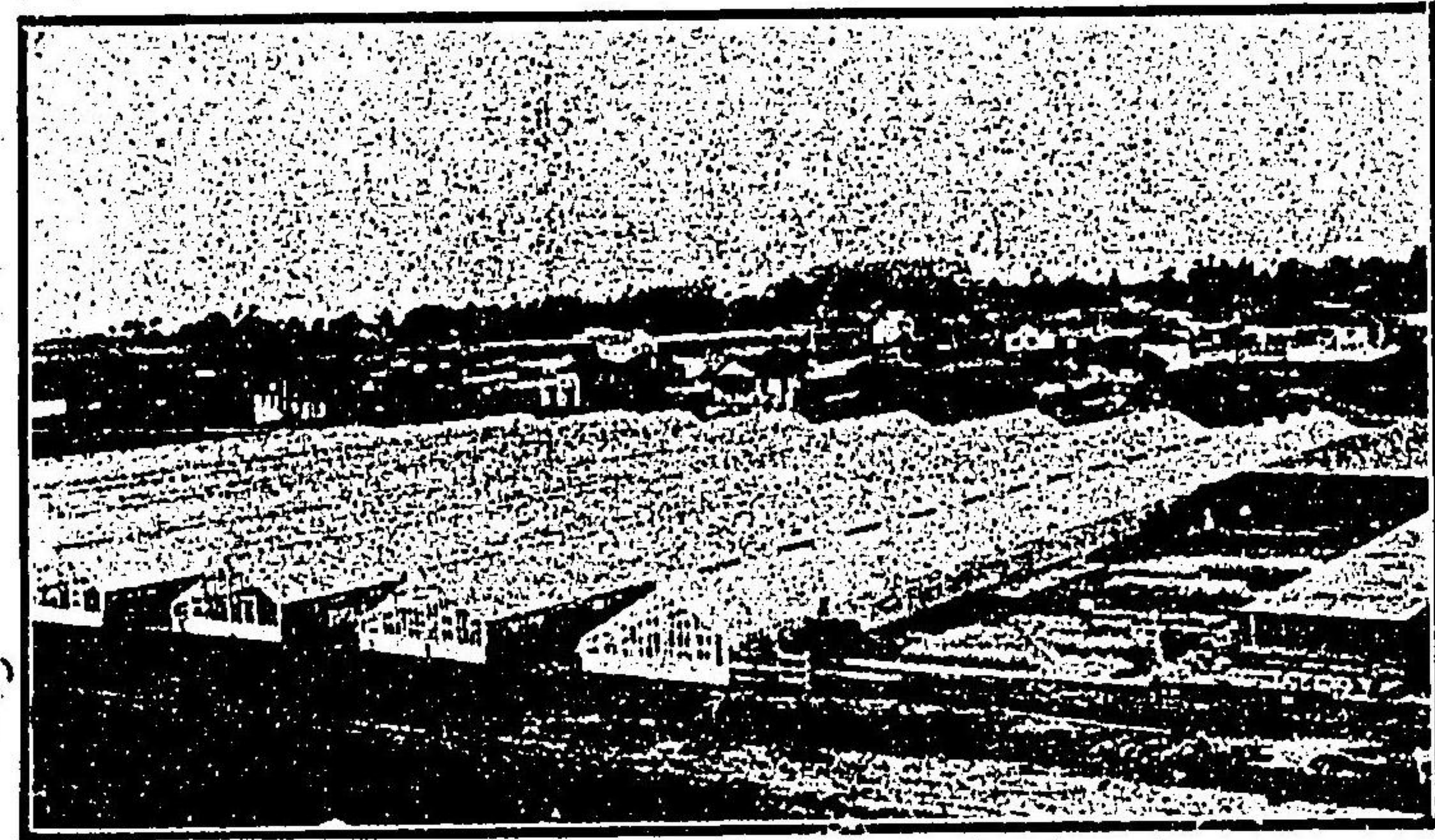
方呎ありて、其生産額一ヶ年約二萬弗なりと云ふ。此等は多く温室に培養せらるるものにして、温室の面積は約五十萬平方呎、投資金約八十萬弗なれども、時價に見積れば之に數倍すべし。而して一ヶ年の賣上總額は、約五十萬弗、使用人員は百二十二名なり。今栽培者の培養面積別を詳すれば左の如し

園 花 人 本 日 近 附 ド ン ラ ク | オ

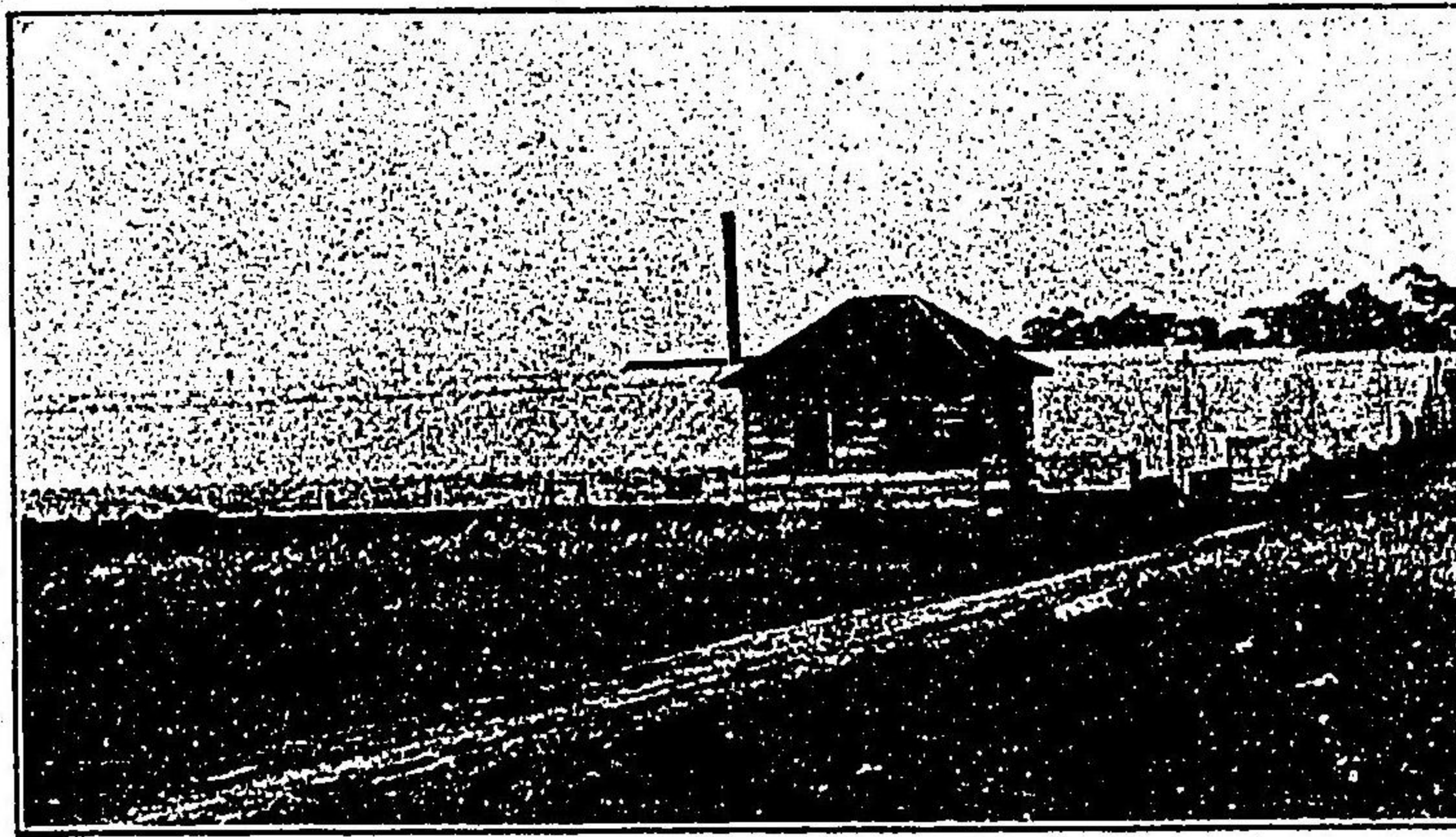
堂 本 兄 弟 花 園



木 村 兄 弟 花 園



鍋 島 兄 弟 花 園



則ち日本人經營の總面積六十七萬二千三百四十四方呎にして雇人數百四十二人なり

經營者	作物の種類				就働人員	場所
	石竹	ローズ	菊	百合		
酒井大石兄弟	三、五〇〇	.....	.....	.....	二	ステーション
古田兄弟	一〇、〇〇〇	.....	一、五〇〇	.....	二	同
鶴岡英哉	一、〇〇〇	.....	.....	.....	一	イルムハスト
藤井	六、五〇〇	.....	.....	.....	二	同
高橋幸太郎	一、五〇〇	.....	.....	.....	三	フィツチバグ
末安兄弟	九、〇〇〇	.....	.....	.....	三	サンロレンソ
福住宇吉	八、〇〇〇	.....	.....	.....	三	サンロレンソ
古屋金助	一三、〇〇〇	.....	.....	.....	三	フルツベリ
間山武一	三、五〇〇	七、六五〇	.....	.....	六	パークレ
西原兄弟	三、五〇〇	三、〇〇〇	.....	.....	三	メルロニス
重宮外三名	九、〇〇〇	六、〇〇〇	.....	.....	四	イルムハスト
篠田熊一耶	七、五〇〇	三、五〇〇	.....	.....	三	イルムハスト
執行傳七	一三、一〇〇	.....	.....	.....	三	フィツチバグ
谷口虎二	.....	一三、〇〇〇	.....	.....	二	イルムハスト
久家梅吉	二、二五〇	.....	.....	.....	二	同
時津砥綿	八、〇〇〇	.....	.....	.....	二	同
横田林作	八、〇〇〇	.....	.....	.....	二	フルツベリ
内和田信吉	四、二〇〇	.....	.....	.....	二	オークランド
合計	三、七〇〇	一、三〇〇	三、〇〇〇	三、五〇〇	一三三	同

(方呎の計算)

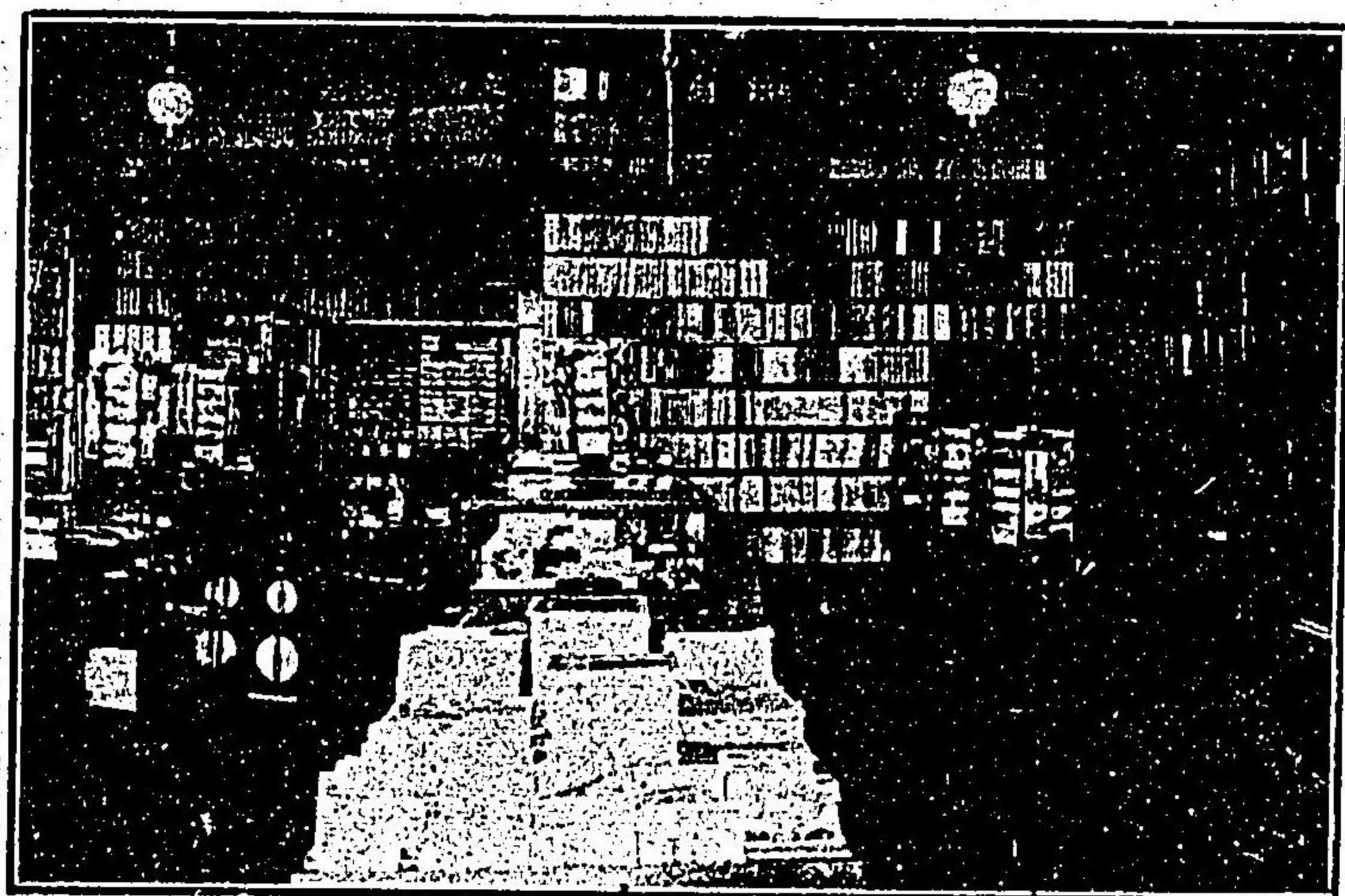
七 加州日本人の漁業

加州に於ける日本人の漁業は、前途有望なりと稱せらるれども、今に於ては未だ甚だ振はす、只僅かにモントレイ及南加州に於て營業せらるるを見るのみ。其他多少之れなきにあらざると雖も、殆んど言ふに足らず、則ち兩地の漁業を説くは、加州日本人漁業の總てを説くものと云ふべし。

上 モントレーの日本人漁業

一、モントレイ日本人漁業の沿革 モントレーに於ける日本人の漁業は、明治二十八年五六の漁夫米國人漁業者の使用人として雇はれ、鳥賊獲りに従事したるを嚆矢とす。而して明治三十三年に至り、獨立して鮭の漁業に従事するもの八名を出だし、明治三十五年モントレイ鑛詰會社創立せられて鮭鑛詰業起りたれば、日本人の鮭漁りに従事するもの俄然増加して三十名を數へ、其後年と共に漁夫の數を増し、ギャスリンボートを使用して、單に鮭漁のみならず、鱒、鮪、シーバス、スルメ、鯛、ラツカ、バラリタ其他の漁獲をなすに至り、今日に於ては同灣に於ける漁業は殆んど日本人の獨占に歸し、所謂ギャスリンボートの數七隻、之に従事するもの百四十五名を數ふるに至りたり。別にモントレイの南方數哩の地にカール灣と云ふあり、同地ポイント、ローバスに去る明治三十三年以來、小谷源之助なるもの鮑採取事業に従事し

桑 港



青木大成堂

今日に於ては同灣の南四十哩を隔てたるサンズミオンに至るまで、漁業區域を擴張して盛んに漁獲しつゝあり。二、モントレイ灣漁業の現状 明治四十二年に於けるモントレイ灣日本人の漁船は、ギャスリンボート七隻、シキーフ(鮭釣に用ふる漁船)百四十隻にして漁夫百四十五名なるが、鮭漁獲の外は精確なる漁獲高を知ると能はざると雖も、四十二年度の漁獲物は十萬弗を下らざりしならん。今鮭漁業の統計を示せば左の如し

年	人員	捕獲の斤量	一斤の價	金額
明治三十五年	三〇	一六五、〇〇〇	五仙	八、二五〇
明治三十六年	六五	三三二、〇〇〇	三仙、五	一、五七五
明治三十七年	一一五	三三五、〇〇〇	(大)四仙 (小)三仙	一〇、七二五
明治三十八年	一〇二	二九八、七〇〇	(大)四仙 (小)三仙	一〇、四五〇
明治三十九年	九八	四四二、〇〇〇	三仙	一三、五六〇
明治四十年	一二五	七四九、〇〇〇	三仙、五	二四、三七〇
明治四十一年	一八三	三〇三、三〇〇	三仙、五	九、八五五
明治四十二年	一四五	一〇九一、三二四	三仙、六	四三、八八七

算二萬六千二百五十弗也。故に鮭と鮑との漁獲高のみを以てするも、一ヶ年約七萬弗して、此外に各種生魚の漁獲高を合すれば、決して十萬弗を下らざる筈也。三、モントレイ漁業の將來 日本人が漁業に従事せるより最近數年以來著しき發達をなし、モントレイ灣に於ける漁業の實權は、其の漁夫の數に於て、亦漁船の數に於ても全數の八割を占め居る結果、殆んど同胞の掌中に歸せんとする形勢を示せるは、誠に喜ばしき現象なりと云はざるべからざる。殊に近來に至り白人社會にも、魚肉を嗜むこと多きを加ふるに至りしかば、其の販路は年と共に擴張せられつゝあり。而して同胞の漁業に従事せるものは、他國民に比し頗る敏活巧妙なる点に於て數層頭角を擡んざるを以て、今從に於ける漁業の發展は期して得べきなり。

下 南加州に於ける日本人の漁業

一、南加州日本人漁業の沿革 南加州に於ける日本人の漁業は、今より十二三年前は實に微々たるものにして今日の如く瓦斯短端、網等の大仕掛なるものなく、唯だサンタモニカ地方に於て二三のもの小舟に乗りて釣魚をなし、其の得たる魚類を市場に出す位の小規模なりき。殊に米國人漁業家の迫害と壓迫は非常に甚だしく、邦人漁業者に發展の餘地を與へざりしが、數年以前より在留邦人の増加するに従ひ、頓に販路を見出したれば之に力を